Nikon

デジタルカメラ

Z 50

活用ガイド

このカメラにはファームアップで追加された機能があります。詳しくは「ファームウェアバージョンアップによる変更内容」（501ページ）をご覧ください。

- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」（xxiiiページ）も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

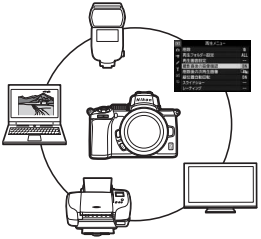
このカメラには、2種類の説明書が用意されています。

☑ 詳しい使い方を知りたいときは

活用ガイド（PDF）

使用説明書（カメラ付属品）の内容に加え、応用的な撮影方法やメニューの説明、他の機器との接続方法などが詳しく記載されています。

■ 活用ガイドの主な内容



- 応用撮影
- *i* メニューを使う
- メニューガイド
- パソコンやスマートフォンとの無線接続
- 他の機器と接続する
- 別売スピードライトを使用した撮影

■ 活用ガイドの内容は、オンライン（HTML）でも閲覧できます。

ニコン　オンラインマニュアル　Z 50

https://onlinemanual.nikonimglib.com/z50/ja/

Z 50 Model Name: N1912

☑ 基本的な撮影や再生が知りたいときは

使用説明書（カメラ付属品）

基本的な操作や機能について説明しています。

■ 使用説明書の構成

- 目次
- メニュー一覧
- 各部の名称と機能
- 準備をする
- 撮影と再生の基本操作
- カメラの基本機能と設定
- 困ったときは
- 資料
- 索引

カメラと付属品を確認する

万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡ください。

❑ カメラ本体

❑ ボディーキャップBF-N1

❑ 接眼目当てDK-30
（カメラに装着済み）
（📖445）

❑ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25（端子カバー付）
❑ バッテリーチャージャー MH-32
❑ ストラップ（📖30）
❑ 保証書
❑ 使用説明書
❑ USBケーブルUC-E21
（📖396）

- SDカードは別売です。
- レンズキットの場合はレンズも付属しています。別紙でレンズの使用説明書が入っている場合もあります。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。

ニコンダウンロードセンターについて

デジタルカメラやニッコールレンズ、スピードライトなどの説明書、ファームウェアおよびNX Studioなどのソフトウェアをダウンロードできます。
https://downloadcenter.nikonimglib.com/

本書について

文中のマークについて

本書では、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことなどを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

本書で関連情報が記載されているページです。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- 撮影時の画像モニターとファインダーの表示を「撮影画面」と表記しています。イラストは主に画像モニターの表示を使用しています。
- 本書では、スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

⚠安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは📖xxiii～xxviをご覧ください。

目 次

カメラと付属品を確認する iv
メニュー一覧 xx
安全上のご注意 xxiii
ご確認ください xxvii

各部の名称と機能 1

各部の名称 1
カメラ本体 1
画像モニター / ファインダー 5
各部の機能と基本的な操作 7
ファインダー 7
モニターモード切り換えボタン 8
撮影モードダイヤル 9
メインコマンドダイヤル / サブコマンドダイヤル 10
ISO ボタン 10
☒（露出補正）ボタン 11
タッチパネル 12
DISP ボタン 18
⊕ ボタン /⊖⊠/**?** ボタン 19
AE-L AF-L（⊶）ボタン 20
MENU ボタン 20
i ボタン（*i* メニュー） 24
Fn1/Fn2 ボタン 27
フラッシュポップアップレバー 29

準備をする 30

ストラップを取り付ける 30
バッテリーを充電する 31
バッテリーと SD カードを入れる 32
レンズを取り付ける 36
電源を ON にする 38

撮影と再生の基本操作 39

静止画を撮影する（AUTO オート） 39
動画を撮影する（AUTO オート） 43
動画モード中の静止画撮影 45
撮影した画像を確認する 47
動画の再生 47
画像の削除 49

カメラの基本機能と設定 50

ピント合わせの設定 50
フォーカスモード 50
AF エリアモード 52
タッチシャッター 61
マニュアルフォーカスでのピントの合わせ方 63
ホワイトバランス 65
ホワイトバランスの設定方法 65
サイレント撮影 69
撮影した画像のレーティング設定 71
撮影した画像のプロテクト 72

ボタンなどを使った応用撮影 73

撮影モードダイヤル 73
撮影モードの設定方法 73
P（プログラムオート）..... 74
S（シャッター優先オート）..... 74
A（絞り優先オート）..... 75
M（マニュアル）..... 76
U1、**U2**（ユーザーセッティングモード）..... 80
SCN（シーンモード）..... 83
（ポートレート）..... 84
（風景）..... 84
（こどもスナップ）..... 84
（スポーツ）..... 85
（クローズアップ）..... 85
（夜景ポートレート）..... 85
（夜景）..... 86
（パーティー）..... 86
（海・雪）..... 86
（夕焼け）..... 87
（トワイライト）..... 87
（ペット）..... 87
（キャンドルライト）..... 88
（桜）..... 88
（紅葉）..... 88
（料理）..... 89

EFCT（スペシャルエフェクトモード）..... 90
（ナイトビジョン）..... 91
VI（極彩色）..... 91
POP（ポップ）..... 91
（フォトイラスト）..... 92
（トイカメラ風）..... 92
（ミニチュア効果）..... 93
（セレクトカラー）..... 93
（シルエット）..... 94
（ハイキー）..... 94
（ローキー）..... 94
ISO ボタン..... 100
ISO 感度の設定方法..... 100
感度自動制御機能..... 101
（露出補正）ボタン 102
露出補正の設定方法..... 102
AE-L AF-L（O-n）ボタン 104
AE ロック..... 104
フォーカスロック..... 104
AE ロック / フォーカスロックの方法..... 105
内蔵フラッシュ..... 107
フラッシュモード..... 108
調光補正してフラッシュの発光量を変更する..... 112
FV ロックして調光量を固定する 113

i メニューを使う 115

i メニューについて 115
静止画モード 116
ピクチャーコントロール 116
ホワイトバランス 120
画質モード 126
画像サイズ 127
フラッシュモード 128
測光モード 130
Wi-Fi 通信機能 131
アクティブ D- ライティング 132
レリーズモード 133
光学手ブレ補正 137
AF エリアモード 138
フォーカスモード 138
動画モード 139
ピクチャーコントロール 140
ホワイトバランス 140
画像サイズ / フレームレート / 画質 140
マイク感度 143
風切り音低減 144
測光モード 144
Wi-Fi 通信機能 144
アクティブ D- ライティング 145
電子手ブレ補正 145
光学手ブレ補正 145
AF エリアモード 146
フォーカスモード 146

撮影した画像を見る 147

画像を再生する 147
1 コマ表示モード 147
サムネイル表示モード 147
画像情報を表示する 149
i ボタン（再生時）..... 157
画像を拡大表示する 164
画像を削除する 166

メニューガイド 169

初期設定一覧 169
▶ 再生メニュー：再生で使える便利な機能 181
削除 182
再生フォルダー設定 182
再生画面設定 182
撮影直後の画像確認 183
削除後の次再生画像 183
縦位置自動回転 184
スライドショー 184
レーティング 186
静止画撮影メニュー：
静止画撮影で使える便利な機能 187
静止画撮影メニューのリセット 188
記録フォルダー設定 189
ファイル名設定 192
撮像範囲設定 193
画質モード 193
画像サイズ 194
RAW 記録 194
ISO 感度設定 195
ホワイトバランス 196
ピクチャーコントロール 201

カスタムピクチャーコントロール 203
色空間 206
アクティブ D- ライティング 206
長秒時ノイズ低減 207
高感度ノイズ低減 208
ヴィネットコントロール 208
回折補正 209
自動ゆがみ補正 209
フリッカー低減撮影 210
測光モード 211
フラッシュ発光 212
フラッシュモード 214
フラッシュ調光補正 214
レリーズモード 214
フォーカスモード 214
AF エリアモード 215
光学手ブレ補正 215
オートブラケティング 216
多重露出 227
HDR（ハイダイナミックレンジ） 234
インターバルタイマー撮影 239
タイムラプス動画 248
サイレント撮影 256
動画撮影メニュー：動画撮影で使える便利な機能 257
動画撮影メニューのリセット 258
ファイル名設定 258
画像サイズ / フレームレート 258
動画の画質 258
動画記録ファイル形式 258
ISO 感度設定 259
ホワイトバランス 260
ピクチャーコントロール 260
カスタムピクチャーコントロール 260

アクティブ D- ライティング 260
高感度ノイズ低減 261
ヴィネットコントロール 261
回折補正 261
自動ゆがみ補正 261
フリッカー低減 262
測光モード 262
レリーズモード（フレーム保存） 263
フォーカスモード 263
AF エリアモード 263
光学手ブレ補正 263
電子手ブレ補正 264
マイク感度 264
アッテネーター 264
録音帯域 265
風切り音低減 265
カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定 266
カスタムメニューのリセット 268
a：オートフォーカス 269
a1：AF-C モード時の優先 269
a2：オートエリア AF 時の顔と瞳認識 269
a3：AF 点数 270
a4：半押し AF レンズ駆動 270
a5：フォーカスポイント循環選択 270
a6：フォーカスポイント表示の設定 271
a7：ローライト AF 271
a8：内蔵 AF 補助光の照射設定 272
a9：AF 設定時のフォーカスリング操作 273
b：露出・測光 274
b1：露出設定ステップ幅 274
b2：露出補正簡易設定 274
b3：中央部重点測光範囲 274
b4：基準露出レベルの調節 275

c：AE ロック・タイマー **276**
c1：シャッターボタン AE ロック 276
c2：セルフタイマー 276
c3：パワーオフ時間 277
d：撮影・記録・表示 **278**
d1：低速連続撮影速度 278
d2：連続撮影コマ数 278
d3：露出ディレーモード 278
d4：シャッター方式 279
d5：撮像範囲設定の限定 279
d6：連番モード 280
d7：Lv に撮影設定を反映 281
d8：格子線表示 281
d9：ピーキング表示 282
d10：連続撮影中の表示 282
e：フラッシュ・BKT 撮影 **283**
e1：フラッシュ撮影同調速度 283
e2：フラッシュ時シャッタースピード制限 284
e3：フラッシュ使用時の露出補正 284
e4：⚡ 使用時の感度自動制御 284
e5：BKT の順序 285
f：操作 **286**
f1：i メニューのカスタマイズ 286
f2：カスタムボタンの機能（撮影） 287
f3：カスタムボタンの機能（再生） 293
f4：コマンドダイヤルの設定 295
f5：ボタンのホールド設定 298
f6：インジケーターの＋ / － 方向 298

g：動画 299
g1：i メニューのカスタマイズ 299
g2：カスタムボタンの機能 300
g3：AF 速度 305
g4：AF 追従感度 305
g5：ハイライト表示 306
セットアップメニュー：
カメラを使いやすくする基本設定 307
カードの初期化（フォーマット） 308
ユーザーセッティングの登録 308
ユーザーセッティングのリセット 308
言語（Language） 308
地域と日時 309
モニターの明るさ 309
ファインダーの明るさ 310
ファインダーのカラーカスタマイズ 311
インフォ画面の表示設定 312
AF 微調節 313
イメージダストオフデータ取得 315
画像コメント 317
著作権情報 318
電子音 319
タッチ操作 320
自分撮りモード 320
HDMI 320
位置情報の表示 321
機内モード 321
スマートフォンと接続 322
PC と接続 324
リモコン（ML-L7）設定 327
認証マークの表示 328
パワーセーブ 329
カードなし時レリーズ 329

カメラの初期化 330
ファームウェアバージョン 330
画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能 331
RAW 現像（パソコンを使わずに RAW 画像を JPEG 画像に変換する） 334
トリミング 337
リサイズ 338
D- ライティング 340
簡単レタッチ 340
赤目補正 341
傾き補正 341
ゆがみ補正 342
アオリ効果 343
画像合成 344
動画編集（始点 / 終点設定） 347
編集前後の画像表示 347
マイメニュー / 最近設定した項目 349
マイメニュー：よく使うメニューを登録する 349
最近設定した項目：最近設定したメニューをたどる 354

パソコン / スマートフォンと無線接続する 355

カメラのネットワークシステム 355
パソコンと Wi-Fi 接続する 356
Wi-Fi 接続してできること 356
Wireless Transmitter Utility について 356
カメラとパソコンの接続方法について 357
アクセスポイントモードの接続設定 358
インフラストラクチャーモードの接続設定 362
パソコンに画像を送信する 369
ネットワーク接続を解除 / 再接続する 373

スマートフォンと接続する 374
SnapBridge アプリについて 374
SnapBridge アプリを使ってできること 374
スマートフォンと無線接続するには 375
Wi-Fi モード（Wi-Fi で接続） 376
Bluetooth 接続 382
トラブルシューティング 395

他の機器と接続する 396

パソコンと USB ケーブルで接続する 396
NX Studio をインストールする 397
NX Studio を使ってパソコンに画像を取り込む 398
プリンターと接続する 401
1 コマだけプリントする 402
複数の画像をプリントする 403
HDMI 対応機器と接続する 404
テレビと接続する 404
その他の HDMI 対応機器と接続する 405

スピードライトをカメラに装着して撮影する 406

フラッシュ撮影の方法 406
一灯撮影 406
増灯撮影 406
別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影） 407
カメラに装着したスピードライトの発光モードを設定する 409

複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影） 410

増灯撮影とは 410
リモートフラッシュを制御する 411
SB-500 を使用して撮影する 412

困ったときは 414

お問い合わせになる前に 414
故障かな？と思ったら 416
警告表示と警告メッセージ 423
警告表示 423
警告メッセージ 426

資料 429

使用できるレンズ 429
全画面表示 430
画像モニター 430
ファインダー 435
使用できるスピードライト 438
ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）について 438
使用できるアクセサリー 444
本体充電 AC アダプターを使用して充電する 446
ソフトウェア / アプリケーション 448
カメラのお手入れについて 449
保管について 449
クリーニングについて 449
撮像素子前面をブロアーで掃除する 450
カメラとバッテリーの使用上のご注意 452

主な仕様 458
使用できる SD カード 467
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数 468
撮影可能コマ数（電池寿命）について 469
NIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR 使用説明書 471
NIKKOR Z DX 50–250mm f/4.5–6.3 VR 使用説明書 479
AF 補助光撮影、内蔵フラッシュ撮影に制限のある
レンズについて 489
商標およびソフトウェアの著作権とライセンスについて 491

索引 494

ファームウェアバージョンアップによる変更内容 501

バージョンアップ方法について 501
ファームウェア（C: 2.10）による変更点について 501
フォーカス（ピント）位置を記憶する機能の追加 501
ファームウェア（C: 2.30）による変更点について 502
カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］に［フォーカス位置の登録］/［フォーカス位置の呼び出し］の追加 502
ファームウェア（C: 2.40）による変更点について 505
瞳 AF 機能の動画モード対応 505
ファームウェア（C: 2.50）による変更点について 506
パワーズームレンズに対応 506
バッテリー EN-EL25a に対応 509

メニュー一覧

このカメラには次のメニューがあります。各メニューの詳細については、活用ガイドの「メニューガイド」をご覧ください。

再生メニュー
削除
再生フォルダー設定
再生画面設定
撮影直後の画像確認
削除後の次再生画像
縦位置自動回転
スライドショー
レーティング

静止画撮影メニュー
静止画撮影メニューのリセット
記録フォルダー設定
ファイル名設定
撮像範囲設定
画質モード
画像サイズ
RAW記録
ISO感度設定
ホワイトバランス
ピクチャーコントロール
カスタムピクチャーコントロール
色空間
アクティブD-ライティング
長秒時ノイズ低減
高感度ノイズ低減
ヴィネットコントロール
回折補正

静止画撮影メニュー
自動ゆがみ補正
フリッカー低減撮影
測光モード
フラッシュ発光
フラッシュモード
フラッシュ調光補正
レリーズモード
フォーカスモード
AFエリアモード
光学手ブレ補正
オートブラケティング
多重露出
HDR（ハイダイナミックレンジ）
インターバルタイマー撮影
タイムラプス動画
サイレント撮影

動画撮影メニュー
動画撮影メニューのリセット
ファイル名設定
画像サイズ/フレームレート
動画の画質
動画記録ファイル形式
ISO感度設定
ホワイトバランス
ピクチャーコントロール
カスタムピクチャーコントロール

動画撮影メニュー
アクティブD-ライティング
高感度ノイズ低減
ヴィネットコントロール
回折補正
自動ゆがみ補正
フリッカー低減
測光モード
レリーズモード（フレーム保存）
フォーカスモード
AFエリアモード
光学手ブレ補正
電子手ブレ補正
マイク感度
アッテネーター
録音帯域
風切り音低減

カスタムメニュー	
カスタムメニューのリセット	
a オートフォーカス	
a1	AF-Cモード時の優先
a2	オートエリアAF時の顔と瞳認識
a3	AF点数
a4	半押しAFレンズ駆動
a5	フォーカスポイント循環選択
a6	フォーカスポイント表示の設定
a7	ローライトAF
a8	内蔵AF補助光の照射設定
a9	AF設定時のフォーカスリング操作
b 露出・測光	
b1	露出設定ステップ幅
b2	露出補正簡易設定

カスタムメニュー	
b3	中央部重点測光範囲
b4	基準露出レベルの調節
c AEロック・タイマー	
c1	シャッターボタンAEロック
c2	セルフタイマー
c3	パワーオフ時間
d 撮影・記録・表示	
d1	低速連続撮影速度
d2	連続撮影コマ数
d3	露出ディレーモード
d4	シャッター方式
d5	撮像範囲設定の限定
d6	連番モード
d7	Lvに撮影設定を反映
d8	格子線表示
d9	ピーキング表示
d10	連続撮影中の表示
e フラッシュ・BKT撮影	
e1	フラッシュ撮影同調速度
e2	フラッシュ時シャッタースピード制限
e3	フラッシュ使用時の露出補正
e4	⚡使用時の感度自動制御
e5	BKTの順序
f 操作	
f1	iメニューのカスタマイズ
f2	カスタムボタンの機能（撮影）
f3	カスタムボタンの機能（再生）
f4	コマンドダイヤルの設定
f5	ボタンのホールド設定
f6	インジケーターの+/−方向

カスタムメニュー
g 動画
g1 iメニューのカスタマイズ
g2 カスタムボタンの機能
g3 AF速度
g4 AF追従感度
g5 ハイライト表示

セットアップメニュー
カードの初期化（フォーマット）
ユーザーセッティングの登録
ユーザーセッティングのリセット
言語（Language）
地域と日時
モニターの明るさ
ファインダーの明るさ
ファインダーのカラーカスタマイズ
インフォ画面の表示設定
AF微調節
イメージダストオフデータ取得
画像コメント
著作権情報
電子音
タッチ操作
自分撮りモード
HDMI
位置情報の表示
機内モード
スマートフォンと接続
PCと接続
リモコン（ML-L7）設定
認証マークの表示
パワーセーブ

セットアップメニュー
カードなし時レリーズ
カメラの初期化
ファームウェアバージョン

画像編集メニュー
RAW現像
トリミング
リサイズ
D-ライティング
簡単レタッチ
赤目補正
傾き補正
ゆがみ補正
アオリ効果
画像合成
動画編集（始点/終点設定）
編集前後の画像表示※

マイメニュー
マイメニュー登録
登録項目の削除
登録項目の順序変更
このタブの機能変更

※ 編集前または編集後の画像を選んで *i* ボタンを押し、［**画像編集**］を選んだときのみ表示されます。

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

危険	「死亡または重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

	は、してはいけない内容です。
	は、実行しなければならない内容です。

警告

禁止	**歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない** 事故やけがの原因になります。
分解禁止	**分解、修理または改造をしない** **落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない** 感電やけがの原因になります。
実行	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す** 放置すると、発火、やけどの原因になります。
禁止	**水でぬらさない** **ぬれた手で触らない** **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電や発火の原因になります。
禁止	**電源を入れたまま長時間直接触らない** 低温やけどの原因になります。

禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

禁止

レンズで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障碍の原因になります。

禁止

フラッシュやAF補助光を運転者にむけて発光しない
事故の誘発につながります。

禁止

幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

禁止

ストラップ類を首に巻きつけない
事故の原因になります。

禁止

指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、以下の点に注意する
- **コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない**
  重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げたりしない
- **海外旅行者用電子式変電圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない**

発火、感電の原因になります。

禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。

接触禁止

高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

注意

禁止

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。
画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

実行

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しないようにする
医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に悪影響を与えるおそれがあります。

実行

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す
故障や発火の原因になります。

接触禁止

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない
やけどや発火の原因になります。

禁止

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。

禁止

AF補助光を直接見ない
視覚に悪影響を及ぼすことがあります。

禁止

三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない
故障やけがの原因になります。

危険（電池について）

禁止

電池は誤った使いかたをしない
注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

- 充電池は、専用の充電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート（短絡）しない
- 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
- 電池に釘を刺したり、電池をハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

実行

指定の方法で充電する
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

実行

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

実行

航空機内に持ち込むときは、航空会社の指示に従う
超高度の気圧が低いところに放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

警告（電池について）

禁止

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

禁止

電池をペットなどが触れる場所に置かない
噛みつきなどにより、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

禁止

水につけたり、雨にぬらしたりしない
発火や故障の原因になります。
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。

禁止

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない
リチャージャブルバッテリー EN-EL25a/EN-EL25は、所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

実行

使用済みの電池は、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

実行

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

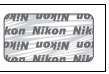
https://www.nikon-image.com/support/

●大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。



- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 使用説明書、本書およびオンラインマニュアルの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入できます（有料）。

●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

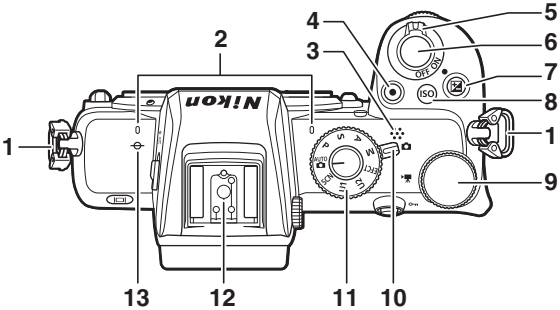
使用説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

各部の名称と機能

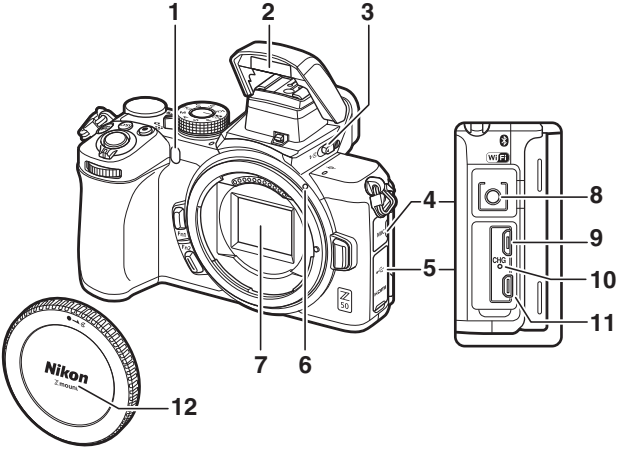
各部の名称

カメラ本体



1	ストラップ取り付け部（吊り金具）.....30	8	**ISO**ボタン .....10、100
2	マイク（ステレオ）.....44	9	メインコマンドダイヤル 10
3	スピーカー 48	10	静止画/動画切り換えレバー .....39、43
4	動画撮影ボタン 44	11	撮影モードダイヤル .....9、73
5	電源スイッチ .....38、39	12	フラッシュ取り付け部（アクセサリーシュー）...407、438
6	シャッターボタン 41	13	⊖ 距離基準マーク 64
7	☒ボタン .....11、102		

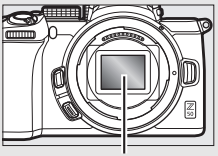
カメラ本体（続き）

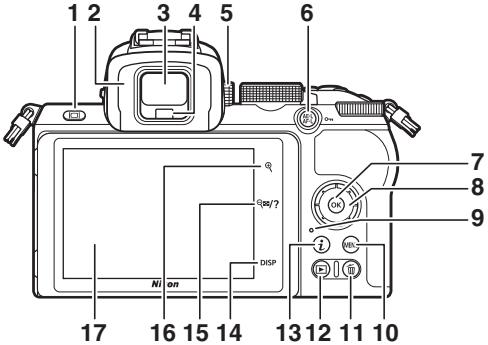


1	AF補助光ランプ ..... 41、272 赤目軽減ランプ ..... 108、128 セルフタイマーランプ 136	7	イメージセンサー（撮像素子）..... 450
2	内蔵フラッシュ ..... 29、107	8	外部マイク入力端子 445
3	フラッシュポップアップレバー ..... 29、107	9	USB端子 ..... 396、401
4	マイク端子カバー	10	チャージLED..... 447
5	USB/HDMI端子カバー	11	HDMI端子 404
6	レンズ着脱指標 36	12	ボディーキャップ 36

✓ 撮像素子に触れない

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。撮像素子のお手入れについては📖450をご覧ください。

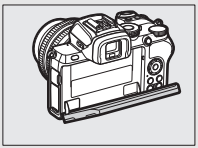


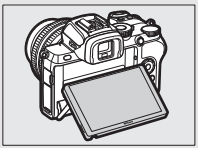


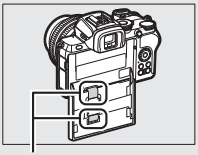
1	モニターモード切り換えボタン 8	10	MENUボタン .....20、169
2	接眼目当て 445	11	🗑ボタン .....49、166
3	ファインダー 7	12	▶ボタン .....47、147
4	アイセンサー 7	13	*i*ボタン .....24、115
5	視度調節ダイヤル 7	14	DISPボタン 18
6	AE-L/AF-L（O-n）ボタン ....20、72、104	15	⊖/?ボタン ...19、23、48、147
7	OKボタン 21	16	⊕ボタン .....19、48、63、147、164
8	マルチセレクター 21	17	画像モニター .....12、61
9	SDカードアクセスランプ .....42、134		

画像モニターについて

このカメラの画像モニターは、角度を変えて使用できます。

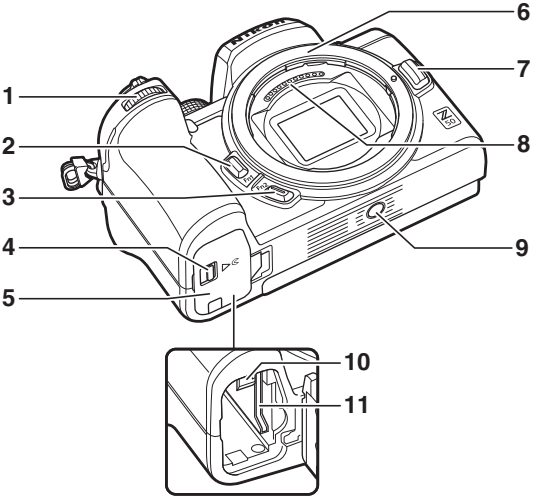






この部分に触れると故障の原因になりなります。

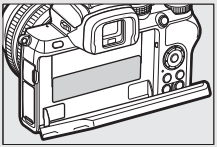
カメラ本体（続き）



1	サブコマンドダイヤル 10	7	レンズ取り外しボタン 37
2	**Fn1**ボタン ..... 27、65	8	レンズ信号接点
3	**Fn2**ボタン ..... 27、50	9	三脚ネジ穴
4	バッテリー室開閉ノブ	10	バッテリーロックレバー 32
5	バッテリー室カバー	11	SDカードスロット 32
6	レンズマウント ..... 36、64		

✅ 製品番号について

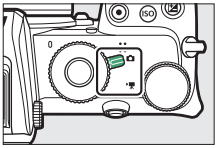
このカメラの製品番号は、画像モニターを開いて確認できます。



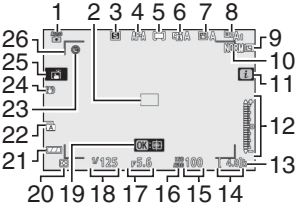
画像モニター /ファインダー

▌▌静止画モードの場合

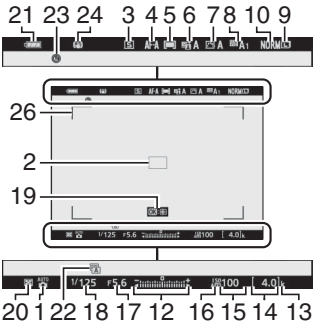
初期設定では、画像モニターやファインダーに次のような情報が表示されます。撮影画面の全点灯画面については、📖430、435をご覧ください。



画像モニター

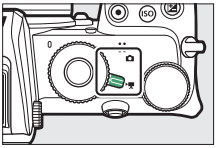


ファインダー

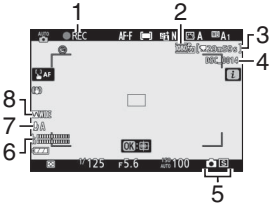


1	撮影モード	73
2	フォーカスポイント	40、52
3	レリーズモード	133
4	フォーカスモード	50
5	AFエリアモード	52
6	アクティブD-ライティング	132
7	ピクチャーコントロール	116、201
8	ホワイトバランス	65、120、196
9	画像サイズ	127
10	画質モード	126
11	*i*メニュー	115
12	インジケーター	
	露出	77
	露出補正	102
13	1000コマ以上補助表示	34
14	記録可能コマ数	34、468
15	ISO感度	100
16	ISO感度マーク	100
	ISO-AUTOマーク	101
17	絞り値	75、76
18	シャッタースピード	74、76
19	ターゲット追尾AF	59
20	測光モード	130
21	バッテリー残量表示	34
22	シャッター方式	279
23	⊙マーク	38
24	光学手ブレ補正	137
25	タッチ撮影機能	12、61
26	AFエリアフレーム	54

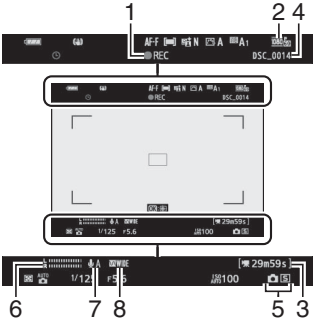
動画モードの場合



画像モニター



ファインダー

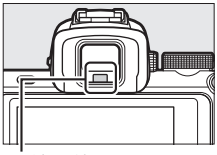


1	動画撮影中マーク	44
	動画撮影禁止マーク	45
2	画像サイズ/フレームレート/画質	140
3	動画撮影残り時間	44
4	ファイル名	192
5	静止画撮影のレリーズモード	263
6	音声レベルインジケーター	143
7	マイク感度	143
8	録音帯域	265

各部の機能と基本的な操作

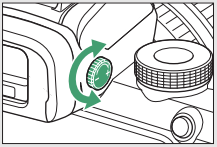
ファインダー

- ファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応して、画像モニターの表示が消えてファインダー表示に切り替わります。指などを近づけてもアイセンサーが反応します。
- ファインダー表示時は、メニューや再生画面もファインダーで見ることができます。



視度調節ダイヤルについて

- 視度調節ダイヤルを回すと、ファインダー内がはっきり見えるように調節できます。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

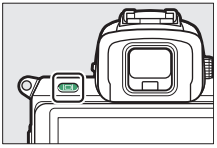


ヒント：長時間ファインダー撮影をする場合

カスタムメニュー d7［**Lvに撮影設定を反映**］を［**しない**］に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示されます。

モニターモード切り換えボタン

ファインダーと画像モニターの表示設定を切り換えることができます。

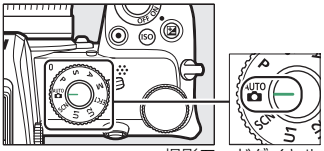


ボタンを押すたびに、次のようにモニターモードが切り替わります。

自動表示切り換え	アイセンサーにより、ファインダーの表示と画像モニターの表示が自動的に切り替わります。	
ファインダーのみ	画像モニターには何も表示されなくなります。メニューの設定や撮影した画像の確認などもすべてファインダーで行ってください。	
モニターのみ	画像モニターのみを使用して撮影や設定をする場合に選びます。ファインダーに顔を近づけてもファインダーには何も表示されません。	

撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと撮影モードを変更できます。

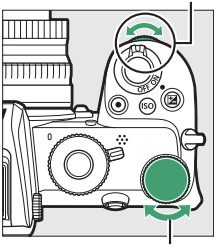


撮影モードダイヤル

AUTO	オート	露出や色味など、すべてカメラまかせの簡単な操作で撮影を楽しめます（📖39、43）。
P	プログラムオート	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	シャッター優先オート	シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	絞り優先オート	絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M	マニュアル	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。
EFCT	スペシャルエフェクトモード	特殊な効果のついた画像を撮影できます。
U1 U2	ユーザーセッティングモード	よく使う機能（ユーザーセッティング）を登録できます。
SCN	シーンモード	撮影するシーンが決まっているときに使用します。

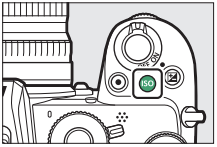
メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤル

コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードや絞り値、カメラのボタンに割り当てられた機能の設定を変更できます。



ISOボタン

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。



静止画撮影時

撮影モードがAUTO、以外の場合に設定できます。

- **ISO** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとISO感度を設定できます。
- ISO感度はISO 100～51200、Hi 1、Hi 2から設定できます。
- 撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**の場合、**ISO**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと**ISO AUTO**（感度自動制御する）と**ISO**（感度自動制御しない）に切り換えられます。撮影モードが**EFCT**（以外）または**SCN**の場合、**ISO**ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと切り換えられます。

▌▌動画撮影時

撮影モード**M**の場合のみ設定できます。

- 動画撮影メニュー［**ISO 感度設定**］の［**M モード時の感度自動制御**］が［**しない**］の場合、［**ISO感度設定**］の［**Mモード時のISO感度**］で設定したISO感度が反映されます。
- **ISO**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと**ISO AUTO**（感度自動制御する）と**ISO**（感度自動制御しない）に切り換えられます。

☒（露出補正）ボタン

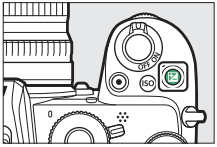
カメラが制御する適正露出値を意図的にずらせます。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。

－1段補正

露出補正なし

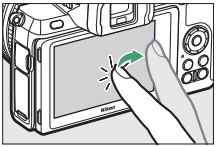
＋1段補正

- ☒ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと露出補正を設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正してください。



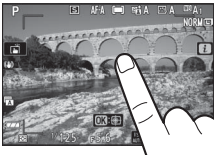
タッチパネル

このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。ファインダーを見ながら撮影する場合はタッチ操作は無効になり、ピント合わせなどは行えません。

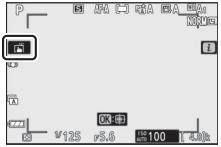


ピントを合わせる/シャッターをきる

- 画像モニターをタッチすると、その場所にピントを合わせます（タッチAF）。
- 静止画モードの場合はピント合わせ後に指を放すとシャッターがきれます（タッチシャッター）。



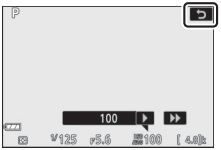
- をタッチすると、タッチ AF やタッチシャッターの設定を変更できます（📖61）。



設定を変更する

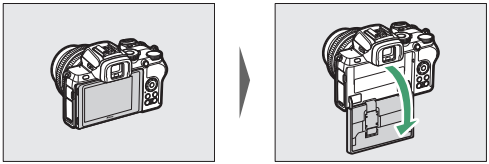
- 枠が表示されたアイコンをタッチすると、設定を変更できます。
- アイコンやスライドバーをタッチして項目や数値を選びます。

- をタッチするかボタンを押すと設定を決定して前の画面に戻ります。

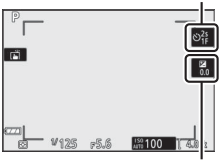


自分撮りモードで撮影する

- 画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットすると自分撮りモードに切り替わります。



- 自分撮りモードにすると、画像モニターをタッチしてセルフタイマーと露出補正の設定が行えます。
- セルフタイマーアイコンをタッチすると、シャッターがきれるまでの時間と撮影する枚数を設定できます。
- 露出補正アイコンをタッチすると、画像の明るさの設定を変更できます。



- シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせを行います。全押しすると静止画を撮影します。
- タッチAFやタッチシャッターも使用できます。
- 動画モードの場合、動画撮影ボタンを押すと動画を撮影します。
- 画像モニターを自分撮りモードのポジションから動かすと、自分撮りモードを終了します。

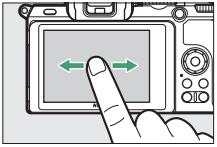
自分撮りモードについて

自分撮りモードでは次の点にご注意ください。

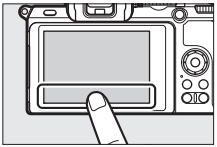
- 自分撮りモード中は、電源スイッチ、シャッターボタン、動画撮影ボタン、静止画/動画切り換えレバー、撮影モードダイヤル、フラッシュポップアップレバー 以外の操作は無効になります。
- カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定が1分未満の場合は約1分間、1分以上の場合は設定した時間何も操作が行われないと、半押しタイマーがオフになります。
- セットアップメニューの［**自分撮りモード**］（□320）を［**無効**］に設定すると、画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットしても自分撮りモードに切り替わりません。

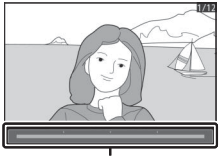
再生画面を切り換える

- 1コマ表示時に左右にフリックすると、前後の画像を表示します。



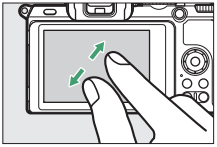
- 1コマ表示時に画面下部をタッチすると、フレームアドバンスバーが表示されます。フレームアドバンスバーに触れたまま指を左右にスライドすると、前後の画像を高速で切り換えられます。



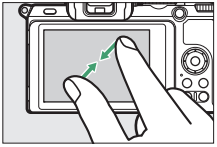


フレームアドバンスバー

- 1コマ表示中に広げる操作をするか、画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示します。
- さらに広げる操作をすると拡大率が上がり、つまむ操作をすると拡大率が下がります。
- 画像モニターでスライド操作をすると、見たい部分に移動できます。
- 拡大表示中に画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。



- 1コマ表示中につまむ操作をすると、サムネイル表示します。
- 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数（4コマ/9コマ/72コマ）が切り替わります。



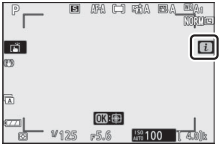
動画を再生する

- 🎥が表示されている画像で、操作ガイドをタッチすると再生します。
- 再生中に画像モニターをタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
- 再生中に↩をタッチすると、再生を終了して1コマ表示モードに戻ります。

操作ガイド

*i*メニューを設定する

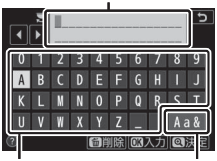
- 撮影時に画像モニターの *i* をタッチすると*i*メニュー（🕮24、115）が表示されます。



- 設定したい項目をタッチすると、設定項目の内容を変更できます。

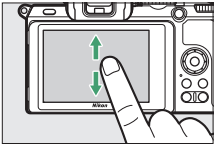
文字を入力する

- 文字入力画面が表示された場合、キーボードエリアで文字をタッチして入力できます。
- 入力エリアをタッチすると文字の入力位置を移動できます。
- 文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。

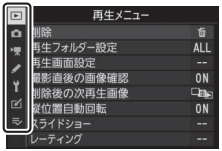


メニューを設定する

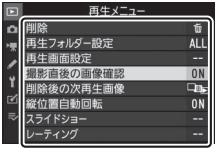
- 上下にスライドすると、メニュー画面がスクロールします。



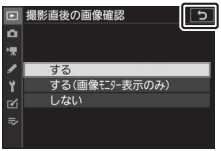
- 画面左端のアイコンをタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。



- メニュー項目をタッチすると、設定項目の内容を変更できます。アイコンやスライドバーをタッチして項目や数値を選びます。



- ⮌をタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。



タッチパネルについてのご注意

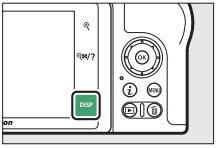
- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。
- タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。

ヒント：タッチ操作の有効/無効について

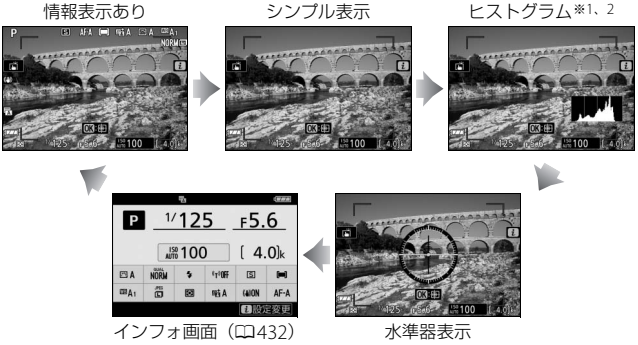
セットアップメニュー［**タッチ操作**］で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。

DISPボタン

DISPボタンをタッチするたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



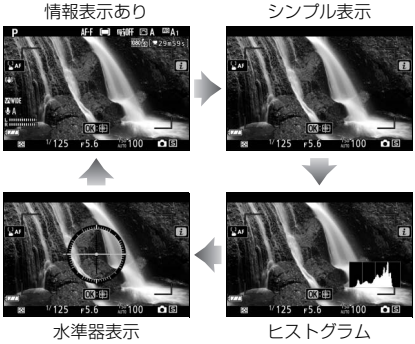
静止画モードの場合



※1 カスタムメニューd7［**Lvに撮影設定を反映**］が［**する**］の場合に表示されます。
※2 多重露出撮影時は表示されません。

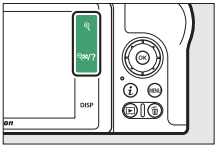
ヒント：ファインダーの表示について
ファインダー使用時も、**DISP**ボタンをタッチすると表示される情報が切り替わります。ただし、インフォ画面は表示されません。

▌動画モードの場合



⊕ボタン/⊖⊠/?ボタン

撮影時や再生時にタッチすると、画像モニターの表示を拡大または縮小することができます。



▌撮影時

⊕ボタンをタッチすると、被写体を拡大表示できます。さらに⊕ボタンをタッチすると拡大率が上がり、⊖⊠/?ボタンをタッチすると拡大率が下がります。

▌再生時

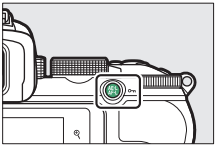
1コマ表示モードのときに⊕ボタンをタッチすると拡大表示できます。さらに⊕ボタンをタッチすると拡大率が上がり、⊖⊠/?ボタンをタッチすると拡大率が下がります。1コマ表示モードのときに⊖⊠/?ボタンをタッチすると、サムネイル表示モードに切り替わります。

AE-L AF-L（O-n）ボタン

撮影時にフォーカスロックとAEロックを行ったり、再生時に画像にプロテクト（保護）を設定できます。

■■ 撮影時

AEロックとフォーカスロックを同時に行います。

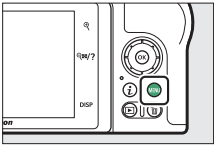


■■ 再生時

表示中の画像にプロテクトを設定します。

MENUボタン

MENU ボタンを押すと、画像モニターにメニュー画面を表示します。

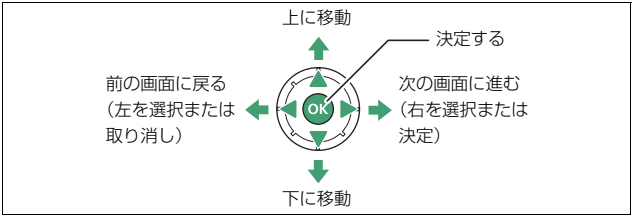


1	▶	再生メニュー 181
2	📷	静止画撮影メニュー 187
3	🎥	動画撮影メニュー 257
4	✎	カスタムメニュー 266
5	🔧	セットアップメニュー ...307
6	☑	画像編集メニュー 331
7	☰✓	マイメニュー /
	☰⏲	最近設定した項目※ 349
8	ⓘ	ヘルプあり表示 23
9	各項目の現在の設定	

※ どちらかに設定できます。初期設定は［**マイメニュー**］です。

メニュー項目の設定

メニューの操作には、マルチセレクターとOKボタンを使います。



1 メニューのタブを選ぶ

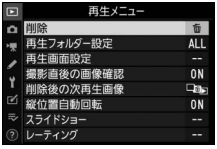
◀を押して、タブのアイコンを黄色く表示します。

2 メニューを切り換える

▲▼を押して、メニューのタブを切り換えます。

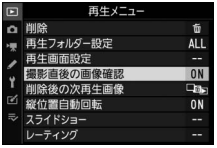
3 選んだメニューに入る

▶を押して、選んだメニューに入ります。



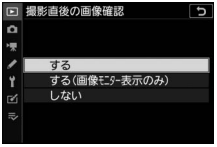
4 メニュー項目を選ぶ

⊕⊖で項目を選びます。



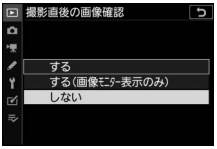
5 設定内容を表示する

⊕を押して設定内容を表示します。



6 設定内容を選ぶ

⊕⊖で設定内容を選びます。



7 決定する

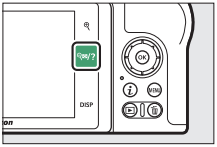
- ⓚボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル（中止）するには、MENUボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

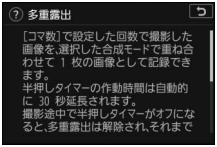
メニューについて

撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。

ヒント：?（ヘルプあり表示）

- ヘルプがある場合に Q/? ボタンをタッチすると、その項目のヘルプ（説明）を表示します。
- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの⊕を押して、次のページを表示してください。
- もう一度Q/?ボタンをタッチすると、メニュー画面に戻ります。



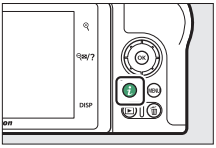


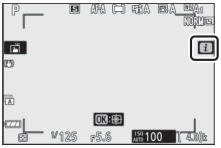
ヒント：タッチパネルでの設定について

メニューはタッチパネルで設定することもできます（📖12）。

*i*ボタン（*i*メニュー）

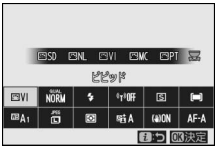
*i*ボタンを押すか画像モニターの*i*をタッチすると、*i*メニューが表示されます。使用頻度の高い項目の設定を素早く変更できます。





- 静止画モードの場合と動画モードの場合で表示される内容が異なります。
- 項目を選んで OK ボタンを押すかタッチすると、設定を変更できます。

- *i*メニューの項目にカーソルを置いてコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。



ヒント：再生時の*i*メニューについて

再生画面や動画再生時などに*i*ボタンを押すと、状況に応じた*i*メニューが表示されます。

■ *i* メニュー項目のカスタマイズ

撮影時の *i* メニューで表示される項目は、カスタムメニュー f1［**i メニューのカスタマイズ**］で変更できます。

1 カスタムメニュー f1［i メニューのカスタマイズ］を選んで Ⓚボタンを押す

メニューの選び方は📖20をご覧ください。

2 機能を割り当てたい場所を選んで Ⓚボタンを押す

割り当てられる機能の一覧が表示されます。

3 割り当てたい機能を選んで Ⓚボタンを押す

- 新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。
- 他の場所にも機能を割り当てたい場合は手順2、3を繰り返します。

4 MENUボタンを押す

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

ヒント：*i*メニューに割り当てられる機能について

静止画モードの場合に*i*メニューに割り当てられる機能は次の通りです。

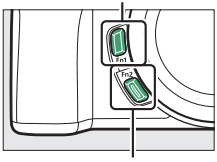
- 撮像範囲設定
- 画質モード
- 画像サイズ
- 露出補正
- ISO感度設定
- ホワイトバランス
- ピクチャーコントロール
- 色空間
- アクティブD-ライティング
- 長秒時ノイズ低減
- 高感度ノイズ低減
- 測光モード
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- フォーカスモード
- AFエリアモード
- 光学手ブレ補正
- オートブラケティング
- 多重露出
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- サイレント撮影
- レリーズモード
- カスタムボタンの機能（撮影）
- 露出ディレーモード
- シャッター方式
- Lvに撮影設定を反映
- ピーキング表示
- モニター/ファインダーの明るさ
- Bluetooth通信機能
- Wi-Fi通信機能
- リモコン接続

ヒント：動画モードの場合の*i*メニューについて

カスタムメニューg1［**メニューのカスタマイズ**］で設定できます。割り当てられる機能は静止画モードの場合と異なります。

Fn1/Fn2ボタン

撮影時に**Fn1**ボタンまたは**Fn2**ボタンを押すと、よく使う機能を素早く呼び出せます。



Fn1ボタン

Fn2ボタン

- **Fn1**　ボタンの初期設定はホワイトバランス（📖65）、**Fn2**ボタンの初期設定はフォーカスモード/AFエリアモード（📖50）です。
- **Fn1**ボタンまたは**Fn2**ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、割り当てた機能の設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。

Fn1/Fn2ボタン機能の割り当て変更

Fn1ボタンまたは**Fn2**ボタンの機能の割り当ては、カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］の［**Fn1ボタン**］または［**Fn2ボタン**］で変更できます。

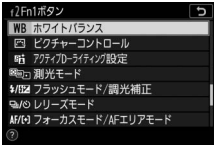
1 カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］を選んで㊙ボタンを押す

メニューの選び方は📖20をご覧ください。

2 機能を割り当てたいボタンを選んで㊙ボタンを押す

割り当てられる機能の一覧が表示されます。

3 割り当てたい機能を選んで㊙ボタンを押す



- 新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。
- 他のボタンにも機能を割り当てたい場合は手順2、3を繰り返します。

4 MENUボタンを押す

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

ヒント：Fn1/Fn2ボタンに割り当てられる機能について

静止画モードの場合に**Fn1**/**Fn2**ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

- AF-ON
- AF-L
- AE-L（ホールド）
- AE-L（レリーズでリセット）
- AE-L
- AE-L/AF-L
- FV-L
- フラッシュ発光禁止
- プレビュー
- BKT自動連写
- プラスRAW記録
- ターゲット追尾
- 格子線表示
- 拡大画面との切り換え
- マイメニュー
- マイメニューのトップ項目へジャンプ
- 再生
- 撮像範囲選択
- 画質モード/画像サイズ
- ホワイトバランス
- ピクチャーコントロール
- アクティブD-ライティング設定
- 測光モード
- フラッシュモード/調光補正
- レリーズモード
- フォーカスモード/AFエリアモード
- オートブラケティング
- 多重露出
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- 露出ディレーモード
- ピーキング表示
- 設定しない

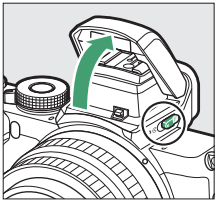
ヒント：動画モードの場合のFn1/Fn2ボタンの割り当てについて

カスタムメニュー g2［**カスタムボタンの機能**］で設定できます。割り当てられる機能は静止画モードの場合と異なります。

フラッシュポップアップレバー

フラッシュポップアップレバーをスライドすると、内蔵フラッシュが上がります。

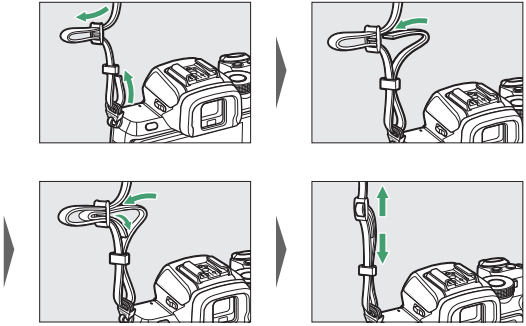
- フラッシュ撮影をするときは、内蔵フラッシュを上げてください。内蔵フラッシュが上がっていないと発光しません。



準備をする

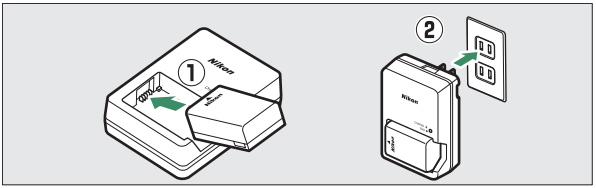
ストラップを取り付ける

付属または別売ストラップの取り付け手順は次の通りです。



バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25は、お使いになる前に付属のバッテリーチャージャー MH-32でフル充電してください。



コンセントへ差し込む

- フル充電するには約2時間40分（EN-EL25a使用時）または約2時間30分（EN-EL25使用時）かかります（残量のないバッテリーを充電時）。

充電中（点滅）

充電完了（点灯）

バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」（📖xxiii）、「カメラとバッテリーの使用上のご注意」（📖452）をお読みになり、記載事項をお守りください。
- EN-EL25aを使用するには、カメラのファームウェアバージョンがC: 2.50以上であることが必要です（📖330）。

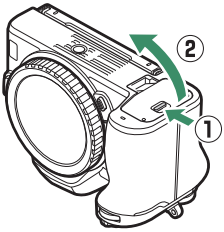
チャージャーの「CHARGE」ランプが速く（1秒間に8回）点滅する場合の原因と対処方法

- **バッテリーのセットミス**：チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- **指定温度外での使用**：チャージャーを指定温度範囲内（0℃～40℃）でお使いください。

上記の処置をしても不具合が続く場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

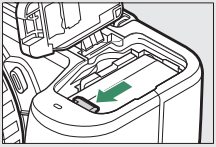
バッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。
- SDカードは正しい向きでカチッと音がするまで、まっすぐ挿入してください。



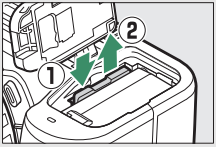
バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてからバッテリー室カバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



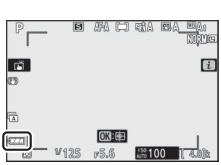
SDカードを取り出すには

SDカードアクセスランプの消灯を確認し、電源をOFFにしてからバッテリー室カバーを開けてください。SDカードを奥に押し込んで放すと（①）、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください（②）。

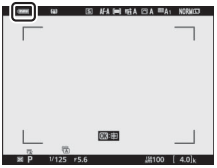


バッテリー残量について

- カメラの電源をONにすると、撮影画面でバッテリーの残量を確認できます。



画像モニター

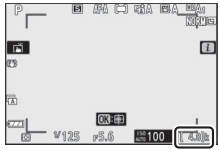


ファインダー

- バッテリー残量に応じて、、、のように表示されます。になったら残量が残りわずかのため、予備のバッテリーを準備するか、充電してください。
- ［**撮影できません。バッテリーを交換してください。**］と警告メッセージが表示された場合は、バッテリーを交換するか、充電してください。

記録可能コマ数について

- カメラの電源をONにすると、撮影画面でSDカードの記録可能コマ数（これから撮影できる枚数）を確認できます。
- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。たとえば「［1.4］k」と表示されている場合、1400枚以上の撮影が可能です。



画像モニター

ファインダー

SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後はSDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SD カードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカメラやSDカードの故障の原因となります。
  - SDカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- SDカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

SDカードが入っていないときの表示について

撮影画面に【–E–】マークとカードなし警告が表示されます。

ヒント：SDカードの書き込み禁止スイッチについて

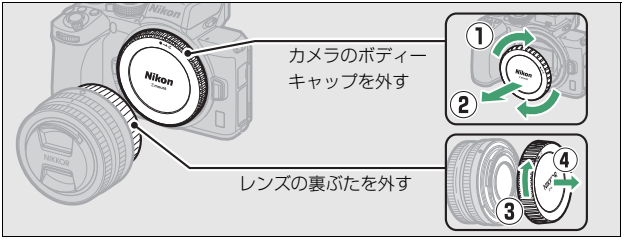
- SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。

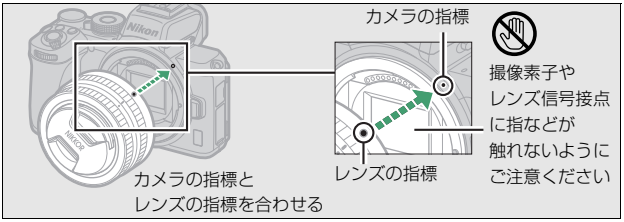
書き込み禁止スイッチ

- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告メッセージが表示され、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。

レンズを取り付ける

- このカメラにはZマウントのレンズが使用できます。本書では、主にNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VRのレンズを使用して説明しています。
- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。
- レンズをカメラに取り付けるときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。



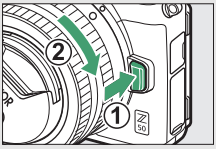


Fマウントレンズをご使用の場合

- Fマウントのレンズをご使用になる場合は、必ず別売のマウントアダプターFTZを装着してから取り付けてください。
- Fマウントレンズをカメラに直接取り付けようとすると、撮像素子やレンズが破損する恐れがありますので、絶対にしないでください。

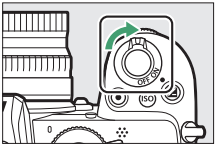
レンズを取り外すには

- カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら（①）、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し（②）、引き抜いてください。
- レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



電源をONにする

カメラの電源を初めてONにすると、日付と時刻の設定が表示されます。



- 日付と時刻を設定します。
  - 日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。
  - マルチセレクターの▲▼を押して、選択中の項目の数値を合わせ、◀▶で項目を移動します。
  - 日付と時刻の設定を完了したら、OKボタンを押します。

⊙マークについて

撮影画面で⊙が点滅している場合、カメラの内蔵時計が初期化されています。その場合は撮影日時が正しく記録されないため、セットアップメニュー［**地域と日時**］（📖309）の［**日時の設定**］で日時設定をしてください。カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約2日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。

ヒント：スマートフォンと日時を同期する

SnapBridgeアプリを使用すると、カメラと接続したスマートフォンと日時を同期することができます。詳しくはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

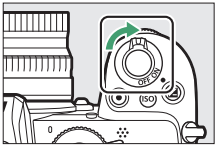
撮影と再生の基本操作

静止画を撮影する（AUTO オート）

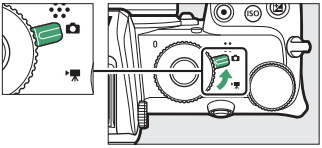
撮影モードAUTO（オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影を楽しむことができます。

1 カメラの電源をONにする

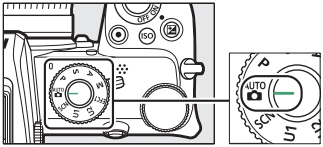
画像モニターが点灯します。



2 静止画/動画切り換えレバーを📷に合わせて静止画モードにする



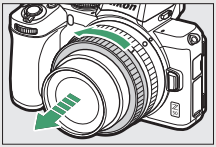
3 撮影モードダイヤルを回してAUTOに合わせる



撮影モードダイヤル

沈胴式のレンズをお使いの場合

沈胴機構を採用しているレンズをご使用の場合、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。



4 カメラを構える

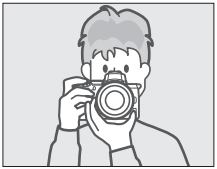
脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

- **ファインダーの撮影画面を見ながら撮影する場合：**

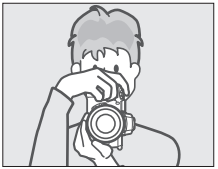
横位置

縦位置

- **画像モニターの撮影画面を見ながら撮影する場合：**



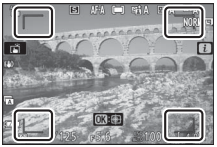
横位置



縦位置

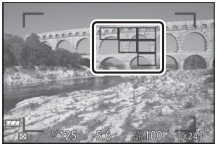
5 構図を決める

被写体をAFエリアフレーム内に配置します。



AFエリアフレーム

6 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる

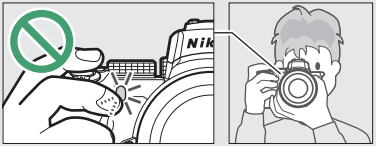


フォーカスポイント

- 静止している被写体を撮影する場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。ピントが合わないと、AFエリアフレームが点滅します。動きのある被写体を撮影する場合、シャッターボタンの半押しを続けている間はフォーカスが固定されず、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。
- 暗い場所などでは、AF補助光が光ることがあります。

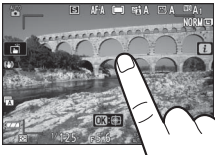
AF補助光について

AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。

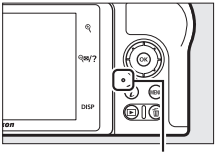


7 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

- 画像モニターをタッチしても撮影できます。タッチした位置でピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。



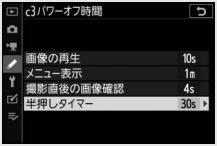
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。



SDカードアクセスランプ

✔ 半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。何も操作が行われないまま約30秒経過すると半押しタイマーがオフになり、画像モニターとファインダーの表示が消灯します。消灯する前には画像モニターとファインダーの表示が暗くなります。シャッターボタンを半押しすると、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］で変更できます。

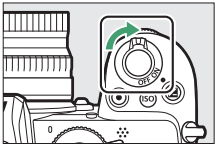


動画を撮影する（AUTOオート）

撮影モードAUTO（オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で動画撮影を楽しむことができます。

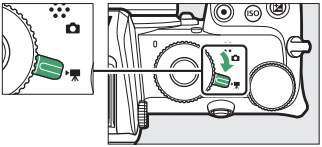
1 カメラの電源をONにする

画像モニターが点灯します。



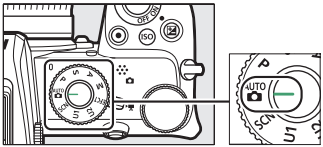
2 静止画/動画切り換えレバーを🎥に合わせて動画モードにする

動画モード時は内蔵フラッシュおよび別売スピードライトは発光しません。



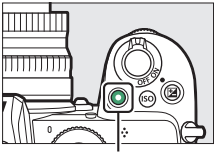
3 撮影モードダイヤルを回してAUTOに合わせる

撮影モードダイヤル



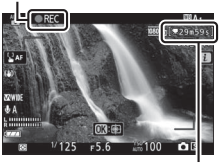
4 動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークが撮影画面に表示されます。SDカードに撮影できる残り時間の目安も確認できます。
- 内蔵マイクで音声を記録します。録画中は、マイクを指でふさがないようにしてください。
- 動画撮影中に画像モニターをタッチすると、タッチした位置にフォーカスポイントが移動してピントを合わせることができます。



動画撮影ボタン

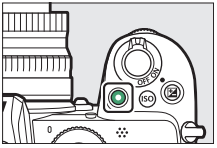
録画中マーク

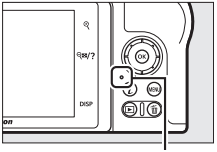


残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を終了する

SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。

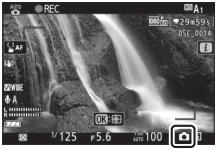




SDカード
アクセスランプ

動画モード中の静止画撮影

動画モードでも、シャッターボタンを全押しすると静止画を撮影できます。動画撮影メニュー［**レリーズモード（フレーム保存）**］で、1コマ撮影または連続撮影から撮影方法を選べます。



- 静止画を撮影すると、撮影画面の📷アイコンが点滅します。
- ［**レリーズモード（フレーム保存）**］が［**連続撮影**］になっている場合、連続撮影速度は設定している［**画像サイズ/フレームレート**］により異なります。
- 動画撮影中でも撮影できます。動画の撮影は途切れることなく継続します。ただし、動画撮影メニュー［**レリーズモード（フレーム保存）**］を［**連続撮影**］に設定しても1コマ撮影になります。

動画撮影について

REC（動画撮影禁止）マークが表示されているときは、動画の撮影ができません。

動画撮影時のご注意

- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達したとき
  - 撮影モードを切り換えたとき
  - 静止画/動画切り換えレバーを切り換えたとき
  - レンズを取り外したとき
- 次のような場合は、動作音が録音されることがあります。
  - オートフォーカス作動中
  - 光学手ブレ補正機能作動中
  - パワー絞り作動中

動画モード中の静止画撮影について

- 静止画モードの設定は反映されません。
- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大40コマです。
- ピントが合っていなくても撮影されます。
- 撮影される静止画の画像サイズは動画の画像サイズと同じです。
- 画質モードは［**FINE**］に固定されます。

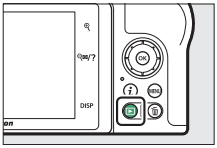
カメラで静止画および動画を撮影するときのご注意

- 撮影画面の表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した静止画および動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む
    - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
    - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
  - 動画撮影時のパワー絞り作動中、画面にちらつきが発生する
- 撮影画面を🔍ボタンで拡大表示した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が発生しやすくなります。
- 撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

撮影した画像を確認する

1 ▶ボタンを押す

撮影した画像をカメラ背面の画像モニターまたはファインダーに表示します。

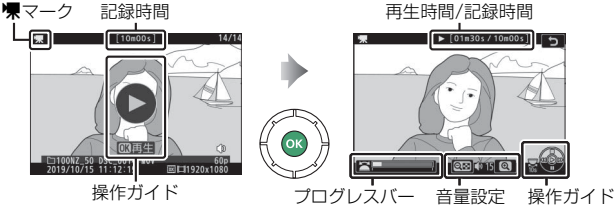


2 他の画像を確認するにはマルチセレクターの◀▶を押す

- 画像モニターに表示した場合は画像モニターをタッチ操作で左右にフリックしても画像を切り換えられます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

動画の再生

動画には🎥マークが表示されています。OKボタンを押すか、または画面上の操作ガイドをタッチして動画を再生します（プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます）。



動画再生中の操作方法

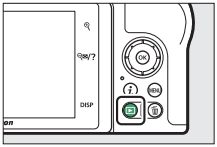
一時停止する	マルチセレクターの㊦を押すと一時停止します。
再生を再開する	一時停止中または早戻し/早送り中に㊙ボタンを押すと動画再生を再開します。
早戻しする/早送りする	• 動画の再生中に◀を押すと早戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 • ◀を押し続けると、先頭フレームに移動し、▶を押し続けると、最終フレームに移動します。 • 先頭フレームには⊢▶アイコンが、最終フレームには▶⊣アイコンが、画面右上に表示されます。
スロー再生する	一時停止中に㊦を押すとスロー再生します。
コマ戻しする/コマ送りする	• 一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 • ◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。
10秒進める/10秒戻す	メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
先頭フレームに移動する/最終フレームに移動する	サブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。
音量を調節する	⊕ボタンをタッチすると音量が大きくなり、⊖✉/?ボタンをタッチすると小さくなります。
動画を編集する	一時停止中に*i*ボタンを押すと、［**動画編集**］画面を表示します。
再生終了	⊛または▶ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しすると、再生を終了します。

画像の削除

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。

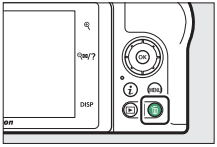
1 削除したい画像を表示する

▶ボタンを押して画像モニターに画像を表示してから、マルチセレクターの◀▶で削除したい画像を選びます。



2 画像を削除する

- 🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。
- 削除確認画面で▶ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルします。



ヒント：再生メニュー［削除］

再生メニューの［**削除**］では、次の操作ができます。

- 複数の画像を選んで削除
- 同じ日付の画像をまとめて削除
- 再生フォルダー内の全画像を一括して削除

カメラの基本機能と設定

ピント合わせの設定

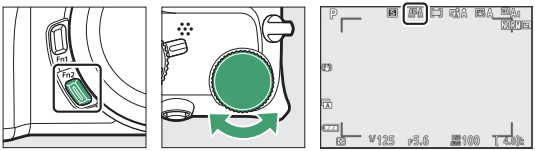
フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。

フォーカスモードの設定方法

- *i* メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**フォーカスモード**］で変更できます（📖138、214、263）。

- 初期設定では、**Fn2** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモードを設定できます（📖27）。



AF-A AFモード自動切り換え	• 静止している被写体は **AF-S** で撮影し、動いている被写体は **AF-C** で撮影します。 • 静止画モードの場合のみ選べます。
AF-S シングルAF	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはフォーカスポイントが赤に点滅してシャッターがきれません。

AF-C	**コンティニュアスAF**	• スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンの半押しを続けている間はフォーカスロックはされず、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。 • 初期設定では、ピントが合うまでシャッターをきれませんが、カスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］で、ピント状態に関係なくシャッターがきれるように変更できます。
AF-F	**フルタイムAF**	• カメラは常に被写体の動きや構図の変化に合わせてピントを合わせ続けます。 • シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行って、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。 • 動画モードの場合のみ選べます。
MF	**マニュアルフォーカス**	ピントを自分で合わせたいときに選びます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます（🕮63）。

オートフォーカスについてのご注意

- 次の被写体はオートフォーカスでピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
  - 画面の長辺側と平行な線の被写体
  - 明暗差の少ない被写体
  - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
  - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
  - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
  - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
  - 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）
- オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- ピントが合わなくてもフォーカスポイントが緑色で点灯する場合があります。

電源OFF時のご注意

ピント合わせを行った後に、カメラの電源をOFFにして再びONにするとピント位置が変わることがあります。

AFエリアモード

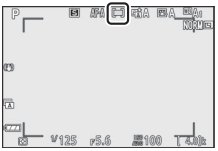
オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。

- フォーカスポイントはマルチセレクターを使用して移動できます。
- 初期設定は［**オートエリアAF**］です。

AFエリアモードの設定方法

- *i*メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**AFエリアモード**］で変更できます（📖138、215、263）。

- 初期設定では、**Fn2** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードを設定できます（📖27）。



ピンポイントAF	• シングルポイントAFよりも小さいフォーカスポイントを使って、より狭い範囲にピンポイントでピントを合わせることができます。 • シングルポイントAFよりもピント合わせに時間がかかることがあります。 • 建築物などの静止している被写体の撮影や、スタジオでの商品撮影や接写に適しています。 • 静止画モードで、フォーカスモードが［**シングルAF**］の場合のみ選べます。
シングルポイントAF	• 撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。 • 静止している被写体の撮影に適しています。

ダイナミックAF	• 撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。選んだフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。 • スポーツの撮影など、シングルポイントAFでは被写体をとらえにくい動きのある被写体の撮影に適しています。 • 静止画モードで、フォーカスモードが［**AFモード自動切り換え**］または［**コンティニュアスAF**］の場合のみ選べます。
ワイドエリアAF（S）	• シングルポイントAFよりも広い範囲（エリア）で被写体をとらえてピント合わせを行います。 • スナップ撮影や、動きのある被写体、シングルポイントAFではとらえにくい被写体の撮影などに適しています。 • 動画撮影で、動きのある被写体を撮影する場合やパン・チルトを行う場合にも、滑らかで安定したピント合わせが行えます。 • フォーカスポイント内に複数の被写体がある場合、手前の被写体を優先してピントを合わせます。 • ［**ワイドエリアAF（L）**］は［**ワイドエリアAF（S）**］よりも広い範囲で被写体をとらえます。
ワイドエリアAF（L）	

[▬] オートエリアAF	• カメラが自動的に全てのフォーカスポイントから被写体を判別してAFエリアフレーム内でピントを合わせます。 • シャッターチャンスを優先した撮影、人物撮影、スナップ撮影などに適しています。 • カメラが人物の顔を認識した場合、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を認識できるときは、瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます（瞳AF/顔認識AF）。動きのあるポートレート撮影も構図や表情に集中して撮影できます（📖55）。 • カスタムメニュー a2［**オートエリア AF 時の顔と瞳認識**］で［**動物認識する**］に設定すると、カメラが犬や猫の顔を認識した場合、顔に黄色のフォーカスポイントが表示されます。瞳を認識できるときは、瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます（動物AF、📖57）。 • Ⓚボタンを押すと、ターゲット追尾AFを使用できます（📖59）。カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］または g2［**カスタムボタンの機能**］で、ターゲット追尾AFの開始を**Fn1**ボタン、**Fn2**ボタンに割り当てることもできます（📖287、300）。カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］では、レンズの**Fn**ボタンおよびレンズの**Fn2**ボタンにも割り当てられます。

ヒント：フォーカスポイントが⊡のように表示されている場合

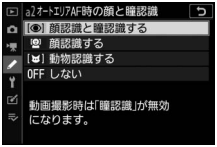
［**オートエリアAF**］設定時を除き、フォーカスポイント中央に点が表示されているときは、フォーカスポイントが画面の中央にあることを示しています。

ヒント：フォーカスポイントを素早く選ぶには

カスタムメニュー a3［**AF点数**］を［**スキップ**］に設定すると、マルチセレクターで選べるフォーカスポイントの数が約1/4になります。フォーカスポイントを素早く移動させることができます。AFエリアモードが［**ピンポイントAF**］または［**ワイドエリアAF（L）**］の場合は［**スキップ**］に設定しても選べるフォーカスポイントの数は変化しません。

瞳AFと顔認識AF

カスタムメニュー a2［**オートエリアAF時の顔と瞳認識**］で、［**オートエリアAF**］時に顔と瞳の両方を認識するのか（瞳AF/顔認識AF）、顔のみを認識するのか（顔認識AF）を設定できます。



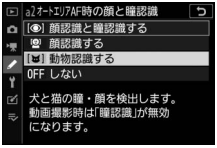
フォーカスポイント

- ［**顔認識と瞳認識する**］に設定していると、カメラが人物の顔を認識した場合、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を認識できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。撮影モードがAUTO（オート）の場合は［**顔認識と瞳認識する**］に固定されます。
- ［**顔認識する**］に設定していると、人物の顔を認識した場合、顔に黄色のフォーカスポイントが表示されます。
- フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、顔または瞳を認識している間、フォーカスポイントは黄色で点灯します。
- フォーカスモードを**AF-S**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
- 複数の顔や瞳を認識した場合は、フォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押してピントを合わせたい顔や瞳を選ぶことができます。
- カメラが顔を認識した人物が一時的に横や後ろを向いたりしても、追尾してフォーカスポイントが移動します。
- 再生画面でOKボタンを押すと、ピントを合わせた顔や瞳を中心に画像が拡大されます。

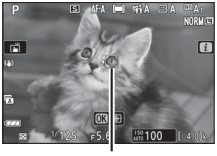
瞳AFと顔認識AFについてのご注意

- 動画モード時は瞳認識を行いません。
- 次のような場合は、瞳および顔が正常に認識できないことがありますので、ご注意ください。
  - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
  - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
  - メガネやサングラスをかけている場合
  - 髪の毛で目や顔が隠れている場合
  - 人物の動きが大きすぎる場合

動物AF



撮影モードが AUTO 以外のときに、カスタムメニュー a2［**オートエリアAF時の顔と瞳認識**］で［**動物認識する**］に設定すると、カメラが犬や猫の顔と瞳を認識します（動物AF）。撮影モードがシーンモードの（ペット）の場合は［**動物認識する**］に固定されます。



フォーカスポイント

- カメラが犬や猫の顔を認識した場合、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を認識できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。
- フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、顔または瞳を認識している間、フォーカスポイントは黄色で点灯します。
- フォーカスモードを**AF-S**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
- 複数の顔や瞳を認識した場合は、フォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押してピントを合わせたい顔や瞳を選ぶことができます。
- 再生画面で OK ボタンを押すと、ピントを合わせた顔や瞳を中心に画像が拡大されます。

動物AFについてのご注意

- 撮影条件によっては、［**動物認識する**］に設定しても、犬や猫の種類によっては顔や瞳を認識できない場合があります。また、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。
- 次のような場合は、瞳および顔が正常に認識できないことがありますので、ご注意ください。
  - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
  - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
  - 体毛などで目や顔が隠れている場合
  - 瞳と周辺部位の色が近い場合
  - 犬や猫の動きが大きすぎる場合
- 動画モード時は瞳認識を行いません。
- AF補助光が犬や猫の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニューa8［**内蔵AF補助光の照射設定**］を［**しない**］に設定してください。

ターゲット追尾AF

［**オートエリアAF**］に設定している場合、フォーカスポイントを指定した被写体に追尾させることができます。

- ⓚボタンを押すと、フォーカスポイントの形が変わってターゲット選択画面になります。

- 追尾させたい被写体にフォーカスポイントを合わせ、ⓚボタンを押すと被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。もう一度ⓚボタンを押すと追尾を終了し、フォーカスポイントが画面中央に戻ります。ただし、静止画モードでフォーカスモードを**AF-C**または**AF-A**に設定しているときに、シャッターボタンを半押しして追尾を開始した場合は、シャッターボタンを押している間のみ追尾を行い、シャッターボタンから指を放すと追尾を終了してフォーカスポイントが追尾を開始する前の位置に戻ります。
- **/?**ボタンをタッチすると、ターゲット追尾AFを終了します。

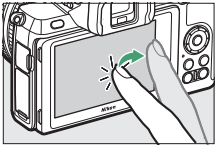
ターゲット追尾AFについてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

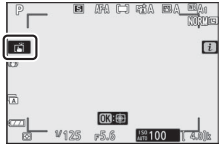
- 被写体の色、明るさが背景と似ている場合
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる場合
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体が隠れたり、画面から外れた場合

タッチシャッター

タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。指を放すとシャッターがきれます。



アイコンをタッチすると、画像モニターをタッチしたときの機能を切り換えられます。



	• タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。カスタムメニュー a2［**オートエリアAF時の顔と瞳認識**］を［**しない**］以外に設定して人物または犬や猫の顔や瞳を認識している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※にピント合わせを行います。 • 静止画モードの場合のみ選べます。
AF	• タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせのみを行います。指を放してもシャッターはきれません。 • AFエリアモードをオートエリアAFに設定している場合、タッチした位置にある被写体の追尾を開始します。追尾中に画像モニターをタッチすると、追尾する被写体を変更します。カスタムメニュー a2［**オートエリアAF時の顔と瞳認識**］を［**しない**］以外に設定して人物または犬や猫の顔や瞳を認識している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※にピント合わせを行って追尾します。
OFF	タッチ操作は無効になります。

※ 瞳をタッチしても意図した側の瞳にピントが合わないことがあります。その場合はマルチセレクターで選んでください。

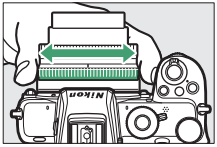
タッチ操作で撮影するときのご注意

- マニュアルフォーカス撮影時はタッチしてもピント合わせを行いません。
- に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- タッチシャッターでは動画モード中に静止画の撮影はできません。
- レリーズモードを連続撮影に設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフタイマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。

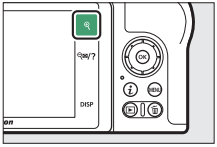
マニュアルフォーカスでのピントの合わせ方

フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定すると、ピントを自分で合わせられます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影する場合などに使用します。

- ピントを合わせたい場所にフォーカスポイントを合わせ、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回します。

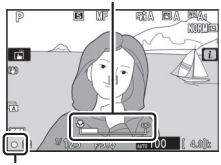


- ピントの状態を細部まで確認したい場合は、🔍ボタンをタッチして被写体を拡大表示してください。



- 撮影画面のピント表示（●）でピントが合っているか確認できます（フォーカスエイド）。また、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。

フォーカス距離指標



ピント表示

ピント表示	意味
●　（点灯）	被写体にピントが合っています。
▶　（点灯）	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀（点灯）	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶　◀（点滅）	ピント合わせができません。

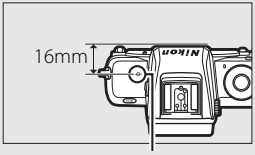
- オートフォーカスの苦手な被写体をマニュアルフォーカスでピント合わせした場合、ピントが合っていなくてもピント表示（●）が点灯することがあります。撮影画面を拡大表示して、被写体にピントが合っていることを確認してください。また、ピント合わせがしづらい場合は、三脚のご使用をおすすめします。

マニュアルフォーカスの切り換えについて

フォーカスモードが切り換えられるレンズを装着している場合、レンズでオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えることができます。

距離基準マークについて

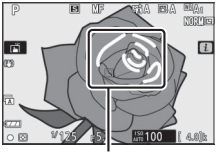
距離基準マーク ⊖ は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法（フランジバック）は16mmです。



距離基準マーク ⊖

ヒント：ピーキング表示（フォーカスピーキング）

- マニュアルフォーカス時にカスタムメニューd9［**ピーキング表示**］を［**しない**］以外に設定すると、ピントが合っている部分（ピーキング）の輪郭に色を付けて表示できます。
- 被写体の輪郭を検出できない場合、ピントが合っていてもピーキング表示ができないことがあります。撮影画面でピントが合っていることを確認してください。



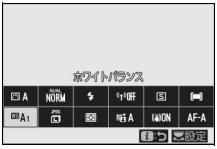
ピントが合っている部分

ホワイトバランス

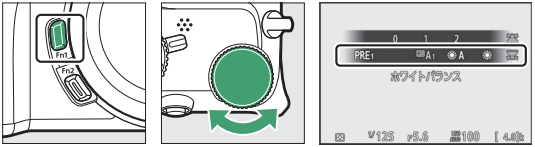
光源に合わせて、白いものを白く撮影するための機能です。初期設定のオート（WB A1）でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

ホワイトバランスの設定方法

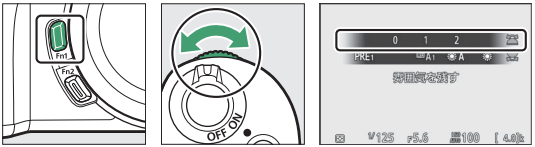
- *i* メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**ホワイトバランス**］で設定できます（📖120、196、260）。



- 初期設定では、**Fn1** ボタンを押しながらメインコンマンドダイヤルを回すとホワイトバランスを設定できます（📖27）。



- ホワイトバランスがWB A（オート）および（蛍光灯）のときに、**Fn1** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、WB A（オート）および（蛍光灯）の種類を設定できます。



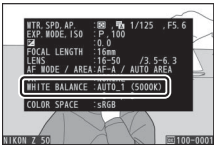
項目（設定される色温度※）	内容
WB A オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節し、ほとんどの光源に対応できます。内蔵フラッシュまたは別売のスピードライトの使用時は、フラッシュ発光時の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。
WB A0 白を優先する（約3500～8000K）	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残さずに白く補正します。
WB A1 雰囲気を残す（約3500～8000K）	電球下の環境で撮影する場合、やや電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
WB A2 電球色を残す（約3500～8000K）	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
☀A 自然光オート（約4500～8000K）	自然光下での撮影に適したホワイトバランスに調整され、自然光下ではWB A（オート）より見た目に近い色味で撮影できます。
☀ 晴天（約5200K）	晴天の屋外での撮影に適しています。
☁ 曇天（約6000K）	曇り空の屋外での撮影に適しています。
晴天日陰（約8000K）	晴天の日陰での撮影に適しています。
電球（約3000K）	白熱電球下での撮影に適しています。
蛍光灯	それぞれの光源下での撮影に適しています。
ナトリウム灯混合光（約2700K）	
電球色蛍光灯（約3000K）	
温白色蛍光灯（約3700K）	
白色蛍光灯（約4200K）	
昼白色蛍光灯（約5000K）	
昼光色蛍光灯（約6500K）	
高色温度の水銀灯（約7200K）	
WB ⚡ フラッシュ（約5400K）	スタジオ用大型ストロボなどを使って撮影する場合に適しています。

項目（設定される色温度※）	内容
K　色温度設定 （約2500～10000K）	• 色温度を直接指定できます。 • **Fn1** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、色温度を設定できます。
PRE　プリセットマニュアル	• 撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、SDカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます。 • **Fn1** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、プリセットマニュアルデータの保存場所を選べます。 • **Fn1**ボタンを長押しすると、プリセットマニュアル取得モードになります（📖123）。

※ 微調整が0の場合の値です。

ヒント：WB A撮影時の色温度について

- ホワイトバランスを WB A（オート）に設定して撮影した場合、カメラが判断した色温度の値を再生画面の撮影情報で確認できます。ホワイトバランスの［**色温度設定**］で色温度を調整する場合に参考にできます。
- 撮影情報を表示するには、再生メニュー［**再生画面設定**］の［**再生画面の追加**］で［**撮影情報**］のチェックボックスをオン☑にしてください。



☀A（自然光オート）について

人工光下で撮影するときに☀A（自然光オート）を選択していると、適正なホワイトバランスが得られないことがあります。WB A（オート）または光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

ホワイトバランスの微調整について

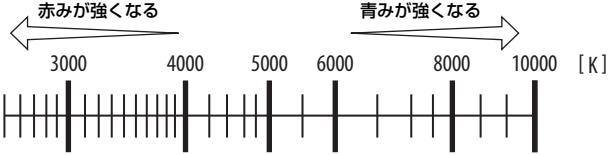
設定したホワイトバランスは微調整が可能です（［**色温度設定**］以外）。微調整は*i*メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**ホワイトバランス**］で行えます（📖121、196）。

スタジオ用大型ストロボを使用する場合

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、WB A（オート）に設定していても適正なホワイトバランスが得られないことがあります。その場合は、WB ⚡（フラッシュ）モードにして微調整を行うか、プリセットマニュアルをお使いください。

ヒント：色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。

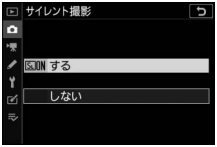


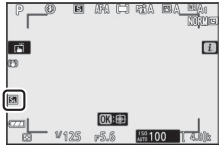
ヒント：色温度の設定について

一般的に、画像に赤みを感じた場合（撮影した画像に青みを帯びさせたい場合）は低い数値を設定し、画像に青みを感じた場合（撮影した画像に赤みを帯びさせたい場合）は高い数値を選びます。

サイレント撮影

静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると、電子シャッターを使用して、シャッター動作による振動とシャッター音を出さずに撮影できます。





- サイレント撮影中は画面にアイコンが表示されます。
- カスタムメニューd4［**シャッター方式**］の設定にかかわらず、電子シャッターを使用します。
- レリーズモードが［**高速連続撮影（拡張）**］以外の場合、シャッターがきれると、撮影画面が一瞬暗くなります。撮影できているかどうかの目印になります。
- セットアップメニュー［**電子音**］の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。
- 次の機能など、サイレント撮影中は使用できなくなる機能があります。
  - フラッシュ撮影
  - 長秒時ノイズ低減
  - フリッカー低減撮影
  - ISO感度の高感度（Hi 1、Hi 2）

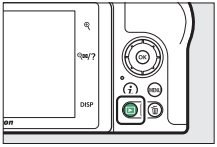
サイレント撮影について

- ［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります。
- 撮影画面の表示に次のような現象が発生することがあり、これらの現象は静止画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む
    - 被写体に動きがある場合、被写体が歪む
    - カメラ本体の動きによっては、画像が歪む
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- レリーズモードが連続撮影の場合、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると連続撮影速度が変更されます（📖134）。
- サイレント撮影中はシャッター音を消して撮影できますが、被写体の肖像権やプライバシーなどに充分ご配慮の上、お客様の責任においてお使いください。

撮影した画像のレーティング設定

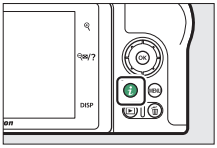
選んだ画像にレーティングを設定します。画像に設定したレーティングは、NX Studioにも反映されます。プロテクトした画像にはレーティングを設定できません。

1 ▶ボタンを押して再生画面を表示する

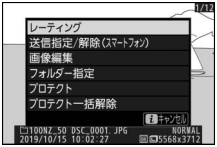


2 レーティングを設定したい画像を選んで*i*ボタンを押す

再生時の*i*メニューが表示されます。



3 ［レーティング］を選んでOKを押す



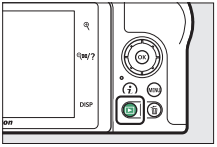
4 レーティングを設定する

- マルチセレクターを使用して、★★★★★～★、なし、🗑（削除候補）から選びます。
- OKボタンを押して決定します。

撮影した画像のプロテクト

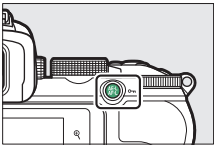
大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、SDカードを初期化すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

1 ▶ボタンを押して再生画面を表示する



2 プロテクトしたい画像を選んで AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押す

- O-nアイコン が表示されます。
- プロテクトを解除するには、解除する画像を選んで再度AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押します。



ヒント：プロテクトの一括解除について
*i*メニューで［**プロテクト一括解除**］を選ぶと、再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

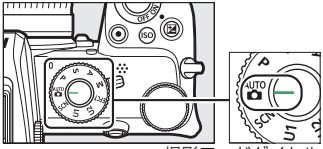
ボタンなどを使った応用撮影

撮影モードダイヤル

撮影モードを変更すると、シャッタースピードと絞りのそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

撮影モードの設定方法

撮影モードダイヤルを回すと撮影モードを変更できます。



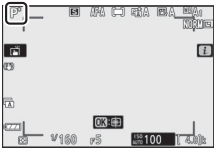
撮影モードダイヤル

AUTO	オート	露出や色味など、すべてカメラまかせの簡単な操作で撮影を楽しめます（📖39、43）。
P	プログラムオート	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	シャッター優先オート	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	絞り優先オート	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M	マニュアル	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露出（バルブ、タイム）撮影も、このモードで行います。
EFCT	スペシャルエフェクトモード	特殊な効果のついた画像を撮影できます。

U1 U2	**ユーザーセッティングモード**	よく使う機能（ユーザーセッティング）を登録できます。撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録した内容で撮影できます。
SCN	**シーンモード**	撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。

P（プログラムオート）

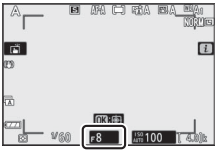
- 被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられる「プログラムシフト」が行えます。
  - プログラムシフト中は、プログラムシフトマーク（✱）が表示されます。
  - プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマークが消えるまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときや、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。



S（シャッター優先オート）

- シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。
- シャッタースピードはメインコマンドダイヤルを回して設定します。
- シャッタースピードは1/4000～30秒に設定できます。

A（絞り優先オート）



- 絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。
- 絞り値はサブコマンドダイヤルを回して設定します。
- 設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。

ヒント：動画撮影時の絞り値やシャッタースピードなどについて

動画撮影時に絞り値、シャッタースピード、ISO感度を設定できるかどうかは、撮影モードによって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO感度
P、**S**※1	—	—	— ※2
A	○	—	— ※2
M	○	○	○※3

※1 撮影モードが**S**の場合は、**P**に設定したときと同じ露出制御になります。

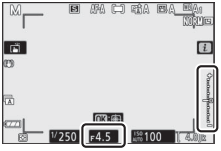
※2 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**制御上限感度**］でISO感度の上限を設定できます。

※3 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**Mモード時の感度自動制御**］を［**する**］に設定した場合、［**制御上限感度**］でISO感度の上限を設定できます。

M（マニュアル）

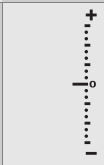
- シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出（バルブ撮影、タイム撮影、📖78）で撮影する場合にも使用します。
- 露出インジケーターを確認しながら、コマンドダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値を設定します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード表示が変化します。シャッタースピードは1/4000～30秒、**Bulb**（バルブ）、**Time**（タイム）に設定できます。

- サブコマンドダイヤルを回すと絞り値が変化します。
- 設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。



露出インジケーターについて

自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が、画像モニターとファインダーに表示されます。この「露出インジケーター」の見方は次の通りです（表示内容はカスタムメニューb1［**露出設定ステップ幅**］の設定によって変化します）。

	［露出設定ステップ幅］が［1/3段］のとき		
	適正露出の場合	1/3段 アンダーの場合	3 1/3段以上 オーバーの場合
画像モニター			
ファインダー			

露出の制御ができないときの警告について

光量がカメラの測光範囲を超えて露出の制御ができない場合は、露出インジケーターが点滅して警告します。

ヒント：撮影モードM時の感度自動制御機能について

感度自動制御機能（📖101）を使用すると、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるようにISO感度が自動的に制御されます。

長時間露出で撮影する

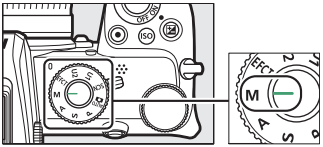
長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。

シャッタースピードをBulbに設定し、
絞り値をF25にして35秒間の長時間露出撮影した場合の画像

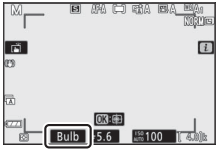
バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。

1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 撮影モードダイヤルをMに合わせる



3 メインコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードをBulb（バルブ）またはTime（タイム）にする



バルブ撮影

タイム撮影

4 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。
- **タイム撮影**：シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

5 長時間露出撮影を終了する

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。
- **タイム撮影**：もう一度シャッターボタンを全押しします。

長時間露出について

- 露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。
- 静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］を［**する**］に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、電源としてフル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いいただくことをおすすめします。
- 手ブレを抑えるために三脚の使用をおすすめします。
- 別売のリモコンML-L7をお使いの場合、バルブ撮影時もタイム撮影になります。

U1、U2（ユーザーセッティングモード）

よく使う機能（ユーザーセッティング）を、あらかじめ撮影モードダイヤル**U1**、**U2**に登録すると、撮影モードダイヤルを切り換えるだけで、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。

ユーザーセッティングの登録

1 登録したい撮影機能を設定する

次の撮影機能を登録できます。

- 静止画撮影メニュー項目
- 動画撮影メニュー項目
- カスタムメニュー項目
- 撮影モード、シャッタースピード（撮影モード**S**、**M**）、絞り値（撮影モード**A**、**M**）、プログラムシフト（撮影モード**P**）、露出補正、ブラケティング設定など

2 セットアップメニュー［ユーザーセッティングの登録］を選ぶ

セットアップメニュー［**ユーザーセッティングの登録**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

3 設定を登録したいユーザーセッティングモードを選ぶ

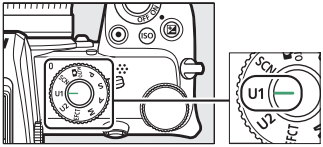
［**U1に登録**］または［**U2に登録**］を選んで、▶を押します。

4 ユーザーセッティングを登録する

⊛⊛で［**はい**］を選んで⊛ボタンを押すと、選んだユーザーセッティングモードに現在の設定内容が登録されます。

5 登録したユーザーセッティングで撮影する

撮影モードダイヤルを**U1**、**U2**に合わせると、登録したユーザーセッティングの内容で撮影できます。



U1、U2に登録できない撮影メニュー項目

次のメニュー項目は登録できません。

- 静止画撮影メニュー
  - ［**記録フォルダー設定**］
  - ［**撮像範囲設定**］
  - ［**カスタムピクチャーコントロール**］
  - ［**多重露出**］
  - ［**インターバルタイマー撮影**］
  - ［**タイムラプス動画**］
- 動画撮影メニュー
  - ［**カスタムピクチャーコントロール**］

登録したユーザーセッティングのリセット

1 セットアップメニュー［ユーザーセッティングのリセット］を選ぶ

セットアップメニュー［**ユーザーセッティングのリセット**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

2 リセットしたいユーザーセッティングモードを選ぶ

［**U1をリセット**］または［**U2をリセット**］を選んで、▶を押します。

3 ユーザーセッティングをリセットする

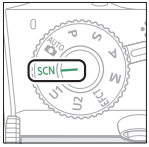
▲▼で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、選んだユーザーセッティングモードに登録された設定内容が、初期設定（撮影モード**P**）に戻ります。

SCN（シーンモード）

撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。

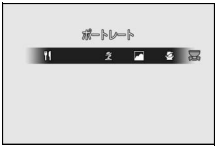
シーンモードの設定方法

撮影モードダイヤルを**SCN**に合わせた後、メインコマンドダイヤルを回して設定を変更します。



撮影モードダイヤル

メインコマンドダイヤル



画像モニター

- 次のシーンモードから設定できます。

	ポートレート		海・雪
	風景		夕焼け
	こどもスナップ		トワイライト
	スポーツ		ペット
	クローズアップ		キャンドルライト
	夜景ポートレート		桜
	夜景		紅葉
	パーティー		料理

各シーンモードの特徴

（ポートレート）

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- 被写体と背景が離れているときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。

（風景）

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

（こどもスナップ）

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げます。

（スポーツ）

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

（クローズアップ）

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

（夜景ポートレート）

夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

（夜景）

夜景の撮影に適しています。ノイズや不自然な発色を抑え、外灯やネオンなどの光を鮮やかにして夜景の雰囲気を表現します。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

（パーティー）

パーティーなどでの撮影に適しています。パーティー会場の光の雰囲気も表現します。

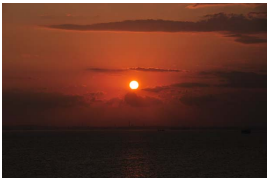
（海・雪）

晴天の海や湖、砂浜、雪景色などの撮影に適しています。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

（夕焼け）



夕焼けや朝焼けの撮影に適しています。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

（トワイライト）

夜明け前や日没後の風景の撮影に適しています。わずかな自然光での風景をきれいに表現します。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

（ペット）

動き回るペットなどの撮影に適しています。

ご注意

AF補助光は照射されません。

（キャンドルライト）

キャンドルライトでの撮影に適しています。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

（桜）

桜、花畑などの花がたくさん咲いている風景の撮影に適しています。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

（紅葉）

紅葉の撮影に適しています。紅葉の赤色や黄色を鮮やかに表現します。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

（料理）

料理の撮影に適しています。料理を鮮やかに表現します。

ご注意

内蔵フラッシュを上げている場合は、必ず発光します。

ヒント：三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

ヒント：シーンモードについて

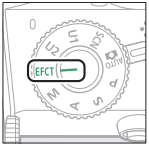
ピクチャーコントロール、ホワイトバランス、カスタムメニューなど、撮影モードによって設定を変更できない機能があります。

EFCT（スペシャルエフェクトモード）

特殊な効果のついた画像を撮影できます。

スペシャルエフェクトモードの設定方法

撮影モードダイヤルを**EFCT**に合わせた後、メインコマンドダイヤルを回して設定を変更します。



撮影モードダイヤル

メインコマンドダイヤル

画像モニター

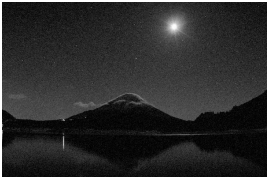
- 次のスペシャルエフェクトモードから設定できます。

	ナイトビジョン		ミニチュア効果
VI	極彩色		セレクトカラー
POP	ポップ		シルエット
	フォトイラスト	Hi	ハイキー
TOY	トイカメラ風	Lo	ローキー

- 撮影モードダイヤルを **EFCT** に設定した場合、動画の画像サイズで1920×1080 120p、1920×1080 100p、1920×1080スローは設定できません。

■ 各スペシャルエフェクトモードの特徴

（ナイトビジョン）



意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗闇での撮影に適しています。

ご注意

- オートフォーカスでピントが合いにくい場合は、フォーカスモードを［**MF**］（マニュアルフォーカス）に設定してください。
- 内蔵フラッシュおよび別売スピードライトは発光しません。

VI（極彩色）

画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。

POP（ポップ）

画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。

（フォトイラスト）

輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風に表現します。㊙ボタンを押すと、効果を設定できます（📖96）。

ご注意

- 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

TOY （トイカメラ風）

色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカメラで撮影したように表現します。㊙ボタンを押すと、効果を設定できます（📖96）。

（ミニチュア効果）

ミニチュア（模型）を接写したように表現します。高いところから見下ろして撮影する場合に適しています。㊙ボタンを押すと、効果を設定できます（📖97）。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。
- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影の場合は音声は記録されません。

（セレクトカラー）

選んだ色のみをカラーで残し、それ以外の色をモノトーン（白黒）で表現します。㊙ボタンを押すと、効果を設定できます（📖98）。

ご注意

内蔵フラッシュおよび別売スピードライトは発光しません。

（シルエット）

背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシルエットで表現します。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

（ハイキー）

全体的に明るめの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に明るいトーンで表現します。光に満ちた華やいだ雰囲気になります。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

（ローキー）

全体的に暗めの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に暗いトーンで表現します。深く落ち着き、ハイライト部分が引き立った雰囲気になります。

ご注意
内蔵フラッシュは発光しません。

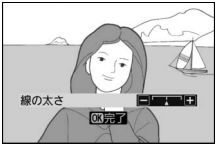
ヒント：三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

ヒント：スペシャルエフェクトモードについて

- 撮影モードが、VI、POP、、、または の場合、RAWを含む画質モードは設定できません。
- AFエリアモード、ピクチャーコントロール、ホワイトバランスなど、撮影モードによって設定を変更できない機能があります。
- 撮影モードがまたはのときは、撮影画面の表示の更新は遅くなります。

■■ （フォトイラスト）の効果の設定方法



スペシャルエフェクトモードでを選んだ後にOKボタンを押すと線の太さを設定できます。

- マルチセレクターの を押すと細くなり、を押すと太くなります。
- OKボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。

■■ TOY（トイカメラ風）の効果の設定方法

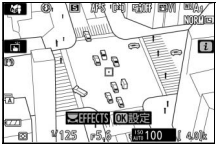
スペシャルエフェクトモードでTOYを選んだ後にOKボタンを押すと効果を設定できます。

- マルチセレクターのを押して、設定したい項目を選びます。
- [**色の濃さ**]：を押すと色が濃くなり、を押すと薄くなります。
- [**周辺減光**]：を押すと減光効果が強くなり、を押すと弱くなります。
- OKボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。

▌▌ （ミニチュア効果）の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで を選んだ後に Ⓚボタンを押すと効果を設定できます。

1 フォーカスポイントを被写体に重ねる



- マルチセレクターで、ぼかさないではっきりと見せたい部分にフォーカスポイントを移動します。
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合う部分を確認します。

2 効果をかける方向と幅を設定する

- Ⓚボタンを押すと、ミニチュア効果の設定画面が表示されます。
- マルチセレクターの◀▶を押すと、効果をかける方向を縦と横から選べます。
- ▲▼を押すと、効果をかける幅を設定できます。

3 決定する

Ⓚボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。

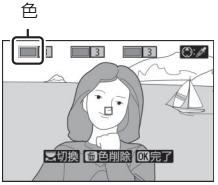
ヒント：ミニチュア効果での動画撮影について

動画の記録時間は撮影にかかる時間よりも短くなります。たとえば、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］が1920 × 1080、30pの場合、約1分の動画ファイルを作成するためには、約15分の撮影時間が必要です。

■ 🖉（セレクトカラー）の効果の設定方法

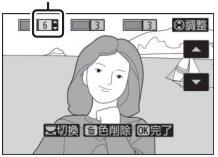
スペシャルエフェクトモードで🖉を選んだ後にOKボタンを押すと残す色を設定できます。

1 残したい色を抽出する



- OKボタンを押すと、セレクトカラーの設定画面が表示されます。
- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被写体に重ねます。
- 🔍ボタンをタッチすると、被写体が拡大表示され、残したい色を細部まで確認できます。🔍✉/?ボタンをタッチすると縮小します。
- マルチセレクターの▲を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の色が抽出され、色の枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン（白黒）で表示されます。

2 抽出する色の感度を設定する



- ▲▼を押して、抽出する色の感度を［**1**］～［**7**］から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。

3 抽出する色を追加する

- メインコマンドダイヤルを回して別の色の枠を選び、手順1～2と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。
- 最大3色まで設定できます。
- 抽出した色を選んで🗑ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。
- 抽出した全ての色を削除したい場合は、🗑ボタンを押し続けます。確認画面で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、全ての色をリセットします。

4 決定する

Ⓚボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。

セレクトカラー設定時のご注意

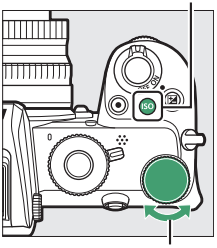
- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

ISOボタン

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。

ISO感度の設定方法

- **ISO** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。
- ISO感度はISO100～51200、Hi 1、Hi 2から設定できます。
- 撮影モードが**SCN**、**EFCT**（⊠以外）の場合、ISO-A（AUTO）も選べます。



- 設定したISO感度は撮影画面に表示されます。

ISO感度を高く設定した場合

ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的です。ただし、撮影した画像に多少ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。

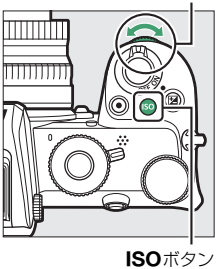
増感域の高感度（Hi 1、Hi 2）に設定した場合

ISO感度を［**Hi 1**］に設定すると、ISO 51200に対して約1段分増感し（ISO 102400相当）、［**Hi 2**］では約2段分の増感になります（ISO 204800相当）。これらのISO感度に設定したときは、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。

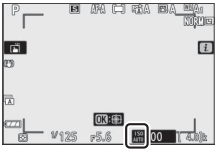
感度自動制御機能

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。撮影時にISO感度が高くなりすぎないように、上限感度（200～Hi 2）を設定することもできます。

- **ISO** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと**ISO AUTO**（感度自動制御する）と**ISO**（感度自動制御しない）に切り換えられます。



- 感度自動制御する場合、撮影画面には**ISO AUTO**が表示されます。感度が自動制御されると、制御されたISO感度が表示されます。



- 制御上限感度は静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で設定できます。

感度自動制御についてのご注意

- ［**制御上限感度**］で設定したISO感度よりも［**ISO感度設定**］で設定したISO感度が高い場合、［**ISO感度設定**］で設定したISO感度を制御上限感度として撮影します。
- フラッシュ撮影時のシャッタースピードはカスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］とe2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］で設定した範囲内に制限されます。

☒（露出補正）ボタン

カメラが制御する適正露出値を意図的にずらせます。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。

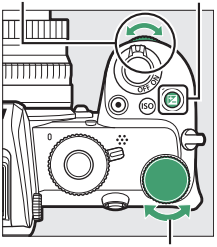
－1段補正

露出補正なし

＋1段補正

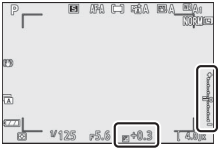
露出補正の設定方法

- ☒ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。
- 露出補正は、±5段の範囲で設定できます。動画の場合は±3段の範囲で設定できます。
- 補正ステップは、初期設定では1/3段ステップです。カスタムメニュー b1［**露出設定ステップ幅**］で1/2段ステップに変更できます。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正してください。
- 撮影モードが AUTO の場合、露出補正はできません。

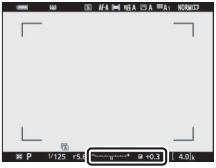


- 露出補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。**SCN**または**EFCT**で露出補正を行った場合、撮影モードを切り換えるか、カメラの電源をOFFにすると露出補正値の設定は解除されます。

- 静止画撮影時には☒アイコンとインジケーターが、動画撮影時には☒アイコンが撮影画面に表示されます。☒ボタンを押すと補正量を数字で確認できます。



画像モニター



ファインダー

撮影モードMでの露出補正について

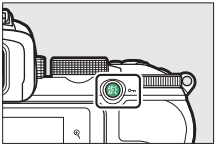
- 撮影モードが**M**のときは、露出のインジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピードと絞り値は変わりません。
- ☒ボタンを押すと補正量を数字とインジケーターで確認できます。

フラッシュ使用時の露出補正

内蔵フラッシュや別売スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュ（スピードライト）の発光量の両方に補正が行われ、画像全体の明るさが変わります。背景の明るさだけを補正することもできます（カスタムメニュー e3［**フラッシュ使用時の露出補正**］）。

AE-L AF-L（O-n）ボタン

AEロックとフォーカスロックを同時に行います。



AEロック

- 被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変えて撮影できます。
- AEロックする場合、測光モードは中央部重点測光またはスポット測光に設定することをおすすめします。

フォーカスロック

- フォーカスモードが**AF-C**の場合にフォーカスを固定したいときに使用します。
- フォーカスロックする場合、AF エリアモードをオートエリア AF 以外に設定してください。

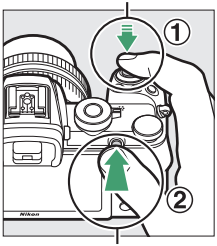
AEロック/フォーカスロックの方法

1 露出とピントを合わせたい被写体にフォーカスポイントを重ね、シャッターボタンを半押しする

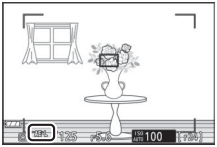
2 AE-L/AF-L（⊶）ボタンを押す

- AE-L/AF-L（⊶）ボタンを押している間は、露出とピントが固定（ロック）されます。構図を変えても露出は変わりません。
- 画像モニターなどに**AE-L**マークが点灯します。

シャッターボタン

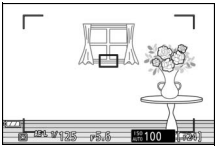


AE-L/AF-L（⊶）ボタン



3 AE-L/AF-L（⊶）ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

被写体との距離は変えないでください。AEロック/フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



フォーカスモードをAF-Sに設定している場合またはAF-Aに設定していてAF-Sで撮影している場合のフォーカスロックについて

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押してピントを固定することもできます。

シャッターボタンの半押しで露出を固定するには

カスタムメニュー c1［**シャッターボタンAEロック**］を［**する（半押し）**］に設定すると、シャッターボタンの半押しで露出を固定できます。

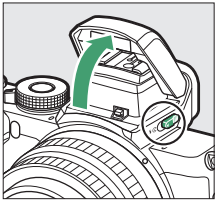
ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押してフォーカスロックを行った場合は、AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後にシャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

内蔵フラッシュ

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での撮影を楽しむことができます。内蔵フラッシュをお使いになるときは、フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げてください。

1 フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げる



2 フラッシュモードを設定する

フラッシュモードは *i* メニューまたは静止画撮影メニューの［**フラッシュモード**］で設定できます。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する

フラッシュモード

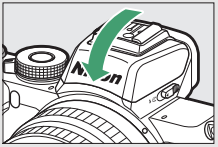
*i*メニューまたは静止画撮影メニューの［**フラッシュモード**］を設定すると、フラッシュの効果を変えることができます。設定できるフラッシュモードは、撮影モードにより異なります。

項目		内容	撮影モード
⚡	**通常発光**（先幕発光）	撮影のたびに内蔵フラッシュが発光します。	**P**、**S**、**A**、**M**
⚡◎	**赤目軽減発光**	人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。	**P**、**S**、**A**、**M**
⚡SLOW	**通常発光＋スローシャッター**（スローシンクロ）	通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	**P**、**A**
⚡◎SLOW	**赤目軽減＋スローシャッター**（スローシンクロ）	夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	**P**、**A**
⚡REAR	**後幕発光**	通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。撮影モードを**P**または**A**に設定した場合、スローシンクロモードも自動的にセットされます。	**P**、**S**、**A**、**M**

項目		内容	撮影モード
AUTO	**通常発光オート**	暗いときや逆光のときに必要に応じて自動発光します。	AUTO、、、、、、VI、POP、、TOY
AUTO	**赤目軽減オート**	必要に応じて自動で赤目軽減発光します。	AUTO、、、、、、VI、POP、、TOY
AUTO SLOW	**通常発光オート＋スローシャッター**（スローシンクロ）	必要に応じて通常発光 ＋ スローシャッターで自動発光します。	
AUTO SLOW	**赤目軽減オート＋スローシャッター**（スローシンクロ）	必要に応じて赤目軽減＋スローシャッターで自動発光します。	
	発光禁止	発光しません。	AUTO、P、S、A、M、、、、、、、VI、POP、、TOY

内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。



内蔵フラッシュについてのご注意

- フラッシュの光がさえぎられることがあるので、レンズフードは取り外してください。
- 内蔵フラッシュ撮影時は、レリーズモードを［**低速連続撮影**］または［**高速連続撮影**］に設定しても、連続撮影にはなりません。［**高速連続撮影（拡張）**］に設定した場合はフラッシュが発光禁止になり、連続撮影になります。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。

内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード

内蔵フラッシュ撮影時にカメラで設定できるシャッタースピードは次の通りです。

AUTO、、、、、、VI、POP、、	カメラが自動的に 1/200～1/60秒にセット
	カメラが自動的に 1/200～1/30秒にセット
	カメラが自動的に 1/200～2秒にセット
P、**A**	カメラが自動的に 1/200～1/60秒にセット※
S	1/200～30秒
M	1/200～30秒、 **Bulb**（バルブ）、**Time**（タイム）

※ フラッシュモードをスローシンクロモード、後幕発光、赤目軽減スローシンクロモードに設定している場合は、シャッタースピードが最長30秒まで延長されます。

ヒント：内蔵フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります。下表を参考にしてください。

ISO感度および絞り値										調光範囲（m）
100	200	400	800	1600	3200	6400	12800	25600	51200	
1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	約0.7～5
2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—	約0.6～3.5
2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—	—	約0.6～2.5
4	5.6	8	11	16	22	32	—	—	—	約0.6～1.8
5.6	8	11	16	22	32	—	—	—	—	約0.6～1.3
8	11	16	22	32	—	—	—	—	—	約0.6～0.9

※ 内蔵フラッシュで調光できる最短撮影距離は約0.6mです。

調光補正してフラッシュの発光量を変更する

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

- 調光補正は、－3段～＋1段の範囲で設定できます。
- 補正ステップは、初期設定では1/3段ステップです。カスタムメニューb1［**露出設定ステップ幅**］で1/2段ステップに変更できます。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正してください。
- 調光補正が設定されていると、撮影画面に補正マークが表示されます。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFF にしても、補正量の設定は解除されません。

FVロックして調光量を固定する

調光量を固定（FVロック）することにより、被写体に調光量を合わせたまま構図を変えたり、同じ調光量を維持したまま撮影できます。被写体が画面の中央にない場合など、自由な構図で適切な調光量のフラッシュ撮影が可能です。

- FVロック中にカメラのISO感度や絞り値を変更しても、フラッシュの発光量が補正されることによりFVロックは維持されます。
- 撮影モードが**AUTO**、**SCN**、**EFCT**の場合、FVロックはできません。

1 カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］で任意のボタンに［FV-L］を割り当てる

2 内蔵フラッシュを上げる

フラッシュポップアップレバーをスライドして内蔵フラッシュを上げます。

3 被写体にピントを合わせる

- 発光量を合わせたい被写体を画面の中央でとらえ、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。

4 モニター発光を行う

- 撮影画面に⚡が点灯していることを確認し、［**FV-L**］を割り当てたボタンを押すと、フラッシュがモニター発光を行い、調光量を計算します。
- FVロックが行われ、撮影画面にFVロックマーク（⚡L）が表示されます。

5 構図を変更する

6 シャッターボタンを全押しして撮影する

FVロック中は、被写体の露出を一定にしたまま複数のコマを撮影できます。必要に応じて手順5～6を繰り返してください。

7 FVロックを解除する

もう一度［**FV-L**］を割り当てたボタンを押すと、FVロックが解除され、撮影画面のFVロックマーク（⚡L）が消灯します。

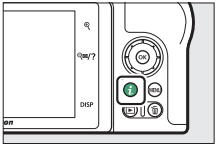
ヒント：別売スピードライトを使用する場合

- SB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］の［**発光モード（外付け）**］を［**TTL調光**］に設定します。
- SB-500、SB-400、またはSB-300以外のスピードライトをカメラに装着した場合、発光モードをTTLまたは「モニター発光あり」の**A**または**A**のいずれかにセットしてください。詳しくはスピードライトの使用説明書をご覧ください。

*i*メニューを使う

*i*メニューについて

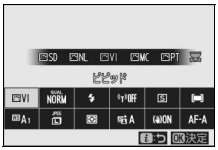
使用頻度の高い機能の設定を素早く変更できます。*i*ボタンを押すと、*i*メニューが表示されます。



- 設定したい項目をマルチセレクターで選んでⓀボタンを押すと、選択項目が表示されます。選択項目を選んでⓀボタンを押すと、設定が変更されて*i*メニュー画面に戻ります。

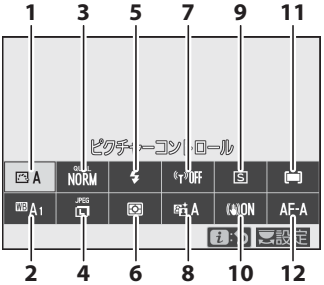
- 設定を変更せずに1つ前の画面に戻るには、*i*ボタンを押してください。

ヒント：コマンドダイヤルで設定する



- *i*メニュー画面でメインコマンドダイヤルを回すと、選んでいる項目の設定を変更できます。設定した項目にさらに選択肢がある場合、サブコマンドダイヤルを回して設定を変更できます。
- 項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルのどちらでも設定できるものがあります。
- Ⓚボタンを押すと決定します。マルチセレクターで他の項目を選んだり、シャッターボタンを半押ししても設定が決定されます。

静止画モード



1	ピクチャーコントロール 116	7	Wi-Fi通信機能 131
2	ホワイトバランス 120	8	アクティブD-ライティング 132
3	画質モード 126	9	レリーズモード 133
4	画像サイズ 127	10	光学手ブレ補正 137
5	フラッシュモード 128	11	AFエリアモード 138
6	測光モード 130	12	フォーカスモード 138

ピクチャーコントロール

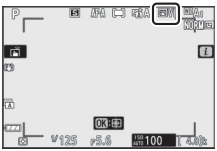
記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。

A　オート	• ［**スタンダード**］をもとに、色合いや階調をカメラが自動的に調整します。 • 人物を撮影するシーンでは、［**スタンダード**］に比べて人物の肌を柔らかく表現した画像になります。 • 屋外のシーンでは、［**スタンダード**］に比べて青空や草木などの色が鮮やかな画像になります。
SD　スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
NL　ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。

VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
PT ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
FL フラット	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
C01 ～ C20 Creative Picture Control（クリエイティブピクチャーコントロール）	• 色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気を表現して撮影できます。 • ［**ドリーム**］、［**モーニング**］、［**ポップ**］、［**サンデー**］、［**ソンバー**］、［**ドラマ**］、［**サイレンス**］、［**ブリーチ**］、［**メランコリック**］、［**ピュア**］、［**デニム**］、［**トイ**］、［**セピア**］、［**ブルー**］、［**レッド**］、［**ピンク**］、［**チャコール**］、［**グラファイト**］、［**バイナリー**］、［**カーボン**］の20種類があります。

• ピクチャーコントロール選択画面で を押すと、好みに合わせて調整できます。撮影画面を見ながら色味などを調整できます（□118）。

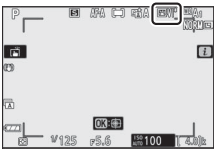
• 設定したピクチャーコントロールは、撮影画面に表示されます。



ピクチャーコントロールの微調整

*i*メニューで［**ピクチャーコントロール**］を選んでOKボタンを押すと、ピクチャーコントロールの選択項目が表示されます。調整したいピクチャーコントロールを選んで▼を押すと撮影画面を見ながら調整できます。

- ▲▼で調整する項目を選びます。◀▶を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を調整します。
- 調整できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。
- OKボタンを押すと調整値を決定して*i*メニュー画面に戻ります。
- ピクチャーコントロールを微調整すると、ピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



ピクチャーコントロール調整時の△マークについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される△マークは、前回調整した値を示しています。

調整項目の［A］（オート）について

- ［**A**］（オート）がある項目では、［**A**］を選ぶと自動で調整されます。
- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

ヒント：［Aオート］を選んでいる場合

オートの調整レベルを［**A－2**］～［**A＋2**］から選べます。

ピクチャーコントロールの調整項目

適用度	Creative Picture Controlの効果をどれだけ適用するかを調整します。
クイックシャープ **輪郭強調** **ミドルレンジシャープ** **明瞭度**	［**クイックシャープ**］を調整すると、画像のシャープさを調整する［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］の各項目をバランスよく調整します。各項目を個別に調整することも可能です。 • ［**輪郭強調**］：画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。 • ［**ミドルレンジシャープ**］：［**輪郭強調**］と［**明瞭度**］の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。 • ［**明瞭度**］：画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。
コントラスト	画像のコントラストを調整できます。
明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。
色の濃さ（彩度）	画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整できます。
色合い（色相）	画像の色合いを調整できます。
フィルター効果	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
調色	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色の項目（［**B&W**］以外）を選んで⊛を押すと、さらに色の濃淡を選べます。
色の濃淡	適用するCreative Picture Controlの色の濃さを調整できます。

［フィルター効果］について

［**フィルター効果**］には、次のような効果があります。

Y（黄※） **O**（オレンジ※） **R**（赤※）	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。［**Y**］→［**O**］→［**R**］の順にコントラストが強くなります。
G（緑※）	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

ホワイトバランス

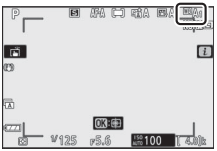
ホワイトバランスを変更できます。ホワイトバランスの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」の「ホワイトバランス」（📖65）もご覧ください。

項目	
WB A	オート
	WB A0 白を優先する
	WB A1 雰囲気を残す
	WB A2 電球色を残す
☀A	自然光オート
☀	晴天
☁	曇天
🏠	晴天日陰
💡	電球

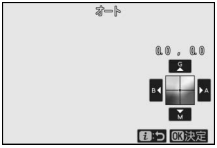
項目	
蛍光灯	
	ナトリウム灯混合光
	電球色蛍光灯
	温白色蛍光灯
	白色蛍光灯
	昼白色蛍光灯
	昼光色蛍光灯
	高色温度の水銀灯
WB ⚡	フラッシュ
K	色温度設定
PRE	プリセットマニュアル

- ［**オート**］または［**蛍光灯**］が選ばれている状態で◎を押すと、それぞれの種類が選べます。

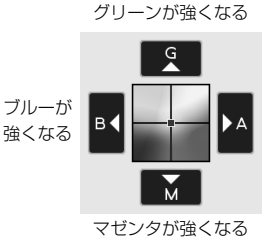
- 設定したホワイトバランスは、撮影画面に表示されます。



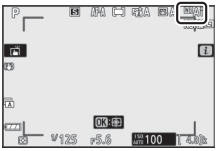
ホワイトバランスの微調整



i メニューで［**ホワイトバランス**］を選んで㊙ボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。設定したいホワイトバランスを選び（［**色温度設定**］以外）、調整画面が出るまで⊛を押すと、ホワイトバランスを調整できます。画像モニターを見ながら色味を調整できます。

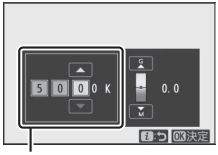


- 画面上の矢印をタッチするか、マルチセレクターを押すと値を変更できます。
- ㊙ボタンを押すと調整値を決定して *i* メニュー画面に戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

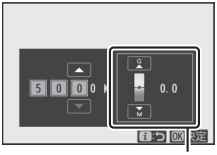


色温度の設定

*i*メニューで［**ホワイトバランス**］を選んで㊙ボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。［**色温度設定**］を選んで⊛を押すと、色温度を設定できます。



A（アンバー）および
B（ブルー）方向



G（グリーン）および
M（マゼンタ）方向

- ◁▷を押してA（アンバー）およびB（ブルー）方向の色温度の桁を選びます。また、G（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の色温度にカーソルを移動できます。
- △▽を押して数値を設定します。
- ㊙ボタンを押すと色温度を決定して*i*メニュー画面に戻ります。
- G（グリーン）、M（マゼンタ）方向の色温度を0以外に設定すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

色温度設定についてのご注意

- 光源が蛍光灯のときは、色温度設定を使わず、▦（蛍光灯）に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

基準となる白を取得して設定（プリセットマニュアル）

カクテル照明や特殊照明下で撮影する場合、WB A（オート）や（電球）、色温度設定では望ましいホワイトバランスが得られないことがあります。その場合、撮影する照明下で白またはグレーの被写体を撮影してプリセットマニュアルデータを取得し、それを基準にしてホワイトバランスを設定します。プリセットマニュアルデータは最大6つまでカメラに保存できます。

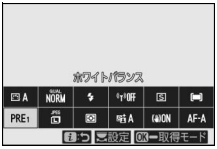
1 *i*メニューの［ホワイトバランス］で［プリセットマニュアル］を選んでマルチセレクターの◎を押す

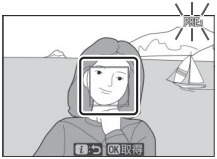
2 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

- 保存場所は［**d-1**］～［**d-6**］から選べます。
- ⓞボタンを押して決定すると、*i*メニュー画面に戻ります。

3 *i*メニューの［ホワイトバランス］を選んだ状態でⓞボタンを長押しし、プリセットマニュアル取得モードにする

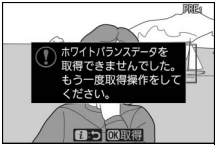
- プリセットマニュアル取得モードになると、撮影画面に**PRE**が点滅します。
- 画面中央に□が表示されます。





4 □を被写体の白またはグレーの部分に重ね、プリセットマニュアルデータを取得する

- □はマルチセレクターで移動できます。
- シャッターボタンを全押しするか㊙ボタンを押すとプリセットマニュアルデータを取得できます。
- 画像モニターをタッチすると、その場所に□が移動してプリセットマニュアルデータを取得できます。
- 内蔵フラッシュが発光可能な場合や別売のスピードライトを装着している場合は、□を移動できません。カメラを動かして画面の中央部分に被写体の白またはグレーの部分を重ねてください。
- データが取得できなかった場合は、撮影画面にメッセージが表示されてプリセットマニュアル取得モードの状態に戻ります。□の位置を変えるなどして、再度プリセットマニュアルデータを取得してください。



5 *i*ボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

プリセットマニュアルについて

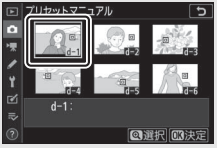
静止画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］で［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータを管理できます。撮影済み画像のホワイトバランスのデータをプリセットマニュアルとして使用することや、コメントの記入およびプロテクト設定ができます。

ホワイトバランスのプロテクト設定について

プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータが選ばれている場合、プリセットマニュアルデータは新規取得できません（プリセットマニュアルのアイコンの横に🔑アイコンが表示されます）。

プリセットマニュアルデータについて

- ご購入時のプリセットマニュアルデータd-1～d-6は、晴天モードと同じ色温度5200Kに設定されています。
- 静止画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］の［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが表示されます。マルチセレクターでプリセットマニュアルデータを選んでOKボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルを使って撮影できます。



プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードの時間制限は、カスタムメニュー c3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］で設定した時間になります。

プリセットマニュアルデータ取得時の制限について

次の場合は、プリセットマニュアルデータを取得できません：

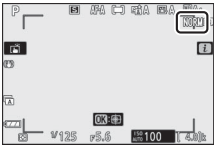
- HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影時
- 多重露出撮影時

画質モード

記録する画像の画質モードを選びます。

RAW+FINE	• RAWとJPEGの2種類の画像を同時に記録します。 • カメラではJPEG画像のみを再生します。JPEG画像と同時記録されたRAW画像はパソコンでのみ再生できます。 • RAW 画像と同時記録された JPEG 画像をカメラ上で削除すると、RAW画像も削除されます。
RAW+NORMAL	
RAW+BASIC	
RAW	RAWの画質が最も高く、「FINE」、「NORMAL」、「BASIC」の順に画質は低くなります。
FINE	
NORMAL	
BASIC	

設定した画質モードは、撮影画面に表示されます。



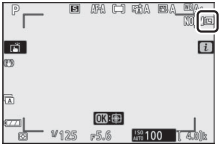
ヒント：RAW画像について

- ファイルの拡張子はNEFになります。
- RAW 画像から JPEG 画像などの汎用性の高い画像ファイルフォーマットに変換することをRAW現像と呼びます。RAW現像の際に、露出補正やホワイトバランス、ピクチャーコントロールなどの設定を調整できます。
- RAW現像では、RAW画像そのものは加工されないため、いろいろな設定で繰り返しRAW現像を行っても、RAW画像そのものの品質は維持されます。
- RAW現像は、カメラの画像編集メニュー［**RAW現像**］で行うか、パソコンでニコンソフトウェアNX Studioを使用すると行えます。NX Studioはニコンダウンロードセンターから無料でダウンロードできます。

画像サイズ

画像を記録するときの画像サイズを選びます。

設定した画像サイズは、撮影画面に表示されます。



画像サイズのピクセル数

画像のピクセル数は、静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］の設定によって異なります。

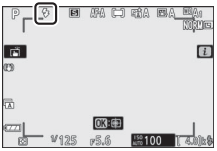
撮像範囲	画像サイズ		
	L	M	S
DX（24×16）	5568×3712	4176×2784	2784×1856
1:1（16×16）	3712×3712	2784×2784	1856×1856
16:9（24×14）	5568×3128	4176×2344	2784×1560

フラッシュモード

内蔵フラッシュのフラッシュモードを設定できます。設定できるフラッシュモードと撮影モードの組み合わせは次の通りです。

項目		設定できる撮影モード
⚡	通常発光	P、S、A、M
⚡◎	赤目軽減発光	P、S、A、M
⚡SLOW	通常発光+スローシャッター	P、A
⚡◎SLOW	赤目軽減+スローシャッター	P、A
⚡REAR	後幕発光	P、S、A、M
⚡AUTO	通常発光オート	AUTO、、、、、、VI、POP、、TOY
⚡◎AUTO	赤目軽減オート	AUTO、、、、、、VI、POP、、TOY
⚡AUTO SLOW	通常発光オート+スローシャッター	
⚡◎AUTO SLOW	赤目軽減オート+スローシャッター	
⊛	発光禁止	AUTO、P、S、A、M、、、、、、、VI、POP、、TOY

設定したフラッシュモードは、撮影画面に表示されます。



ヒント：別売のスピードライトをカメラに装着した場合

別売のスピードライトをカメラに装着した場合、設定できるフラッシュモードと撮影モードの組み合わせは次のようになります。

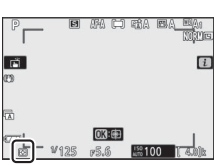
項目		設定できる撮影モード
	通常発光	AUTO、P、S、A、M、VI、POP、TOY、Lo
	赤目軽減発光	AUTO、P、S、A、M、VI、POP、TOY、Lo
SLOW	通常発光+スローシャッター	P、A、
SLOW	赤目軽減+スローシャッター	P、A、
REAR	後幕発光	P、S、A、M
AUTO	通常発光オート	–
AUTO	赤目軽減オート	–
AUTO SLOW	通常発光オート＋スローシャッター	–
AUTO SLOW	赤目軽減オート＋スローシャッター	–
	発光禁止	AUTO、P、S、A、M

測光モード

画面内のどの部分の明るさを、どのように測定するかを決めるための測光モードを選びます。

マルチパターン測光	画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
中央部重点測光	• 画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 • 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。 • 測光範囲はカスタムメニューb3［**中央部重点測光範囲**］で変更できます。
スポット測光	• フォーカスポイントに重なる φ3.5 mm相当（全画面の約2.5%）の部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 • 測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、AFエリアモード（📖52）がオートエリアAFのときは中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。
ハイライト重点測光	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適しています。

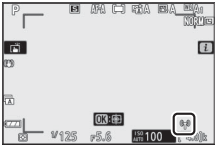
設定した測光モードは、撮影画面に表示されます。



Wi-Fi通信機能

Wi-Fi通信機能のオン/オフを切り替えられます。

- Wi-Fi通信機能をオンにすると、パソコンやSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンと無線接続することができます。
- Wi-Fi通信機能がオンになっていると、Wi-Fiアイコンが撮影画面に表示されます。



- Wi-Fi通信機能がオンの場合に*i*メニュー画面で［**Wi-Fi通信機能**］を選び、OKボタンを押すと［**Wi-Fi接続を停止**］が表示されます。OKボタンを押すと、無線通信を終了します。

アクティブD-ライティング

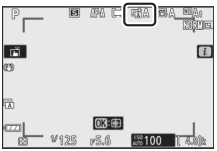
白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。

［**しない**］

［**AUTO Aオート**］

AUTO A　オート	撮影シーンに応じて自動的にアクティブD-ライティングの効果の度合いを設定します。
AUTO H゛　より強め	効果の度合いは、強い順に［**より強め**］、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
AUTO H　強め	
AUTO N　標準	
AUTO L　弱め	
AUTO OFF　しない	アクティブD-ライティングを設定しません。

設定したアクティブD-ライティングの設定は、撮影画面に表示されます。



アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 撮影モードが**M**のときは、［**AUTO Aオート**］に設定していても［**AUTO N標準**］相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ISO感度が高感度（Hi 1、Hi 2）および感度自動制御でISO感度が高感度に制御された場合は機能しません。

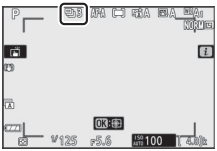
レリーズモード

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。

S　1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。
L　低速連続撮影	• シャッターボタンを全押ししている間、設定した速度で連続撮影します。 • レリーズモード設定画面で低速連続撮影が選ばれている状態でサブコマンドダイヤルを回すと、連続撮影速度を設定できます。 • 連続撮影速度は1コマ/秒～4コマ/秒の間で設定できます。
H　高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、最大約5コマ/秒で連続撮影します。
H+　高速連続撮影（拡張）	• シャッターボタンを全押ししている間、最大約11コマ/秒で連続撮影します。 • 内蔵フラッシュおよび別売のスピードライトは発光しません。 • フリッカー低減撮影の効果は無効になります。
セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます（📖136）。

• ［**低速連続撮影**］が選ばれている状態で⊛を押すと、連続撮影速度を設定できます。

• 設定したレリーズモードは撮影画面に表示されます。



連続撮影時の撮影画面について

低速連続撮影および高速連続撮影の場合、連続撮影中でも被写体の動きがリアルタイムに表示されます。

連続撮影速度について

連続撮影時の最大撮影速度は、カメラの設定により異なります。

<table>
<tr><th rowspan="2">レリーズモード</th><th rowspan="2">画質モード</th><th rowspan="2">記録ビットモード</th><th colspan="2">サイレント撮影</th></tr>
<tr><th>しない</th><th>する</th></tr>
<tr><td rowspan="3">低速連続撮影</td><td>JPEG</td><td>ー</td><td colspan="2" rowspan="3">設定したコマ/秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RAWを含む画質モード</td><td>12ビット</td></tr>
<tr><td>14ビット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">高速連続撮影</td><td>JPEG</td><td>ー</td><td rowspan="3">約5コマ/秒</td><td rowspan="2">約4.5コマ/秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RAWを含む画質モード</td><td>12ビット</td></tr>
<tr><td>14ビット</td><td>約4コマ/秒</td></tr>
<tr><td rowspan="3">高速連続撮影（拡張）</td><td>JPEG</td><td>ー</td><td rowspan="2">約11コマ/秒※</td><td rowspan="2">約11コマ/秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RAWを含む画質モード</td><td>12ビット</td></tr>
<tr><td>14ビット</td><td>約9コマ/秒</td><td>約8.5コマ/秒</td></tr>
</table>

※ カスタムメニュー d4［**シャッター方式**］で［**電子先幕シャッター**］を選んでいる場合は約10コマ/秒になります。

連続撮影についてのご注意

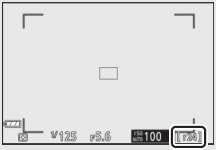
- SDカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度SDカードアクセスランプが点灯します。SDカードアクセスランプの点灯中にカメラからSDカードを取り出さないでください。データが消失するだけでなく、カメラとSDカードに不具合が生じるおそれがあります。
- SDカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がSDカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがSDカードに記録されて終了します。

高速連続撮影（拡張）撮影時のご注意

カメラの設定によっては、連続撮影中に露出が安定しないことがあります。露出の変化が気になる場合は、AEロック（📖105）を行って連写中の露出を固定してください。

連続撮影可能コマ数について

- シャッターボタンを半押しすると、記録可能コマ数表示部に連続撮影可能コマ数が表示されます。
- 「**r00**」と表示されている間は連続撮影速度が低下します。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。カメラの設定や撮影条件によって増減することがあります。



セルフタイマー撮影

シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

1 *i*メニューの［レリーズモード］で［セルフタイマー］を選んでマルチセレクターの⊛を押す

2 シャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数を設定する

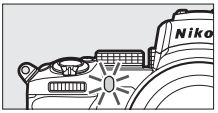
⊛ボタンを押して決定します。

3 構図を決め、ピントを合わせる

フォーカスモードが［**AF-S**］でピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではセルフタイマーは作動しません。

4 セルフタイマー撮影を開始する

- セルフタイマー設定時は撮影画面に⏱アイコンが表示されます。
- シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わります。



✓ セルフタイマーの撮影間隔と撮影コマ数について

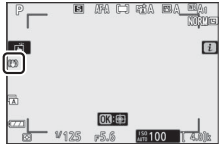
カスタムメニュー c2［**セルフタイマー**］で撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

光学手ブレ補正

光学手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。表示される項目は、カメラに装着しているレンズによって異なります。

ON **ノーマル**（補正する）	光学手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する場合に適しています。
SPT **スポーツ**	スポーツなどの動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。
OFF **しない**	光学手ブレ補正を行いません。

［**しない**］以外に設定すると、アイコンが撮影画面に表示されます。



光学手ブレ補正使用時のご注意

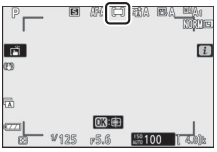
- 装着しているレンズによっては設定を変更できない場合があります。
- 撮影画面の表示が安定してから撮影することをおすすめします。
- 装着しているレンズによっては、光学手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後に撮影画面の表示がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 流し撮りする場合は［**ノーマル**］または［**スポーツ**］に設定することをおすすめします。［**ノーマル**］または［**スポーツ**］に設定して流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の光学手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 光学手ブレ補正機能を備えたレンズを装着した状態で三脚や一脚をお使いになるときは、レンズにより設定が異なる場合がありますので、レンズの使用説明書をご覧の上お使いください。

AFエリアモード

フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。各項目の詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」（📖52）もあわせてご覧ください。

項目		項目	
PIN	ピンポイントAF	WIDE-S	ワイドエリアAF（S）
[ ]	シングルポイントAF	WIDE-L	ワイドエリアAF（L）
[ ]	ダイナミックAF	[ ]	オートエリアAF

設定したAFエリアモードは、撮影画面に表示されます。

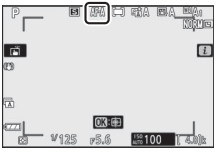


フォーカスモード

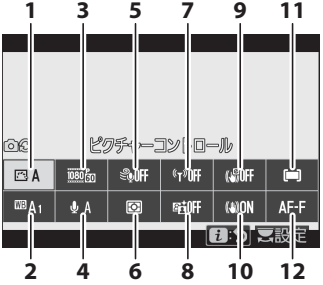
ピントの合わせ方を選べます。各項目の詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」（📖50）もあわせてご覧ください。

項目		項目	
AF-A	AFモード自動切り換え	AF-C	コンティニュアスAF
AF-S	シングルAF	MF	マニュアルフォーカス

設定したフォーカスモードは、撮影画面に表示されます。



動画モード



1	ピクチャーコントロール	140
2	ホワイトバランス	140
3	画像サイズ/フレームレート/画質	140
4	マイク感度	143
5	風切り音低減	144
6	測光モード	144
7	Wi-Fi通信機能	144
8	アクティブD-ライティング	145
9	電子手ブレ補正	145
10	光学手ブレ補正	145
11	AFエリアモード	146
12	フォーカスモード	146

ヒント：［静止画の設定と同じ］

動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］、［**ホワイトバランス**］、［**アクティブD-ライティング**］または［**光学手ブレ補正**］で［**静止画の設定と同じ**］を選んでいる場合、*i*メニューの左上に📷アイコンが表示されます。*i*メニューから設定する場合、静止画モードのときにピクチャーコントロールやホワイトバランスを変更すると動画モードでも、動画モードで設定を変更すると静止画モードでも同じ設定になります。

ピクチャーコントロール

ピクチャーコントロールを選べます。ピクチャーコントロールの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（📖116）もあわせてご覧ください。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを選べます。ホワイトバランスの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（📖120）もあわせてご覧ください。

画像サイズ/フレームレート/画質

動画を記録するときの画像サイズ（ピクセル）とフレームレート、動画の画質を設定します。

▌▌動画の画質

［**高画質**］と［**標準**］があります。［**高画質**］を選ぶと［**画像サイズ/フレームレート**］のアイコンに★が表示されます。選んだ画像サイズ/フレームレートによっては［**高画質**］に固定される場合があります。

画像サイズ/フレームレート

［**画像サイズ/フレームレート**］の設定と、それぞれの最大ビットレートおよび最長記録時間は次の通りです。ビットレートは画質の設定により異なります。

項目※1		最大ビットレート		最長記録時間
		高画質	標準	
2160 P 60	**3840×2160**（4K UHD）**30p**	144Mbps	—※2	29分59秒※4
2160 P 25	**3840×2160**（4K UHD）**25p**			
2160 P 24	**3840×2160**（4K UHD）**24p**			
1080 P 120	**1920×1080 120p**※3			
1080 P 100	**1920×1080 100p**※3			
1080 P 60/1080 p 60	**1920×1080 60p**	56Mbps	28Mbps	
1080 P 50/1080 p 50	**1920×1080 50p**			
1080 P 30/1080 p 30	**1920×1080 30p**	28Mbps	14Mbps	
1080 P 25/1080 p 25	**1920×1080 25p**			
1080 P 24/1080 p 24	**1920×1080 24p**			
1080 x4 30	**1920×1080 30p 4倍スロー**※3	36Mbps	—※2	3分
1080 x4 25	**1920×1080 25p 4倍スロー**※3			
1080 x5 24	**1920×1080 24p 5倍スロー**※3	29Mbps		

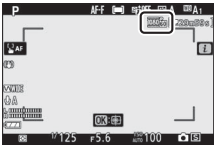
※1 120p：119.88コマ/秒（fps）、100p：100コマ/秒、60p：59.94コマ/秒、50p：50コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

※2 画質は［**高画質**］に固定されます。

※3 次の機能は使用できません。
- AFエリアモードがオートエリアAFの場合の顔認識
- フリッカー低減
- 電子手ブレ補正

※4 動画は最大 8 個のファイルに分割されて記録されることがあります。その場合、各ファイルのファイルサイズは最大で4GBです。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイルあたりの記録時間は［**画像サイズ/フレームレート**］および［**動画の画質**］の設定によって異なります。ただしこのカメラで初期化した32GBを超えるカードを使用した場合は、1回の動画撮影でファイルサイズが4GBを超えた場合でもファイルは分割されず1つのファイルに記録されます。

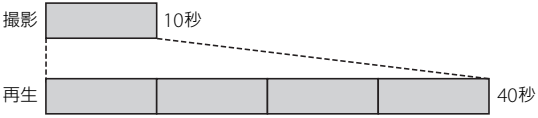
設定した［**画像サイズ/フレームレート/画質**］は、撮影画面に表示されます。



スローモーション動画について

［**画像サイズ/フレームレート**］で［**1920×1080 30p 4倍スロー**］、［**1920×1080 25p 4倍スロー**］、または［**1920×1080 24p 5倍スロー**］を選ぶとスローモーション動画を撮影できます。音声は記録されません。

- 例えば［**1920×1080 30p 4倍スロー**］の場合、120pのフレームレートで読み出した画像を30pの動画として記録します。約10秒間撮影した動画は、約40秒かけて再生されます。スポーツでのボールのインパクトの瞬間など、一瞬の出来事をゆっくりと見ることができます。



- 画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生するときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときのフレームレート※	動画を記録・再生するときのフレームレート※
1920×1080 30p 4倍スロー	120p	30p
1920×1080 25p 4倍スロー	100p	25p
1920×1080 24p 5倍スロー	120p	24p

※ 120p：119.88コマ/秒（fps）、100p：100コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

マイク感度

内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。

🎙A	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
録音しない	音声は記録しません。
🎙1～🎙20	マイク感度を手動調整します。［**1**］～［**20**］の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。

- **🎙A**以外に設定した場合、撮影画面にマイク感度が表示されます。

- 音声レベルインジケーターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。

✓ 音声が記録されていない動画の表示について

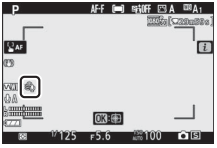
［**マイク感度**］を［**録音しない**］にして撮影した動画の場合、🎙（音声なしマーク）が表示されます。

風切り音低減

動画撮影時に風切り音低減機能を使用するかどうかを設定できます。

する	ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。
しない	風切り音低減機能を使用しません

［**する**］に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で［**風切り音低減**］を［**する**］に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

測光モード

測光モードを選べます。測光モードの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（📖130）もあわせてご覧ください。

測光モードのご注意

動画モードの場合、［**スポット測光**］は選べません。

Wi-Fi通信機能

Wi-Fi通信機能のオン/オフを切り替えられます。Wi-Fi通信機能の詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（📖131）もあわせてご覧ください。

アクティブD-ライティング

動画のアクティブD-ライティングの設定を選べます。アクティブD-ライティングの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（📖132）もあわせてご覧ください。

［静止画の設定と同じ］
静止画撮影メニューのアクティブD-ライティングが［**オート**］のときに、動画撮影メニューで［**静止画の設定と同じ**］を選んだ場合は、［**標準**］と同じ設定になります。

電子手ブレ補正

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

する	• 動画撮影時に電子手ブレ補正を行います。 • 動画の画像サイズを1920×1080 120p、1920×1080 100pまたは1920×1080スローに設定している場合、および撮影モードが**EFCT**の場合は電子手ブレ補正は機能しません。 • ［**する**］に設定すると、画角が小さくなり表示が少し拡大されます。
しない	電子手ブレ補正を行いません。

［**する**］に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。

光学手ブレ補正

動画撮影時に光学手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。光学手ブレ補正の詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（📖137）もあわせてご覧ください。

AFエリアモード

フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。AFエリアモードの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」（□52）もあわせてご覧ください。

項目		項目	
[ ]	シングルポイントAF	WIDE-L	ワイドエリアAF（L）
WIDE-S	ワイドエリアAF（S）	[ ]	オートエリアAF

フォーカスモード

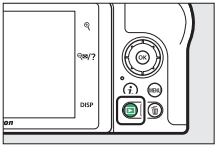
ピントの合わせ方を選べます。フォーカスモードの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」（□50）もあわせてご覧ください。

項目		項目	
AF-S	シングルAF	AF-F	フルタイムAF
AF-C	コンティニュアスAF	MF	マニュアルフォーカス

撮影した画像を見る

画像を再生する

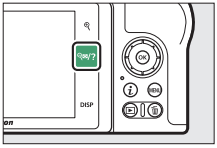
1コマ表示モード



▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が画像モニターまたはファインダーに表示されます。

- マルチセレクターの ◀ を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
- ▲▼ を押すか **DISP** ボタンをタッチすると、表示中の画像についての詳しい情報が表示されます（📖149）。

サムネイル表示モード



1 コマ表示モードのときに **🔍/?** ボタンをタッチすると、複数の縮小画像（サムネイル画像）を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。

- 表示される画像の数は、**🔍/?**ボタンをタッチするたびに4コマ、9コマ、72コマの順に増え、🔍ボタンをタッチするたびに減ります。
- マルチセレクターの▲▼◀▶を押して画像を選びます。

タッチパネルでの操作について

画像モニターで再生している場合、タッチ操作で再生画面を切り換えることができます（□12）。

縦位置で撮影した画像の場合

再生メニュー［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定している場合、縦位置で撮影された画像を縦位置で再生します。

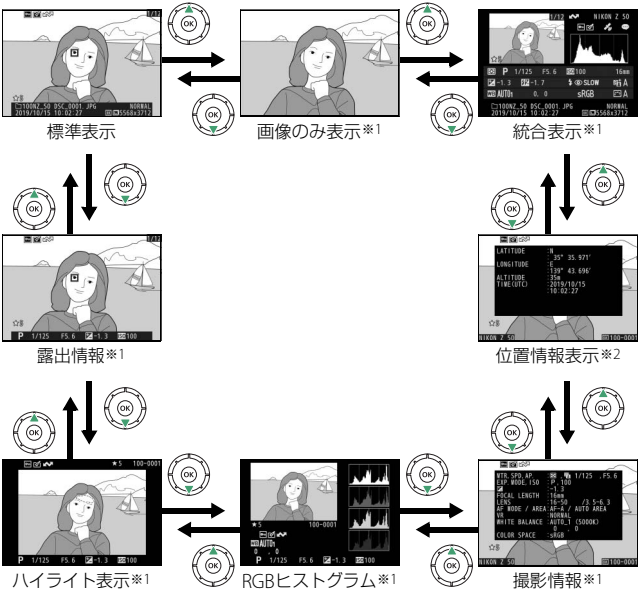
撮影直後の画像確認について

再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］に設定している場合、▶ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に画像モニターまたはファインダーに表示します。

- ［**する（画像モニター表示のみ）**］に設定している場合、ファインダーには撮影画像は表示されません。
- 連続撮影時は、撮影終了後に最初のコマから順次画像を表示します。
- 再生メニュー［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定していても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

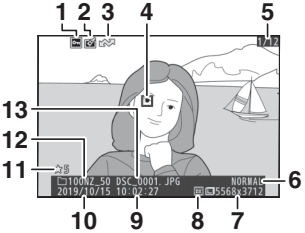
画像情報を表示する

1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができます。マルチセレクターの◎◎を押すか**DISP**ボタンをタッチすると、次のように撮影情報の表示が切り替わります。



※1 再生メニュー［**再生画面設定**］で設定している場合のみ表示します。
※2 位置情報（□321）が記録された画像の場合のみ表示します。

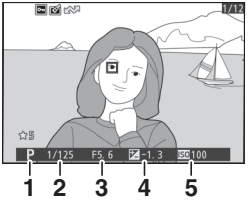
標準表示



1	プロテクト設定の有無 72	7	画像サイズ 127
2	画像編集の有無 331	8	撮像範囲 193
3	送信指定の有無 159	9	撮影時刻 309
4	フォーカスポイント※ 39	10	撮影日付 309
5	コマ番号/ フォルダー内全画像数	11	レーティング 71
		12	フォルダー名 189
6	画質モード 126	13	ファイル名 192

※ 再生メニュー［**再生画面設定**］で［**フォーカスポイント**］を設定した場合のみ表示します。

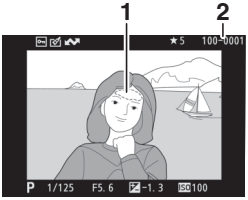
露出情報



1	撮影モード 73	4	露出補正値 102
2	シャッタースピード ..... 74、76	5	ISO感度※ 100
3	絞り値 ..... 75、76		

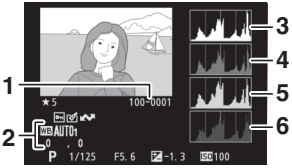
※ 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

ハイライト表示



1	画像のハイライト部分（画像の中の非常に明るい部分）を各色ごとに点滅表示します。
2	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字 189

RGBヒストグラム



1	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字 189
2	ホワイトバランス .....65、120、196 ホワイトバランス色温度 .....122 プリセットマニュアル .....123 ホワイトバランス微調整 121
3	RGBのヒストグラム
4	赤色（R）のヒストグラム
5	緑色（G）のヒストグラム
6	青色（B）のヒストグラム

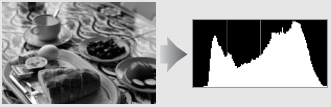
拡大ヒストグラム表示について

RGBヒストグラム表示で🔍ボタンをタッチすると、ヒストグラム表示のまま拡大画面になります。拡大ヒストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを表示することができます。また、拡大表示中にマルチセレクターを操作すると画面をスクロールして見たい部分に移動できます。🔍/?ボタンをタッチすると画像を縮小表示します。

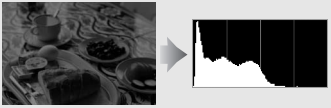
ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

- いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの山が全体的に分布したヒストグラムになります。



- 暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。



- 明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。

露出補正を＋側にすれば山が右側に寄り、－側にすれば山が左側に寄ります。

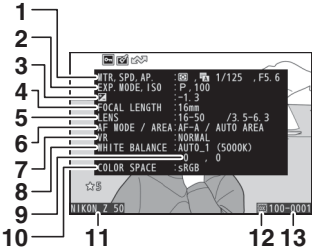
屋外などで周りが明るすぎて画像モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

ヒストグラム表示について

- RGBヒストグラムは明るさ（輝度）を表示しています。
- ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。

撮影情報

撮影時の設定の詳細を表示します。

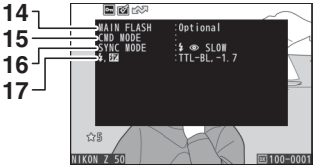


1	測光モード	130
	シャッター方式	279
	シャッタースピード	74、76
	絞り値	75、76
2	撮影モード	73
	ISO感度※1	100
3	露出補正値	102
	基準露出レベルの調節値※2	275
4	焦点距離	
5	レンズ情報	
6	フォーカスモード	50
	AFエリアモード	52
7	光学手ブレ補正機能	137
8	ホワイトバランス※3	65、120、196
9	ホワイトバランス微調整	121
10	色空間	206
11	カメラ名	
12	撮像範囲	193
13	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字	

※1 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 カスタムメニュー b4［**基準露出レベルの調節**］を0以外に設定している場合のみ表示します。

※3 WB**A**（オート）で撮影した場合は、撮影時の色温度が表示されます。



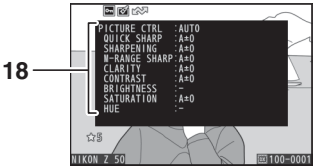
14 フラッシュの種類

15 リモートフラッシュの制御方法

16 フラッシュモード 108

17 フラッシュ発光モード 409

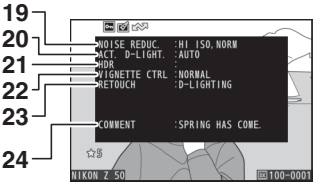
調光補正値 112



18 ピクチャーコントロール※4

.....116、201

※4 表示される項目は、撮影時に設定したピクチャーコントロールによって異なります。



19 高感度ノイズ低減 208

長秒時ノイズ低減 207

20 アクティブD-ライティング 132

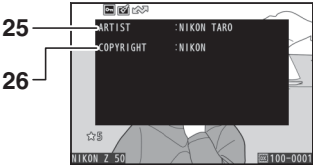
21 HDRの露出差 234

HDRのスムージング 234

22 ヴィネットコントロール 208

23 画像編集メニュー（□331）で行われた画像編集の内容が一覧表示されます。複数の画像編集が行われた場合は、順番に表示されます。

24 画像コメント 317



25 撮影者名※5 .....318 **26** 著作権者名※5 318

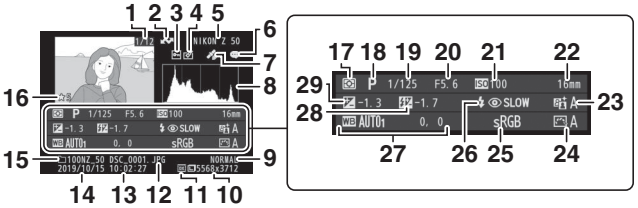
※5 セットアップメニュー［**著作権情報**］を設定して撮影した画像の場合のみ表示します。

位置情報表示

緯度、経度など、スマートフォンで取得した位置情報（🕮321）を表示します。

- 表示される項目は、スマートフォンによって異なります。
- 動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。

統合表示



1	コマ番号/フォルダー内全画像数	
2	送信指定の有無	159
3	プロテクト設定の有無	72
4	画像編集の有無	331
5	カメラ名	
6	画像コメントの有無	317
7	位置情報の有無	321
8	画像のヒストグラムを表示します	152
9	画質モード	126
10	画像サイズ	127
11	撮像範囲	193
12	ファイル名	192
13	撮影時刻	309
14	撮影日付	309
15	フォルダー名	189
16	レーティング	71
17	測光モード	130
18	撮影モード	73
19	シャッタースピード	74、76
20	絞り値	75、76
21	ISO感度※1	100
22	焦点距離	
23	アクティブD-ライティング	132
24	ピクチャーコントロール	116、201
25	色空間	206
26	フラッシュモード	108
27	ホワイトバランス	65、120、196
	ホワイトバランス色温度	122
	プリセットマニュアル	123
	ホワイトバランス微調整	121
28	調光補正値	112
	コマンダーモードの有無※2	
29	露出補正値	102

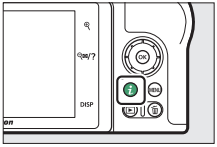
※1 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

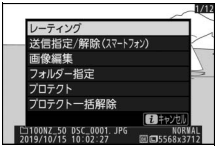
※2 別売のスピードライト使用時にのみ表示します（📖406、410）。

i ボタン（再生時）

1コマ表示モード、サムネイル表示モードまたは拡大表示時に *i* ボタンを押すと、*i* メニューが表示されます。項目を選んで OK ボタンまたはマルチセレクターの ▶ を押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。

再生画面に戻るには、もう一度 *i* ボタンを押してください。





静止画選択時

簡易トリミング※1	画像の拡大表示された部分だけを切り抜きます。RGBヒストグラム表示（📖151）の場合は選べません。
レーティング	選んだ画像にレーティングを設定します（📖71）。
送信指定/解除（スマートフォン）	画像の送信指定を行えます（📖159）。表示される項目は、現在カメラと接続している無線機器により異なります。
送信指定/解除（PC）	
画像編集	選んだ静止画を編集できます（📖331）。
フォルダー指定	フォルダーを切り換えられます。フォルダーを選んで OK ボタンを押すと、フォルダー内の画像が表示されます。
プロテクト	現在選ばれている画像を、削除しないようにプロテクト（保護）します（📖72）。
プロテクト一括解除※2	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

※1 拡大表示している場合のみ表示されます。
※2 拡大表示している場合は表示されません。

動画選択時

レーティング	選んだ動画にレーティングを設定します（📖71）。
送信指定/解除（PC）	動画の送信指定を行えます（📖159）。
音量調節	動画再生時の音量を調節できます。
動画編集（始点/終点設定）	選んだ動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけを残すことができます（📖160）。
フォルダー指定	フォルダーを切り換えられます。フォルダーを選んで㊙ボタンを押すと、フォルダー内の画像が表示されます。
プロテクト	現在選ばれている画像を、削除しないようにプロテクト（保護）します（📖72）。
プロテクト一括解除	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

動画再生一時停止時

始点/終点の設定	動画の必要な部分だけを残します（📖160）。
表示中のフレームを保存	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保存します（📖163）。

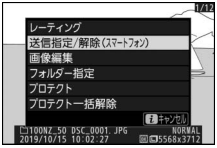
送信指定/解除

スマートフォンやパソコンに取り込みたい画像をカメラで選んで送信指定することができます。

- *i*メニューに表示される項目は、現在カメラと接続している機器によって異なります。
  - カメラのBluetooth通信機能を使用して、セットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］でスマートフォンと接続（📖322）している場合：［**送信指定/解除（スマートフォン）**］
  - カメラのWi-Fi通信機能を使用して、セットアップメニュー［**PCと接続**］でパソコンと接続（📖324）している場合：［**送信指定/解除（PC）**］
- SnapBridgeアプリを使用してスマートフォンと接続している場合、動画は送信指定できません。
- ファイル容量が4GBを超える動画は送信指定できません。

1 送信指定する画像を選んで*i*ボタンを押す

2［送信指定/解除］を選んでⓀボタンを押す



- アイコンが表示されます。

送信指定を解除するには

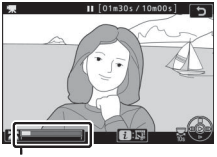
解除したい画像を選んで、手順1と2を行います。

▮▮ 始点/終点の設定

動画の必要な部分を残せます。

1 1コマ表示モードで編集したい動画を表示する

2 残したい範囲の冒頭部分（始点）で動画を一時停止する



プログレスバー

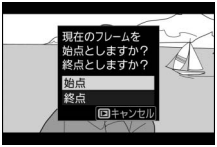
- ⓚボタンを押すと、動画が再生されます。再生中にマルチセレクターの▽を押すと、一時停止します。
- プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。
- ◁▷、メインコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

3 ［始点/終点の設定］を選ぶ

- *i*ボタンを押して、［**始点/終点の設定**］を選んでⓚボタンを押します。

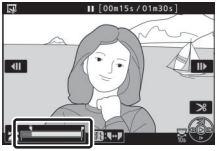
4 始点を選ぶ

- ［**始点**］を選んで㊙ボタンを押すと、そこから後ろの部分が残ります。



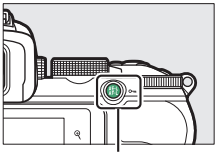
5 手順4で選んだ位置を調整する

- ◀▶を押して、残したい部分の最初の位置を調整します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
- サブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。



6 残したい範囲の末尾の部分（終点）を選ぶ

- AE-L（O-n）ボタンを押して▼（終点）に切り換え、手順5と同じ手順で▼（終点）の位置を調整します。



AE-L（O-n）ボタン

7 ⊕を押して決定する

8 保存する動画を確認する

- ［**プレビュー**］を選んでⓚボタンを押すと、編集後の動画のプレビューが再生されます（プレビューを終了するには⊕を押します）。
- ［**キャンセル**］を選んでⓚボタンを押すと、手順5の画面に戻ります。

9 動画ファイルの保存方法を選ぶ

- ［**新規保存**］を選ぶと、編集前の動画とは別に、新しい動画として保存します。
- ［**上書き保存**］を選ぶと、編集前の動画が上書きされます。

10 動画ファイルを保存する

- ⓚボタンを押して決定します。

✓ 動画編集時のご注意

- SDカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- ［**始点/終点の設定**］では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

✓ 動画の前半または後半だけを残すには

- 動画の前半だけを残したい場合は、手順4で［**終点**］を選んでⓚボタンを押してから、手順6ではAF-L（⊶）ボタンを押さずに手順7に進みます。
- 動画の後半だけを残したい場合は、手順6でAF-L（⊶）ボタンを押さずに手順7に進みます。

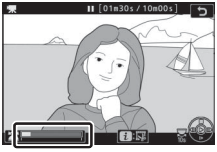
✓ 画像編集メニュー［動画編集（始点/終点設定）］

動画の切り出しおよび保存は、画像編集メニューの［**動画編集（始点/終点設定）**］でも行えます。

▌▌表示中のフレームを保存

動画の1フレームをJPEG画像として保存します。

1 保存したい位置で動画を一時停止する



- 動画の再生中にマルチセレクターの▽を押すと、一時停止します。
- ◁▷を押すと、再生中の位置を調整できます。

2 ［表示中のフレームを保存］を選ぶ

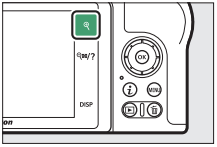
- *i*ボタンを押して、［**表示中のフレームを保存**］を選んでOKボタンを押すとJPEGの画像として保存します。

［表示中のフレームを保存］で作成した画像について

- 動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定した画像サイズで記録されます。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報で表示されない項目があります。

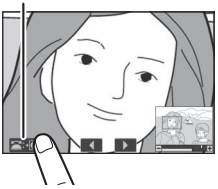
画像を拡大表示する

1コマ表示モードのときに🔍ボタンをタッチするか㊍ボタンを押すと、拡大表示されます。拡大できる最大の大きさ（長さ比）は、画像サイズが**L**の場合は約21倍、**M** では約16倍、**S**では約10倍です（撮像範囲が［**DX（24×16）**］の場合）。



拡大表示中の操作方法

拡大率を上げる/拡大率を下げる	• 🔍ボタンをタッチするか、画面で広げる操作をするごとに拡大率が上がります。 • **🔍/?** ボタンをタッチするか、画面でつまむ操作をするごとに拡大率が下がります。	 拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下にナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。ナビゲーションウィンドウの下には拡大率を示すバーが表示され、拡大率が100%の場合、バーの色が緑で表示されます。ナビゲーションウィンドウは数秒すると消えます。
画面をスクロール（移動）させる	マルチセレクターを押すか、画像モニターでスライド操作すると見たい部分に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移動します。	

人物の顔へ移動させる	拡大表示中に人物の顔を認識すると、画面右下のナビゲーションウィンドウに白枠が表示されます。サブコマンドダイヤルを回すか、操作ガイドをタッチすると、認識した顔に順次移動します。 操作ガイド 
前後の画像を見る	メインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示範囲で、前後の静止画を表示します（動画を選ぶと、拡大表示を終了します）。画面下部に表示される ◀ ▶ をタッチしても画像を切り換えられます。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しするか、▶ボタンを押すと、再生を終了します。
メニューに移る	MENUボタンを押すと、メニューが表示されます。

画像を削除する

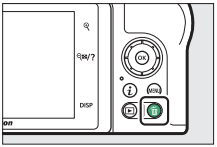
SDカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトされている画像は削除できません。

ボタン操作で画像を削除する

🗑ボタンを押すと、表示中の画像を1コマ削除できます。

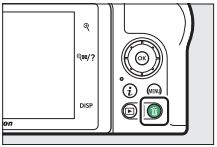
1 マルチセレクターで削除する画像を選んで🗑ボタンを押す

- 削除確認の画面が表示されます。
- ▶ボタンを押すと、画像の削除はキャンセルされます。



2 もう一度🗑ボタンを押す

- 表示中の画像が削除されます。



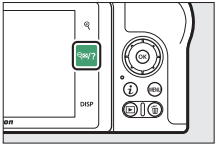
複数の画像をまとめて削除する

再生メニューの［**削除**］では、複数の画像を一括して削除できます。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

選択画像削除	選んだ画像を削除します。
DATE **日付選択**	選んだ日付に撮影した画像を一括で削除します（□168）。
ALL **全画像削除**	［**再生フォルダー設定**］で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。

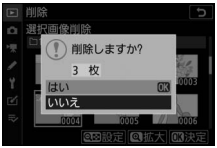
■■ 選択画像削除

1 削除する画像を選ぶ



- マルチセレクターで画像を選び、Q/? ボタンをタッチすると、🗑が表示されて削除設定されます。もう一度Q/? ボタンをタッチすると解除されます。
- 削除する画像全てに設定してください。
- Qボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。

2 画像を削除する



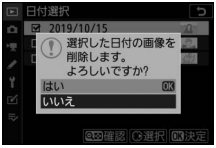
- OKボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- 確認画面で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、選んだ画像が全て削除されます。

■ 日付選択

1 日付を選ぶ

- マルチセレクターで日付を選んで▶を押すと、日付の横にチェック☑が入ります。もう一度▶を押すと解除されます。
- 削除する日付全てにチェックを入れてください。

2 画像を削除する



- OKボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- 確認画面で［**はい**］を選んでOKボタンを押すと、選んだ日付の画像が全て削除されます。

メニューガイド

初期設定一覧

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップの各メニューの初期設定は次の通りです。

再生メニューの初期設定

再生メニュー項目	初期設定
［削除］	—
［再生フォルダー設定］	全てのフォルダー
［再生画面設定］	
［フォーカスポイント］	□
［露出情報］	□
［ハイライト］	□
［RGBヒストグラム］	□
［撮影情報］	□
［統合表示］	□
［画像のみ］	□
［撮影直後の画像確認］	する
［削除後の次再生画像］	後ろのコマ
［縦位置自動回転］	する
［スライドショー］	
［再生画像の種類］	静止画と動画
［インターバル設定］	2秒
［レーティング］	—

静止画撮影メニューの初期設定

静止画撮影メニュー項目	初期設定
［静止画撮影メニューのリセット］	—
［記録フォルダー設定］	
［フォルダーグループ名変更］	NZ_50
［フォルダー番号指定］	100
［ファイル名設定］	DSC
［撮像範囲設定］	DX（24×16）
［画質モード］	NORMAL
［画像サイズ］	サイズL
［RAW記録］	14ビット記録
［ISO感度設定］	
［ISO感度］	SCN、EFCT（⚠以外）：オート P、S、A、M：100
［感度自動制御］	する
［制御上限感度］	51200
［⚡使用時の制御上限感度］	フラッシュなしの設定と同じ
［低速限界設定］	オート
［ホワイトバランス］	オート：雰囲気を残す
［微調整値］	A-B: 0、G-M: 0
［色温度設定］	5000K
［プリセットマニュアル］	d-1
［ピクチャーコントロール］	オート
［カスタムピクチャーコントロール］	—
［色空間］	sRGB
［アクティブD-ライティング］	オート
［長秒時ノイズ低減］	しない
［高感度ノイズ低減］	標準
［ヴィネットコントロール］	標準
［回折補正］	する
［自動ゆがみ補正］	する
［フリッカー低減撮影］	しない
［測光モード］	マルチパターン測光

静止画撮影メニュー項目	初期設定
［フラッシュ発光］	
［発光モード（内蔵）］/［発光モード（外付け）］	TTL調光
［ワイヤレス設定］	しない
［フラッシュモード］	AUTO、、、、、VI、POP、TOY：通常発光オート ：通常発光オート＋スローシャッター ：赤目軽減オート ：発光禁止 P、S、A、M：通常発光
［フラッシュ調光補正］	0.0
［レリーズモード］	、：高速連続撮影 、以外：1コマ撮影
［フォーカスモード］	、：シングルAF 、以外：AFモード自動切り換え
［AFエリアモード］	、、：シングルポイントAF ：ダイナミックAF P、S、A、M、、、、、、、、、、、、、、、、、VI、POP、TOY、、、、：オートエリアAF
［光学手ブレ補正］	（装着するレンズにより異なります）
［オートブラケティング］	
［オートブラケティングのセット］	AEブラケティング
［コマ数］	0F
［補正ステップ］	1.0

静止画撮影メニュー項目	初期設定
［多重露出］※	
［多重露出モード］	しない
［コマ数］	2
［合成モード］	加算平均
［全画像の保存］	する
［確認撮影］	する
［1コマ目の画像（RAW）の指定］	—
［HDR（ハイダイナミックレンジ）］	
［HDRモード］	しない
［露出差］	オート
［スムージング］	標準
［合成前の画像を保存（RAW）］	しない
［インターバルタイマー撮影］	
［開始日時の設定］	即時
［撮影間隔］	1分
［撮影回数×1回のコマ数］	0001×1
［露出平滑化］	しない
［サイレント撮影］	しない
［撮影間隔優先］	しない
［撮影開始時の記録フォルダー］	
［新規フォルダー作成］	□
［ファイル番号リセット］	□
［タイムラプス動画］	
［撮影間隔］	5秒
［撮影時間］	25分
［露出平滑化］	する
［サイレント撮影］	しない
［画像サイズ/フレームレート］	1920×1080 60p
［撮影間隔優先］	しない
［サイレント撮影］	しない

※ 多重露出撮影中は、1コマ目を撮影してから設定したコマ数分撮影し終えるまで静止画撮影メニューはリセットできません。

動画撮影メニューの初期設定

動画撮影メニュー項目	初期設定
［動画撮影メニューのリセット］	—
［ファイル名設定］	DSC
［画像サイズ/フレームレート］	1920×1080 60p
［動画の画質］	標準
［動画記録ファイル形式］	MOV
［ISO感度設定］	
［制御上限感度］	25600
［Mモード時の感度自動制御］	する
［Mモード時のISO感度］	100
［ホワイトバランス］	静止画の設定と同じ
［微調整値］	A-B: 0、G-M: 0
［色温度設定］	5000K
［プリセットマニュアル］	d-1
［ピクチャーコントロール］	静止画の設定と同じ
［カスタムピクチャーコントロール］	—
［アクティブD-ライティング］	しない
［高感度ノイズ低減］	標準
［ヴィネットコントロール］	標準
［回折補正］	する
［自動ゆがみ補正］	する
［フリッカー低減］	オート
［測光モード］	マルチパターン測光
［レリーズモード（フレーム保存）］	🏃、🐕：連続撮影 🏃、🐕以外：1コマ撮影
［フォーカスモード］	AUTO、P、S、A、M、SCN： フルタイムAF EFCT：シングルAF

動画撮影メニュー項目	初期設定
［AFエリアモード］	、、：シングルポイントAF 、：ワイドエリアAF（S） P、S、A、M、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、：オートエリアAF
［光学手ブレ補正］	静止画の設定と同じ
［電子手ブレ補正］	しない
［マイク感度］	オート
［アッテネーター］	無効
［録音帯域］	広帯域
［風切り音低減］	しない

カスタムメニューの初期設定

カスタムメニュー項目			初期設定
［カスタムメニューのリセット］			—
a1	［AF-Cモード時の優先］		フォーカス
a2	［オートエリアAF時の顔と瞳認識］		顔認識と瞳認識する
a3	［AF点数］		全点
a4	［半押しAFレンズ駆動］		する
a5	［フォーカスポイント循環選択］		しない
a6	［フォーカスポイント表示の設定］		
		［マニュアルフォーカス時の表示］	する
		［ダイナミックAF時のアシスト表示］	する
a7	［ローライトAF］		する
a8	［内蔵AF補助光の照射設定］		する
a9	［AF設定時のフォーカスリング操作］		有効
b1	［露出設定ステップ幅］		1/3段
b2	［露出補正簡易設定］		しない
b3	［中央部重点測光範囲］		φ8 mm

カスタムメニュー項目		初期設定
b4	［基準露出レベルの調節］	
	［マルチパターン測光］	0
	［中央部重点測光］	0
	［スポット測光］	0
	［ハイライト重点測光］	0
c1	［シャッターボタンAEロック］	しない
c2	［セルフタイマー］	
	［時間］	10秒
	［撮影コマ数］	1コマ
	［連続撮影間隔］	0.5秒
c3	［パワーオフ時間］	
	［画像の再生］	10秒
	［メニュー表示］	1分
	［撮影直後の画像確認］	4秒
	［半押しタイマー］	30秒
d1	［低速連続撮影速度］	3コマ/秒
d2	［連続撮影コマ数］	100
d3	［露出ディレーモード］	しない
d4	［シャッター方式］	オート
d5	［撮像範囲設定の限定］	
	［DX（24×16）］	☑（固定）
	［1:1（16×16）］	☑
	［16:9（24×14）］	☑
d6	［連番モード］	する
d7	［Lvに撮影設定を反映］	する
d8	［格子線表示］	しない
d9	［ピーキング表示］	
	［ピーキングの検出］	しない
	［ピーキング表示色］	赤
d10	［連続撮影中の表示］	する

カスタムメニュー項目		初期設定
e1	［**フラッシュ撮影同調速度**］	1/200秒
e2	［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］	1/60秒
e3	［**フラッシュ使用時の露出補正**］	全体を補正
e4	［**⚡使用時の感度自動制御**］	被写体と背景
e5	［**BKTの順序**］	［0］→［−］→［+］
f1	［**iメニューのカスタマイズ**］	ピクチャーコントロール ホワイトバランス 画質モード 画像サイズ フラッシュモード 測光モード Wi-Fi通信機能 アクティブD-ライティング レリーズモード 光学手ブレ補正 AFエリアモード フォーカスモード
f2	［**カスタムボタンの機能（撮影）**］	
	［**Fn1ボタン**］	ホワイトバランス
	［**Fn2ボタン**］	フォーカスモード/ AFエリアモード
	［**AE/AFロックボタン**］	AE-L/AF-L
	［**OKボタン**］	フォーカスポイント中央リセット
	［**動画撮影ボタン**］	設定しない
	［**レンズのFnボタン**］	AE-L/AF-L
	［**レンズのFn2ボタン**］	AF-ON
	［**レンズのコントロールリング**］	（装着するレンズにより 異なります）
f3	［**カスタムボタンの機能（再生）**］	
	［**AE/AFロックボタン**］	プロテクト
	［**OKボタン**］	拡大画面との切り換え

カスタムメニュー項目		初期設定
f4	［**コマンドダイヤルの設定**］	
	［**回転方向の変更**］	露出補正の設定時：□、 シャッタースピード/絞り値 設定時：□
	［**メインとサブの入れ換え**］	露出設定：しない、 AF設定：しない
	［**再生/メニュー画面で使用**］	しない
	［**サブコマンドダイヤルで画像送り**］	10コマ
f5	［**ボタンのホールド設定**］	しない
f6	［**インジケーターの＋/－方向**］	
g1	［**z メニューのカスタマイズ**］	ピクチャーコントロール ホワイトバランス 画像サイズ/フレームレート/画質 マイク感度 風切り音低減 測光モード Wi-Fi通信機能 アクティブD-ライティング 電子手ブレ補正 光学手ブレ補正 AFエリアモード フォーカスモード
g2	［**カスタムボタンの機能**］	
	［**Fn1ボタン**］	ホワイトバランス
	［**Fn2ボタン**］	フォーカスモード/ AFエリアモード
	［**AE/AFロックボタン**］	AE-L/AF-L
	［**OKボタン**］	フォーカスポイント中央リセット
	［**レンズのコントロールリング**］	（装着するレンズにより 異なります）
g3	［**AF速度**］	0
	［**作動条件**］	常時有効
g4	［**AF追従感度**］	4

カスタムメニュー項目		初期設定
g5	［ハイライト表示］	
	［表示パターン］	しない
	［ハイライト表示のしきい値］	248

セットアップメニューの初期設定

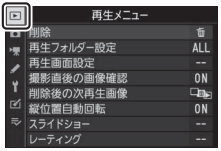
セットアップメニュー項目	初期設定
［カードの初期化（フォーマット）］	—
［ユーザーセッティングの登録］	—
［ユーザーセッティングのリセット］	—
［言語（Language）］	（国や地域により異なります）
［地域と日時］	
［現在地の設定］	（国や地域により異なります）
［日時の設定］	（国や地域により異なります）
［日付の表示順］	（国や地域により異なります）
［夏時間の設定］	しない
［モニターの明るさ］	0
［ファインダーの明るさ］	オート
［ファインダーのカラーカスタマイズ］	A-B: 0、G-M: 0
［インフォ画面の表示設定］	黒文字
［AF微調節］	
［AF微調節（する/しない）］	しない
［個別レンズの登録］	—
［その他レンズの登録］	0
［個別レンズ登録リスト］	—
［イメージダストオフデータ取得］	—
［画像コメント］	
［コメント添付］	□
［著作権情報］	
［著作権情報添付］	□

セットアップメニュー項目	初期設定
［電子音］	
［電子音設定］	有効
［音量］	2
［音の高さ］	低音
［タッチ操作］	
［タッチ操作の設定］	有効
［1コマ送り時のフリック操作］	左→右
［自分撮りモード］	有効
［HDMI］	
［出力解像度］	オート
［出力レンジ］	オート
［位置情報の表示］	—
［機内モード］	無効
［スマートフォンと接続］	
［ペアリング(Bluetooth)］	—
［送信指定(Bluetooth)］	—
［Wi-Fi接続］	—
［電源OFF中の通信］	する
［PCと接続］	
［Wi-Fi通信機能］	無効
［接続設定］	—
［オプション］	—
［MACアドレス］	—
［リモコン（ML-L7）設定］	
［リモコン接続］	無効
［リモコン登録］	—
［リモコン登録の解除］	—
［Fn1ボタンの機能］	カメラの▶ボタンと同じ
［Fn2ボタンの機能］	カメラのMENUボタンと同じ
［認証マークの表示］	—
［パワーセーブ］	有効
［カードなし時レリーズ］	レリーズ禁止

セットアップメニュー項目	初期設定
［カメラの初期化］	—
［ファームウェアバージョン］	—

▶ 再生メニュー：再生で使える便利な機能

メニュー画面で▶タブを選ぶと、再生メニューが表示されます。



再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目	📖
削除	182
再生フォルダー設定	182
再生画面設定	182
撮影直後の画像確認	183

メニュー項目	📖
削除後の次再生画像	183
縦位置自動回転	184
スライドショー	184
レーティング	186

関連ページ

「再生メニューの初期設定」（📖169）

削除

MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

複数の画像を一括して削除できます。

選択画像削除	選んだ画像を削除します。
DATE **日付選択**	選択した日付に撮影した画像を一括で削除します。
ALL **全画像削除**	［**再生フォルダー設定**］で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。

再生フォルダー設定

MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

画像の再生時に表示するフォルダーを設定します。

（フォルダーグループ名）	表示されているフォルダーグループ名のフォルダー内の画像を再生します。フォルダーグループ名は静止画撮影メニュー［**記録フォルダー設定**］の［**フォルダーグループ名変更**］（📖189）で変更できます。
全てのフォルダー	SDカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。
記録中のフォルダー	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生します。

再生画面設定

MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

撮影時に使用したフォーカスポイントを再生画面の1コマ表示モードで表示するかどうかを設定できます。また、1コマ表示時の画像情報表示の種類を追加します。

- 追加したい項目を選び、マルチセレクターの▶を押すとオン☑とオフ☐を切り換えられます。
- OKボタンを押すと、設定を完了します。

撮影直後の画像確認

MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。

する	画像モニターを見ながら撮影している場合は画像モニターに、ファインダーを見ながら撮影している場合はファインダーに撮影画像を表示します。
する（画像モニター表示のみ）	画像モニターを見ながら撮影している場合にのみ画像モニターに撮影画像を表示します。モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合、ファインダーには撮影画像を表示しません。
しない	撮影画像を表示確認するには、▶ボタンを押してください。

削除後の次再生画像

MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

画像を削除した後に表示する画像を設定できます。

後ろのコマ	• 削除した画像の次に撮影した画像を表示します。 • 最後の画像を削除した場合は、1つ前の画像を表示します。
前のコマ	• 削除した画像の前に撮影した画像を表示します。 • 最初の画像を削除した場合は、次に撮影した画像を表示します。
直前コマ送り方向に従う	• 直前のコマ送りが前の画像から後の画像の順番のときは、［**後ろのコマ**］と同じ動作になります。 • 直前のコマ送りが後の画像から前の画像の順番のときは、［**前のコマ**］と同じ動作になります。

縦位置自動回転

MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

［**する**］に設定すると、縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示します。

縦位置自動回転についてのご注意

［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

スライドショー

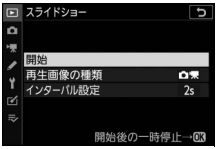
MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します。［**再生フォルダー設定**］（📖182）で設定されたフォルダー内の画像が記録された順番で再生されます。

開始	スライドショーを開始します。
再生画像の種類	• スライドショーで再生する画像の種類を選べます。 • ［**レーティングの選択**］を選ぶと、特定のレーティングの画像のみを再生します。再生したいレーティングを選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。
インターバル設定	1コマの静止画を表示する時間を設定します。

スライドショーを再生する

［**開始**］を選んで㊙ボタンを押すと、スライドショーが始まります。スライドショーの再生中は、次の操作が可能です。



1コマ進む/戻る	マルチセレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
画像情報を切り換える	▲▼を押すと、静止画再生時に画像情報の切り換えができます。画像情報を「画像のみ」に切り換えると、画像だけをスライドショーで再生できます。
一時停止する	㊙ボタンを押すと、スライドショーが一時停止します。［**再開**］を選んで㊙ボタンを押すと、スライドショーが再開します。
動画再生中に音量を調節する	🔍ボタンをタッチすると音量が大きくなり、🔍/?ボタンをタッチすると小さくなります。
再生メニューに戻る	MENUボタンを押すと、スライドショーを中止して、再生メニューに戻ります。
通常再生に戻る	▶ボタンを押すと、スライドショーを中止して、1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードに戻ります。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。

再生が終わると、メニューが表示されます。［**再開**］を選んで㊙ボタンを押すと、スライドショーが再開します。［**終了**］を選んで㊙ボタンを押すと、スライドショーが終了します。

レーティング

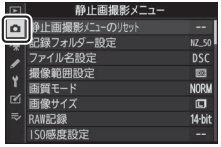
MENUボタン ➜ ▶再生メニュー

画像にレーティングを設定できます。

- マルチセレクターの◀▶でレーティングを設定したい画像を選びます。
- ▲▼を押して★5〜★1、なし、🗑（削除候補）から選びます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。
- OKボタンを押して決定します。

静止画撮影メニュー：静止画撮影で使える便利な機能

メニュー画面で📷タブを選ぶと、静止画撮影メニューが表示されます。



静止画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	📖
静止画撮影メニューのリセット	188
記録フォルダー設定	189
ファイル名設定	192
撮像範囲設定	193
画質モード	193
画像サイズ	194
RAW記録	194
ISO感度設定	195
ホワイトバランス	196
ピクチャーコントロール	201
カスタムピクチャーコントロール	203
色空間	206
アクティブD-ライティング	206
長秒時ノイズ低減	207
高感度ノイズ低減	208
ヴィネットコントロール	208
回折補正	209

メニュー項目	📖
自動ゆがみ補正	209
フリッカー低減撮影	210
測光モード	211
フラッシュ発光	212
フラッシュモード	214
フラッシュ調光補正	214
レリーズモード	214
フォーカスモード	214
AFエリアモード	215
光学手ブレ補正	215
オートブラケティング	216
多重露出	227
HDR（ハイダイナミックレンジ）	234
インターバルタイマー撮影	239
タイムラプス動画	248
サイレント撮影	256

関連ページ

「静止画撮影メニューの初期設定」（📖170）

静止画撮影メニューのリセット

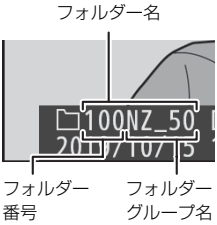
MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

静止画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。

記録フォルダー設定

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

撮影した画像を保存するフォルダーについての設定を行います。



フォルダーグループ名変更

このカメラのフォルダーには、末尾に「NZ_50」というフォルダーグループ名が付きます。［**フォルダーグループ名変更**］では、新規フォルダーを作成する場合の「NZ_50」の5文字を任意に変更できます。

- 既存のフォルダー名は変更できません。
- 文字入力画面で🗑ボタンを長押しすると、フォルダーグループ名を初期設定に戻せます。

✔ 入力画面の操作方法について

ファイル名設定や画像コメントなど、文字を入力するときに表示される画面での操作方法は次の通りです。

- 入力エリアに新しい文字を入力する場合は、キーボードエリアで文字をタッチしてください。マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、OKボタンを押しても入力できます。
- 入力エリアのカーソルを左右に移動するには、入力エリアをタッチするかメインコマンドダイヤルを回します。
- 入力エリアからあふれた文字は削除されます。
- 1文字削除するには、削除する文字の上にカーソルを移動させ、🗑ボタンを押します。
- 内容を確定し、文字入力を終了する場合は、🔍ボタンをタッチします。
- 文字の入力をキャンセルするには、MENUボタンを押します。

フォルダー番号指定

画像を保存するフォルダーを、フォルダー番号を指定して変更します。指定したフォルダーが存在しない場合、新規フォルダーを作成します。

1 ［フォルダー番号指定］を選ぶ

［**フォルダー番号指定**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［フォルダー番号指定］画面が表示されます。

2 フォルダー番号の桁を選び、番号を変更する

- ◀▶を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。
- ▲▼を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

3 フォルダー番号を設定する

- 既存のフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左にフォルダーマーク（🗀、🗄、🗎）が表示されます。🗀または🗄が表示されたフォルダーを選んでOKボタンを押すと、指定したフォルダーを記録フォルダーに設定してメニューに戻ります。
- 既存のフォルダー番号以外の数値を入力してOKボタンを押すと、入力したフォルダー番号で新規フォルダーを作成します。
- 次に撮影する画像は、指定したフォルダーまたは作成した新規フォルダーに保存されます。
- キャンセルしたい場合は、MENUボタンを押してください。

フォルダーマークについて

［フォルダー番号指定］画面では、画像の入っていないフォルダーのときは🗀、フォルダー内のファイル数が5000個またはファイル番号が9999に達しているフォルダーのときは🗎、その他のフォルダーのときは🗄のフォルダーマークが表示されます。🗎が表示されているフォルダーには、画像は記録できません。

既存フォルダーから選択

既存のフォルダーの一覧から選びます。

1 ［既存フォルダーから選択］を選ぶ

［**既存フォルダーから選択**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［既存フォルダーから選択］画面が表示されます。

2 フォルダーを選ぶ

▲▼を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

3 画像を記録するフォルダーを設定する

- OKボタンを押すと、設定が有効になりメニュー画面に戻ります。
- 次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存されます。

✔ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

- フォルダー番号が 999 になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が5000個に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル数が5000個を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
  - ファイル番号が 9999 に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル番号が9999を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
- ただし次の場合、SD カードにまだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。
  - フォルダー番号が999未満のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォルダーとして選んだ場合
  - 動画モード時、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］および［**動画の画質**］の設定を変更した場合

✔ 多数のフォルダーや画像が記録されたSDカードを使用する場合

SDカードを挿入したときや、カメラの電源をONにしたときなどに行われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生ができるまでに時間がかかることがあります。

ファイル名設定

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC_nnnn.xxxというファイル名が付きます。［**ファイル名設定**］では、「DSC」の3文字を任意に変更できます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（189）をご覧ください。

ファイル名について

- このカメラで撮影された画像にはDSC_nnnn.xxxという名称が付きます。nnnnには0001～9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が入ります。
  - NEF：RAWの場合
  - JPG：FINE/NORMAL/BASICの場合
  - MOV：MOV形式の動画の場合
  - MP4：MP4形式の動画の場合
  - NDF：イメージダストオフデータの場合
- 静止画撮影メニュー［**色空間**］で［**Adobe RGB**］を選んだ場合は_DSCnnnn.xxxという名称が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF、JPGになります。

撮像範囲設定

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

このカメラで設定できる撮像範囲は次の通りです。

DX（24×16）	23.5×15.7mmの撮像範囲で画像を記録します（DXフォーマット）。
1:1（16×16）	アスペクト比（縦横比）が1：1の画像を記録します。
16:9（24×14）	アスペクト比（縦横比）が16：9の画像を記録します。

画質モード

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画質モードを設定できます。画質モードの詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「画質モード」（📖126）をご覧ください。

画像サイズ

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画像サイズ（大きさ）を設定できます。画像サイズは撮像範囲との組み合わせで変わります。

撮像範囲	画像サイズ	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）※
DX（24×16）	**L**（5568×3712ピクセル）	約47.1× 31.4 cm
	M（4176×2784ピクセル）	約35.4× 23.6 cm
	S（2784×1856ピクセル）	約23.6× 15.7 cm
1:1（16×16）	**L**（3712×3712ピクセル）	約31.4× 31.4 cm
	M（2784×2784ピクセル）	約23.6× 23.6 cm
	S（1856×1856ピクセル）	約15.7× 15.7 cm
16:9（24×14）	**L**（5568×3128ピクセル）	約47.1× 26.5 cm
	M（4176×2344ピクセル）	約35.4× 19.8 cm
	S（2784×1560ピクセル）	約23.6× 13.2 cm

※ ピクセル数÷出力解像度（dpi）×2.54 cmで計算しています。

RAW記録

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

RAW画像を記録するときの記録ビットモードを設定できます。

12-bit 12ビット記録	RAW画像を12ビットで記録します。
14-bit 14ビット記録	RAW画像を14ビットで記録します。［**12ビット記録**］の場合よりもさらに豊かな階調表現になります。画像のファイルサイズは［**12ビット記録**］よりも大きくなります。

ISO感度設定

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時のISO感度に関する設定ができます。

ISO感度	ISO100～51200、Hi 1、Hi 2から設定できます。撮影モードが**SCN**、**EFCT**（以外）の場合、ISO-A（AUTO）も選べます。
感度自動制御	［**する**］を選んでボタンを押すと、カメラが自動的にISO感度を変更するようになります。［**しない**］を選ぶと、［**ISO感度**］で設定したISO感度に固定されます。［**する**］を選んだ場合、次の項目をそれぞれ設定できます。 • ［**制御上限感度**］:ISO感度が高くなりすぎないように制御上限感度を設定します。 • ［**使用時の制御上限感度**］：別売スピードライトを使用した場合の上限感度を設定します。 • ［**低速限界設定**］：撮影モード**P**または**A**のときの感度自動制御が働き始めるシャッタースピード（1/4000～30秒）を設定できます。また、［**オート**］に設定すると、レンズの焦点距離に応じてシャッタースピードの低速限界をカメラが自動で設定します。例えば、望遠レンズ使用時は手ブレが発生しやすくなるため、低速限界が自動的に高速側に設定され、ブレを軽減できます。 - ［**オート**］を選んでを押すと、補正値の設定画面が表示されます。低速限界をカメラが自動で設定するときに、より高速側または低速側になるように調整できます。高速で移動する被写体を撮影する場合は、補正値を高速側に設定するとブレを軽減できます。 - ISO感度を［**制御上限感度**］まで上げても露出不足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

ホワイトバランス

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

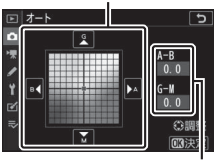
光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定します。ホワイトバランスの詳しい説明については、「カメラの基本機能と設定」の「ホワイトバランス」（□65）および「iメニューを使う」の「ホワイトバランス」（□120）をご覧ください。

メニューからホワイトバランスを微調整する

1 静止画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、設定したいホワイトバランスを選び、微調整画面が表示されるまで▶を押す

- ［**プリセットマニュアル**］での微調整画面の表示方法については、「プリセットマニュアルデータの微調整について」（□200）をご覧ください。

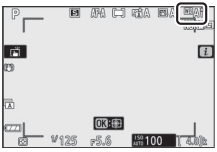
2 微調整値を設定する



- マルチセレクターを操作すると、A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、設定段数を各方向6段階まで微調整できます。
- A（アンバー）、B（ブルー）方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。
- G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は、色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05に相当します。

3 微調整値を決定する

- Ⓚボタンを押して微調整値を決定すると、メニューに戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、アイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



ホワイトバランスの微調整画面について

ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを（電球）に設定してB（ブルー）方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

ミレッド（MIRED）について

色温度の逆数を百万（10^6）倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの違いでも6000ケルビン付近での変化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで光色が大きく変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温度変換フィルターの単位としても利用されます。

例）　色温度の差（K：ケルビン）：　ミレッドの差（M：ミレッド）

4000K－3000K＝1000K　：　83 M

7000K－6000K＝1000K　：　24 M

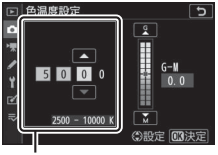
メニューの色温度設定で色温度を指定する

A（アンバー）およびB（ブルー）方向とG（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の両方の色温度を設定できます。

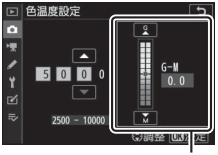
1 静止画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、［色温度設定］を選んでマルチセレクターの▶を押す

2 色温度を設定する

- ◀▶を押してA（アンバー）およびB（ブルー）方向の色温度の桁を選びます。また、G（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の色温度にカーソルを移動できます。
- ▲▼を押して数値を設定します。



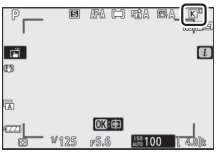
A（アンバー）および
B（ブルー）方向の色温度



G（グリーン）および
M（マゼンタ）方向の色温度

3 色温度を決定する

- OKボタンを押して色温度を決定すると、メニューに戻ります。
- G（グリーン）、M（マゼンタ）方向の色温度を0以外に設定すると、アイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



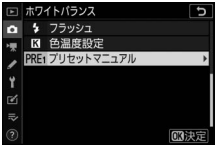
色温度設定についてのご注意

- 光源が蛍光灯のときは、色温度設定を使わず、（蛍光灯）に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

撮影済み画像のホワイトバランスデータをプリセットマニュアルデータとしてコピーする

撮影済みの画像で使用されたホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータとして使用できます。プリセットマニュアルデータを新規に取得する方法については「基準となる白を取得して設定（プリセットマニュアル）」（📖123）をご覧ください。

1 静止画撮影メニュー［ホワイトバランス］で［プリセットマニュアル］を選んでマルチセレクターの▶を押す

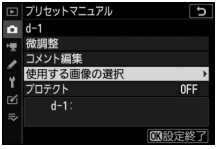


2 コピー先を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を移動してd-1～d-6の中からコピー先を選びます。
- 🔍ボタンをタッチすると設定画面が表示されます。

3［使用する画像の選択］を選ぶ

- ［**使用する画像の選択**］を選んで▶を押すと、SDカード内の画像が一覧表示されます。



4 ホワイトバランスデータをコピーしたい画像を選ぶ

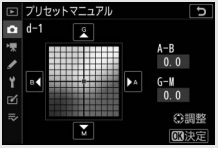
- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。

5 ホワイトバランスデータをコピーする

- ⓚボタンを押すとSDカード内の画像のホワイトバランスデータがコピーされます。
- 選んだ画像に画像コメントがある場合、画像コメントもコピーされます。

✓ プリセットマニュアルデータの微調整について

設定画面で［**微調整**］を選ぶと、微調整画面が表示され、選択中のプリセットマニュアルデータを微調整できます（📖196）。



✓ プリセットマニュアルデータにコメントを入力する

設定画面で［**コメント編集**］を選ぶと、選択中のプリセットマニュアルデータにコメント（最大36文字）を入力できます。

✓ プリセットマニュアルデータを保護する（プロテクト）

設定画面で［**プロテクト**］を選ぶと、選択中のプリセットマニュアルデータにプロテクト（保護）を設定できます。プロテクトの設定画面で［**する**］を選んでⓚボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルデータがプロテクト設定されます。プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータは微調整やコメント編集ができなくなります。

ピクチャーコントロール

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

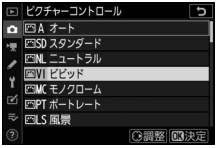
記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。ピクチャーコントロールの詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「ピクチャーコントロール」（116）をあわせてご覧ください。

メニューからピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールの設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。

1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ

ピクチャーコントロールの一覧画面で、マルチセレクターの▶を押します。



2 ピクチャーコントロールを調整する

- ◀▲▼▶で調整する項目（119）を選びます。◀▶を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を設定します。
- 設定できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- ［**クイックシャープ**］を選んで◀▶を押すと、［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］のレベルをバランスよく調整します。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

3 設定する

- OKボタンを押して設定します。

✓ *i* メニューから調整する

- *i* メニューで［**ピクチャーコントロール**］を選んで Ⓚボタンを押すとピクチャーコントロールを選べます。
- ◀▶でピクチャーコントロールを選び、▼を押すと調整画面が表示されます。色味を確認しながら調整できます。

✓［カスタムピクチャーコントロール］について

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューで［**カスタムピクチャーコントロール**］を選ぶと、調整したピクチャーコントロールに名前を付けて登録したり、SDカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに対応するソフトウェアと共用することができます。

カスタムピクチャーコントロール

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

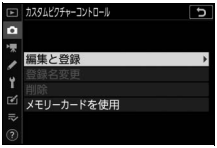
「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

編集と登録	カスタムピクチャーコントロールを登録または編集します。
登録名変更	登録したカスタムピクチャーコントロールの名前を変更します。
削除	登録したカスタムピクチャーコントロールを削除します。
メモリーカードを使用	登録したカスタムピクチャーコントロールをSDカードに保存したり、SDカードに保存したカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録できます。

カスタムピクチャーコントロールの登録方法

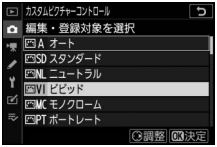
1 ［編集と登録］を選ぶ

- ［**編集と登録**］を選んで▶を押すと、［編集・登録対象を選択］画面が表示されます。



2 元にするピクチャーコントロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールを選んで▶を押すと、編集画面が表示されます。
- 編集を行わない場合はOKボタンを押します。［登録先の選択］画面が表示されます（手順4へ）。

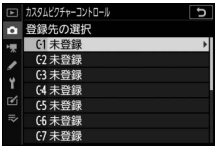


3 ピクチャーコントロールを調整する

- 項目の内容や調整方法は［**ピクチャーコントロール**］と同じです。
- ⓚボタンを押すと［登録先の選択］画面が表示されます。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

4 登録先を選ぶ

- C-1～9（カスタム1～9）の中から登録先を選びます。



5 登録名を編集する

- 登録先を選んで▶を押すと、［登録名変更］画面が表示されます。
- 初期状態では、「（元になったピクチャーコントロール名）-XX」が名前エリアに入力されています。XXには自動的に数値が設定されます。
- 登録名は19文字まで入力できます。文字はカーソル位置に挿入されます。

- 文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。
- 文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（📖189）をご覧ください。
- 🔍ボタンをタッチすると登録名を決定し、カスタムピクチャーコントロールを登録します。
- 登録したカスタムピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。

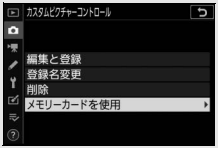
元になったピクチャーコントロールの表示について

カスタムピクチャーコントロールの調整画面では、元になったピクチャーコントロールがアイコンで表示されます。

カスタム1～9で調整できる項目について

カスタム1～9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目が調整できます。

カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールについて



［**カスタムピクチャーコントロール**］の［**メモリーカードを使用**］を使うと、カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーできます。また、SDカード内のカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録したり、削除したりできます。

- ［**カメラに登録**］：SDカードに保存されているカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録（インポート）できます。カメラに登録したいカスタムピクチャーコントロールと登録先（C-1～9（カスタム1～9））を選んで名前を付けると、選んだカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。
- ［**メモリーカードから削除**］：SD カードに保存されているカスタムピクチャーコントロールを選んで削除できます。
- ［**メモリーカードにコピー**］：カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピー（エクスポート）できます。SDカードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先（1～99）を選んでOKボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがSDカードにコピーされます。

色空間

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

記録する画像の色空間を指定します（色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです）。［**sRGB**］色空間は、再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。［**Adobe RGB**］色空間は［**sRGB**］色空間に比べて色域が広いため、商業印刷などの業務用途に適しています。

色空間についてのご注意

他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、このカメラで設定した色空間と異なる設定の色空間に置き換えられることがあります。NX Studioをお使いになると、このカメラで設定した色空間で画像を開くことができます。

Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンターなどの環境が必要です。

アクティブD-ライティング

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。アクティブD-ライティングの詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「アクティブD-ライティング」（📖132）をご覧ください。

長秒時ノイズ低減

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ（むら、輝点）を低減します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を行います。
しない	長秒時ノイズの低減処理を行いません。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、撮影画面に「ノイズ低減処理中」と表示されます。この表示が消えるまで、撮影はできません。長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行わない場合の約2倍になります。

長秒時ノイズ低減についてのご注意

処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

高感度ノイズ低減

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

静止画撮影時に、感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します。

強め	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感度が高くなるほど効果的です。ノイズ低減の効果は、強い順に［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
標準	
弱め	
しない	ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は［**弱め**］に設定したときよりもさらに弱くなります。

ヴィネットコントロール

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

ヴィネットコントロールは、レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。

H 強め	効果が強い順に、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
N 標準	
L 弱め	
しない	周辺光量の低下を補正しません。

ヴィネットコントロールについてのご注意

JPEG画像の場合、使用するレンズ、撮影条件や撮影シーンの組み合わせによっては、周辺光量が過剰に補正されて画像周辺部が明るくなることや補正が不足して暗くなること、画像にノイズ（むら）が発生することがあります。また、調整したピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールを設定している場合も、適切な補正ができない場合があります。試し撮りをして、撮影状況に適した設定を選ぶことをおすすめします。

回折補正

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

［**する**］にすると、レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する、回折現象を補正します。

自動ゆがみ補正

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

［**する**］にすると、カメラが必要だと判断した場合に、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。装着しているレンズによっては設定が［**する**］に固定され、メニューはグレーで表示されて選べません。

フリッカー低減撮影

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

［**する**］にすると、蛍光灯や水銀灯などの光源下で発生する、照明の明滅による明るさのちらつき（フリッカー現象）の影響を低減できます。

- フリッカー現象が発生している場合、撮影した画像の一部に露出ムラが生じたり、連続撮影時に露出や色みにばらつきが生じることがあります。
- ［**する**］に設定した場合、連続撮影時に撮影速度が遅くなったり、撮影間隔が一定ではなくなることがあります。

静止画撮影メニュー［フリッカー低減撮影］について

- フリッカー低減機能を使うと、光源によってシャッターのきれるタイミングが少し遅れることがあります。
- 電源周波数が50Hzの場合は100Hzの点滅周期を、また電源周波数が60Hzの場合は120Hzの点滅周期を検出します。連続撮影中に光源の点滅周期が変化した場合、フリッカーの影響は低減できません。
- 背景が暗い場合や輝度が高い光源が含まれる場合など光源や撮影条件によっては、フリッカーが検出できなかったり、フリッカー低減の効果が得られないことがあります。
- イルミネーションなどの特殊な光源下では、フリッカー低減機能の効果が得られないことがあります。

静止画撮影メニュー［フリッカー低減撮影］の制限について

次の場合など、静止画撮影メニュー［**フリッカー低減撮影**］が無効になります。

- レリーズモードが［**高速連続撮影（拡張）**］の場合
- 静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］が［**する**］の場合
- HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影時
- 露出ディレーモードが有効の場合

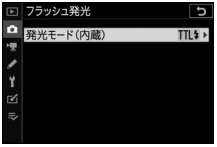
測光モード

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

カメラが被写体の明るさを測るための測光モードを選べます。測光モードの詳しい説明については、「*i* メニューを使う」の「測光モード」（📖130）をご覧ください。

フラッシュ発光

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー



内蔵フラッシュの発光モードや、別売のスピードライトを取り付けた場合の発光モードおよびワイヤレス増灯撮影時の設定を行います。

- 別売スピードライトをカメラに取り付けた場合の撮影については「スピードライトをカメラに装着して撮影する」（📖406）をあわせてご覧ください。
- 別売スピードライトをワイヤレスで制御した場合の撮影については「複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影）」（📖410）をあわせてご覧ください。

発光モード（内蔵）

内蔵フラッシュの発光モードを設定できます。

TTL調光	撮影状況に応じて自動的に発光量が調節されます。
マニュアル発光	［**マニュアル発光量**］で指定した発光量で内蔵フラッシュが発光します。

ヒント：別売スピードライト装着時の発光モードについて
スピードライト装着時は、［**発光モード（内蔵）**］が［**発光モード（外付け）**］と表示されます。

ヒント：測光モードと内蔵フラッシュの調光について

測光モードをマルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光に設定すると、i-TTL-BL調光になり、スポット測光に設定すると、スタンダードi-TTL調光になります。i-TTLモードでは、シャッターボタンを押すと内蔵フラッシュがモニター発光を行って発光量を決定します。

i-TTL-BL調光	主要被写体と背景光のバランスを考慮したBL（バランス）調光を行います。シャッターボタンを押すと、シャッターの開く直前に内蔵フラッシュがモニター発光を行い、被写体と背景光のバランスを考慮した最適な発光量を決定します。
スタンダードi-TTL調光	背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調光します。主要被写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露出補正する場合に適しています。

ワイヤレス設定

複数のスピードライトを同時に発光させて撮影（ワイヤレス増灯撮影）する場合に、制御方法を選びます。カメラにSB-500を装着したときのみ表示されます。

光制御AWL	マスターフラッシュの微小発光で、リモートフラッシュを制御します（📖411）。
しない	リモートフラッシュの制御を行いません。

グループ発光設定

別売スピードライトを使用して増灯撮影をする場合に、各グループの発光設定を行えます（📖410）。

フラッシュモード

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

内蔵フラッシュやカメラに装着した別売スピードライトのフラッシュモードを設定できます。フラッシュモードの詳しい説明については、「内蔵フラッシュ」の「フラッシュモード」（📖108）をご覧ください。

フラッシュ調光補正

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

内蔵フラッシュやカメラに装着した別売スピードライトの発光量を意図的に変えて、背景に対する被写体の明るさを調整できます。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにできます（📖112）。

レリーズモード

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。レリーズモードの詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「レリーズモード」（📖133）をご覧ください。

フォーカスモード

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

ピントの合わせ方を選べます。フォーカスモードの詳しい説明については、「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」（📖50）をご覧ください。

AFエリアモード

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。AFエリアモードの詳しい説明については、「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」（📖52）をご覧ください。

光学手ブレ補正

MENUボタン ➜ 📷静止画撮影メニュー

光学手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。光学手ブレ補正の詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「光学手ブレ補正」（📖137）をご覧ください。

オートブラケティング

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

明るさ（露出）、ホワイトバランス、アクティブD-ライティング（ADL）の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画像の明るさの調整が難しい場合や複数の光源が混在していてホワイトバランスを決めにくい場合の撮影に効果的です。

オートブラケティングのセット	オートブラケティングの種類を設定できます。 • **AEブラケティング**：露出値（AE）を変えながら撮影します。 • **WBブラケティング**：ホワイトバランスの色温度を変えながら撮影します。 • **ADLブラケティング**：アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影します。
コマ数	オートブラケティングで撮影するコマ数を設定できます。
補正ステップ	［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］以外の場合、ブラケティングの変化の度合いを設定できます。
効果の度合い	［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］の場合、アクティブD-ライティングの効果の度合いを設定できます。

AEブラケティングの撮影方法

補正なし

－1段補正

＋1段補正

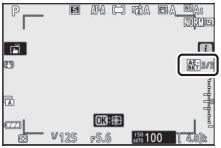
1 ［オートブラケティングのセット］で［AEブラケティング］を選ぶ

設定項目として［**コマ数**］と［**補正ステップ**］が表示されます。

2 撮影コマ数を設定する

- ［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。

- ［**0F**］以外に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



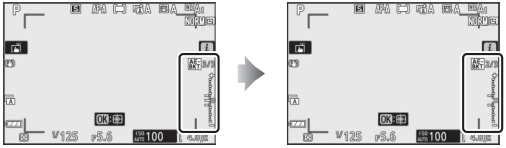
3 補正ステップを設定する

- ［**補正ステップ**］を選んで◀▶を押すと、補正ステップを設定できます。
- 補正ステップは、カスタムメニュー b1［**露出設定ステップ幅**］が［**1/3段**］の場合、0.3（1/3段）、0.7（2/3段）、1.0（1段）、2.0（2段）、3.0（3段）から選ぶことができます。補正ステップを2.0または3.0に設定した場合、撮影コマ数は最大5枚です。手順2で撮影コマ数を7枚または9枚に設定していても、自動的に5枚に変更されます。
- 補正ステップが0.3のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

［コマ数］	オートブラケティングインジケーター	撮影コマ数	撮影順序
0F	−…0…+	0	0
＋3F	−…0…+	3	0/＋0.3/＋0.7
−3F	−…0…+	3	0/−0.7/−0.3
＋2F	−…0…+	2	0/＋0.3
−2F	−…0…+	2	0/−0.3
3F	−…0…+	3	0/−0.3/＋0.3
5F	−…0…+	5	0/−0.7/−0.3/＋0.3/＋0.7
7F	−…0…+	7	0/−1.0/−0.7/−0.3/＋0.3/＋0.7/＋1.0
9F	−…0…+	9	0/−1.3/−1.0/−0.7/−0.3/＋0.3/＋0.7/＋1.0/＋1.3

4 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- シャッタースピードと絞り値は補正された値が表示されます。
- 撮影画面に、オートブラケティングのアイコンと残りの撮影コマ数、オートブラケティングインジケーターが表示されます。撮影するたびに残りのコマ数表示が減少し、オートブラケティングインジケーター上からもコマ数を示す表示が消えます。



撮影コマ数：3
補正ステップ：0.7

1コマ撮影した状態

- AEブラケティングと露出補正を同時に設定すると、両方の補正値が加算されたAEブラケティング撮影が行えます。

■ AEブラケティング撮影をやめるには

［**コマ数**］を［**0F**］に設定してください。

AEブラケティング撮影について

- レリーズモードを連続撮影に設定した場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にSDカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある他のSDカードに交換すれば残りを撮影できます。
- 撮影モードによって補正される内容（シャッタースピード、絞り値）が異なります。

撮影モード	変化する内容
P	シャッタースピードと絞り値※1
S	絞り値※1
A	シャッタースピード※1
M	シャッタースピード※2

※1 静止画撮影メニュー［**ISO 感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**する**］のときは、シャッタースピードや絞り値が制御範囲を超えると自動的にISO感度が変化します。

※2 静止画撮影メニュー［**ISO 感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**する**］のときは、まずISO感度を変化させて基準となる露出を適正露出に近づけてから、オートブラケティングでシャッタースピードを変化させます。

WBブラケティングの撮影方法

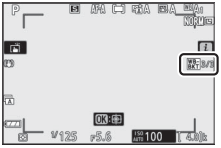
1 ［オートブラケティングのセット］で［WBブラケティング］を選ぶ

設定項目として［**コマ数**］と［**補正ステップ**］が表示されます。

2 撮影コマ数を設定する

- ［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。

- ［**0F**］以外に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



3 補正ステップを設定する

- ［**補正ステップ**］を選んで◀▶を押すと、補正ステップを設定できます。
- 補正ステップは、1（1段）、2（2段）、3（3段）から選ぶことができます。
- ホワイトバランス補正ステップの1段は、約5ミレッドに相当します。A方向に数が大きくなるごとにアンバーが強くなります。B方向に数が大きくなるごとにブルーが強くなります。
- 補正ステップが1のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

［コマ数］	WB ブラケティングインジケーター	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
0F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	0	1段	0
B3F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	3	B方向1段	0/B1/B2
A3F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	3	A方向1段	0/A2/A1
B2F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	2	B方向1段	0/B1
A2F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	2	A方向1段	0/A1
3F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	3	各方向1段	0/A1/B1
5F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	5	各方向1段	0/A2/A1/B1/B2
7F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	7	各方向1段	0/A3/A2/A1/B1/B2/B3
9F	+▮···▮···▮···0···▮···▮···▮···+	9	各方向1段	0/A4/A3/A2/A1/B1/B2/B3/B4

4 撮影する

- シャッターボタンを1回全押しすると、設定した全てのコマ数の画像が記録されます。
- ホワイトバランスを微調整している場合は、微調整値にWBブラケティングの補正ステップが加算されます。
- WBブラケティングの撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、シャッターがきれません。新しいSDカードに交換すると撮影できます。

WBブラケティング撮影をやめるには

［**コマ数**］を［**0F**］に設定してください。

WBブラケティングの制限について

WBブラケティングは、RAWを含む画質モードでは使用できません。

WBブラケティング撮影について

- WB ブラケティングでは、色温度（A（アンバー）から B（ブルー）への横方向）の補正のみを行います。G（グリーン）からM（マゼンタ）への縦方向の補正は行いません。
- 撮影中に電源をOFFにした場合、全てのコマの記録が終了してから電源が切れます。
- セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニュー c2［**セルフタイマー**］の［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、📖221の手順2で設定した撮影コマ数が全て記録されます。

ADLブラケティングの撮影方法

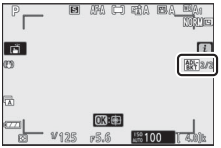
1 ［オートブラケティングのセット］で［ADLブラケティング］を選ぶ

設定項目として［**コマ数**］と［**効果の度合い**］が表示されます。

2 撮影コマ数を設定する

- ［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。

- ［**0F**］以外に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



- 設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように異なります。

撮影コマ数	ブラケティングの内容
2コマ	［**しない**］→（手順3で設定するアクティブD-ライティングの度合い）
3コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］
4コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］→［**強め**］
5コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］→［**強め**］→［**より強め**］

- 撮影コマ数を3コマ以上に設定した場合は、手順4に進んでください。

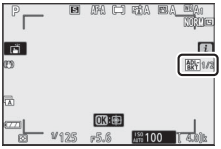
3 アクティブD-ライティングの度合いを設定する

- ［**効果の度合い**］を選んで◀▶を押すと、撮影コマ数が2コマのときの2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いを設定できます。
- アクティブD-ライティングの度合いは、次のようになります。

［効果の度合い］	ブラケティングの内容
OFF L	［**しない**］→［**弱め**］
OFF N	［**しない**］→［**標準**］
OFF H	［**しない**］→［**強め**］
OFF H+	［**しない**］→［**より強め**］
OFF AUTO	［**しない**］→［**オート**］

4 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- 撮影画面に、ADLブラケティングのアイコンと残りの撮影コマ数が表示されます。撮影するたびに残りのコマ数表示が減少します。



ADLブラケティング撮影をやめるには

［**コマ数**］を［**0F**］に設定してください。

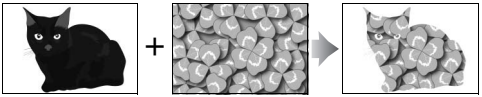
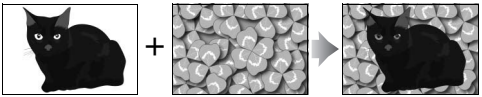
ADLブラケティング撮影について

- レリーズモードを連続撮影に設定した場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にSDカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある他のSDカードに交換すれば残りを撮影できます。

多重露出

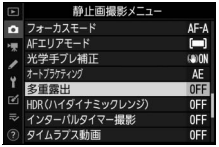
MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

2～10コマのRAWデータを重ねて写し込み、1つの画像として記録します。

多重露出モード	• **する（連続）**：解除するまで連続して多重露出撮影します。多重露出撮影を解除するには、もう一度［**多重露出モード**］を選んで［**しない**］に設定してください。 • **する（1回）**：多重露出撮影を終了すると、多重露出が解除されます。 • **しない**：多重露出撮影を解除します。
コマ数	コマ数（露光回数）を設定します。
合成モード	• **加算**：全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。 • **加算平均**：重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的にゲイン（出力）を補正します。各コマのゲインは、「1÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が「2コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。 • **比較明合成**：撮影した各画像を比較し、最も明るい部分を選択して合成します。  • **比較暗合成**：撮影した各画像を比較し、最も暗い部分を選択して合成します。 
全画像の保存	• **する**：多重露出で撮影した全てのコマを静止画として保存します。 • **しない**：合成した画像のみ保存します。
確認撮影	［**する**］に設定すると、これまでに撮影したコマを合成して撮影画面に半透明で表示します。
1コマ目の画像（RAW）の指定	SDカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選ぶことができます。

多重露出の撮影方法

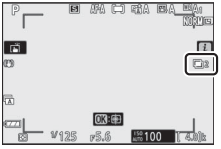
1 静止画撮影メニュー［多重露出］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 ［多重露出モード］を設定する

- ［**多重露出モード**］を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して多重露出モードを設定し、OKボタンを押します。

- ［**する（連続）**］または［**する（1回）**］を選ぶと、多重露出の撮影待機状態になり、撮影画面にアイコンが表示されます。



3 ［コマ数］（露光回数）を設定する

- ［**コマ数**］を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して露光回数を設定し、OKボタンを押します。

4 ［合成モード］を設定する

- ［**合成モード**］を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して項目を選び、OKボタンを押します。

5 ［全画像の保存］を設定する

- ［**全画像の保存**］を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して項目を選び、OKボタンを押します。
- ［**する**］を選ぶと、多重露出で撮影した各コマの画像と合成後の画像を保存します。［**しない**］を選ぶと、合成後の画像のみを保存します。

6 ［確認撮影］を設定する

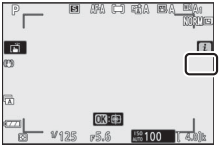
- ［**確認撮影**］を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して項目を選び、OKボタンを押します。
- ［**する**］を選ぶと、これまでに撮影したコマを合成して撮影画面に半透明で表示します。前のコマと構図を合わせやすくなります。

7 ［1コマ目の画像（RAW）の指定］を設定する

- 撮影済みの画像に重ねて写し込みたい場合は、［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］を選んで▶を押し、SDカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選びます。
- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。
- 画像を選択したら、OKボタンを押します。

8 撮影を開始する

- 設定したコマ数を撮影してください。
  手順7の［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］でSDカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選んだ場合は、2コマ目以降を撮影します。
- 設定したコマ数を撮影すると、合成画像を作成して保存します。
- ［**する（連続）**］の場合、［**多重露出モード**］で［**しない**］を選んで多重露出モードを解除するまで、多重露出撮影できます。
- 多重露出モードが［**する（1回）**］の場合、手順3で設定したコマ数分の撮影をすると、多重露出撮影が解除されます。

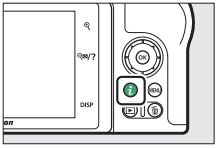


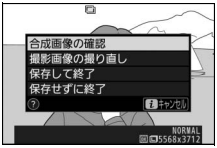
✅ 保存された合成画像について

画質モードをRAWに設定して撮影した場合、画質モード［**FINE**］のJPEG画像が保存されます。

i メニューを使う

多重露出撮影中に▶ボタンを押してから*i*ボタンを押すと、次のメニューが表示されます。項目を選んでOKボタンを押すと、選んだ項目が実行されます。



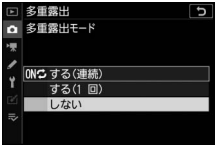


合成画像の確認	それまでに撮影したコマで合成画像を作成してプレビューします。
撮影画像の撮り直し	最後に撮影したコマを撮影し直せます。
保存して終了	それまでに撮影したコマで合成画像を作成し、保存して多重露出撮影を終了します。
保存せずに終了	合成画像を保存しないで多重露出撮影を終了します。［**全画像の保存**］が［**する**］の場合は、撮影した画像を合成せずに1コマずつ保存します。

✓ 多重露出撮影時のご注意

- 多重露出の撮影途中に画像を再生したりメニューを表示して、操作をしないまま40秒程度（メニュー表示時は90秒程度）経過すると、画像が記録されて多重露出が解除されます。撮影間隔が長くなる場合は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**画像の再生**］または［**メニュー表示**］を長めに設定すると、多重露出が解除されるまでの時間が延長されます。
- 多重露出で撮影する場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。
- レリーズモードを連続撮影に設定した場合、多重露出モードが［**する（1回）**］のときは、多重露出で設定された撮影コマ数の撮影後、多重露出撮影を解除します。［**する（連続）**］のときは、多重露出で設定された撮影コマ数で多重露出撮影を繰り返し行えます。
- セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］の［**連続撮影間隔**］で設定した撮影間隔で撮影します。ただし、c2の［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、多重露出で設定した撮影コマ数の撮影が終了した時点で画像が記録されます。
- 多重露出撮影中にカメラの設定を変更すると、多重露出撮影が終了する場合があります。
- 多重露出の撮影設定および撮影データは1コマ目の内容になります。
- 多重露出による撮影中は、SDカードを交換しないでください。
- 多重露出撮影中はSDカードの初期化はできません。また、一部のメニュー項目がグレーで表示されて選択できません。

多重露出撮影を終了するには



設定したコマ数分を撮影する前に多重露出撮影を終了するには、多重露出モードを［**しない**］に設定します。多重露出撮影を中断すると、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画像が記録されます（［**合成モード**］を［**加算平均**］に設定していた場合は、露光回数に合わせてゲイン補正が行われます）。

このほか、次の場合も、多重露出は終了されます。

- 1コマ目撮影後に半押しタイマーがオフになったとき
- 多重露出撮影中に▶ボタンを押してから*i*ボタンを押し、［**保存して終了**］または［**保存せずに終了**］を選んだとき

HDR（ハイダイナミックレンジ）

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。明暗差が著しい撮影シーンなどで、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。

露出暗めで撮影した画像

＋

露出明るめで撮影した画像

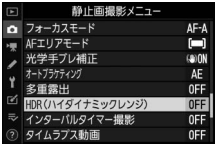
HDRモードで合成された画像

HDRモード	• **する（連続）**：解除するまで連続して HDR 撮影します。HDR モードを解除するには、もう一度［**HDRモード**］を選んで［**しない**］に設定してください。 • **する（1回）**：1回撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。 • **しない**：HDRモードを解除します。
露出差	合成する2コマの露出差を設定できます。露出差が大きいほど、階調の幅が広がります。［**オート**］に設定すると、撮影シーンに応じて自動的に露出差を設定します。
スムージング	合成する2コマの境界のなめらかさを設定できます。
合成前の画像を保存（RAW）	［**する**］に設定すると、合成する2コマの画像をそれぞれRAW形式で保存します。

HDRの撮影方法

HDRモードを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。

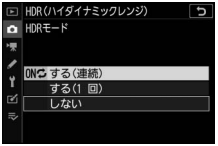
1 静止画撮影メニュー［HDR（ハイダイナミックレンジ）］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 ［HDRモード］を設定する

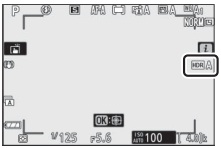
- ［**HDRモード**］を選んで▶を押します。

- ▲▼を押してHDRモードを設定し、OKボタンを押します。



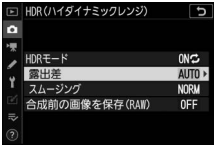
ON する（連続）	解除するまで連続してHDR撮影します。HDRモードを解除するには、もう一度［**HDRモード**］を選んで［**しない**］を選んでください。
する（1回）	撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。
しない	HDRモードを解除します。

- ［**する（連続）**］または［**する（1回）**］を選ぶと、HDRモードの撮影待機状態になり、撮影画面にアイコンが表示されます。



3 ［露出差］を設定する

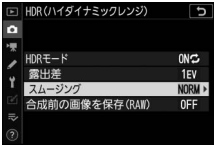
- ［**露出差**］を選んで▶を押します。



- ▲▼を押して露出差を設定し、OKボタンを押します。
- 露出差を大きく設定するほど、輝度範囲のより広い被写体に対応できます。
- 被写体の輝度範囲に適した露出差以上に設定すると、不自然な画像になる場合があります。被写体の輝度範囲に合わせて選んでください。
- ［**オート**］に設定すると、シーンに適した露出差が選ばれます。

4 ［スムージング］を設定する

- ［**スムージング**］を選んで▶を押します。



- ▲▼を押してスムージング（2枚の画像の境界のなめらかさ）の強さを設定し、OKボタンを押します。
- スムージングを強めに設定するほど、画像がよりなめらかに合成されます。

5 ［合成前の画像を保存（RAW）］を設定する

- ［**合成前の画像を保存（RAW）**］を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して項目を選び、OKボタンを押します。
- ［**する**］を選ぶと、合成する2コマの画像をそれぞれRAW形式で保存します。

6 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。
- ［**する（連続）**］の場合、［**HDRモード**］で［**しない**］を選んでHDRモードを解除するまで、HDRモードで撮影できます。
- HDRモードが［**する（1回）**］の場合、1回撮影すると、HDRモードが解除されます。

RAWを含む画質モードについて

RAWを含む画質モードの場合、HDR撮影はできません。

HDR撮影時のご注意

- 撮影した画像の画像周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されない場合があります。撮影時は、三脚をお使いいただくことをおすすめします。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。［**スムージング**］の設定で調整できます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 測光モードが中央部重点測光またはスポット測光のときに［**露出差**］を［**オート**］に設定すると、露出差は［**2 EV**］相当の度合いに固定されます。
- 内蔵フラッシュおよび別売のスピードライトは発光しません。
- レリーズモードを連続撮影に設定した場合にシャッターボタンを全押しし続けても連続撮影しません。
- シャッタースピードは、**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に設定できません。

HDRモードの制限について

次の場合など、HDRモードとは同時に使用できない機能や設定があります。

- オートブラケティング撮影
- 多重露出撮影
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影

インターバルタイマー撮影

MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

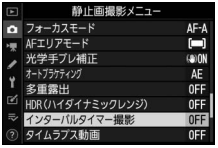
設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。インターバルタイマー撮影をするときは、レリーズモードを以外に設定してください。

撮影開始	インターバルタイマー撮影を開始します。［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は約3秒後に撮影を開始し、［**日時指定**］を選んでいる場合は設定した日時に撮影を開始します。撮影は、設定した撮影間隔とコマ数で繰り返されます。
開始日時の設定	インターバルタイマー撮影の開始方法を設定します。インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は［**即時**］を、開始日時を設定する場合は［**日時指定**］を選びます。
撮影間隔	撮影間隔（時、分、秒）を設定します。
撮影回数×1回のコマ数	撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定します。
露出平滑化	［**する**］を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。 • 輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。 • 撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**しない**］の場合、露出の平滑化は行いません。
サイレント撮影	［**する**］を選ぶと、シャッター音を出さずに撮影できます。
撮影間隔優先	• **する**：撮影モードが**P**または**A**のときに、露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影します。 - フォーカスモードを**MF**または**AF-C**に設定してください。**AF-C**の場合はカスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］を［**レリーズ**］に設定してください。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で［**感度自動制御**］の［**低速限界設定**］を、撮影間隔よりも短くなるように設定してください。 • **しない**：撮影間隔よりも露光時間を優先して撮影します。

撮影開始時の記録フォルダー	項目を選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。 • **新規フォルダー作成**：インターバルタイマー撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。 • **ファイル番号リセット**：新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。

インターバルタイマー撮影の撮影方法

1 静止画撮影メニュー［インターバルタイマー撮影］を選ぶ



- マルチセレクターの▶を押すと、インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。

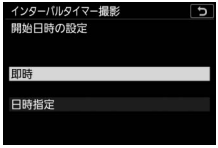
✓ インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニュー［**地域と日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

2 インターバルタイマー撮影の設定をする

- **開始方法を選ぶ**

［**開始日時の設定**］を選んで▶を押す



開始方法を選んでOKボタンを押す

- インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は、［**即時**］を選びます。
- インターバルタイマー撮影の開始日時を設定する場合は、［**日時指定**］を選びます。表示される画面で開始日時を設定してOKボタンを押します。

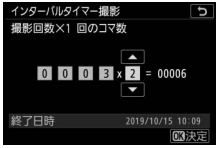
- **撮影間隔（インターバル）を設定する**

［**撮影間隔**］を選んで▶を押す

撮影間隔（時、分、秒）を設定してOKボタンを押す

- **撮影回数と1回のコマ数を設定する**

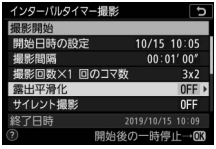
［**撮影回数×1回のコマ数**］を選んで▶を押す



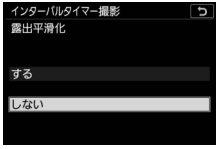
撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定して、OKボタンを押す

- レリーズモードが1コマ撮影の場合、撮影コマ数を2コマ以上に設定すると、レリーズモードを高速連続撮影に設定した場合の速度で撮影します。
- ［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定した場合、1回のコマ数は1コマに固定されます。

- **露出平滑化をするかどうかを選ぶ**



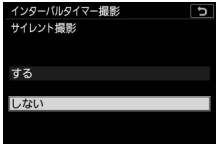
［**露出平滑化**］を選んで▶を押す



露出平滑化をするかどうかを選んでOKボタンを押す

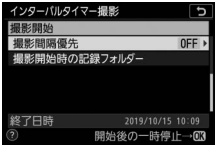
- **サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ**

［**サイレント撮影**］を選んで▶を押す

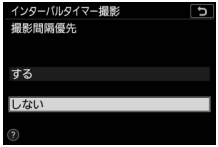


サイレント撮影をするかどうかを選んでOKボタンを押す

- **露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選ぶ**

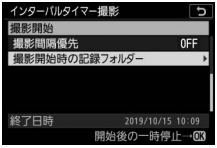


［**撮影間隔優先**］を選んで◎を押す

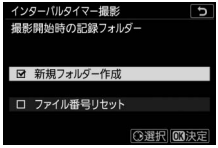


撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選んでOKボタンを押す

- **撮影開始時の記録フォルダーの設定をする**



［**撮影開始時の記録フォルダー**］を選んで◎を押す



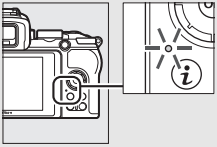
各項目の設定をしてOKボタンを押す

3 ［撮影開始］を選んでOKボタンを押す

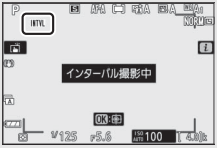
- 手順2の［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は、約3秒後に撮影を開始します。
- 手順2の［**開始日時の設定**］で［**日時指定**］を選んでいる場合は、設定した日時に撮影を開始します。
- 撮影中は撮影画面は消灯します。
- 設定した撮影間隔とコマ数で撮影を繰り返します。

インターバルタイマー撮影の待機状態について

- インターバルタイマー撮影の待機状態では、SD カードアクセスランプが点滅します。



- 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、撮影画面に［**インターバル撮影中**］と表示され、INTVL アイコンが点滅します。



インターバルタイマー撮影を一時停止するには

インターバルタイマー撮影を一時停止するには、次の操作を行います。

- ［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は、撮影待機中に㊙ボタンを押す（ただし、［**撮影間隔**］の設定が短い場合、㊙ ボタンを押しても途中で一時停止できないことがあります。その場合はいったんカメラの電源をOFFにすると一時停止します）
- ［**開始日時の設定**］で［**日時指定**］を選んでいる場合は、撮影待機中に静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**一時停止**］を選び、㊙ボタンを押す

インターバルタイマー撮影を再開するには

インターバルタイマー撮影を再開する手順は次の通りです。

すぐに再開する場合

［**再開**］を選んで㊙ボタンを押す

再開する日時を設定する場合

［開始日時の設定］画面で［**日時指定**］を選び㊐を押す

開始日時を設定して㊙ボタンを押す

［**再開**］を選んで㊙ボタンを押す

インターバルタイマー撮影を途中で終了するには

インターバルタイマー撮影を途中で終了するには、次の操作を行います。

- ［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は、撮影待機中に㊙ボタンを押して一時停止してから、静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**終了**］を選び、㊙ボタンを押す（ただし［**撮影間隔**］の設定が短い場合、㊙ボタンを押しても途中で一時停止できないことがあります。その場合はいったんカメラの電源をOFFにすると一時停止します）
- ［**開始日時の設定**］で［**日時指定**］を選んでいる場合は、撮影待機中に静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**終了**］を選び、㊙ボタンを押す

インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードに1回の撮影コマ数を掛けた値よりも長い時間を設定してください。実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間などが含まれます。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります。
- 撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した［**撮影回数×1回のコマ数**］で撮影できないことがあります。
- 内蔵フラッシュやスピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります。
- 設定した開始日時が現在時刻後1分以内の場合や［**撮影間隔**］が［**00:00'00"**］の場合、シャッタースピードが**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）の場合など、インターバルタイマー撮影を開始または設定できないときには警告メッセージを表示します。
- ［**サイレント撮影**］と［**撮影間隔優先**］の両方が［**する**］に設定され、［**撮影間隔**］が［**00:00'0.5"**］の場合、インターバルタイマー撮影を開始できません。
- SDカードのメモリー残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、実際の撮影は行われません。メモリー残量のあるSDカードに交換し、インターバルタイマー撮影を再開してください（□245）。
- 次の場合はインターバルタイマー撮影が一時停止状態になります。
  - 電源をOFFにして、再度ONにしたとき（電源がOFFの間にバッテリーやSDカードを交換しても、一時停止状態が持続します）
  - レリーズモードを⏲に切り換えたとき
- インターバルタイマー撮影中にカメラの設定を変更すると、インターバルタイマー撮影が終了する場合があります。

撮影コマ数について
レリーズモードに関係なく、1回の撮影ごとに設定された撮影コマ数が撮影されます。

インターバルタイマー撮影待機中の各種設定について
インターバルタイマー撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像の再生を行うことができます。ただし、撮影時刻の数秒前に画面の表示を消灯して、撮影に入ります。

オートブラケティングとインターバルタイマー撮影の組み合わせについて
- インターバルタイマー撮影とオートブラケティングを同時に行う場合は、オートブラケティングを先にセットしてからインターバルタイマーを設定してください。
- インターバルタイマー撮影時にAEブラケティングまたはADLブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとにオートブラケティングで設定したコマ数が撮影されます。
- インターバルタイマー撮影時にWBブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとに1コマ撮影し、オートブラケティングで設定したコマ数が記録されます。
- ［**撮影間隔優先**］で［**する**］を選んだ場合、インターバルタイマー撮影時にオートブラケティングは行えません。

インターバルタイマー撮影の制限について
次の場合など、インターバルタイマー撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。
- 動画撮影
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- 多重露出撮影
- タイムラプス動画撮影

［サイレント撮影］を［する］にした場合の制限について
次の場合など、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると使用できない機能や設定があります。
- ISO感度の Hi 1、Hi 2
- フラッシュ撮影
- 長秒時ノイズ低減
- フリッカー低減

インターバルタイマー撮影の設定について
電源をOFFにしたり、レリーズモードを切り換えたりした場合も、設定した内容は記憶されています。

タイムラプス動画

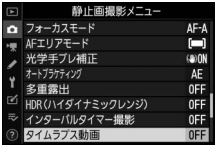
MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。

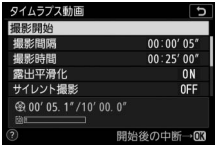
撮影開始	タイムラプス動画撮影を開始します。約3秒後に撮影を開始し、設定した［**撮影時間**］内に設定した［**撮影間隔**］で撮影を繰り返します。
撮影間隔	撮影間隔（分、秒）を設定します。
撮影時間	撮影時間（時、分）を設定します。
露出平滑化	［**する**］を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。 • 輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。 • 撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**しない**］の場合、露出の平滑化は行いません。
サイレント撮影	［**する**］を選ぶと、シャッター音を出さずに撮影できます。
画像サイズ/フレームレート	記録されるタイムラプス動画の画像サイズ（ピクセル）とフレームレートを設定できます。
撮影間隔優先	• **する**：撮影モードが**P**または**A**のときに、露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影します。 - フォーカスモードを**MF**または**AF-C**に設定してください。**AF-C**の場合はカスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］を［**レリーズ**］に設定してください。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で［**感度自動制御**］の［**低速限界設定**］を、撮影間隔よりも短くなるように設定してください。 • **しない**：撮影間隔よりも露光時間を優先して撮影します。

タイムラプス動画の撮影方法

1 静止画撮影メニュー［タイムラプス動画］を選ぶ



- マルチセレクターの▶を押すと、［タイムラプス動画］画面が表示されます。



タイムラプス動画撮影を開始する前に

- タイムラプス動画撮影で撮影される静止画の画角は、動画撮影時と同じになります。構図を確認してから撮影することをおすすめします。構図を確認するには、［タイムラプス動画］画面で設定中に🔍ボタンをタッチします。🔍/?ボタンをタッチすると元の画面に戻ります。
- 試し撮りをして、画像を再生して確認することをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニュー［**地域と日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

2 タイムラプス動画の設定をする

- **撮影間隔（インターバル）を設定する**

［**撮影間隔**］を選んで▶を押す

撮影間隔（分、秒）を設定して㊙ボタンを押す

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードよりも長い時間を設定してください。

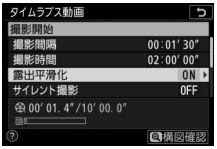
- **撮影時間を設定する**

［**撮影時間**］を選んで▶を押す

撮影時間（時、分）を設定して、㊙ボタンを押す

- 撮影時間は、最長で7時間59分まで設定できます。

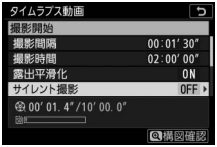
- **露出平滑化をするかどうかを選ぶ**



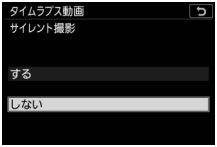
［**露出平滑化**］を選んで▶を押す

露出平滑化をするかどうかを選んで㊙ボタンを押す

• サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ

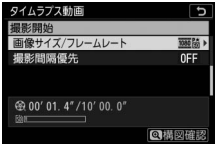


［**サイレント撮影**］を選んで
を押す

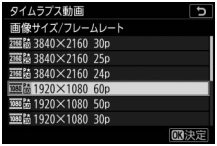


サイレント撮影をするか
どうかを選んでOKボタンを
押す

• 画像サイズ/フレームレートを設定する

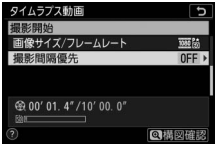


［**画像サイズ/フレームレート**］を選んでを押す

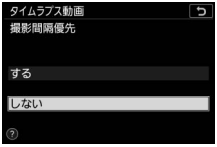


動画の画像サイズ/フレー
ムレートを選んでOKボタン
を押す

• 露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうか選ぶ

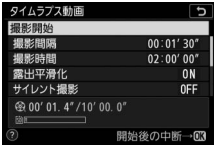


［**撮影間隔優先**］を選んで
を押す



撮影間隔を優先して
撮影するかどうかを選んで
OKボタンを押す

3 ［撮影開始］を選んで㊙ボタンを押す



- 約3秒後に撮影を開始します。
- 撮影中は撮影画面は消灯します。
- 手順2で設定した［**撮影時間**］内に、設定した［**撮影間隔**］で撮影を繰り返します。

タイムラプス動画撮影を途中で終了するには

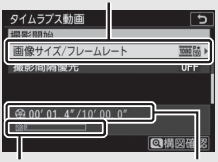
タイムラプス動画撮影を途中で終了するには、撮影待機中に㊙ボタンを押します。あるいは、MENUボタンを押して表示される［**タイムラプス動画**］画面で［**終了**］を選び、㊙ボタンを押します。ただし［**撮影間隔**］の設定が短い場合、㊙ボタンを押しても途中で終了できなかったり、MENUボタンを押しても［**タイムラプス動画**］画面が表示されないことがあります。その場合はカメラの電源をOFFにして終了してください。

- タイムラプス動画撮影を終了すると、終了時点までの動画がSDカードに記録され、通常の撮影待機状態に戻ります。

タイムラプス動画の記録コマ数（撮影回数）と動画の長さについて

- 手順2で設定する撮影時間を撮影間隔で割った数（小数点以下切り上げ）に1を足した数が、記録コマ数（撮影回数）になります。
- タイムラプス動画で記録される動画の長さは、上記の記録コマ数÷［**画像サイズ/フレームレート**］で選んだフレームレートで計算できます（例えば、［**画像サイズ/フレームレート**］が［**1920×1080 24p**］のときに記録コマ数が48コマの場合、記録される動画の長さは約2秒になります）。
- 最長20分の動画を記録できます。

動画の画像サイズ/フレームレート



SDカード使用状況

記録時間/最長記録時間

撮影直後の画像確認について

タイムラプス動画撮影中は、▶ボタンで画像を表示することはできません。ただし、再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］または［**する（画像モニター表示のみ）**］にすると、撮影のたびに自動的に画像が数秒間表示されます（表示だけを行い、通常の再生時の操作は無効になります。また、撮影間隔が短い場合は表示されないことがあります）。

✅ タイムラプス動画撮影についてのご注意

- タイムラプス動画には音声は記録されません。
- 実際のタイムラプス動画撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- 次のような場合には、タイムラプス動画撮影を開始または設定できません。
  - 設定した［**撮影時間**］が［**撮影間隔**］より短い場合
  - ［**撮影時間**］または［**撮影間隔**］が［**00:00'00"**］の場合
  - SDカードのメモリー残量がない場合
- タイムラプス動画撮影中は、▶ボタンを押しても画像の再生はできません。MENUボタンを押すと［タイムラプス動画］画面が表示され、その他のメニューは選択できません。
- タイムラプス動画を撮影する場合、ホワイトバランスをWB A（オート）または☀A（自然光オート）以外に設定すると色みを固定することができます。
- タイムラプス動画を撮影する場合、設定に関わらず［**アクティブD-ライティング**］は［**しない**］に固定されます。
- タイムラプス動画撮影中は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
- タイムラプス動画撮影中にカメラの設定を変更したり、カメラの操作を行ったり、HDMIケーブルを接続すると、撮影が終了することがあります。その場合はその時点までの動画を記録してタイムラプス動画撮影を終了します。
- 次の場合は動画を記録せずに、タイムラプス動画撮影が終了します（タイムラプス動画撮影終了時の電子音は鳴りません）。
  - バッテリーを取り外したとき
  - SDカードを取り出したとき

✅ タイムラプス動画撮影の待機状態について

タイムラプス動画撮影の待機状態では、SDカードアクセスランプが点灯します。

✅ タイムラプス動画撮影待機中の各種設定について

タイムラプス動画撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作を行うことができます。ただし、撮影時刻の約2秒前に画像モニターを消灯して、撮影に入ります。

タイムラプス動画の制限について

次の場合など、タイムラプス動画とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 動画撮影
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
- セルフタイマー撮影
- オートブラケティング撮影
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- 多重露出撮影
- インターバルタイマー撮影

［サイレント撮影］を［する］にした場合の制限について

次の場合など、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると使用できない機能や設定があります。

- ISO感度の Hi 1、Hi 2
- フラッシュ撮影
- 長秒時ノイズ低減
- フリッカー低減

サイレント撮影

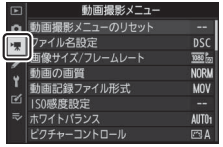
MENUボタン ➜ 静止画撮影メニュー

シャッター音を出さずに撮影できます（□69）。

する	シャッターをきるときの振動をなくして撮影できます。風景や静物など動きの少ない被写体を撮影する場合に適しています。撮影時は、三脚をお使いいただくことをおすすめします。 • フラッシュ撮影はできません。 • 長秒時ノイズ低減は無効になります。 • カスタムメニュー d4［**シャッター方式**］の設定にかかわらず、電子シャッターを使用します。 • セットアップメニュー［**電子音**］の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。 • レリーズモードが連続撮影の場合、連続撮影速度が変更されます（□134）。
しない	サイレント撮影を行いません。

動画撮影メニュー：
動画撮影で使える便利な機能

メニュー画面で動画タブを選ぶと、動画撮影メニューが表示されます。



動画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	📖
動画撮影メニューのリセット	258
ファイル名設定	258
画像サイズ/フレームレート	258
動画の画質	258
動画記録ファイル形式	258
ISO感度設定	259
ホワイトバランス	260
ピクチャーコントロール	260
カスタムピクチャーコントロール	260
アクティブD-ライティング	260
高感度ノイズ低減	261
ヴィネットコントロール	261
回折補正	261

メニュー項目	📖
自動ゆがみ補正	261
フリッカー低減	262
測光モード	262
レリーズモード（フレーム保存）	263
フォーカスモード	263
AFエリアモード	263
光学手ブレ補正	263
電子手ブレ補正	264
マイク感度	264
アッテネーター	264
録音帯域	265
風切り音低減	265

関連ページ

「動画撮影メニューの初期設定」（📖173）

動画撮影メニューのリセット

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

［**する**］を選んでOKボタンを押すと、動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します（📖173）。

ファイル名設定

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

このカメラで撮影した動画のファイル名DSC_nnnn.movの「DSC」の3文字を任意に変更できます（📖192）。

画像サイズ/フレームレート

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画を撮影するときの画像サイズ（ピクセル）とフレームレートを設定します。画像サイズ/フレームレートの詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「画像サイズ/フレームレート/画質」（📖140）をご覧ください。

動画の画質

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画の画質を高画質と標準から選べます。

動画記録ファイル形式

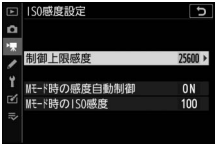
MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画のファイル形式をMOVとMP4から選べます。

ISO感度設定

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時のISO感度に関する設定ができます。



制御上限感度	• 感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、上限感度（200～25600）を設定できます。 • 撮影モードが**P**、**S**、または**A**の場合と、撮影モード**M**で［**Mモード時の感度自動制御**］が［**する**］の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。
Mモード時の感度自動制御	• **する**：撮影モードが**M**のときもカメラが自動的に動画モード時のISO感度を変更します。 • **しない**：撮影モードが**M**のときに、［**Mモード時のISO感度**］で設定したISO感度に固定されます。 • 撮影モードが**M**以外の場合は常に感度自動制御が動作します。
Mモード時のISO感度	撮影モード**M**での動画モード時のISO感度（100～25600）を設定できます。

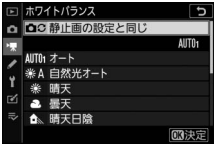
感度自動制御についてのご注意

- ISO感度が上がると、被写体によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生することがあります。
- ISO感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
- 上記の現象が発生する場合は、［**ISO 感度設定**］の［**制御上限感度**］を下げて撮影してください。

ホワイトバランス

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

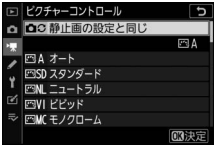
動画モード時のホワイトバランスを設定できます。[**静止画の設定と同じ**] を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（📖196）。



ピクチャーコントロール

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時のピクチャーコントロールを設定できます。[**静止画の設定と同じ**] を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（📖201）。



カスタムピクチャーコントロール

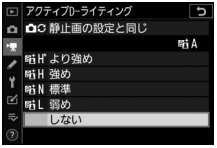
MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます（📖203）。

アクティブD-ライティング

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時のアクティブD-ライティングを設定できます。[**静止画の設定と同じ**] を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（📖132、145）。



高感度ノイズ低減

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画撮影時に、ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します（📖208）。

ヴィネットコントロール

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時のヴィネットコントロールを設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（📖208）。

回折補正

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時の回折補正を設定できます（📖209）。

自動ゆがみ補正

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時の自動ゆがみ補正を設定できます（📖209）。

フリッカー低減

MENUボタン ➜ 🎥動画撮影メニュー

動画撮影中に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で画面に生じるちらつきや横縞（フリッカー現象）を低減できます。通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ［**オート**］をお使いください。［**オート**］にしていても、フリッカー低減効果が得られない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じて、［**50 Hz**］と［**60 Hz**］から選びます。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では［**50 Hz**］を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では［**60 Hz**］を選んでください。

動画撮影メニュー［フリッカー低減］についてのご注意

- ［**オート**］に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- 撮影モードが **M** 以外の場合、フリッカー低減効果が得られないことがあります。そのような場合は、撮影モードを**M**に設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。
  - 電源周波数が50Hzの場合：1/100秒、1/50秒、1/25秒
  - 電源周波数が60Hzの場合：1/125秒、1/60秒、1/30秒

測光モード

MENUボタン ➜ 🎥動画撮影メニュー

動画モード時の測光モードを設定できます。動画撮影メニューでは［**スポット測光**］は選べません（📖130）。

レリーズモード（フレーム保存）

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード中の静止画撮影（📖45）のレリーズモードを設定できます。

1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大40コマです。
連続撮影	• シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影します。 • 連続撮影速度は動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定しているフレームレートにより異なります。 • 連続撮影中は撮影画面に連続撮影可能時間が表示されます。 • 動画撮影中は1コマ撮影になります。

フォーカスモード

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時のフォーカスモードを設定できます（📖50）。

AFエリアモード

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時のAFエリアモードを設定できます（📖52）。

光学手ブレ補正

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画モード時の光学手ブレ補正を設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（📖137）。

電子手ブレ補正

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

マイク感度

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。

オート	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
マニュアル	マイク感度を手動調整します。[1]～[20]の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。
録音しない	音声は記録しません。

音声が記録されていない動画の表示について

[**マイク感度**] を [**録音しない**] にして撮影した動画の場合、(音声なしマーク) が表示されます。

アッテネーター

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

[**有効**] を選ぶと、大音量の環境下で動画撮影をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。

録音帯域

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します。

WIDE　広帯域	低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの録音など、幅広いシーンに適しています。
VOICE　音声帯域	主に人の声を録音したいときに適しています。

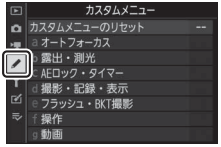
風切り音低減

MENUボタン ➜ 動画撮影メニュー

動画撮影時に風切り音低減機能を使用するかどうかを設定できます。風切り音低減の詳しい説明については、「*i* メニューを使う」の「風切り音低減」（📖144）をご覧ください。

カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定

メニュー画面で✎タブを選ぶと、カスタムメニューが表示されます。



カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更できます。カスタムメニュー画面は、2つの階層で構成されています。

＜第1階層＞

＜第2階層＞

カスタムメニューの項目は次の通りです。※1

メニュー項目			📖
カスタムメニューのリセット			268
a オートフォーカス			
	a1	AF-Cモード時の優先	269
	a2	オートエリアAF時の顔と瞳認識	269
	a3	AF点数	270
	a4	半押しAFレンズ駆動	270
	a5	フォーカスポイント循環選択	270
	a6	フォーカスポイント表示の設定	271
	a7	ローライトAF	271
	a8	内蔵AF補助光の照射設定	272
	a9	AF設定時のフォーカスリング操作※2	273
b 露出・測光			
	b1	露出設定ステップ幅	274
	b2	露出補正簡易設定	274
	b3	中央部重点測光範囲	274
	b4	基準露出レベルの調節	275
c AEロック・タイマー			
	c1	シャッターボタンAEロック	276
	c2	セルフタイマー	276
	c3	パワーオフ時間	277
d 撮影・記録・表示			
	d1	低速連続撮影速度	278
	d2	連続撮影コマ数	278
	d3	露出ディレーモード	278
	d4	シャッター方式	279
	d5	撮像範囲設定の限定	279

メニュー項目			📖
d 撮影・記録・表示			
	d6	連番モード	280
	d7	Lvに撮影設定を反映	281
	d8	格子線表示	281
	d9	ピーキング表示	282
	d10	連続撮影中の表示	282
e フラッシュ・BKT撮影			
	e1	フラッシュ撮影同調速度	283
	e2	フラッシュ時シャッタースピード制限	284
	e3	フラッシュ使用時の露出補正	284
	e4	⚡使用時の感度自動制御	284
	e5	BKTの順序	285
f 操作			
	f1	?メニューのカスタマイズ	286
	f2	カスタムボタンの機能（撮影）	287
	f3	カスタムボタンの機能（再生）	293
	f4	コマンドダイヤルの設定	295
	f5	ボタンのホールド設定	298
	f6	インジケーターの＋/－方向	298
g 動画			
	g1	?メニューのカスタマイズ	299
	g2	カスタムボタンの機能	300
	g3	AF速度	305
	g4	AF追従感度	305
	g5	ハイライト表示	306

※1 設定内容が初期設定と異なる場合、変更されたメニュー項目の左上にアスタリスク（✱）を表示します。

※2 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

関連ページ

「カスタムメニューの初期設定」（📖174）

カスタムメニューのリセット

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

カスタムメニューをリセットして初期設定に戻します。

a：オートフォーカス

a1：AF-Cモード時の優先

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-C**のときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

レリーズ	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
フォーカス	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッターをきることができません。

フォーカスモードが**AF-C**のときは、［**AF-Cモード時の優先**］の設定にかかわらずにフォーカスロックは行われず、シャッターをきるまでピント合わせの動作を続けます。

a2：オートエリアAF時の顔と瞳認識

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

AFエリアモードがオートエリアAFの場合、カメラが人物または犬や猫の顔や瞳を認識してピントを合わせるかどうかを選べます。

顔認識と瞳認識する	カメラが人物の顔を認識した場合、自動的に左右どちらかの瞳にピントを合わせます。瞳を認識できない場合は顔にピントを合わせます。
顔認識する	人物の顔を認識した場合、人物の顔にピントを合わせます。
動物認識する	カメラが犬や猫の顔を認識した場合、自動的に左右どちらかの瞳にピントを合わせます。瞳を認識できない場合は顔にピントを合わせます。
しない	顔認識および瞳認識を行いません。

a3：AF点数

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

AFエリアモードがオートエリアAF以外の場合、手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

ALL 全点	全てのフォーカスポイントを選べます。選べるフォーカスポイントの数はAFエリアモードにより異なります。
1/2 スキップ	［**全点**］に比べて約1/4のフォーカスポイントから選べます。フォーカスポイントの位置をすばやく動かせます。［**ワイドエリアAF（L）**］の場合は、選べるフォーカスポイントの数は変化しません。

a4：半押しAFレンズ駆動

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときに、ピント合わせをするかどうかを設定できます。［**しない**］を選んだ場合は、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせません。ピントを合わせるには、カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］でAF-ON機能を割り当てたボタンを押してください。

a5：フォーカスポイント循環選択

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循環するように設定できます。［**する**］に設定すると、たとえば画面の右端のフォーカスポイントを選んでいるときにマルチセレクターの▶を押すと、フォーカスポイントが左端に移動します。

a6：フォーカスポイント表示の設定

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

フォーカスポイントの表示に関する設定ができます。

マニュアルフォーカス時の表示

する	マニュアルフォーカスでの撮影時にフォーカスポイントが常に点灯します。
しない	フォーカスポイントを移動したときのみ一瞬点灯します。

ダイナミックAFモード時のアシスト表示

ダイナミックAFモード時に、自分で選んだフォーカスポイントの周辺のフォーカスポイントを表示するかどうかを設定できます。

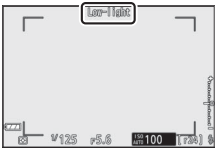
する	周辺のフォーカスポイントも同時に表示します。
しない	自分で選んだフォーカスポイントのみ表示します。

a7：ローライトAF

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

［**する**］に設定すると、フォーカスモードが**AF-S**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合に、暗い場所でもピントが合いやすくなります。

- 静止画モードの場合のみ有効になります。
- 撮影モードが**AUTO**、**SCN**、**EFCT**の場合は［**する**］に固定されます。
- ［**する**］に設定している場合、ピント合わせの動作に時間がかかることがあります。
- ローライトAF実行中は撮影画面に「Low-light」が表示されます。また、撮影画面の画面がコマ落ちしたような表示になることがあります。



a8：内蔵AF補助光の照射設定

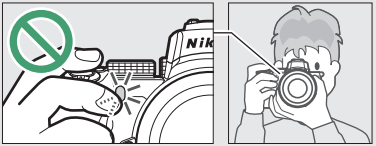
MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときに被写体が暗い場合、ピント合わせのためにAF補助光を自動的に照射するかどうかを設定できます。

する	静止画モードでフォーカスモードを**AF-S**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合に、被写体が暗いとAF補助光を自動的に照射します。
しない	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでのピント合わせはできなくなる場合があります。

☑ AF補助光について

- AF補助光が届く距離範囲の目安は約1～3mです。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。
- AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。



a9：AF設定時のフォーカスリング操作

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

レンズのフォーカスリングの操作を有効にするかどうかを設定できます。

有効	オートフォーカス時にレンズのフォーカスリングを回すとマニュアルフォーカスに切り替わります（M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード））。オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。
無効	フォーカスリングを回しても、オートフォーカスからマニュアルフォーカスに切り替わりません。

b：露出・測光

b1：露出設定ステップ幅

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

シャッタースピード、絞り値、ISO感度、オートブラケティング補正値、露出補正値、およびフラッシュ調光補正量のステップ幅を設定できます。

b2：露出補正簡易設定

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

☒ボタンを使用せずに、コマンドダイヤルだけで露出補正できるように設定を変更できます。

する（自動リセット）	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。コマンドダイヤルだけを使って設定した露出補正値は、電源をOFFにするか、半押しタイマーがオフになると、リセットされます。
する	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。電源をOFFにしても、半押しタイマーがオフになっても、設定した露出補正値はリセットされません。
しない	☒ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して露出補正を設定します。

- 撮影モード**P**、**S**、**A**の場合に有効です。その他の撮影モードの場合、露出補正簡易設定は機能しません。
- 露出補正値を設定できるコマンドダイヤルは、撮影モードによって異なります。

b3：中央部重点測光範囲

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

中央部重点測光は、撮影画面の中央部を重点的に測光して、露出値を決定します。中央部重点測光の範囲を変更できます。

b4：基準露出レベルの調節

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、測光モードごとに明るめ（＋側）または暗め（－側）に調節できます。1/6段ステップ幅で±1段の範囲で設定できます。初期設定は0です。

基準露出レベルの調節について

カスタムメニュー b4［**基準露出レベルの調節**］を0以外に設定しても、☒マークは表示されませんのでご注意ください。設定した基準露出レベルは、カスタムメニュー b4の画面でのみ確認できます。

c：AEロック・タイマー

c1：シャッターボタンAEロック

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

シャッターボタンを押してAEロックを行うかどうかを設定できます。

ON する（半押し）	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行います。
ON する（連続撮影時）	シャッターボタンを半押ししたときにはAEロックを行わず、全押ししたときにAEロックを行います。
しない	シャッターボタンを押してもAEロックを行いません。

c2：セルフタイマー

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

セルフタイマー撮影時にシャッターボタンを全押ししてからシャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

時間	シャッターがきれるまでの時間を選べます。
撮影コマ数	マルチセレクターの⊕⊖を押して、1コマ～9コマの間で設定できます。
連続撮影間隔	［**撮影コマ数**］を2コマ以上に設定した場合に連続撮影するときの撮影間隔を選べます。

c3：パワーオフ時間

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

画像モニターやファインダーが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。

- ［**画像の再生**］、［**メニュー表示**］、［**撮影直後の画像確認**］、［**半押しタイマー**］で個別に設定できます。
- ［**半押しタイマー**］では、シャッターボタンを半押ししてからどれくらいの間カメラを操作しないと画像モニターとファインダーが消灯するかを設定できます。画像モニターとファインダーが消灯する数秒前は、表示が暗くなります。
- セルフタイマー撮影時は、各設定時間が1分延長されます。
- 表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

d：撮影・記録・表示

d1：低速連続撮影速度

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

低速連続撮影時の連続撮影速度を、［**4コマ/秒**］～［**1コマ/秒**］の間で設定できます。

d2：連続撮影コマ数

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

連続撮影を最大何コマまで継続できるか1コマ～100コマの間で設定します。

- 撮影モードが**S**または**M**のときにシャッタースピードが1秒または1秒よりも遅い場合は、連続撮影のコマ数は制限されません。

✅ 連続撮影コマ数について

カスタムメニューd2［**連続撮影コマ数**］で設定するコマ数は、連続撮影を継続できる最大のコマ数です。ただし、連続撮影速度を維持したまま連続撮影できるコマ数には、画質モードなどによって上限があります。このコマ数を超えると「**r00**」と表示され、連続撮影速度は低下します。

d3：露出ディレーモード

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

顕微鏡撮影時など、カメラブレを最小限に抑えたい場合に、シャッターボタンを押してから約0.2～3秒後にシャッターがきれるように変更できます。

d4：シャッター方式

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

静止画を撮影するシャッター方式を設定できます。

オート	シャッタースピードに応じて、カメラが自動でシャッター方式を切り換えます。シャッタースピードが低速になった場合、電子先幕シャッターに切り換わり、カメラブレを低減します。
メカニカルシャッター	常にメカニカルシャッターで撮影します。
電子先幕シャッター	常に電子先幕シャッターで撮影します。

メカニカルシャッターについて

お使いのレンズによっては［**メカニカルシャッター**］を設定できません。

電子先幕シャッターについて

［**電子先幕シャッター**］に設定している場合は、シャッタースピードの上限が1/2000秒に制限されます。

d5：撮像範囲設定の限定

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

*i*メニューやカスタムボタンに撮像範囲を割り当ててコマンドダイヤルを回して撮像範囲を設定する場合に、選べる撮像範囲を限定します。

- 項目を選んでマルチセレクターの ▶ を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。チェックボックスをオン☑にした項目のみ、コマンドダイヤルで選べるようになります。
- OKボタンを押すと、設定を完了します。

d6：連番モード

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

する	SDカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、連番でファイル番号を付けます。複数のカードを使って撮影してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管理しやすくなります。
しない	SDカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイル番号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内にすでに画像ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が付きます。連番モードを［**する**］から［**しない**］に変更しても、カメラはファイル番号を記憶しています。次に［**する**］に切り換えたときは、以前記憶した番号からの連番でファイル名が付きます。
リセット	［**する**］に設定したときのファイル番号をリセットします。リセットした後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダーに画像ファイルがない場合は0001から連番で画像が記録されます。すでにファイルがある場合には、そのファイル番号の次の番号からファイル番号が付きます。

✓ ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、ファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が 999 になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が5000個に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル数が5000個を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
  - ファイル番号が 9999 に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル番号が9999を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）

  この場合は、カスタムメニュー d6［**連番モード**］を［**リセット**］した後、SDカードを初期化するか、交換してください。

フォルダーの自動作成について

- 記録フォルダー内に5000個のファイルが記録された後またはファイル番号が9999となった後に撮影すると、フォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 自動で作成されるフォルダーの番号は、使用中のフォルダー番号+1になります。ただし、既存フォルダーの番号と重複する場合、重複しない数字の中で最も若い数字になります。

d7：Lvに撮影設定を反映

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

撮影の設定（色味や明るさ）を、ファインダーや画像モニターの撮影画面（ライブビュー）に反映させるかどうかを設定できます。動画モードの場合、設定にかかわらず常に撮影の設定を反映します。

する	ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更すると、撮影画面の表示に反映されます。
しない	• ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更しても、撮影画面の表示には反映されません。撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、長時間の撮影に適しています。 • 撮影画面に VIEW が表示されます。

d8：格子線表示

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

撮影画面内に構図用格子線を表示するかどうかを設定できます。

d9：ピーキング表示

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

マニュアルフォーカスで撮影するときに、ピントが合っている部分の輪郭を色付きで表示するかどうかを設定できます。色の変更も可能です。

ピーキングの検出

ピーキングの感度を［**3（高感度）**］、［**2（標準）**］、［**1（低感度）**］、または［**しない**］から選びます。感度を高くするとピントが合っていると判断される範囲が広くなり、感度を低くすると範囲が狭くなります。

ピーキング表示色

ピーキング表示で強調する部分の色を変更できます。

d10：連続撮影中の表示

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

［**しない**］に設定すると、連続撮影中は撮影画面に何も表示されなくなります。

e：フラッシュ・BKT撮影

e1：フラッシュ撮影同調速度

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時の同調速度を設定できます。

1/200秒（オートFP）	別売スピードライトをカメラに取り付けた場合のみ有効になります。フラッシュ撮影時の同調する最高速度を1/200秒に設定しますが、オートFPハイスピードシンクロ対応スピードライト使用時は1/200秒より速いシャッタースピードになると自動的にFP発光に切り替わります。 • 撮影モードが**P**または**A**で、撮影画面のシャッタースピードが1/200秒を示す場合、実際に制御されるシャッタースピードが1/200秒よりわずかでも高速側であれば、FP発光に切り替わります。オートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードが1/4000秒まで制御されます。 • 撮影モードが**S**または**M**でオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードを1/4000秒まで設定できます。
1/200秒	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を、1/200～1/60秒の範囲で設定できます。
1/160秒	
1/125秒	
1/100秒	
1/80秒	
1/60秒	

✓ FP発光について

別売スピードライト使用時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できます。［**1/200秒（オートFP）**］に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。

e2：フラッシュ時シャッタースピード制限

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

撮影モードが**P**または**A**の場合のフラッシュ撮影時のシャッタースピードの低速側の制限を設定できます。

スローシンクロモード、後幕シンクロモード、赤目軽減スローシンクロモード時や撮影モードが**S**、**M**の場合には、カスタムメニュー e2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］の設定にかかわらず、シャッタースピードの低速側の制限は30秒になります。

e3：フラッシュ使用時の露出補正

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に露出補正を設定した場合のフラッシュの調光を設定できます。

全体を補正	露出と調光量を同時に補正します。全体の露出が変化します。
背景のみ補正	背景の露出だけを補正します。

e4：⚡使用時の感度自動制御

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に感度自動制御を行う場合の、露出を合わせる対象を設定できます。

被写体と背景	主な被写体以外の背景も適切な露出となるように、感度自動制御を行います。
被写体のみ	主な被写体が適切な露出となるように、感度自動制御を行います。

e5：BKTの順序

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

オートブラケティングの補正順序を変更できます。

N　[0] → [−] → [+]	「補正なし」→「−側に補正」→「＋側に補正」の順になります。
−➔+　[−] → [0] → [+]	「−側に補正」→「補正なし」→「＋側に補正」の順になります。

- 静止画撮影メニュー［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］の場合、e5の設定を変更しても補正順序は変わりません。

f：操作

f1：iメニューのカスタマイズ

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

静止画モードでiボタンを押して表示されるiメニューの項目を設定できます。

- 機能を設定したいiメニューの場所を選んでOKボタンを押し、割り当てたい機能を選んでください。
- iメニューに割り当てられる機能は次の通りです。

DX	撮像範囲設定	193
QUAL	画質モード	126
SIZE	画像サイズ	127
	露出補正	102
ISO	ISO感度設定	100
WB	ホワイトバランス	65
	ピクチャーコントロール	116
RGB	色空間	206
	アクティブ D-ライティング	132
HR	長秒時ノイズ低減	207
ISONR	高感度ノイズ低減	208
	測光モード	130
	フラッシュモード	108
	フラッシュ調光補正	112
AF/MF	フォーカスモード	50
	AFエリアモード	52
	光学手ブレ補正	137

BKT	オートブラケティング	216
	多重露出	227
HDR	HDR（ハイダイナミックレンジ）	234
SL	サイレント撮影	69
	レリーズモード	133
	カスタムボタンの機能（撮影）	287
DLY	露出ディレーモード	278
	シャッター方式	279
VIEW	Lvに撮影設定を反映	281
PEAK	ピーキング表示	282
	モニター/ファインダーの明るさ	309、310
	Bluetooth通信機能	322
	Wi-Fi通信機能	131
	リモコン接続	327

f2：カスタムボタンの機能（撮影）

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

静止画モードでの撮影時にカメラのボタンやレンズのコントロールリングなどを操作したときの機能を設定できます。

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、OKボタンを押してください。

Fn1	Fn1ボタン	Fn2	Fn2ボタン
AE-L AF-L	AE/AF ロックボタン	OK	OKボタン
🎥	動画撮影ボタン	L-Fn	レンズのFnボタン
L-Fn2	レンズのFn2ボタン	◐	レンズの コントロールリング

- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

		Fn1	Fn2	AE-L AF-L	OK	🎥	L-Fn	L-Fn2	◐
RESET	フォーカスポイント 中央リセット	—	—	—	●	—	—	—	—
AF-ON	AF-ON	●	●	●	—	—	●	●	—
AF	AF-L	●	●	●	—	—	●	●	—
AE	AE-L（ホールド）	●	●	●	—	●	●	●	—
AE	AE-L（レリーズでリセット）	●	●	●	—	●	●	●	—
AE	AE-L	●	●	●	—	—	●	●	—
AF	AE-L/AF-L	●	●	●	—	—	●	●	—
FL	FV-L	●	●	●	—	—	●	●	—
⚡/⚡	フラッシュ発光禁止	●	●	—	—	—	●	●	—
👁	プレビュー	●	●	—	—	●	●	●	—
BKT	BKT自動連写	●	●	—	—	—	●	●	—
+RAW	プラスRAW記録	●	●	—	—	●	●	●	—
⊕	ターゲット追尾	●	●	—	—	—	●	●	—
▦	格子線表示	●	●	—	—	●	●	●	—

		Fn1	Fn2	AE-L AF-L	OK		L-Fn	L-Fn2	
	拡大画面との切り換え	●	●	●	●	●	●	●	—
	マイメニュー	●	●	—	—	●	●	●	—
	マイメニューのトップ項目へジャンプ	●	●	—	—	●	●	●	—
	再生	●	●	—	—	—	●	●	—
	撮像範囲選択	●	●	—	—	●	—	—	—
QUAL	画質モード/画像サイズ	●	●	—	—	●	—	—	—
WB	ホワイトバランス	●	●	—	—	●	—	—	—
	ピクチャーコントロール	●	●	—	—	●	—	—	—
	アクティブD-ライティング設定	●	●	—	—	●	—	—	—
	測光モード	●	●	—	—	●	—	—	—
	フラッシュモード/調光補正	●	●	—	—	●	—	—	—
	レリーズモード	●	●	—	—	●	—	—	—
AF/[+]	フォーカスモード/AFエリアモード	●	●	—	—	●	—	—	—
BKT	オートブラケティング	●	●	—	—	●	—	—	—
	多重露出	●	●	—	—	●	—	—	—
HDR	HDR（ハイダイナミックレンジ）	●	●	—	—	●	—	—	—
DLY	露出ディレーモード	●	●	—	—	●	—	—	—
PEAK	ピーキング表示	●	●	—	—	—	—	—	—
M/A	フォーカス（M/A）	—	—	—	—	—	—	—	●※1、2
	絞り	—	—	—	—	—	—	—	●※2
	露出補正	—	—	—	—	—	—	—	●※2
ISO	ISO感度	—	—	—	—	—	—	—	●※2
	設定しない	●	●	●	●	●	●	●	●※2

※1 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

※2 フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、設定にかかわらずコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスでのピント合わせを行います。

• 割り当てられる機能は次の通りです。

RESET	**フォーカスポイント中央リセット**	ボタンを押すと、フォーカスポイントが中央に戻ります。
AF-ON	**AF-ON**	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。
AF	**AF-L**	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
AE	**AE-L（ホールド）**	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
AE	**AE-L（レリーズでリセット）**	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。もう一度ボタンを押すか、シャッターをきるか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
AE	**AE-L**	ボタンを押している間、AEロックを行います。
AE AF	**AE-L/AF-L**	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。
FL	**FV-L**	内蔵フラッシュおよび別売のスピードライト使用時は、FVロックを行い、もう一度ボタンを押すと解除します。
/	**フラッシュ発光禁止**	フラッシュモードが発光禁止以外の場合、ボタンを押している間、フラッシュは発光禁止になります。
	プレビュー	ボタンを押している間、現在設定している静止画の色味や露出、被写界深度を撮影画面の表示に反映します。

BKT **BKT自動連写**	• 静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］の［**オートブラケティングのセット**］が［**WBブラケティング**］以外の場合でレリーズモードが連続撮影のときは、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間、1回分のブラケティング設定コマ数を撮影し終えた後も、引き続きオートブラケティング撮影をします。また、レリーズモードが1コマ撮影のときは、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押しし続けると、1回分のブラケティング設定コマ数を連続撮影します。 • ［**オートブラケティングのセット**］が［**WBブラケティング**］の場合は、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間連続撮影して、各コマに対してWBブラケティングを行います。
+RAW **プラスRAW記録**	• 画質モードがJPEG形式に設定されている場合、ボタンを押すと撮影画面の画質モードに「RAW」が表示され、押してから1回の撮影のみRAW画像がJPEG画像と同時に記録されます。撮影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度ボタンを押すと［**プラスRAW記録**］を解除します。 • RAW画像は静止画撮影メニュー［**RAW記録**］の設定で記録されます。
ターゲット追尾	AFエリアモードがオートエリアAFの場合にボタンを押すと、フォーカスポイントの形が変わってターゲット選択画面になり、ターゲット追尾AFが可能になります。 • もう一度ボタンを押すと、ターゲット追尾AFを終了します。
格子線表示	ボタンを1回押すと、撮影画面に構図用格子線を表示します。もう一度ボタンを押すと、格子線の表示を終了します。
拡大画面との切り換え	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
マイメニュー	ボタンを押すと、マイメニューを表示します。

	マイメニューのトップ項目へジャンプ	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプします。よく使うメニュー項目をマイメニューの最上位に登録して、この機能を使うと便利です。
▶	**再生**	ボタンを押すと再生画面を表示します。
DX	**撮像範囲選択**	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、撮像範囲の設定を変更できます。
QUAL	**画質モード/画像サイズ**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと画質モード、サブコマンドダイヤルを回すと画像サイズの設定を変更できます。
WB	**ホワイトバランス**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスを設定できます。ホワイトバランスの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
	ピクチャーコントロール	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ピクチャーコントロールの設定を変更できます。
	アクティブD-ライティング設定	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アクティブD-ライティングの設定を変更できます。
	測光モード	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、測光モードの設定を変更できます。
⚡/±	**フラッシュモード/調光補正**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフラッシュモード、サブコマンドダイヤルを回すとフラッシュ調光補正値の設定を変更できます。
	レリーズモード	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとレリーズモードの設定を変更できます。レリーズモードが［**低速連続撮影**］の場合にサブコマンドダイヤルを回すと連続撮影速度の設定、［**セルフタイマー**］の場合にサブコマンドダイヤルを回すとシャッターがきれるまでの時間の設定を変更できます。
AF/[+]	**フォーカスモード/AFエリアモード**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモード、サブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードの設定を変更できます。
BKT	**オートブラケティング**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと撮影コマ数、サブコマンドダイヤルを回すと補正ステップまたはアクティブD-ライティングの度合いを変更できます。

	多重露出	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと多重露出モード、サブコマンドダイヤルを回すと、多重露出のコマ数の設定を変更できます。
HDR	**HDR（ハイダイナミックレンジ）**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとHDRモード、サブコマンドダイヤルを回すと露出差の設定を変更できます。
DLY	**露出ディレーモード**	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、露出ディレーモードの設定を変更できます。
PEAK	**ピーキング表示**	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとピーキングの感度、サブコマンドダイヤルを回すとピーキング表示色の設定を変更できます。
M/A	**フォーカス（M/A）**	オートフォーカス時にレンズのコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスに切り替わります（M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード））。オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままコントロールリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。
	絞り	レンズのコントロールリングを回すと、絞り値の設定を変更します。
	露出補正	レンズのコントロールリングを回すと、露出補正の設定を変更します。
ISO	**ISO感度**	レンズのコントロールリングを回すと、ISO感度の設定を変更します。
	設定しない	ボタンは機能しません。

f3：カスタムボタンの機能（再生）

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

再生時にAE-L/AF-L（O-n）ボタンまたはOKボタンを押したときの機能を設定できます。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、OKボタンを押してください。

AE/AFロックボタン

AE-L/AF-L（O-n）ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

撮影時の撮ボタンと同じ	カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能(撮影)**］の［撮**AE/AFロックボタン**］で割り当てた機能と同じ機能になります。
O-n プロテクト	ボタンを押すと、表示されている画像をプロテクトします。
★ レーティング	ボタンを押してからマルチセレクターを押すと、表示されている画像のレーティングの設定を変更できます。

OKボタン

1コマ表示中の画像が動画の場合、設定にかかわらずOKボタンを押すと動画を再生します。

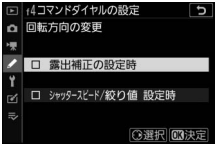
1コマとサムネイルの切り換え	OKボタンを押すごとに、1コマ表示とサムネイル表示（4コマ、9コマ、72コマ）を切り換えます。
ヒストグラム表示	OKボタンを押している間、ヒストグラムを表示します。サムネイル表示時もヒストグラム表示できます。
拡大画面との切り換え	OKボタンを押すと、撮影時のフォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度OKボタンを押すと、元の表示に戻ります。 • ［**拡大画面との切り換え**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、拡大率を選べます。 • サムネイル表示時も拡大表示できます。
フォルダー指定	OKボタンを押すと、［フォルダー指定］画面が表示され、画像を再生するフォルダーを指定できます。

f4：コマンドダイヤルの設定

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルに関する設定ができます。

回転方向の変更



露出補正の設定時またはシャッタースピード/絞り値の設定時に、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルを操作するときの回転方向を逆方向に変更できます。

- ［**露出補正の設定時**］または［**シャッタースピード/絞り値 設定時**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。
- OKボタンを押すと、設定が完了します。

メインとサブの入れ換え

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を入れ換えられます。

露出設定	［**する**］を選ぶと、メインコマンドダイヤルで絞り値を、サブコマンドダイヤルでシャッタースピードを設定します。［**する（Aモード）**］を選ぶと、撮影モード**A**のときのみ、メインコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
AF設定	［**する**］を選ぶと、カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回してAFエリアモードを、サブコマンドダイヤルを回してフォーカスモードを設定します。

再生/メニュー画面で使用

画像のコマ送りやメニュー操作を、マルチセレクターでの操作から、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作でも行えるように変更できます。

する	**再生時**： • 1コマ表示時には、メインコマンドダイヤルで撮影画像をコマ送りします。サブコマンドダイヤルを回すと、［**サブコマンドダイヤルで画像送り**］で設定した方法でコマ送りします。 • サムネイル表示時には、メインコマンドダイヤルを回すと、黄色の枠（カーソル）が左右に移動し、サブコマンドダイヤルを回すと、ページを切り換えます。 **メニュー画面表示時**※： メインコマンドダイヤルで選択項目を切り換えます。サブコマンドダイヤルを時計方向に回すと、サブメニューに移動します。反時計回りに回すと、前の画面に戻ります。
ON Q **する（撮影後確認を除く）**	［**する**］と同じ内容ですが、撮影直後の画像確認時は操作できません。
しない	再生時の表示画像の切り換え、画像の選択、およびメニュー画面での項目の選択は、マルチセレクターで行います。

※ サブコマンドダイヤルでは項目を決定することはできません。項目を決定するには、OKボタンかマルチセレクターの▶を押してください。

サブコマンドダイヤルで画像送り

［**再生/メニュー画面で使用**］で［**する**］または［**する（撮影後確認を除く）**］に設定した場合、1コマ表示時にサブコマンドダイヤルを回したときのコマ送りの方法を設定できます。

10コマ	10コマずつコマ送りします。
50コマ	50コマずつコマ送りします。
★ **レーティング**	レーティングが設定された画像だけをコマ送りして表示します。マルチセレクターの▶を押すと、表示するレーティングを限定できます。
プロテクト	プロテクト（保護）した撮影画像だけをコマ送りして表示します。
静止画のみ	静止画だけをコマ送りして表示します。
動画のみ	動画だけをコマ送りして表示します。
フォルダー	再生フォルダーを切り換えます。

f5：ボタンのホールド設定

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

［**する**］に設定すると、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを操作するときに、指を放してもコマンドダイヤル単独で設定できる状態が維持できます。もう一度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しするか、半押しタイマーがオフになると、解除されます。

- ［**ボタンのホールド設定**］の対象ボタンは、☒ボタン、**ISO**ボタンです。
- f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］で［**撮像範囲選択**］、［**画質モード/画像サイズ**］、［**ホワイトバランス**］、［**ピクチャーコントロール**］、［**アクティブD-ライティング設定**］、［**測光モード**］、［**フラッシュモード/調光補正**］、［**レリーズモード**］、［**フォーカスモード/AFエリアモード**］、［**オートブラケティング**］、［**多重露出**］、［**HDR（ハイダイナミックレンジ）**］、［**露出ディレーモード**］、［**ピーキング表示**］、［**マイク感度**］を割り当てたボタンも、［**ボタンのホールド設定**］の対象になります。

f6：インジケーターの＋/－方向

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

撮影画面でのインジケーターの＋と－方向を入れ換えることができます。

+0−	インジケーターの＋側を左に、－側を右に表示します。
−0+	インジケーターの－側を左に、＋側を右に表示します。

g：動画

g1：iメニューのカスタマイズ

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

動画モードでiボタンを押して表示されるiメニューの項目を設定できます。

- 機能を設定したいiメニューの場所を選んでOKボタンを押し、割り当てたい機能を選んでください。
- iメニューに割り当てられる機能は次の通りです。

QUAL	画像サイズ/フレームレート/画質	140
	露出補正	102
ISO	ISO感度設定	100
WB	ホワイトバランス	140
	ピクチャーコントロール	140
	アクティブD-ライティング	145
	測光モード	144
AF/MF	フォーカスモード	146
	AFエリアモード	146
	光学手ブレ補正	145
	電子手ブレ補正	145
	マイク感度	143
ATT	アッテネーター	264
	録音帯域	265
	風切り音低減	144
	レリーズモード（フレーム保存）	263
PEAK	ピーキング表示	282
	ハイライト表示	306
	モニター/ファインダーの明るさ	309、310
	Bluetooth通信機能	322
	Wi-Fi通信機能	144
	リモコン接続	327

g2：カスタムボタンの機能

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

動画モードでカメラのボタンやレンズのコントロールリングなどを操作したときの機能を設定できます。

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、OKボタンを押してください。

Fn1	Fn1ボタン	Fn2	Fn2ボタン
AEL AF-L	AE/AF ロックボタン	OK	OKボタン
	レンズの コントロールリング		

- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

		Fn1	Fn2	AEL AF-L	OK	
	パワー絞り（開放絞り側）	●	—	—	—	—
	パワー絞り（最小絞り側）	—	●	—	—	—
	露出補正（＋側）	●	—	—	—	—
	露出補正（－側）	—	●	—	—	—
	ターゲット追尾	●	●	—	—	—
	格子線表示	●	●	—	—	—
RESET	フォーカスポイント中央リセット	—	—	—	●	—
AF-ON	AF-ON	—	—	●	—	—
	AF-L	—	—	●	—	—
	AE-L（ホールド）	—	—	●	—	—
	AE-L	—	—	●	—	—
	AE-L/AF-L	—	—	●	—	—
	拡大画面との切り換え	—	—	●	●	—
	動画撮影	—	—	●	●	—
WB	ホワイトバランス	●	●	—	—	—

		Fn1	Fn2	AE-L AF-L	OK	
	ピクチャーコントロール	●	●	—	—	—
	アクティブD-ライティング設定	●	●	—	—	—
	測光モード	●	●	—	—	—
	レリーズモード（フレーム保存）	●	●	—	—	—
AF/[+]	フォーカスモード/ AFエリアモード	●	●	—	—	—
	マイク感度	●	●	—	—	—
PEAK	ピーキング表示	●	●	—	—	—
M/A	フォーカス（M/A）	—	—	—	—	●※1、2
	パワー絞り	—	—	—	—	●※2
	露出補正	—	—	—	—	●※2
ISO	ISO感度	—	—	—	—	●※2
	設定しない	●	●	●	●	●※2

※1 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

※2 フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、設定にかかわらずコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスでのピント合わせを行います。

• 割り当てられる機能は次の通りです。

パワー絞り（開放絞り側）	**Fn1** ボタンを押している間、開放絞り側に絞りが動きます。カスタムメニュー g2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn2ボタン**］が［**パワー絞り（最小絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
パワー絞り（最小絞り側）	**Fn2** ボタンを押している間、最小絞り側に絞りが動きます。カスタムメニュー g2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn1ボタン**］が［**パワー絞り（開放絞り側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
露出補正（＋側）	**Fn1** ボタンを押している間、＋側に露出補正を行います。カスタムメニュー g2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn2ボタン**］が［**露出補正（－側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
露出補正（－側）	**Fn2** ボタンを押している間、－側に露出補正を行います。カスタムメニュー g2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn1ボタン**］が［**露出補正（＋側）**］のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
ターゲット追尾	AFエリアモードがオートエリアAFの場合にボタンを押すと、フォーカスポイントの形が変わってターゲット選択画面になり、ターゲット追尾AFが可能になります。 • もう一度ボタンを押すと、ターゲット追尾AFを終了します。
格子線表示	ボタンを1回押すと、撮影画面に構図用格子線を表示します。もう一度ボタンを押すと、格子線の表示を終了します。
RESET **フォーカスポイント中央リセット**	ボタンを押すと、フォーカスポイントが中央に戻ります。
AF-ON **AF-ON**	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。
AF **AF-L**	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
AE **AE-L（ホールド）**	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。

AE-L	ボタンを押している間、AEロックを行います。
AE-L/AF-L	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。
拡大画面との切り換え	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
動画撮影	ボタンを押すと、動画撮影を開始します。もう一度ボタンを押すと、動画撮影を終了します。
ホワイトバランス	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、動画のホワイトバランスを設定できます。ホワイトバランスの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
ピクチャーコントロール	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ピクチャーコントロールの設定を変更できます。
アクティブD-ライティング設定	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画のアクティブD-ライティングの設定を変更できます。
測光モード	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画の測光モードの設定を変更できます。
レリーズモード（フレーム保存）	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画モード中の静止画撮影のレリーズモードを設定できます。
フォーカスモード/AFエリアモード	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモード、サブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードの設定を変更できます。
マイク感度	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、マイク感度の設定を変更できます。
ピーキング表示	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとピーキングの感度、サブコマンドダイヤルを回すとピーキング表示色の設定を変更できます。
フォーカス（M/A）	レンズのコントロールリングを回すと、フォーカスモードの設定にかかわらずマニュアルフォーカス撮影が行えます。カメラのシャッターボタンの半押しや**AF-ON**機能を割り当てたボタンを再度操作するとオートフォーカスで撮影が可能となります。

パワー絞り	レンズのコントロールリングを回すと、絞り値の設定を変更します。
露出補正	レンズのコントロールリングを回すと、露出補正の設定を変更します。
ISO感度	レンズのコントロールリングを回すと、ISO感度の設定を変更します。
設定しない	ボタンは機能しません。

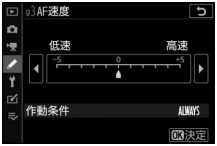
パワー絞りについて

- 撮影モード**A**または**M**のときのみ動作します。
- マークが撮影画面に表示されているときは、パワー絞りは動作しません。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

g3：AF速度

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

動画モードの場合のピント合わせの速度を設定できます。



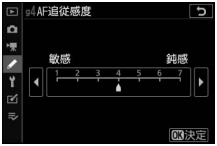
設定したAF 速度が有効な条件を［**作動条件**］で設定します。

ALWAYS **常時有効**	動画モードの間は常に設定したAF速度で動作します。
REC **記録中のみ有効**	動画撮影中のみ設定したAF速度で動作します。それ以外は最高速（+5）でピントを合わせます。

g4：AF追従感度

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

動画モード時の被写体にピントを合わせる感度を1～7の範囲で設定できます。



- ［**7（鈍感）**］に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくなります。
- ［**1（敏感）**］に設定すると、被写体がフォーカスポイントから外れた場合、フォーカスポイントの範囲内にある他の被写体にすぐにピントを合わせます。

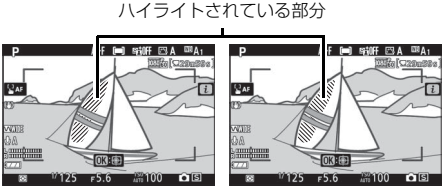
g5：ハイライト表示

MENUボタン ➜ ✎カスタムメニュー

動画モード時に、ハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。

表示パターン

［**パターン1**］または［**パターン2**］を選ぶと、動画モード時にハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。



パターン1　　パターン2

ハイライト表示のしきい値

ハイライト表示時に、どの程度の明るさをハイライトとして扱うかを設定できます。値が小さいほど暗い部分もハイライトとして表示します。［**255**］を選ぶと白とびする部分だけがハイライトされます。

✅ ハイライト表示について

フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、ハイライト表示およびピーキング表示の両方を有効にしているとピーキング表示のみ表示されます。マニュアルフォーカス時にハイライト表示したい場合は、カスタムメニュー d9［**ピーキング表示**］の［**ピーキングの検出**］を［**しない**］に設定してください。

セットアップメニュー：カメラを使いやすくする基本設定

メニュー画面でタブを選ぶと、セットアップメニューが表示されます。

セットアップメニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	📖
カードの初期化（フォーマット）	308
ユーザーセッティングの登録	308
ユーザーセッティングのリセット	308
言語（Language）	308
地域と日時	309
モニターの明るさ	309
ファインダーの明るさ	310
ファインダーのカラーカスタマイズ	311
インフォ画面の表示設定	312
AF微調節	313
イメージダストオフデータ取得	315
画像コメント	317
著作権情報	318
電子音	319

メニュー項目	📖
タッチ操作	320
自分撮りモード	320
HDMI	320
位置情報の表示	321
機内モード	321
スマートフォンと接続	322
PCと接続	324
リモコン（ML-L7）設定	327
認証マークの表示	328
パワーセーブ	329
カードなし時レリーズ	329
カメラの初期化	330
ファームウェアバージョン	330

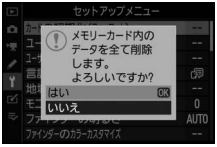
関連ページ

「セットアップメニューの初期設定」（📖178）

カードの初期化（フォーマット）

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

SDカードを初期化（フォーマット）します。**初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化の前にパソコンなどに保存してください。



カードの初期化についてのご注意

［**カードの初期化（フォーマット）中です。**］のメッセージが画像モニターに表示されている間は、電源をOFFにしたり、SDカードを取り出さないでください。

ユーザーセッティングの登録

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

よく使う機能（ユーザーセッティング）を、あらかじめ撮影モードダイヤル**U1**、**U2**に登録できます（□80）。

ユーザーセッティングのリセット

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

登録したユーザーセッティングをリセットします（□82）。

言語（Language）

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を設定できます。お買い上げの国や地域によって、表示される言語は異なります。

地域と日時

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

現在地と日時、年月日の表示順を設定します。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、［**日時の設定**］で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。
日時の設定	［**現在地の設定**］で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。
日付の表示順	日付の年、月、日の表示順を選びます。
夏時間の設定	現在地で夏時間が実施されている場合は［**する**］に、そうでない場合は［**しない**］に設定します。［**する**］にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は［**しない**］です。

カメラの内蔵時計の設定が初期化されている場合、撮影画面に⊙マークが表示されて警告します。

モニターの明るさ

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

画像モニターの明るさをマルチセレクターの△▽を押して調整できます。+にすると明るく、−にすると暗くなります。

- ［**モニターの明るさ**］は、画像モニターが表示されている状態で調整してください。ファインダーを見ている状態や、モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合は調整できません。
- 画像モニターを明るくすると、バッテリーの消耗が早くなります。

ファインダーの明るさ

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

ファインダーの明るさを調整できます。

- ［**ファインダーの明るさ**］は、ファインダーを見ている状態で調整してください。画像モニターが表示されている状態や、モニターモードが［**モニターのみ**］の場合は調整できません。
- ファインダーを明るくすると、バッテリーの消耗が早くなります。

オート	周囲の明るさによってファインダーの明るさを自動で調整します。
マニュアル	マルチセレクターの▲▼を押して調整できます。+にすると明るく、−にすると暗くなります。

ファインダーのカラーカスタマイズ

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

ファインダーの色調を好みに合わせて変更できます。［**ファインダーのカラーカスタマイズ**］は、ファインダーを見ている状態で調整してください。画像モニターが表示されている状態や、モニターモードが［**モニターのみ**］の場合は調整できません。

- マルチセレクターでファインダーの色みを調整できます。を押すたびに、ファインダーの色みが次のように変わります。OKボタンを押すと決定します。

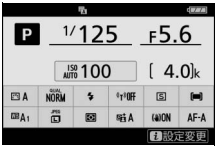
- ファインダーの色みを調整すると、撮影画面やメニュー表示、画像再生時の表示全てに反映されますが、撮影した画像または動画には反映されません。
- 最後に撮影した画像または最後に再生した画像がサンプルとして表示されます。撮影した画像がSDカード内にない場合、グレーで表示されます。

- /?ボタンをタッチすると、画像の選択画面が表示されます。画像を選んでOKボタンを押すと、選んだ画像がサンプルとして表示されます。
- ボタンをタッチしている間、選んだ画像を拡大表示します。

インフォ画面の表示設定

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

明るい場所や暗い場所で画像モニターが見づらいときにインフォ画面の見え方を設定できます。



黒文字表示

白文字表示

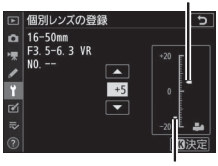
B 黒文字	明るい場所で撮影するときにインフォ画面が見やすいように、画像モニターが点灯し、文字を黒く表示します。
W 白文字	暗い場所で撮影するときにインフォ画面が見やすいように、画像モニターの明るさを抑え、文字を白く表示します。

AF微調節

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

装着したレンズのピント位置を、好みなどに合わせて微調節できます。

- 必要な場合のみAF微調節を行ってください。
- AF微調節は、普段の撮影でよく使用する撮影距離で行うことをおすすめします。たとえば、近い距離でAF微調節を行った場合、遠い被写体に対してはAF微調節の効果が低下することがあります。

AF微調節（する/しない）	• **する**：AF微調節の設定が有効になります。 • **しない**：AF微調節を行いません。
個別レンズの登録	装着しているレンズの微調節値を登録できます。マルチセレクターの▲▼を押して、＋20～－20の範囲で調節できます。 • ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。 • 画面には今回の微調節値と、前回設定した微調節値が表示されます。 • 最大30種類のレンズを登録できます。 • すでに登録してあるレンズと同じ種類のレンズを登録すると微調節値が上書きされます。 
その他レンズの登録	[**個別レンズの登録**] で登録していないレンズを装着したときに、一律で微調節する値を設定します。▲▼を押して、＋20～－20の範囲で調節できます。

個別レンズ登録リスト	［**個別レンズの登録**］で登録したレンズを一覧表示します。登録リストからレンズを選んで▶を押すと、［識別番号入力］画面が表示されます。 • ［識別番号入力］画面では、レンズの識別番号を変更できます。 ▲▼を押して識別番号を選んで、OKボタンを押します。［**個別レンズの登録**］は同じ種類のレンズを複数登録できないため、たとえば、同じレンズを数本所有しているときに登録したレンズのシリアル番号の末尾2桁などを設定しておくと、どのレンズで登録したかを識別できるので便利です。

登録したレンズを削除するには

［**個別レンズの登録**］で登録したレンズを削除するには、［個別レンズ登録リスト］画面の一覧表示から削除したいレンズを選んで、🗑ボタンを押します。

イメージダストオフデータ取得

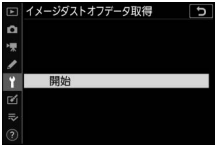
MENUボタン ➜ セットアップメニュー

NX Studioの「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子の前面に付いたゴミの写り込みをRAW画像から取り除く機能です。イメージダストオフ機能については、NX Studioのヘルプをご覧ください。

イメージダストオフデータ取得の手順

1 イメージダストオフデータ取得画面で［開始］を選ぶ

［**開始**］を選んでOKボタンを押すと、［イメージダストオフデータ取得］画面が表示されます。

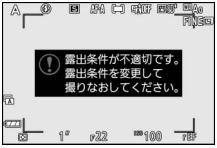


2 レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。
- マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタンを押すと、画像モニターが消灯します。
- 被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、画像モニターにメッセージが表示されて手順1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。



イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- お使いになるレンズは、焦点距離が50mm以上のレンズをおすすめします。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画像にも適用できます。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生すると、図のように表示されます。

画像コメント

MENUボタン ➔ セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、NX Studioの［**情報**］タブで確認できます。

コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。［**コメント入力**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、画像コメントの入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（📖189）をご覧ください。

コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、［**コメント添付**］を選んで▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。OKボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全てコメントが添付されます。

画像情報に表示される画像コメントについて

入力・添付された画像コメントは、「撮影情報」の「画像コメント」に表示されます。

著作権情報

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著作権情報は、NX Studioの［**情報**］タブで確認できます。

撮影者名入力、著作権者名入力

36文字までの撮影者名と、54文字までの著作権者名を登録できます。［**撮影者名入力**］または［**著作権者名入力**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと名前の入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（📖189）をご覧ください。

著作権情報添付

登録した著作権情報を画像に添付したいときは、［**著作権情報添付**］を選んで▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。OKボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全て著作権情報が添付されます。

✔ 著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、［**著作権情報添付**］の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- ［**著作権情報**］の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

✔ 画像情報に表示される著作権情報について

入力・添付された著作権情報は、「撮影情報」に表示されます。

電子音

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

電子音設定

電子音を鳴るようにしたり、鳴らないようにしたりできます。

- ［**電子音設定**］を［**有効**］に設定すると、次の場合に電子音が鳴ります。
  - セルフタイマー作動中
  - タイムラプス動画撮影終了時
  - 静止画モードでオートフォーカスのピントが合ったとき（ただし、フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合は、電子音は鳴りません）
  - タッチパネル操作時
- ［**タッチ音無効**］を選ぶと、タッチパネル操作時の電子音のみ鳴らないようにできます。
- 静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］が［**する**］の場合は、［**電子音**］の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。

音量

電子音の音量を設定できます。

音の高さ

電子音の音の高さを［**高音**］と［**低音**］から選べます。

タッチ操作

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

画像モニターのタッチ操作の機能を設定できます。

タッチ操作の設定

タッチ操作の有効または無効を切り換えられます。［**再生時のみ有効**］を選ぶと、再生画面でのみタッチ操作ができます。

1コマ送り時のフリック操作

1コマ表示モードで、次の画像を表示するフリック操作を設定できます。

⬅ 左←右	画像モニターの右側から左側にフリックすると、次の画像が表示されます。
➡ 左→右	画像モニターの左側から右側にフリックすると、次の画像が表示されます。

自分撮りモード

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

［**無効**］にすると、画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットしても自分撮りモードに切り替わりません。

HDMI

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます（📖405）。

位置情報の表示

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

SnapBridgeアプリを使用してスマートフォンから取得した位置情報を表示します。表示される項目は、接続したスマートフォンによって異なります。

機内モード

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

［**有効**］にすると、BluetoothおよびWi-Fiを使った無線通信をOFFにすることができます。

スマートフォンと接続

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

スマートフォンとBluetooth接続またはWi-Fi接続する場合に使用します。

ペアリング（Bluetooth）

スマートフォンとBluetooth接続します。

ペアリング開始	スマートフォンとのペアリングを開始します（□382）。
ペアリング済み機器	カメラとペアリングしたことのあるスマートフォンを表示しています。接続するスマートフォンを切り換えたい場合、ここでスマートフォンを選びます。
Bluetooth通信機能	［**有効**］を選ぶと、Bluetooth接続を開始します。

送信指定（Bluetooth）

スマートフォンに送信する静止画を指定できます。カメラで撮影後すぐにスマートフォンに送信することもできます。

撮影後自動送信指定	［**する**］に設定すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンに自動で送信します。カメラでの設定に関わらず、ファイルは常に2MサイズのJPEG画像として送信されます。動画モードで撮影した静止画は自動送信されません。手動で送信指定を行ってください。
選択送信指定	画像を選んでスマートフォンに送信できます。選んだ画像には送信指定のマークがつきます。
送信指定の一括解除	送信設定マークをすべて削除します。

Wi-Fi接続

スマートフォンとWi-Fi接続します。

Wi-Fi接続を開始

Wi-Fi接続を開始します。

- カメラのSSIDとパスワードが表示されます。スマートフォンでSSIDを選び、パスワードを入力して接続してください（📖376）。
- Wi-Fi接続中は［**Wi-Fi接続を停止**］に変更されます。
- ［**Wi-Fi接続を停止**］を選ぶとカメラとのWi-Fi接続を停止します。

Wi-Fi接続の設定

Wi-Fi関連の情報を設定できます。

SSID	カメラのSSIDを変更できます。
認証/暗号	Wi-Fiの認証方式を［**OPEN**］または［**WPA2-PSK-AES**］から選びます。
パスワード	カメラのパスワードを変更できます。
チャンネル	通信で使用するチャンネルを設定します。 • ［**オート**］を選ぶとカメラが自動でチャンネルを選びます。 • ［**マニュアル**］を選ぶとチャンネルを手動で設定できます。
現在の設定	現在のWi-Fi関連の設定を確認できます。
接続設定の初期化	［**はい**］を選ぶとWi-Fiの接続設定を初期化します。

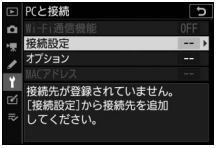
電源OFF中の通信

［**する**］に設定すると、カメラとスマートフォンをBluetooth接続している場合、カメラの電源をOFFにしてもスマートフォンとの通信を継続して画像を送信できます。

PCと接続

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

カメラとパソコンをWi-Fi接続する場合に使用します。



Wi-Fi通信機能

接続設定を行った後で［**有効**］を選ぶと、現在［**接続設定**］で選ばれている設定でWi-Fi接続を開始します。

接続設定

［**新規追加**］を選ぶと、接続設定を作成できます（📖358、362）。

- 作成済みの接続設定が複数ある場合、Ⓚボタンを押して使用する接続設定を変更して無線接続を開始します。
- 接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

<table>
<tr><td>全般</td><td>
• ［接続設定名］：接続設定名を変更できます。初期設定では接続するネットワークのSSIDが設定されています。
• ［パスワードによる保護］：［有効］に設定すると、接続設定の内容を変更する場合にパスワード入力が必要になります。［有効］を選んで▶を押すと、パスワードが設定できます。
</td></tr>
<tr><td>無線</td><td>
• インフラストラクチャーモードの接続設定の場合：接続するネットワークに合わせて、無線接続の設定を行います。
<table>
<tr><td>SSID</td><td>接続するネットワークのSSIDを設定します。</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>自動的に設定されます。</td></tr>
<tr><td>認証/暗号</td><td>［OPEN］または［WPA2-PSK-AES］から選びます。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>接続するネットワークのパスワードを入力します。</td></tr>
</table>
• アクセスポイントモードの接続設定の場合：カメラの設定を変更できます。
<table>
<tr><td>SSID</td><td>カメラのSSIDを変更できます。</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>無線チャンネルを［オート］または［マニュアル］で設定できます。</td></tr>
<tr><td>認証/暗号</td><td>［OPEN］または［WPA2-PSK-AES］から選びます。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>［認証/暗号］を［WPA2-PSK-AES］に設定した場合、カメラのパスワードを変更できます。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>TCP/IP</td><td>
インフラストラクチャーモードの接続設定の場合、TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。
• ［自動取得］を［有効］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。
• ［無効］に設定した場合は［アドレス］（IP アドレス）と［マスク］（サブネットマスク）を手動で入力してください。
</td></tr>
</table>

オプション

カメラの通信機能を設定できます。

▮▮ 撮影後自動送信

［**する**］に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。

- 撮影された画像はいったんSDカードに記録され、自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにSDカードを挿入してください。
- 動画および動画モードで撮影した静止画は自動送信されません。これらのファイルを送信するには、再生画面で送信設定してください（📖369）。

▮▮ 送信後ファイル削除

［**する**］に設定すると、送信終了後にSDカード内のファイルが自動的に削除されます。

- ［**する**］に設定するよりも前に送信設定されたファイルは、送信が終了しても削除されません。
- カメラの状態によっては、ファイルの削除を一時停止する場合があります。

▮▮ RAW＋JPEG送信設定

RAWを含む画質モードで撮影された画像を送信する場合に、RAW画像とJPEG画像の両方を送信するか、JPEG画像のみを送信するかを選べます。

▮▮ 全送信マーク解除

［**する**］を選ぶと、SDカード内の全ての画像送信マークを解除します。画像送信中の場合は、送信を中断します。

MACアドレス

MACアドレスが表示されます。

リモコン（ML-L7）設定

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

別売のワイヤレスリモートコントローラーML-L7とBluetoothで接続できます。ML-L7の**Fn1**/**Fn2**ボタンに機能を割り当てることもできます。

リモコン接続

有効	ペアリング済みのML-L7と接続を開始します。スマートフォンまたはパソコンと無線接続していた場合、それらの機器との接続は解除されます。
無効	ML-L7との接続を解除します。

リモコン登録

ML-L7とペアリングを行います。カメラがペアリング待機状態になったら、リモコンの電源ボタンを約3秒以上長押ししてください。ペアリングが完了すると、リモコンの状態表示ランプが約3秒間隔で緑色に点滅します。

リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。最後にペアリングしたリモコンのみ有効になります。

リモコン登録の解除

ペアリング済みのML-L7とペアリングを解除します。

Fn1ボタンの機能/Fn2ボタンの機能

ML-L7の**Fn1**または**Fn2**ボタンを押したときの機能を設定できます。

カメラの▶ボタンと同じ	カメラの▶ボタンと同じ機能を設定します。
カメラのMENUボタンと同じ	カメラのMENUボタンと同じ機能を設定します。
カメラのiボタンと同じ	カメラのiボタンと同じ機能を設定します。
設定しない	ボタンを押しても機能しません。

ヒント：リモコンの状態表示ランプについて

このカメラと接続するML-L7のリモコン状態表示ランプの状態が表す意味は次の通りです。

色	状態	内容
緑	約1秒間隔で点滅	ペアリング済みカメラを検出中
緑	速く点滅（約0.5秒間隔）	ペアリング中
緑	約3秒間隔で点滅	カメラと接続されている状態
オレンジ	1回点滅	静止画撮影開始
オレンジ	2回点滅	静止画撮影終了
赤	1回点滅	動画撮影開始
赤	2回点滅	動画撮影終了

認証マークの表示

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

パワーセーブ

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

静止画モードの場合に、半押しタイマーがオフになる約15秒前から撮影画面の表示を暗くしてバッテリーの消耗を抑えます。

有効	パワーセーブ機能を使用します。パワーセーブ時は撮影画面がコマ落ちしたような表示になります。
無効	パワーセーブ機能を使用しません。［**無効**］に設定していても、半押しタイマーがオフになる数秒前は撮影画面が暗くなります。

パワーセーブについて

- ［**有効**］に設定していても、次の場合はパワーセーブ機能が無効になります。
  - カスタムメニュー c3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定が 30 秒未満または［**制限なし**］
  - 自分撮りモード時
  - 撮影モードまたは時
  - 拡大表示中
  - HDMIまたはUSB接続時
- ［**無効**］に設定すると、バッテリーの消耗が早くなります。

カードなし時レリーズ

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

LOCK　レリーズ禁止	SDカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK　レリーズ許可	SDカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。再生時には［デモモード］と表示され、画像は記録できません。

カメラの初期化

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

セットアップメニュー［**言語（Language）**］と［**地域と日時**］を除く、全ての設定をリセットして初期設定に戻します。著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元には戻せないのでご注意ください。

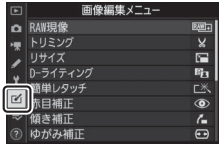
ファームウェアバージョン

MENUボタン ➜ セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。

画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

メニュー画面で タブを選ぶと、画像編集メニューが表示されます。



画像編集メニューでは、SDカード内の撮影済み画像を編集することができます。

- カメラにSDカードが入っていない場合やSDカードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューはグレーで表示されて選択できません。
- 編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてSDカードに記録されます。
- 画像編集メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	📖
RAW現像	334
トリミング	337
リサイズ	338
D-ライティング	340
簡単レタッチ	340
赤目補正	341
傾き補正	341

メニュー項目	📖
ゆがみ補正	342
アオリ効果	343
画像合成※1	344
動画編集（始点/終点設定）	347
編集前後の画像表示※2	347

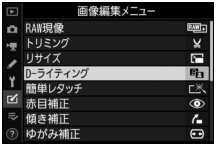
※1 MENUボタンを押して、タブのアイコンを選んだときのみ表示されます。

※2 編集前または編集後の画像を選んで *i* ボタンを押し、［**画像編集**］を選んだときのみ表示されます。

画像編集の操作方法

1 画像編集メニューでメニュー項目を選ぶ

マルチセレクターの▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。



2 画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選びます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選んだ画像を拡大表示します。

- 画像を選んでOKボタンを押すと、編集画面が表示されます。

3 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧ください。
- 画像編集を途中でやめるには、MENUボタンを押してください。画像編集メニューに戻ります。

4 編集した画像を記録する

- OKボタンを押すと、編集した画像を記録します。
- 画像編集した画像には✎が付きます。

選んだ画像を編集する

編集したい画像を再生し、*i* ボタンを押して［**画像編集**］を選ぶと、画像編集メニューが表示され、選んだ画像を編集できます。

画像編集についてのご注意

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。
- 画像編集中に何も操作しないまましばらくすると、画像モニターが消灯し、編集中の画像は保存されません。カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**メニュー表示**］の時間を長く設定することをおすすめします。

繰り返し画像編集する場合のご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなったり、褪色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません（［**動画編集（始点/終点設定）**］を除く）。
- 画像編集の組み合わせによっては繰り返し編集できないものもあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。

画質モードについて

- 元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、［**画質モード**］が［**FINE**］のJPEG画像になります。
- 元画像がJPEGの場合は、元画像と同じ画質モードになります。
- RAW画像とJPEG画像を同時に記録した場合は、RAW画像が画像編集の対象になります。

画像サイズについて

画像編集した画像は、元画像と同じ画像サイズで記録されます（［**RAW現像**］、［**トリミング**］および［**リサイズ**］を除く）。

RAW現像（パソコンを使わずにRAW画像をJPEG画像に変換する）

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

RAW画像をJPEG画像など他のファイル形式に変換することを「RAW現像」と呼びます。カメラでRAW画像をJPEG画像に変換する手順は次の通りです。

1 画像編集メニュー画面で［RAW現像］を選ぶ

［**RAW現像**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

2 画像の選択方法を選ぶ

画像選択	選んだRAW画像をRAW現像します。複数のRAW画像を選んで一括でRAW現像することもできます。
日付選択	選択した日付に撮影したRAW画像を一括でRAW現像します。
全画像選択	SDカード内の全てのRAW画像を一括でRAW現像します。

［**全画像選択**］を選んだ場合は手順4にお進みください。

3 RAW現像する画像を選ぶ

［画像選択］を選んだ場合：

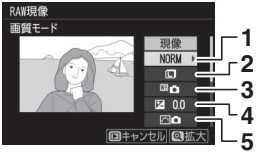
- マルチセレクターでRAW現像する画像を選びます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。
- 🔍/?ボタンをタッチして設定します。
  設定すると✔が表示されます。もう一度🔍/?ボタンをタッチすると、✔が消えます。選んだ全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。
- OKボタンを押して決定します。

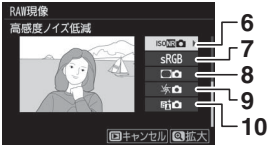
［日付選択］を選んだ場合：

- 日付を選んで▶を押すと、チェックボックスのオン☑とオフ☐を切り換えられます。
- チェックボックスがオン☑になった日付の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。
- OKボタンを押して決定します。

4 表示されている項目をそれぞれ設定する

- プレビュー画像の下には、撮影時の設定が表示されています。
- ［**撮影時設定**］がある項目で［**撮影時設定**］を選ぶと、それぞれのRAW画像の撮影時の設定でRAW現像します。





1	画質モード	126	6	高感度ノイズ低減	208
2	画像サイズ	194	7	色空間	206
3	ホワイトバランス	196	8	ヴィネットコントロール	208
4	露出補正	102	9	回折補正	209
5	ピクチャーコントロール	201	10	アクティブD-ライティング	132

5 RAW現像する

- ［**現像**］を選んで㊙ボタンを押すと、JPEG画像を保存します。
- 複数の画像を一度に処理する場合、［**現像**］を選んで㊙ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んで㊙ボタンを押すと、JPEG画像を保存します。
- キャンセルするときは、▶ボタンを押してください。

✓ RAW現像についてのご注意

- RAW現像できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影したRAW画像やRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- ［**露出補正**］で設定できる明るさ（－2～＋2）は、通常の露出補正の段数とは異なります。

トリミング

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

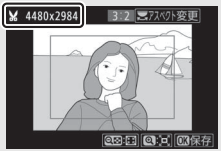
画像の必要な部分だけを切り抜きます。

編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。

切り抜く範囲を狭くする	⊖/?ボタンをタッチするごとにトリミングで切り抜かれる範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を広くする	⊕ボタンをタッチするごとにトリミングで切り抜かれる範囲が広くなります。
画像のアスペクト比（縦横比）を変更する	メインコマンドダイヤルを回すと、アスペクト比を変更できます。
切り抜く範囲を移動する	マルチセレクターを押してトリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して画像を保存する	OKボタンを押すと、トリミングした画像が記録されます。

トリミング画像についてのご注意

- トリミング後の画像サイズによっては、拡大表示できなくなります。
- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミングする範囲とアスペクト比（横：縦）により変わります。



リサイズ

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

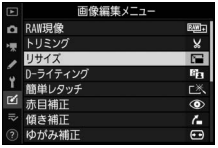
サイズの小さい画像を作成します。

複数の画像を選んでリサイズ画像を作成する

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像のリサイズ画像を一度に作成できます。

1 画像編集メニュー画面で［リサイズ］を選ぶ

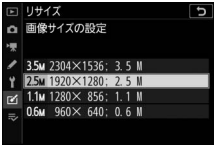
［**リサイズ**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。



2 画像サイズを設定する

- ［**画像サイズの設定**］を選んで▶を押します。

- ▲▼で画像サイズを選び、OKボタンを押します。



3 ［画像選択］を選ぶ

［**画像選択**］を選んで▶を押すと、画像の選択画面が表示されます。

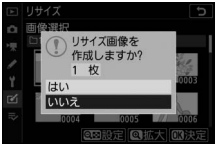
4 リサイズしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターでリサイズしたい画像を選びます。
- ⊕ボタンをタッチしている間、選んだ画像を拡大表示します。

5 設定する

- ⊖/?ボタンをタッチして設定します。設定すると▣が表示されます。もう一度⊖/?ボタンをタッチすると、▣が消えます。
- リサイズする画像全てに設定したら、Ⓚボタンを押します。

6 リサイズ画像を作成する



確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、リサイズ画像が保存されます。

✔ リサイズ画像についてのご注意

- リサイズ後の画像サイズによっては、拡大表示できなくなります。
- 静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］を［**1:1（16×16）**］または［**16:9（24×14）**］にして撮影した画像は、リサイズできません。

D-ライティング

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。

D-ライティング前

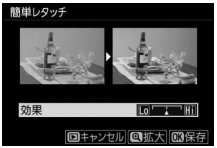
D-ライティング後

編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

- マルチセレクターの◀▶を押すと、効果の度合いを選べます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。
- OK ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

簡単レタッチ

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー



カメラがD-ライティングの機能を使って、画像の暗い部分を明るく補正したり、コントラストと彩度（色の鮮やかさ）を高めたりします。

- マルチセレクターの ◀▶ を押して、効果の度合いを選びます。
- OKボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

赤目補正

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなってしまった画像を、補正できます。

- フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- OKボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

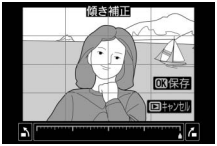
赤目補正についてのご注意

- 赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。
  - 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
  - ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。
- 赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認してください。

傾き補正

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

画像の傾きを±5°の範囲（約0.25°ステップ）で補正できます。



- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- マルチセレクターの◀▶を押すと、傾きを補正できます。
- OKボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

ゆがみ補正

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。［**オート**］を選ぶと画像のゆがみを自動的に判別して補正しますが、好みに応じて微調整することもできます。［**マニュアル**］を選ぶと自分でゆがみを補正できます。

- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- ［**オート**］で補正を行った画像または静止画撮影メニュー［**自動ゆがみ補正**］で補正を行った画像の場合、［**マニュアル**］のみ選べます。一度［**マニュアル**］で補正を行った画像を再度補正することはできません。
- マルチセレクターの◀を押すと糸巻き型のゆがみを、▶を押すとたる型のゆがみを補正できます。
- OKボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

ゆがみ補正についてのご注意

補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。

アオリ効果

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による被写体のゆがみを補正します。

- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- マルチセレクターの ⊕⊕⊕⊕ でアオリの効果を調節できます。
- ⓚボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

アオリ効果処理前

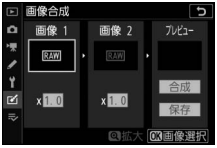
アオリ効果処理後

画像合成

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

SDカードに記録されているRAW画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成できます。

1 画像編集メニュー画面で［画像合成］を選ぶ



［**画像合成**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、画像編集画面が表示され、［**画像1**］欄がハイライト表示されます。

2 合成する画像の1コマ目を選ぶ

- OKボタンを押すと表示されるRAW画像のサムネイル一覧から、1コマ目の画像を選びます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。

3 1コマ目の画像を決定する

OKボタンを押すと、選んだ画像が1コマ目に設定され、［**画像1**］欄にプレビューが表示されます。

4 2コマ目の画像を選ぶ

⊕を押して［**画像2**］を選び、手順2～3と同じ手順で2コマ目の画像を選びます。

5 ゲインを調節する

- プレビュー欄に［**画像1**］と［**画像2**］を合成した画像が表示されます。プレビュー欄で確認しながら、合成画像の明るさが適正になるように、［**画像1**］または［**画像2**］を選んでから⊕⊖を押してゲイン（出力）を設定します。
- ゲインは0.1～2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0（補正なし）を基準にした比率です。たとえば0.5にするとゲインは約半分になります。

6 プレビュー欄に移動する

- ⊖⊕を押して、プレビュー欄に移動します。
- 合成画像を確認せずに画像を保存したいときは、［**保存**］を選んでOKボタンを押してください。

7 合成画像を確認する

- ［**合成**］を選び、OKボタンを押すと、合成画像の確認画面が表示されます。
- 設定をやり直したいときは、**?/?**ボタンをタッチしてください。手順5の画面に戻ります。

8 合成画像を保存する

もう一度Ⓚボタンを押すと、合成画像が保存され、合成画像が表示されます。

画像合成についてのご注意

- プレビュー画像と実際の合成画像では、色や明るさなどの見え方が異なることがあります。
- 合成できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラやRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- 合成画像は［**画質モード**］が［**FINE**］のJPEG画像になります。
- 次の項目の設定が同じRAW画像のみ合成できます。
  - ［**撮像範囲設定**］
  - ［**RAW記録**］
- 合成画像のホワイトバランス、ピクチャーコントロール、撮影データ（撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、撮影モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など）は、［**画像1**］で選んだ画像の内容を引き継ぎます。ただし、著作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラに設定されている画像コメントが添付されます。

動画編集（始点/終点設定）

MENUボタン ➜ 画像編集メニュー

撮影した動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけを残すことができます（📖160）。

編集前後の画像表示

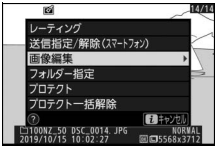
画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を選んで*i*ボタンを押し、［**画像編集**］を選んだときのみ表示されます。

編集前後の画像表示方法

1 画像編集で作成した画像（が表示されている画像）または画像編集の元画像を選ぶ

2 *i*ボタンを押して［画像編集］を選ぶ

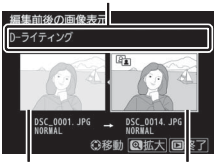
*i*メニューから［**画像編集**］を選んでOKボタンを押します。



3 ［編集前後の画像表示］を選ぶ

［**編集前後の画像表示**］を選んでOKボタンを押すと、［編集前後の画像表示］画面を表示します。

4 編集前と編集後の画像を比較する



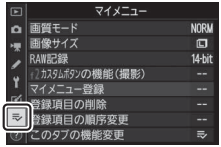
- 編集前の画像を左側、編集後の画像を右側に表示します。
- 画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- マルチセレクターの◀▶で、編集前/編集後の画像を切り換えられます。
- 画像合成の元画像の場合、▲▼で2枚の元画像を切り換えられます。
- 1枚の元画像から複数の画像編集を行った場合、▲▼で編集後の画像を切り換えられます。
- 🔍ボタンをタッチしている間、選択中の画像を拡大表示します。
- OKボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示します。
- ▶ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

編集前後の画像表示についてのご注意

- プロテクトされている画像を編集した場合は、編集前の画像は表示されません。
- 編集元の画像を削除した場合、編集前の画像は表示されません。

マイメニュー /最近設定した項目

メニュー画面でタブを選ぶと、［マイメニュー］画面が表示されます。



マイメニュー：よく使うメニューを登録する

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登録した項目は、削除したり、表示順序を変えたりできます。

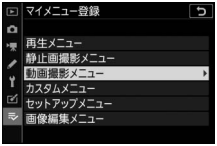
マイメニューを登録する

1 ［マイメニュー］画面で［マイメニュー登録］を選ぶ

［**マイメニュー登録**］を選んで、マルチセレクターのを押します。

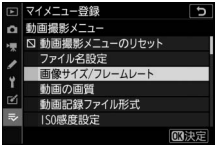
2 登録したいメニューを選ぶ

登録したいメニューを選んでを押すと、選んだメニューが一覧表示されます。

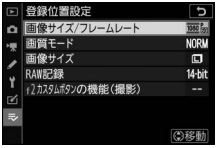


3 マイメニューに登録する項目を選ぶ

マイメニューに登録する項目を選んでボタンを押します。

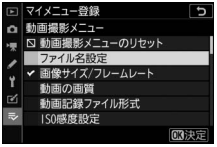


4 登録する項目の表示位置を選ぶ



⊛⊛で登録する項目の表示位置を選んで、OKボタンを押します。

5 マイメニューに表示したい全ての項目を登録する



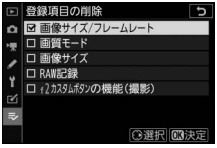
- ✔が表示されている項目は、すでにマイメニューに登録済みです。
- 左横に⧅が表示されている項目は、マイメニューに登録できません。
- 手順1～4を繰り返して、マイメニューに表示したい項目を登録します。

▌登録した項目を削除する

1 ［マイメニュー］画面で［登録項目の削除］を選ぶ

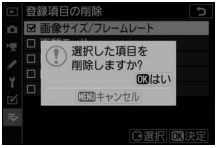
［**登録項目の削除**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 削除したいメニュー項目を選ぶ



- ▶を押すと、項目のチェックボックスが☑になります。
- 削除したい全ての項目に✔を入れます。

3 選んだ項目を削除する



Ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度Ⓚボタンを押すと、選んだ項目が削除されます。

登録した項目をボタン操作で削除するには

［マイメニュー］画面で削除したい項目を選んで🗑ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

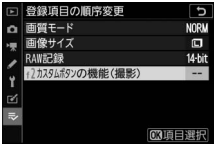
▌▌登録した項目の表示順序を変える

1 ［マイメニュー］画面で［登録項目の順序変更］を選ぶ

［**登録項目の順序変更**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

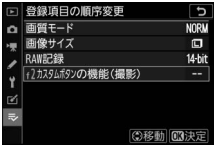
2 順番を変えたい項目を選ぶ

順番を変えたい項目を選んで、OKボタンを押します。



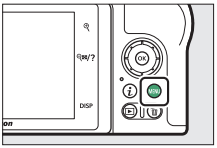
3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ

- ▲▼で移動したい位置を選んで、OKボタンを押すと、マイメニューの中で位置が変わります。
- 必要に応じて手順2～3を繰り返します。



4 ［マイメニュー］画面に戻る

MENUボタンを押すと、［マイメニュー］画面に戻ります。



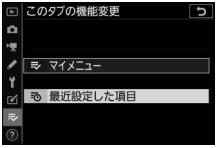
マイメニューの機能を「最近設定した項目」に変更する

1 [マイメニュー] 画面で [このタブの機能変更] を選ぶ

[**このタブの機能変更**] を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 [最近設定した項目] を選ぶ

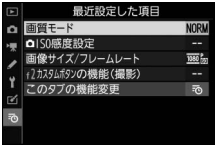
- [このタブの機能変更] 画面で [**最近設定した項目**] を選んで、OKボタンを押します。
- [**マイメニュー**] が [**最近設定した項目**] に切り替わります。



最近設定した項目：最近設定したメニューをたどる

「最近設定した項目」の設定方法

メニューを設定するたびに「最近設定した項目」に追加されます。最大20項目まで登録されます。



最近設定した項目を削除するには

［最近設定した項目］画面で削除したい項目を選んで🗑ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

「最近設定した項目」からマイメニューに戻すには

「最近設定した項目」の［**このタブの機能変更**］を選ぶと、「マイメニューの機能を「最近設定した項目」に変更する」（📖353）の手順2と同じ画面が表示されます。［**マイメニュー**］を選んでOKボタンを押すと、マイメニューに切り替わります。

パソコン/スマートフォンと無線接続する

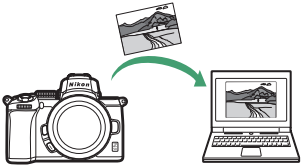
カメラのネットワークシステム

このカメラで接続できるネットワークは次の通りです。

パソコンとWi-Fi接続する

Wi-Fi接続してできること

カメラの内蔵Wi-Fi機能を使用してパソコンと無線接続すると、選んだ画像をパソコンに転送できます。



Wireless Transmitter Utilityについて

カメラとパソコンをWi-Fi接続して画像を転送するには、パソコン用のニコンソフトウェアWireless Transmitter Utility（ワイヤレストランスミッターユーティリティー）を使用してペアリングする必要があります。

- ペアリングを行うと、パソコンがカメラの接続先として設定されます。
- Wireless Transmitter Utility はニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。ソフトウェアの最新情報や動作環境を確認し、必ず最新版をインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

ヒント：使用する画面について

OSの種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作が本書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS特有の操作や表示画面については、ご使用のOSの使用説明書をご覧ください。

ご使用時の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯（W52/W53/W56）の3種類の帯域を使用することができます。5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN（W52/W53）の屋外使用は電波法で禁止されています。

カメラとパソコンの接続方法について

カメラとパソコンを無線接続するには、次の2通りの方法があります。

パソコンと直接接続（アクセスポイントモード）

カメラとパソコンを直接無線接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線LAN環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な設定も不要です。カメラと無線接続中は、パソコンはインターネットを使用できません。

アクセスポイントモード

既存のネットワークに接続（インフラストラクチャーモード）

ご自宅などに既に構築されているネットワークに、無線LANアクセスポイントを経由してパソコンと接続します。カメラと無線接続中でも、パソコンはインターネットを使用できます。

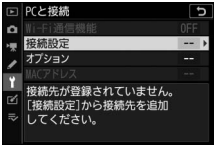
インフラストラクチャーモード

インフラストラクチャーモードで接続する場合

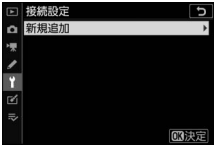
- 本書はすでに無線LAN環境が設定されているお客様を対象としています。
- ルーターを越えて別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のパソコンとのみ接続できます。

アクセスポイントモードの接続設定

1 カメラのセットアップメニュー［PCと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す

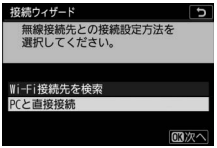


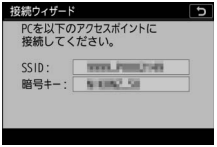
2 ［新規追加］を選び、OKボタンを押す



3 ［PCと直接接続］を選び、OKボタンを押す

カメラのSSIDと暗号キーが表示されます。

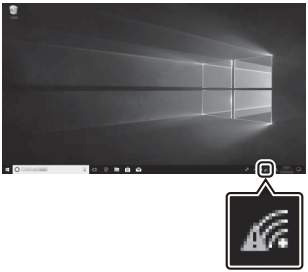




4 パソコンをカメラに接続する

Windowsの場合：

- 画面の右下にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
- 手順3でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。
- ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順3で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

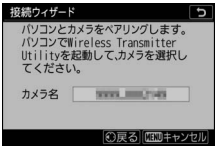


macOS/OS Xの場合：

- 画面の右上にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
- 手順3でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。
- ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順3で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

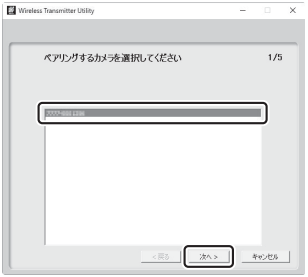
5 パソコンとのペアリングを開始する

カメラに図のような画面が表示されたら、パソコンでWireless Transmitter Utilityを起動してください。

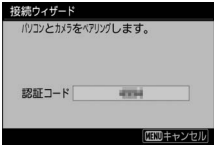


6 Wireless Transmitter Utilityでカメラ名を選ぶ

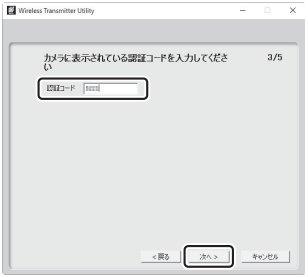
手順5でカメラに表示されているカメラ名を選択し、［**次へ**］をクリックします。



7 カメラに表示される認証コードをWireless Transmitter Utilityに入力する

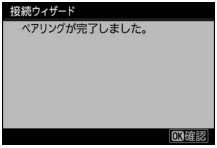


- カメラに認証コードが表示されます。
- Wireless Transmitter Utilityに認証コードを入力し、［**次へ**］をクリックします。

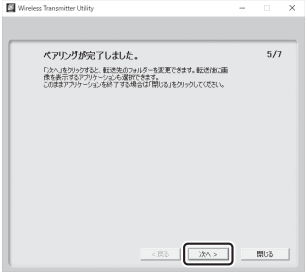


8 ペアリングを完了する

- カメラに図のような画面が表示されたら㊙ボタンを押してください。



- Wireless Transmitter Utilityは［**次へ**］をクリックすると画像を転送するフォルダーを設定する画面になります。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

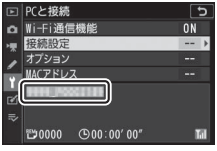


- ペアリング完了後にWireless Transmitter Utilityを終了すると、カメラとパソコンの無線通信が開始されます。

9 カメラとパソコンの接続を確認する

カメラとパソコンが接続されると、［PCと接続］画面に接続中のSSIDが緑色で点灯します。

- カメラのSSIDが緑色で点灯していない場合は、パソコンの無線接続設定でカメラと接続し直してください。

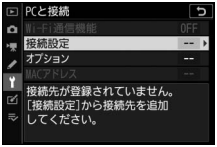


カメラとパソコンの無線接続が完了しました。

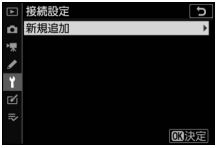
カメラで撮影した画像をパソコンに転送するには、「パソコンに画像を送信する」（📖369）をご覧ください。

インフラストラクチャーモードの接続設定

1 カメラのセットアップメニュー［PCと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す

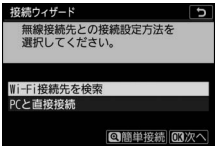


2 ［新規追加］を選び、OKボタンを押す



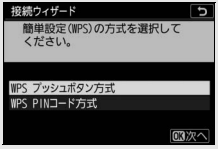
3 ［Wi-Fi接続先を検索］を選び、Ⓚボタンを押す

カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。



［簡単接続］で接続する

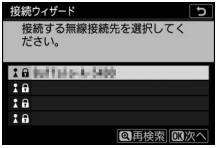
- 手順3で🔍ボタンをタッチすると、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。Ⓚボタンを押して接続方法を選んでください。



WPSプッシュボタン方式	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に使用できます。WPSプッシュボタンを押した後にカメラのⓀボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
WPS PINコード方式	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントに入力して接続します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

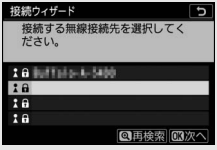
- 接続が完了したら、手順6に進んでください。

4 接続先のSSIDを選ぶ



- 接続先のSSIDを選んでOKボタンを押します。
- 暗号ありのSSIDには🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSIDを選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順6へお進みください。
- 🔍ボタンをタッチすると無線接続先を再検索します。

✔ SSIDが非公開に設定されている場合

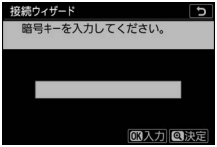


無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID名が表示されません。

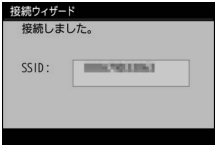
- 非公開の SSID に接続したい場合、空欄になっている項目を選択してOKボタンを押してください。続いてOKボタンを押すと、SSID入力画面になります。
- 接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンをタッチしてください。もう一度🔍ボタンをタッチすると、暗号キーの設定画面が表示されます。

5 暗号キーを入力する

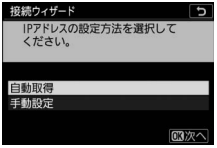
- ⓞボタンを押して、無線LANアクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。
- ⊕ボタンをタッチして、暗号キーの入力を完了します。



- もう一度⊕ボタンをタッチすると、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。



6 IPアドレスの設定方法を選んで設定する



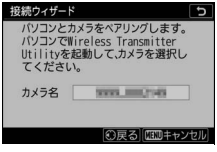
- IPアドレスの設定方法を選んでOKボタンを押します。

自動取得	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
手動設定	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 • メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。 • ◀▶を押して数値を変更し、OKボタンを押して決定します。 • 🔍ボタンをタッチすると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。再度🔍ボタンをタッチすると、サブネットマスク入力画面が表示されます。 • サブネットマスクは▲▼を押して数値を変更し、OKボタンを押して決定すると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

- IPアドレス設定完了画面が表示されたらOKボタンを押します。

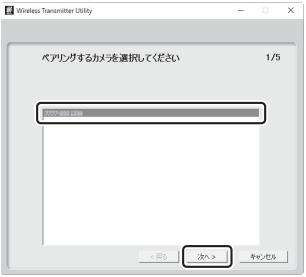
7 パソコンとのペアリングを開始する

カメラに図のような画面が表示されたら、パソコンでWireless Transmitter Utilityを起動してください。



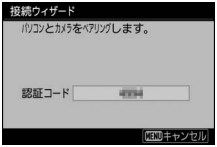
8 Wireless Transmitter Utilityでカメラ名を選ぶ

手順7でカメラに表示されているカメラ名を選択し、［**次へ**］をクリックします。

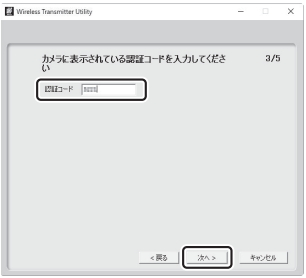


9 カメラに表示される認証コードをWireless Transmitter Utilityに入力する

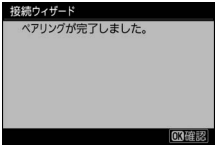
- カメラに認証コードが表示されます。



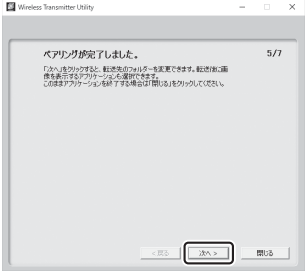
- Wireless Transmitter Utilityに認証コードを入力し、［**次へ**］をクリックします。



10 ペアリングを完了する

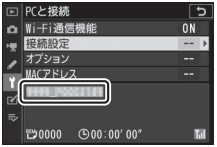


- カメラに図のような画面が表示されたらⓄⓚボタンを押してください。



- Wireless Transmitter Utilityは［次へ］をクリックすると画像を転送するフォルダーを設定する画面になります。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。
- Wireless Transmitter Utilityを終了すると、カメラとパソコンの接続が開始されます。

11 カメラとパソコンの接続を確認する



カメラとパソコンが接続されると、［PCと接続］画面に接続中のSSIDが緑色で点灯します。

- カメラのSSIDが緑色で点灯していない場合は、パソコンの無線接続設定でカメラと接続し直してください。

カメラとパソコンの無線接続が完了しました。

カメラで撮影した画像をパソコンに転送するには、「パソコンに画像を送信する」（📖369）をご覧ください。

パソコンに画像を送信する

再生画面で選んだ画像をパソコンに送信できます。カメラで撮影するたびに自動で送信することもできます。

保存先のフォルダーについて

送信された画像は、次のフォルダーに転送されます。

- Windows：\Users\"ユーザー名"\Pictures\Wireless Transmitter Utility
- Mac：/Users/"ユーザー名"/Pictures/Wireless Transmitter Utility

Wireless Transmitter Utilityを使うと、転送先のフォルダーを変更できます。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

アクセスポイントモードで接続時のご注意

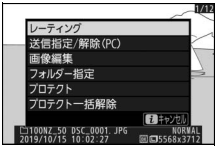
アクセスポイントモードでカメラとパソコンを接続している場合、パソコンはインターネットを使用できません。パソコンでインターネットを使用する場合は、カメラとの接続を解除し、インターネットに接続し直してください。

画像を選んで送信する

1 カメラの▶ボタンを押して1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードにする

2 送信したい画像を選んでiボタンを押す

再生時のiメニューが表示されます。



3 ［送信指定/解除（PC）］を選んで㊙ボタンを押す

- 送信設定マーク（白色）が付加されます。ネットワークに接続済みの場合、すぐに送信が始まります（送信マークが緑色に変わります）。
- 送信指定した画像がある状態でネットワークに接続すると、自動的に送信が開始されます。
- 複数の画像を送信する場合は、手順2～3を繰り返してください。

送信指定を解除するには

- ［**送信指定/解除（PC）**］を選んで㊙ボタンを押すと送信指定が解除されます。
- セットアップメニュー［**PCと接続**］にある［**オプション**］の［**全送信マーク解除**］で一括削除できます。

撮影した画像を自動で送信する

セットアップメニュー［**PCと接続**］にある［**オプション**］の［**撮影後自動送信**］を［**する**］に設定すると、静止画を撮影するたびにパソコンに転送します。

- 画像はSDカードに記録されてから自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにSDカードを挿入してください。
- 動画および動画モードで撮影した静止画は自動送信されません。これらのファイルを送信するには、再生画面で送信設定してください。

マーク表示について

送信する画像には次のようなマークが表示されます。

（白）：送信予定の画像（送信設定マーク）

送信予定の画像の送信設定マークは白色で表示されます。

（緑）：送信中の画像（送信中マーク）

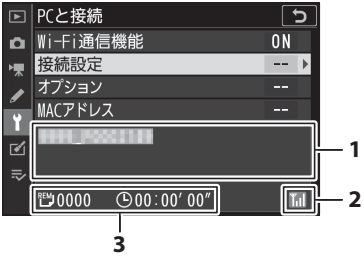
画像の送信中は送信設定マークが緑色で表示されます。

（青）：送信済みの画像（送信済みマーク）

画像が正常に送信された場合、送信設定マークが青色に変わります。

画像送信時の［PCと接続］画面

［PCと接続］画面では、次の状態が確認できます。



1　接続状態	接続状態を表します。接続されたときは接続先名が緑色で表示されます。 • データを送信中の場合、接続先名の下に「（送信中のファイル名）」＋「送信中」と表示されます。 • エラーが発生した場合には、エラーの内容が表示されます。
2　電波状態	電波の状態がアイコンで表示されます。
3　残り	送信予定のコマ数と、残りの送信予定時間を表示します。表示される時間は目安です。

✓ 電波状態による送信の中断について

無線LAN接続時、電波状態によっては送信が一時中断されることがあります。この場合、電波状態が回復した後、カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると、送信設定マークが表示された画像の送信を再開します。

ネットワーク接続を解除/再接続する

ネットワーク接続を解除する

パソコンとのネットワーク接続を解除するには、次の方法があります。

- カメラの電源をOFFにする
- セットアップメニュー［**PC と接続**］の［**Wi-Fi 通信機能**］で［**無効**］を選ぶ
- 撮影時の*i*メニューで［**Wi-Fi通信機能**］の［**Wi-Fi接続を停止**］を選ぶ
- スマートフォンとWi-Fi接続を開始する

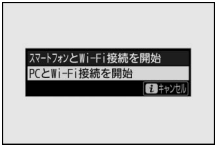
アクセスポイントモードで接続している場合

パソコンの無線接続を先に解除すると通信エラーになります。カメラのWi-Fi通信機能を先にオフにしてください。

ネットワークに再度接続する

接続設定を行ったカメラをネットワークに再度接続するには、次の方法があります。

- セットアップメニュー［**PC と接続**］の［**Wi-Fi 通信機能**］で［**有効**］を選ぶ
- 撮影時の*i*メニューで［**Wi-Fi通信機能**］の［**PCとWi-Fi接続を開始**］を選ぶ



アクセスポイントモードで接続する場合

カメラのWi-Fi通信機能をオンにした後に、パソコンを無線接続してください。

複数の接続設定がある場合

カメラのWi-Fi通信機能をオンにすると、最後に接続していたネットワークに接続されます。接続設定を切り換えたい場合はセットアップメニュー［**PCと接続**］の［**接続設定**］で接続設定を選んでください。

スマートフォンと接続する

SnapBridgeアプリについて

SnapBridgeアプリを使用すると、カメラとスマートフォンを無線で接続できます。

- SnapBridgeアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。
- SnapBridgeアプリの最新情報については当社ホームページでご確認ください。

SnapBridgeアプリを使ってできること

SnapBridgeアプリを使用すると、次のようなことが行えます。詳しい使い方などは、アプリのヘルプをご覧ください。

https://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html

スマートフォンに画像を転送する

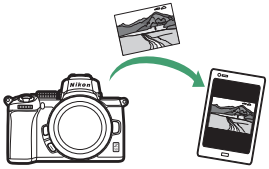
カメラで撮影した画像を、スマートフォンに転送できます。カメラで撮影するたびに自動で送信することもできます。

スマートフォンからカメラを操作する（リモート撮影）

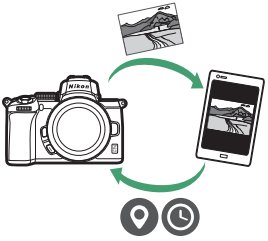
スマートフォンからカメラをリモート操作して撮影できます。

スマートフォンと無線接続するには

カメラとスマートフォンを無線接続するには、SnapBridgeアプリを使用します。接続方法には、Wi-Fiで接続する方法（🕮376）と、Bluetoothで接続する方法（🕮382）があります。SnapBridgeアプリを使用してカメラとスマートフォンを無線接続すると、スマートフォンの日時や、スマートフォンで取得した位置情報をカメラに同期できます。



Wi-Fiで接続



Bluetoothで接続

Wi-Fiモード（Wi-Fiで接続）

Wi-Fi接続する前に

- あらかじめスマートフォンのWi-Fi機能をONにしてください。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 途中で電源が切れないよう、スマートフォンとカメラのどちらも充分にバッテリー残量がある状態でご使用ください。
- カメラに残量のあるSDカードを入れてください。

1 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動する

- SnapBridgeアプリをダウンロード後、初めて起動する場合は［**カメラと接続する**］をタップして手順2に進んでください。

- SnapBridgeアプリを起動したことがある場合は、◘タブの✲ボタンをタップして［**Wi-Fi Mode**］を選び、手順3に進んでください。

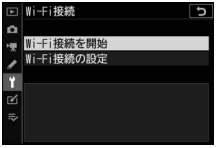
2 スマートフォン：カメラの種類を選ぶ画面で［ミラーレスカメラ］をタップし、表示された画面で［Wi-Fi接続］をタップする

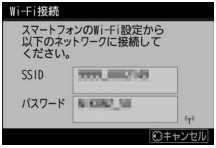
3 カメラ/スマートフォン：カメラ操作の説明画面が表示されたら、カメラの電源をONにする

※まだ［**次へ**］をタップしないでください。

4 カメラ：セットアップメニュー［スマートフォンと接続］にある［Wi-Fi接続］で［Wi-Fi接続を開始］を選んでⓄⓚボタンを押す

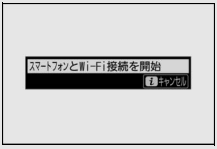
SSIDとパスワードが表示されます。



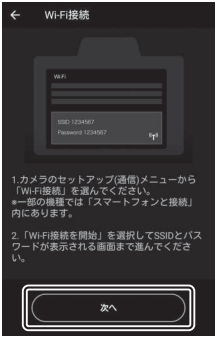


Wi-Fi接続について

撮影時の*i*メニューで［**Wi-Fi通信機能**］の［**スマートフォンとWi-Fi接続を開始**］を選んでもWi-Fi接続を開始できます。



5 スマートフォン：スマートフォンの操作に戻り、［次へ］をタップする



6 スマートフォン：スマートフォン操作の説明画面が表示されたら、内容をよくお読みの上、［OSの「設定」を開く］をタップする

- Androidの場合、スマートフォンのWi-Fi接続画面が表示されます。

- iOSの場合、設定アプリが表示されます。［**< 設定**］をタップして［**設定**］画面へ移動し、画面上部の［**Wi-Fi**］をタップします。

7 スマートフォン：手順4でカメラに表示されているSSIDを選び、パスワードを入力する

- 画面はお使いのスマートフォンの機種やOSによって異なります。

Androidの例：

iOSの例：

- 2回目以降の接続時は、パスワードの入力は不要です。

8 スマートフォン：手動でSnapBridgeアプリに戻る

- カメラとのWi-Fi接続が完了すると、Wi-Fiモード画面が表示されます。
- 接続後の操作方法などはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

Wi-Fi接続の解除方法

ボタンをタップしてWi-Fi接続を解除してください。表示がに切り替わったら、ボタンをタップして［**Wi-Fi modeの解除**］をタップします。

Bluetooth接続

初めて接続する場合（ペアリング）

カメラとスマートフォンを初めてBluetoothで接続する場合、ペアリングを行う必要があります。ペアリングの手順はAndroidとiOS（📖388）で多少異なります。

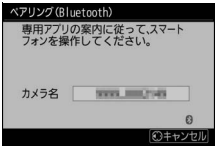
ペアリングの前に

- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をONにしてください。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 途中で電源が切れないよう、スマートフォンとカメラのどちらも充分にバッテリー残量がある状態でご使用ください。
- カメラに残量のあるSDカードを入れてください。

Android

1 カメラ：セットアップメニュー［スマートフォンと接続］にある［ペアリング（Bluetooth）］で［ペアリング開始］を選んでⓄⓚボタンを押す

画像モニターにカメラ名が表示されます。



2 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動する

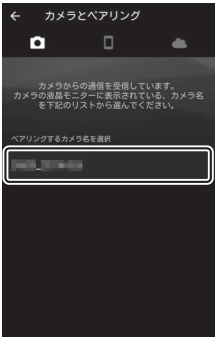
- SnapBridgeアプリをダウンロード後、初めて起動する場合は［**カメラと接続する**］をタップします。

- SnapBridgeアプリを起動したことがある場合は、●タブの［**カメラと接続する**］をタップします。

3 スマートフォン：［ミラーレスカメラ］をタップして、表示された画面で［ペアリング（Bluetooth）］をタップする

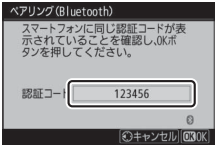
- 2回目以降のペアリング時は、この手順は不要です。
- Bluetoothを使用するためには位置情報の利用を許可する必要があります。位置情報のアクセス許可に関するダイアログが表示されたら、画面の指示に従って許可してください。

4 スマートフォン：カメラ名をタップする



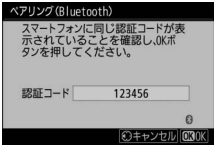
5 カメラ/スマートフォン：スマートフォンとカメラに同じ番号が表示されていることを確認する

図の枠内の番号を確認してください。



6 カメラ/スマートフォン：カメラとスマートフォンを操作してペアリングする

- **カメラ**：Ⓚボタンを押します。



- **スマートフォン**：画面の枠内の箇所をタップしてください。スマートフォンの機種やOSのバージョンにより、［**ペア設定する**］の文言は異なる場合があります。

ペアリング中にエラーが表示されたときは

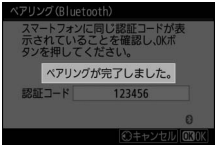
カメラまたはスマートフォンのボタンを押してから、もう片方のボタンを押すまでに時間が空きすぎるとペアリングできずにエラーが表示されます。

カメラ：Ⓚボタンを押して手順1に戻ります。

スマートフォン：表示されたダイアログで［**OK**］をタップして手順2に戻ります。

7 カメラ/スマートフォン：画面の指示に従ってペアリングを完了する

- **カメラ**：Ⓚボタンを押します。ペアリングに成功すると、図の画面が表示されます。



- **スマートフォン**：ペアリングが完了します。［**OK**］をタップすると●タブが表示されます。

✓ SnapBridgeアプリのインストール後、初めてペアリングした場合

- ペアリング完了後、自動連携機能（カメラで撮影した画像の自動転送、日時情報の同期、位置情報の同期）の設定画面が表示されます。
- 2回目以降のペアリング時は表示されません。●タブの［**自動連携**］から設定してください。

✓ Bluetooth接続を解除するには

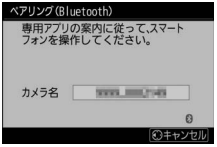
カメラのセットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］>［**ペアリング（Bluetooth）**］>［**Bluetooth通信機能**］で［**無効**］を選ぶとスマートフォンとの接続を解除できます。

iOS

Androidでの接続方法は「Android」（📖382）をご覧ください。

1 カメラ：セットアップメニュー［スマートフォンと接続］にある［ペアリング（Bluetooth）］で［ペアリング開始］を選んでⓚボタンを押す

画像モニターにカメラ名が表示されます。



2 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動する

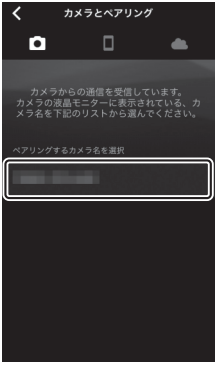
- SnapBridgeアプリをダウンロード後、初めて起動する場合は［**カメラと接続する**］をタップします。

- SnapBridgeアプリを起動したことがある場合は、●タブの［**カメラと接続する**］をタップします。

3 スマートフォン：［ミラーレスカメラ］をタップして、表示された画面で［ペアリング（Bluetooth）］をタップする

2回目以降のペアリング時は、この手順は不要です。

4 スマートフォン：カメラ名をタップする



5 スマートフォン：ペアリング方法を確認する

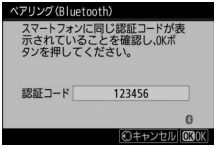
ペアリング方法の説明画面が表示されます。内容をよくお読みになり、［**確認しました**］をタップします。

6 スマートフォン：再度カメラ名をタップする

カメラ名が表示されたダイアログが表示されます。カメラ名を再度タップしてください。

7 カメラ/スマートフォン：カメラとスマートフォンを操作してペアリングする

- **カメラ**：Ⓚボタンを押します。



- **スマートフォン**：画面の枠内の箇所をタップしてください。OSのバージョンにより、［**ペアリング**］の文言は異なる場合があります。

ペアリング中にエラーが表示されたときは

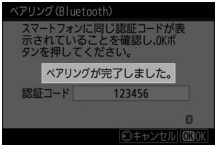
カメラまたはスマートフォンのボタンを押してから、もう片方のボタンを押すまでに時間が空きすぎるとペアリングできずにエラーが表示されます。

カメラ：Ⓚボタンを押して手順1に戻ります。

スマートフォン：SnapBridgeを完全に終了（バックグラウンドからも終了）してiOS上でデバイスの登録を解除し、手順1からやり直してください。デバイスの登録解除は、iOSの設定アプリで行います。

8 カメラ/スマートフォン：画面の指示に従ってペアリングを完了する

- **カメラ**：OKボタンを押します。ペアリングに成功すると、図の画面が表示されます。



- **スマートフォン**：ペアリングが完了します。［**OK**］をタップすると●タブが表示されます。

✓ SnapBridgeアプリのインストール後、初めてペアリングした場合

- ペアリング完了後、自動連携機能（カメラで撮影した画像の自動転送、日時情報の同期、位置情報の同期）の設定画面が表示されます。
- 2回目以降のペアリング時は表示されません。●タブの［**自動連携**］から設定してください。

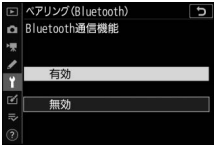
✓ Bluetooth接続を解除するには

カメラのセットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］>［**ペアリング（Bluetooth）**］>［**Bluetooth通信機能**］で［**無効**］を選ぶとスマートフォンとの接続を解除できます。

2回目以降に接続する場合

一度カメラとスマートフォンをペアリングしておくと、次の手順で簡単にBluetooth接続ができるようになります。

1 カメラ：セットアップメニュー［スマートフォンと接続］→［ペアリング（Bluetooth）］→［Bluetooth通信機能］→［有効］を選んでⓀボタンを押す



2 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動する

自動的にカメラとBluetoothで接続されます。

トラブルシューティング

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

- SnapBridge アプリの動作や症状などについては SnapBridge アプリのオンラインヘルプをご覧ください。
  https://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html
- Wireless Transmitter UtilityおよびCamera Control Pro 2についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。

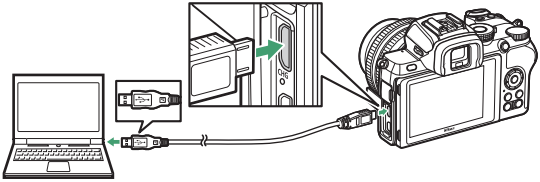
こんなときは	対処方法	📖
「TCP/IP エラーが発生しました」と表示される。	接続設定が正しくありません。無線LANアクセスポイントやパソコンの設定を確認し、カメラの設定をやり直してください。	325
「メモリーカードが入っていません」と表示される。	SDカードが入っていないか、正しくセットされていません。SDカードを正しくセットしてください。	32
途中で送信が中断して画像を送信できなかった。	カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると送信設定マークが表示された画像の送信を再開します。	369
通信が不安定になる。	スマートフォンとの接続時に［**チャンネル**］の設定が［**オート**］になっている場合、［**マニュアル**］でチャンネルを設定してください。	323
	パソコンとの接続時にインフラストラクチャーモードで接続している場合、アクセスポイントのチャンネルの設定を、1～8chの間で設定してください。	325

他の機器と接続する

カメラと他の機器をケーブルで接続すると、カメラの楽しみ方が広がります。

パソコンとUSBケーブルで接続する

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続できます。ニコンのソフトウェアNX Studioをインストールすると、画像の転送、閲覧、および調整ができます。無線を使用してカメラとパソコンを接続したい場合は「パソコン/スマートフォンと無線接続する」の「パソコンとWi-Fi接続する」（🕮356）をご覧ください。



NX Studioをインストールする

NX Studioのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

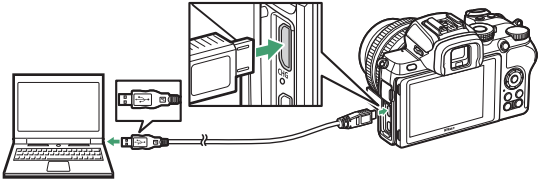
- 下記のホームページからNX Studioの最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/
- 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことがあります。

NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む

NX Studioの詳しい使い方はヘルプをご覧ください。

1 パソコンに接続する

メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続します。



ヒント：カードリーダーを使用する場合

市販のカードリーダーを使用して画像を転送することもできます。その場合、カードリーダーがお使いのメモリーカードに対応しているかご確認ください。

2 カメラの電源をONにする

- NX StudioのNikon Transfer 2が起動します。Nikon Transfer 2は、NX Studioをインストールすると一緒にインストールされる画像転送ソフトウェアです。
- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選んでください。
- 自動で起動しない場合、NX Studioを起動して「取り込む」アイコンをクリックしてください。

3 ［転送開始］をクリックする

記録されている画像がパソコンに取り込まれます。

4 カメラの電源をOFFにする

USBケーブルを抜いて接続を解除してください。

Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合

パソコンの設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。

この場合は、表示されたダイアログをクリックしてから、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2**］をクリックしてNikon Transfer 2を選びます。

macOSをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、macOS付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

動画を転送する場合のご注意

このカメラで使用したメモリーカードを他機種のカメラに入れて、そのカメラから動画を転送しないでください。動画が転送されないままファイルが削除されるおそれがあります。

パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源を OFF にしたり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

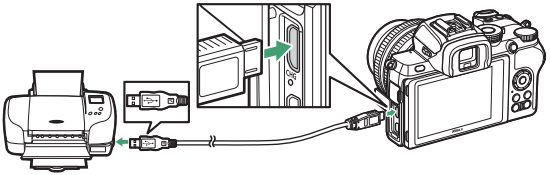
USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンに接続すると、正しく動作しないことがあります。カメラはパソコンに標準装備されたUSBポートへ接続してください。

プリンターと接続する

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接続してSDカード内の画像をプリントできます（ダイレクトプリント）。

- USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



- カメラとプリンターの電源をONにすると、画像モニターにPictBridgeのロゴが表示された後、撮影された画像が表示されます。

ダイレクトプリントの前に

- ダイレクトプリント時は、残量が充分にあるバッテリーをお使いください。
- 直接プリントする画像は、静止画撮影メニュー［**色空間**］を［**sRGB**］に設定して撮影してください。

USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW 画像はダイレクトプリントできません。RAW 画像の場合は画像編集メニュー［**RAW現像**］で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- ［**フチ設定**］と［**範囲指定**］は、それぞれの機能に対応していないプリンターでは選べません。なお、［**範囲指定**］で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる場合があります。

関連ページ

プリント時のエラーについては、「警告メッセージ」（□423）をご覧ください。

1コマだけプリントする

1 プリントしたい画像を選んで㊋ボタンを押す

- マルチセレクターの◀▶を押してプリントしたい画像を選びます。
- 1コマ表示中に🔍ボタンをタッチすると、表示中の画像を拡大表示します。▶ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- 🔍✉/?ボタンをタッチして6コマ表示に切り換えて、画像を選ぶことができます。🔍ボタンをタッチすると、1コマ表示に戻ります。

2 プリント設定の項目を設定する

［プリント設定］画面で設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。設定方法については、「プリント設定項目について」をご覧ください。

3 プリントを開始する

- ［**プリント実行**］を選んで、㊋ボタンを押すとプリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度㊋ボタンを押してください。

プリント設定項目について

用紙設定※	プリントする用紙のサイズを選んで㊋ボタンを押します。プリンターが対応する用紙サイズのみが表示されます。
枚数指定	プリントする枚数（1～99枚）を設定して㊋ボタンを押します。
フチ設定※	［**あり**］を選んで㊋ボタンを押すと、画像にフチを付けてプリントします。
日付プリント※	［**あり**］を選んで㊋ボタンを押すと、画像に日付をプリントします。
範囲指定	［**する**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［範囲指定］画面が表示されます。プリント範囲（黄色の枠）は🔍✉/?ボタンをタッチすると狭くなり、🔍ボタンをタッチすると広くなります。マルチセレクターを操作するとプリント範囲が移動します。プリント範囲を決定するには㊋ボタンを押します。

※ プリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に［**プリンターの設定**］を選んでください。

複数の画像をプリントする

1 カメラとプリンターを接続し（📖401）、撮影した画像が表示されたらMENUボタンを押す

2 プリント方法を選んで、プリントする画像や枚数を設定する

プリント方法を選んでマルチセレクターの▶を押します。

プリント画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。 • ◀▶を押してプリントする画像を選び、▲▼を押して枚数（1～99枚）を設定して、OKボタンを押します。 • 🔍ボタンをタッチしている間は、選択中の画像を拡大表示します。 • プリントしない画像は枚数を0にします。
INDEXプリント	SDカードの中のJPEG画像を一覧できる「インデックス」をプリントします。 • ［INDEXプリント］画面が表示されたら、OKボタンを押します。 • インデックスプリントできるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります（確認画面が表示されます）。 • 用紙サイズによってはプリントできない場合があります（警告メッセージが表示されます）。

3 プリント設定の項目を設定する

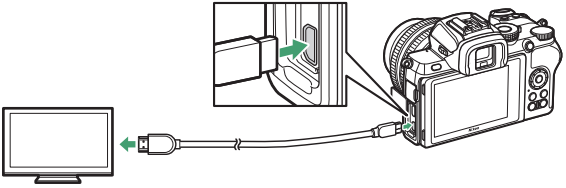
［プリント設定］画面で設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。［**用紙設定**］、［**フチ設定**］、［**日付プリント**］を設定できます。設定方法については、「プリント設定項目について」（📖402）をご覧ください。

4 プリントを開始する

- ［**プリント実行**］を選んでOKボタンを押すと、プリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度OKボタンを押してください。

HDMI対応機器と接続する

カメラをHDMI端子のあるテレビや外部レコーダーなどと接続することができます。接続には市販のHDMI端子用ケーブル（Type D）が必要です。別途お買い求めください。HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。



※ 使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

テレビと接続する

- テレビの入力をHDMI入力に切り換え、カメラの電源をONにして▶ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。

その他のHDMI対応機器と接続する

セットアップメニュー［**HDMI**］で、HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます。

出力解像度	HDMI対応機器への出力解像度を設定できます。［**オート**］を選んだ場合、出力先の映像信号形式を自動的に検出します。
出力レンジ	ビデオ信号の色階調の入力範囲（RGBレンジ）は、HDMI対応機器によって異なります。通常は、HDMI対応機器に合わせて自動で出力レンジを切り換える［**オート**］をお使いください。HDMI対応機器のRGBレンジを識別できない場合は、次のいずれかを選んでください。 • ［**リミテッドレンジ**］：RGBレンジが16～235の機器に適しています。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。 • ［**フルレンジ**］：RGBレンジが0～255の機器に適しています。黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に選びます。

HDMI出力できない場合

次の場合、HDMI出力ができません。

- 動画の画像サイズを1920×1080 120p、1920×1080 100pまたは1920×1080スローに設定して撮影している場合
- Camera Control Pro 2と接続している場合

スピードライトをカメラに装着して撮影する

フラッシュ撮影の方法

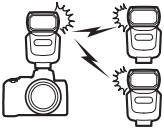
このカメラで別売スピードライトを使用するには、次の方法があります。

一灯撮影

カメラに装着した別売スピードライトを発光させて撮影します。次ページ以降で詳しく説明します。

増灯撮影

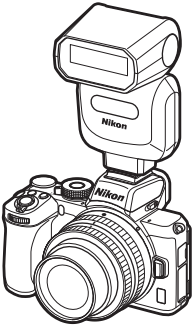
カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影ができます（アドバンストワイヤレスライティング（AWL））。詳しくは「複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影）」（📖410）をご覧ください。



別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影）

1 **カメラのアクセサリーシューにスピードライトを装着する**

スピードライトの装着方法については、お使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。



2 **カメラとスピードライトの電源をONにする**

スピードライトの充電が開始され、撮影ができる状態になると撮影画面に⚡（レディーライト）が点灯します。

3 **発光モード（📖409）とフラッシュモード（📖129）を設定する**

4 **シャッタースピード、絞り値を設定する**

5 **撮影する**

他社製フラッシュについてのご注意

カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるフラッシュや、アクセサリーシュー部の接点をショートさせてしまうフラッシュを使用することはできません。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

スピードライトの調光方式について

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトをカメラに装着し、スピードライトの発光モードをTTLにセットすると、モニター発光を行う専用TTLモード（i-TTLモード）になり、i-TTL-BL調光などによるフラッシュ撮影ができます。ニコンクリエイティブライティングシステム非対応のスピードライトでは、i-TTLモードでの撮影はできません。

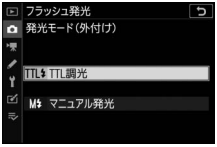
スタジオ用大型ストロボ使用時について

スタジオ用大型ストロボでは正しい同調が行えないため、後幕シンクロは使用できません。

カメラに装着したスピードライトの発光モードを設定する

別売スピードライトSB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］の［**発光モード（内蔵）**］が［**発光モード（外付け）**］に切り替わります。

撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**の場合にスピードライトの発光モードや補正量などを設定できるようになります。



- SB-500、SB-400、SB-300以外のスピードライトを装着した場合、発光モードなどの設定はスピードライト本体で行ってください。

TTL調光	スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。
マニュアル発光	［**マニュアル発光量**］で指定した発光量でスピードライトが発光します。

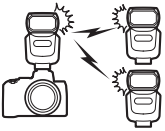
複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影）

増灯撮影とは

カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影ができます（アドバンストワイヤレスライティング（AWL））。カメラにスピードライトを装着して撮影する方法については、「スピードライトをカメラに装着して撮影する」（📖406）をご覧ください。

この章では、カメラおよびカメラに装着している機器での操作を📷、リモートフラッシュとして使用するスピードライトでの操作を🔦で表しています。🔦の手順での詳しい設定方法などは、スピードライトの使用説明書をご覧ください。

リモートフラッシュを制御する



このカメラでは、カメラに装着したスピードライトをマスターフラッシュとして使用し、リモートフラッシュを光で制御できます（光制御アドバンストワイヤレスライティング）。光制御に対応するスピードライトについては「使用できるスピードライト」（📖438）をご覧ください。

- SB-500をマスターフラッシュとして使用する場合は、スピードライトの設定をカメラ側で行います。詳しくは「SB-500を使用して撮影する」（📖412）をご覧ください。リモートフラッシュの配置などについては、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- SB-500以外のスピードライトを使用する場合は、スピードライト側で設定を行う必要があります。詳しくは、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- 内蔵フラッシュをマスターフラッシュとして使用することはできません。

SB-500を使用して撮影する

別売スピードライトSB-500をカメラのアクセサリーシューに装着すると、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］に［**ワイヤレス設定**］が表示されます。［**ワイヤレス設定**］で［**光制御AWL**］を選ぶと、グループ発光が行えます。

1 📷：［フラッシュ発光］画面で［グループ発光設定］を選んでマルチセレクターの▶を押す

2 📷：発光モードと調光補正量（または発光量）、チャンネルを設定する

- マスターフラッシュおよびリモートフラッシュグループそれぞれの発光モードと補正量（または発光量）を設定します。
- 設定できる発光モードは次の通りです。

TTL	i-TTL調光を行います。
⊛A	絞り連動外部自動調光を行います。ただし、絞り連動外部自動調光に対応していないスピードライトは発光しません。
M	マニュアル発光を行います。
––（非発光）	リモートフラッシュは発光しません。［**補正量**］は設定できません。

- ［**チャンネル**］を［**3**］に設定してください。

3 ：リモートフラッシュのチャンネルを［3］に設定する

4 ：リモートフラッシュにグループの設定をする

- AおよびBのグループを設定できます。
- 同時に使用できるリモートフラッシュの台数に制限はありません。ただし、センサーに他のリモートフラッシュの強い光が入ると正常に動作しない場合があるため、実用上は各グループ3台程度が目安です。

5 /：構図を決め、カメラとリモートフラッシュを配置する

- リモートフラッシュの配置などについては、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- テスト発光を行って、使用する全てのスピードライトが正常に発光するか確認してください。テスト発光をするには、マスターフラッシュのテスト発光ボタンを押してください。

6 /：使用する全てのスピードライトのレディーライトが点灯していることを確認してから撮影する

増灯撮影する場合のご注意

- リモートフラッシュは、マスターフラッシュの光がセンサー窓に入る位置に置きます。特に、手持ちで撮影するときは、マスターフラッシュの光が確実にセンサー窓に入るようにしてください。
- リモートフラッシュの直接光または強い反射光が、カメラの撮影レンズ（［**TTL**］設定時）や他のリモートフラッシュの外部自動調光用受光窓（［**A**］設定時）に入らないようにしてください。光が入ると、適正露出が得られません。
- ［**マスターフラッシュ**］の［**発光モード**］を［**––**］にした場合でも、リモートフラッシュの発光タイミングを合わせるため、撮影中にマスターフラッシュが微小発光を行います。近距離撮影を行う場合、この少量発光が画像に写り込む場合があります。画像への影響を防ぐには、低いISO感度、または小さい絞り（大きい絞り値）で撮影してください。
- 撮影準備と配置が終わったら、必ずテスト撮影を行って、画像を確認してください。

困ったときは

お問い合わせになる前に

カメラの動作がおかしいときは、次の手順を行うことで問題が解決する場合があります。ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前にお試しください。

STEP 1	**416～428ページの項目を確認して、カメラを点検する。** 次のページで対処方法が確認できます。 • 故障かな？と思ったら（📖416） • 警告表示と警告メッセージ（📖423）
STEP 2	**電源をOFFにしてバッテリーを取り出し、約1分後に再度バッテリーを入れてカメラの電源をONにする。** ✅ 撮影直後はSDカードに画像の記録を行っている場合があります。バッテリーを取り出すまで、撮影後は1分以上お待ちください。
STEP 3	**ニコンのホームページを確認する。** • サポートサイトのQ&Aなどで解決方法を探すことができます。 https://www.nikon-image.com/support/ • ニコンダウンロードセンターで、カメラの最新のファームウェアを確認してください。 https://downloadcenter.nikonimglib.com/
STEP 4	**ニコンサービス機関に問い合わせる。**

カメラの初期化について

- 機能の組み合わせによって、使用したい機能（メニュー項目）が設定できない場合があります。使用したいメニュー項目がグレーアウトしているときなどにセットアップメニュー［**カメラの初期化**］（□330）を実行すると、メニューが選べるようになることがあります。
- カメラを初期化すると、無線接続設定や著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元に戻せないのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

電源・表示関連

● **電源ONの状態で、カメラの操作ができない**

- 画像の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
- 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
  - 記録中であったデータは保存されません。
  - 保存済みのデータはバッテリーの取り外しでは失われません。

● **カメラの電源がOFFになるのに時間がかかる**

撮像素子のチェックを行っています。カメラの電源が完全にOFFになるまで、バッテリーを取り出さないでください。

● **ファインダーまたは画像モニターが表示されない**

- モニターモードを変更していませんか？　モニターモード切り換えボタンを押して、適切な表示設定に切り換えてください。
- アイセンサーにゴミやほこりなどが付着していると、アイセンサーが正しく反応しない場合があります。ブロアーで軽く吹き払ってください。

● **ファインダー内がはっきり見えない**

- ファインダー内の見え方は、視度調節ダイヤルを回して調節できます。
- 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、フォーカスモードを**AF-S**、AFエリアモードをシングルポイントAFに設定します。次に、中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。

● **ファインダー内や画像モニターの表示がすぐに消えてしまう**

カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］で、表示が消えるまでの時間を設定できます。

撮影関連

● **電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる**

SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

● **シャッターがきれない**

- 残量のあるSDカードが入っていますか？
- SDカードがロックされていませんか？
- 撮影モード**M**でシャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に設定し、そのまま撮影モードを**S**に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください。
- セットアップメニュー［**カードなし時レリーズ**］が［**レリーズ禁止**］になっていませんか？

● **シャッターがきれるのが遅い**

カスタムメニュー d3［**露出ディレーモード**］を［**しない**］にしてください。

● **連続撮影できない**

- HDR撮影時は、連続撮影できません。
- 内蔵フラッシュ撮影時は、レリーズモードを［**低速連続撮影**］または［**高速連続撮影**］に設定しても、連続撮影にはなりません。［**高速連続撮影（拡張）**］に設定した場合はフラッシュが発光禁止になり、連続撮影になります。

● **ピントが合わない**

- マニュアルフォーカスになっていませんか？　オートフォーカスで撮影するには、フォーカスモードを**AF-A**、**AF-S**、**AF-C**または**AF-F**に設定してください。
- 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください。明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのものが混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄が細かい

● **電子音が鳴らない**

- 静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］が［**する**］になっていませんか？
- フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。
- セットアップメニュー［**電子音**］の［**電子音設定**］を［**無効**］以外に設定すると電子音が鳴ります。
- 動画モード時は電子音は鳴りません。

● **設定できるシャッタースピードの範囲が狭い**

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ撮影時の同調シャッタースピードは、カスタムメニュー e1［**フラッシュ撮影同調速度**］で、1/200～ 1/60秒の範囲で設定できます。［**1/200秒（オートFP）**］に設定して、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを使用すると、全シャッタースピードに同調可能なオートFP ハイスピードシンクロが可能です。

● **シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない**

フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、AE-L/AF-L（O-n）ボタンを押してフォーカスをロックしてください。

● **フォーカスポイントを選べない**

AFエリアモードがオートエリアAFのときは、選べません。

● **画像の記録に時間がかかる**

静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］が［**する**］になっていませんか？

● **撮影画面に表示された明るさと、撮影した画像の明るさ（露出）が違う**

- カスタムメニュー d7［**Lvに撮影設定を反映**］を［**しない**］に設定すると、露出補正などを行っても画像モニターの表示には反映されません。
- セットアップメニュー［**モニターの明るさ**］または［**ファインダーの明るさ**］で撮影画面の明るさを調整しても、撮影した画像には反映されません。

● **動画モード時に画面にちらつきや横縞が生じる**

動画撮影メニュー［**フリッカー低減**］の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください。

● **横帯状の明るい部分が生じる**

撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生することがあります。

● **画像にゴミが写り込む**

- レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？
- 撮像素子の前面にゴミが付着していませんか？ 「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（📖450）をご覧いただくか、ニコンサービス機関にご相談ください。

● **ボケ像が欠けて写る**

高速のシャッタースピードや大口径レンズを使用した撮影では、ボケ像が欠けて写ることがあります。ボケ像の欠けが気になるときは、シャッタースピードを遅くしたり、絞り値を大きくすると目立たなくなります。

● **ゴースト、フレアが目立つ**

太陽や高輝度の照明などの明るい光源が含まれるなどのシーンを撮影したときに、画像上にゴーストやフレアが目立つ場合があります。レンズにフードを付ける、あるいは光源を画角から大きく外すことで目立ちにくくなります。また、レンズからフィルターを外す、シャッタースピードを変更する、サイレント撮影するなどを試していただくと目立ちにくくなることがあります。

● **撮影が開始されなかったり、自動的に終了する**

- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、自動的に終了することがあります。
  - 撮影時の気温が高い場合
  - 動画撮影を長時間行った場合
  - 連続撮影を行った直後など
- カメラが熱くなって撮影できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまで電源をOFFにしてください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

● **撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ、輝点）が発生する**

- ISO感度やシャッタースピード、アクティブD-ライティングなどのカメラの設定を変更してください。
- 長時間露出撮影や、カメラが高温になるような環境で撮影をする場合、ISO感度を高く設定しているとノイズが強調されることがあります。
- 長時間カメラを使用すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ざらつき、むら、輝点が発生する場合があります。撮影時以外は、電源をOFFにしてください。
- 撮影時、⊕ボタンで表示を拡大すると、ざらつき、むら、すじや色の変化が発生しやすくなります。
- 撮影した画像に発生するノイズは、撮影画面で表示されたノイズと見え方が異なることがあります。

● **ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない**

被写体が明るすぎるか、暗すぎます。

● **ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある**

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはできません。

● **ホワイトバランス（WB）ブラケティング撮影ができない**

- RAWまたはRAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティング撮影はできません。
- ホワイトバランスブラケティングと多重露出またはHDR（ハイダイナミックレンジ）による撮影を同時に行うことはできません。

● **［ピクチャーコントロール］の効果が安定しない**

［**ピクチャーコントロール**］、［**カスタムピクチャーコントロール**］が［**オート**］に設定されているか、それぞれの調整画面で［**クイックシャープ**］、［**コントラスト**］、［**色の濃さ（彩度）**］のいずれかが［**A**］（オート）に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を［**A**］（オート）以外に設定してください。

● **測光モードが変更できない**

AEロック中は、測光モードを変更できません。

● **露出補正ができない**

撮影モードが**M**の場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの表示が変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません。

● **長時間露出撮影時に色むらが発生する**

シャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像に色むらが発生することがあります。この現象は、静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］を［**する**］に設定することで低減できます。

● **AF補助光ランプが光らない**

- カスタムメニュー a8［**内蔵AF補助光の照射設定**］が［**しない**］になっていませんか？
- 動画モード時はAF補助光は照射しません。
- フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、および**MF**の場合、AF補助光は照射しません。

● **動画に音声が録音されない**

- 動画撮影メニュー［**マイク感度**］が［**録音しない**］になっていませんか？
- 動画撮影メニュー［**マイク感度**］の［**マニュアル**］で、低い感度に設定されていませんか？

再生関連

● **RAW画像が表示されない**

［**画質モード**］を［**RAW＋FINE**］、［**RAW＋NORMAL**］、［**RAW＋BASIC**］にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません。

● **他のカメラで撮影した画像が表示されない**

この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

● **全ての画像が表示されない**

再生メニュー［**再生フォルダー設定**］を［**全てのフォルダー**］にしてください。

● **画像の縦位置・横位置が正しく表示されない**

- 再生メニュー［**縦位置自動回転**］が［**しない**］になっていませんか？
- 撮影直後の画像確認では自動回転はしません。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

● **画像が削除できない**

- SDカードがロックされていませんか？
- 画像にプロテクトが設定されていませんか？

● **画像が編集できない**

このカメラでは編集できない画像です。

● **画像を記録したのに［撮影画像がありません］と表示される**

再生メニュー［**再生フォルダー設定**］を［**全てのフォルダー**］にしてください。

● **ダイレクトプリントができない**

RAW画像はダイレクトプリントできません。

● **RAW画像をプリントできない**

- 画像編集メニューの［**RAW現像**］などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントしてください。
- RAW 画像はパソコンに転送してから、NX Studioなどのソフトウェアを使ってプリントしてください。

● **画像がHDMI対応機器で再生できない**

HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。

● **画像がHDMI対応機器で正しく表示されない**

- HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- セットアップメニュー［**カメラの初期化**］を実行すると正しく表示されることがあります。

● **［ピクチャーコントロール］、［アクティブD-ライティング］、［ヴィネットコントロール］などの効果がパソコンで確認できない**

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像はNX Studioをお使いください。

● **画像をパソコンに転送できない**

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに保存してください。

Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth関連

● **スマートフォンにカメラのSSID（ネットワーク名）が表示されない**

- セットアップメニューの［**機内モード**］が［**無効**］になっていること、および［**スマートフォンと接続**］にある［**ペアリング（Bluetooth）**］の［**Bluetooth通信機能**］が［**有効**］になっていることを確認してください。
- セットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］にある［**Wi-Fi接続**］が有効になっていることを確認してください。
- スマートフォンの無線機能をOFFにしてからONにし直してください。

● **プリンターなどの無線通信機器と接続できない**

このカメラは、スマートフォンやパソコン以外の機器とは無線接続できません。

その他

● **撮影日時が正しく表示されない**

カメラの内蔵時計は合っていますか？　カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

● **表示されているメニュー項目が選べない**

一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選べない場合があります。

● **リモコンML-L7を操作してもカメラが反応しない**

- カメラとリモコン ML-L7（別売）が接続されていません。リモコンの電源ボタンを押して接続してください。撮影画面に が表示されていない場合は、再度ペアリングして接続してください。
- セットアップメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］の［**リモコン接続**］が［**有効**］になっていることを確認してください。
- セットアップメニューの［**機内モード**］が［**無効**］になっていること、［**スマートフォンと接続**］にある［**ペアリング（Bluetooth）**］の［**Bluetooth通信機能**］が［**無効**］になっていること、［**PCと接続**］の［**Wi-Fi通信機能**］が［**無効**］になっていることを確認してください。

● **リモコンML-L7とペアリングできない**

セットアップメニューの［**機内モード**］が［**無効**］になっていることを確認してください。

警告表示と警告メッセージ

撮影画面に表示される警告表示と警告メッセージの意味は次の通りです。

警告表示

撮影画面に次の警告が表示されます。

表示	原因	対処方法
	バッテリー残量は残りわずかです。	バッテリー交換の準備をしてください。
F--	レンズが正しく装着されていません。	• レンズを正しく装着してください。 • 沈胴式のレンズをご使用の場合、レンズを繰り出してください。 • マウントアダプターを使用して非CPUレンズを装着すると表示されますが、異常ではありません。
Bulb （点滅）	撮影モードが**S**のときにシャッタースピードが**Bulb**（バルブ）にセットされています。	• シャッタースピードを変えてください。 • 撮影モード**M**で撮影してください。
Time （点滅）	撮影モードが**S**のときにシャッタースピードが**Time**（タイム）にセットされています。	• シャッタースピードを変えてください。 • 撮影モード**M**で撮影してください。
ϟ （点滅）	内蔵フラッシュまたは別売スピードライトがフル発光しました。	撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO 感度などをご確認ください。
	被写体が暗く、露出が不足しています。	内蔵フラッシュまたは別売スピードライトを使用してください。

表示	原因	対処方法
（シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかと、露出インジケーターが点滅）	被写体が明るすぎてカメラの制御範囲を超えています。	• ISO感度を低くしてください。 • 撮影モードが**P**のときは市販のNDフィルター（光量調節用）を使用してください（**S**、**A**のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください）。 • 撮影モードが**S**のときはシャッタースピードをより高速側にセットしてください。 • 撮影モードが**A**のときは絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。 • ⚠の場合は、撮影モードを切り換えてください。
（シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかと、露出インジケーターが点滅）	被写体が暗すぎて、カメラの制御範囲を超えています。	• ISO感度を高くしてください。 • 撮影モードが**P**のときは、内蔵フラッシュまたは別売スピードライトを使用してください（**S**、**A**のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください）。 • 撮影モードが**S**のときはシャッタースピードをより低速側にセットしてください。 • 撮影モードが**A**のときは絞りを開いてください（より小さい数値）。

表示	原因	対処方法
Full （点滅）	• 画像を記録する空き容量がありません。 • カメラが扱えるファイル数をオーバーしています。	• SDカードに記録されている画像を削除して、カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 • 新しいSDカードに交換してください。
Err （点滅）	撮影中に何らかの異常を検出しました。	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。

警告メッセージ

撮影画面に次のメッセージが表示されます。

メッセージ	原因	対処方法
撮影できません。 バッテリーを交換してください。	バッテリーが消耗しています。	• バッテリーを交換してください。 • バッテリーを充電してください。
お使いのバッテリーと正しく通信ができないためカメラの動作を停止します。安全にお使いいただくために専用バッテリーと交換してください。	バッテリーとの情報通信ができません。	• このバッテリーは使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。 • 極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してください。
	カメラと通信できないバッテリーを使用しています。	カメラと通信できないバッテリーを使用している場合は、ニコン純正品のバッテリーと交換してください。
メモリーカードが入っていません。	SDカードが入っていないか、正しくセットされていません。	SDカードを正しくセットしてください。
メモリーカードにアクセスできません。 カードを交換してください。	SD カードへのアクセス異常です。	• このカメラ用のSDカードであるかどうかを確認してください。 • 繰り返し抜き差ししてもエラーが解消しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関までご連絡願います。
	新規フォルダーが作成できません。	• SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 • 新しいSDカードに交換してください。

メッセージ	原因	対処方法
メモリーカードが書き込み禁止になっています。	SDカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。	SDカードのロックを解除してください（📖35）。
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしてください。	SDカードが正しく初期化されていません。	• SDカードを初期化してください。 • 正しく初期化されたSDカードに交換してください。
動画記録を中断します。しばらくお待ちください。	動画の書き込み速度に対応していないSDカードが使用されています。	書き込み速度に対応したSDカードに交換するか、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］の設定を変更してください。
カメラが高温になっています。温度がさがるまで使用できません。しばらくおまちください。電源をOFFにします。	カメラ内部の温度が高くなっています。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。
	バッテリーの温度が高くなっています。	バッテリーをカメラから取り出して、バッテリーの温度が下がるまでお待ちください。
撮影画像がありません。	撮影画像がありません。	画像が記録されているSDカードを入れてください。
	再生するフォルダーの指定に問題があります。	再生メニューの［**再生フォルダー設定**］で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。
このファイルは表示できません。	• アプリケーションソフトで編集された画像やDCF規格外の画像ファイルのため再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。	アプリケーションソフトで編集された画像を上書き保存しないでください。
このファイルは選択できません。	編集できない画像です。	このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。

メッセージ	原因	対処方法
この動画は 編集できません。	編集できない画像です。	• このカメラで撮影した動画しか編集できません。 • 2 秒未満の動画は編集できません。
プリンターの 状態を確認して ください。※	プリンターに異常があります。	用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、[**継続**] を選んで OK ボタンを押すと、プリントが再開されます（エラー内容によっては、[**継続**] を選べない場合があります）。
用紙を確認して ください。※	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[**継続**] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。
紙詰まりです。※	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、[**継続**] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。
用紙が ありません。※	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[**継続**] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。
インクを確認してください。※	インクに異常があります。	インクを確認した後、[**継続**] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。
インクが ありません。※	インクがなくなりました。	インクを交換した後、[**継続**] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。

※ プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

資 料

使用できるレンズ

このカメラでは全てのZマウントレンズをお使いいただけます。

NIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR

レンズ名にNIKKOR Zが含まれていることをご確認ください。

ヒント：使用できるFマウントレンズについて

マウントアダプター FTZを使用すると、Zマウント用カメラにFマウントレンズを装着することができます。

- 装着するレンズによっては、一部の機能に制限があります。

Zマウント用カメラで使用できるFマウントレンズおよび制限などの詳しい情報については、「使用できるFマウントレンズについて」をご覧ください。「使用できるFマウントレンズについて」はニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

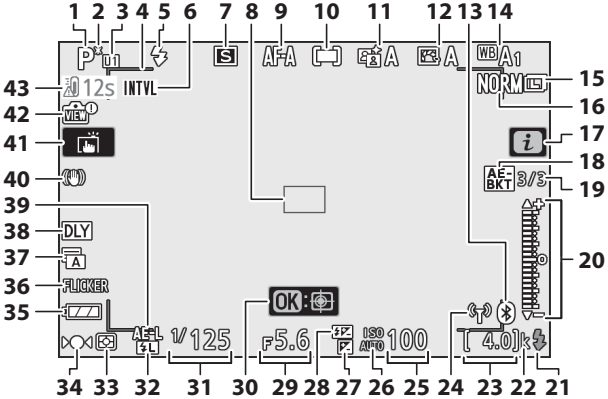
https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/491/FTZ.html

全画面表示

説明のため、全ての表示を点灯させています。

画像モニター

静止画モードの場合



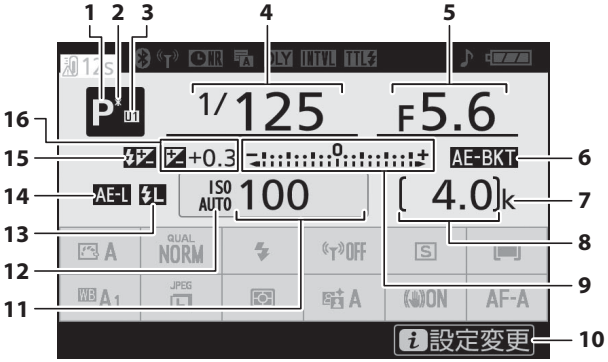
1	撮影モード 73	11	アクティブD-ライティング 132
2	プログラムシフトマーク 74	12	ピクチャーコントロール 116
3	ユーザーセッティングモード ...80	13	Bluetooth通信マーク 322
4	AFエリアフレーム 54		機内モード 321
5	フラッシュモード 108	14	ホワイトバランス ...65、120、196
6	インターバルタイマー設定マーク 239	15	画像サイズ ....127、194
	⏲マーク 38	16	画質モード 126
	カードなしマーク ....32、35	17	*i*メニュー 115
7	レリーズモード 133	18	オートブラケティングマーク 217
8	フォーカスポイント ....40、52		WBブラケティングマーク 221
9	フォーカスモード 50		ADLブラケティングマーク 224
10	AFエリアモード 52		HDRマーク 235
			多重露出マーク 228

19 オートブラケティング
撮影コマ数表示 217
WBブラケティング
撮影コマ数表示 221
ADLブラケティング
撮影コマ数表示 224
HDR露出差 235
多重露出撮影コマ数 228
20 インジケーター
露出 77
露出補正 102
オートブラケティング 217
21 レディーライト 407
22 1000コマ以上補助表示 34
23 記録可能コマ数 .....34、468
24 Wi-Fi通信マーク 131
リモコン接続マーク 327
25 ISO感度 100
26 ISO感度マーク 100
ISO-AUTOマーク 101
27 露出補正マーク 102
28 調光補正マーク 112
29 絞り値 .....75、76
30 ターゲット追尾AF 59
31 シャッタースピード .....74、76
32 FVロックマーク 113
33 測光モード 130
34 ピント表示 63
35 バッテリー残量表示 34
36 **FLICKER**アイコン 210
37 シャッター方式 279
サイレント撮影 69
38 露出ディレーモード 278
39 **AE-L**マーク 104
40 光学手ブレ補正 137
41 タッチ撮影機能 .....12、61
42 Lvに撮影設定を反映 281
43 温度上昇警告

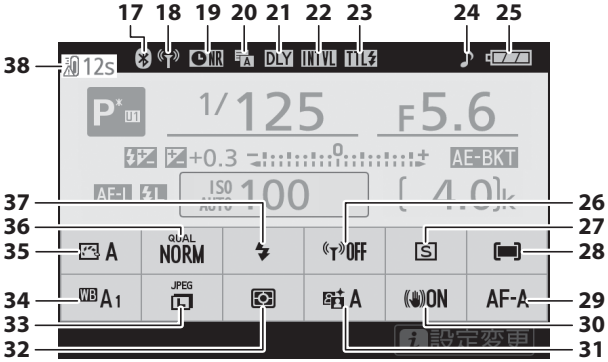
温度上昇警告について

- カメラ内部の温度が上昇すると、温度上昇警告が表示され、カウントダウンが表示されます。カウントダウンが0になると、撮影画面の表示が消灯します。
- 消灯する30秒前から赤字で表示されます。撮影条件によっては、電源をONにした後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

インフォ画面

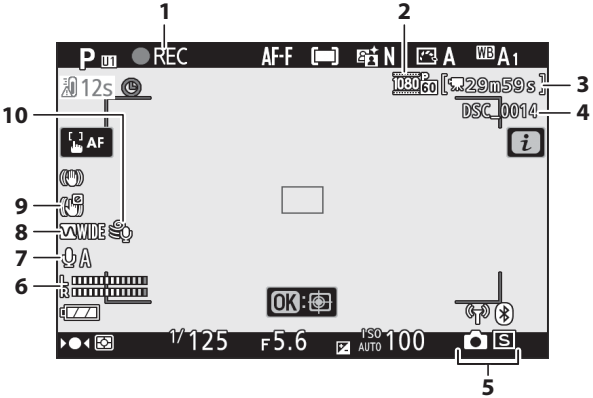


1	撮影モード	73
2	プログラムシフトマーク	74
3	ユーザーセッティングモード	80
4	シャッタースピード	74、76
5	絞り値	75、76
6	オートブラケティングマーク	217
	WBブラケティングマーク	221
	ADLブラケティングマーク	224
	HDRマーク	235
	多重露出マーク	228
7	1000コマ以上補助表示	34
8	記録可能コマ数	34、468
9	インジケーター	
	露出	77
	露出補正	102
	オートブラケティング	217
	WBブラケティング	221
	ADLブラケティング	224
10	*i*メニュー	115
11	ISO感度	100
12	ISO感度マーク	100
	ISO-AUTOマーク	101
13	FVロックマーク	113
14	**AE-L**マーク	104
15	調光補正マーク	112
16	露出補正マーク	102
	露出補正値	102



17	Bluetooth通信マーク	322	26	Wi-Fi通信機能	131
	機内モード	321	27	レリーズモード	133
18	Wi-Fi通信マーク	131	28	AFエリアモード	52
	リモコン接続マーク	327	29	フォーカスモード	50
19	長秒時ノイズ低減マーク	207	30	光学手ブレ補正	137
20	シャッター方式	279	31	アクティブD-ライティング	132
	サイレント撮影	69	32	測光モード	130
21	露出ディレーモード	278	33	画像サイズ	127、194
22	インターバルタイマー設定マーク	239	34	ホワイトバランス	65、120、196
	⏲マーク	38	35	ピクチャーコントロール	116
23	発光モード	212、409	36	画質モード	126
24	電子音マーク	319	37	フラッシュモード	108
25	バッテリー残量表示	34	38	温度上昇警告	431

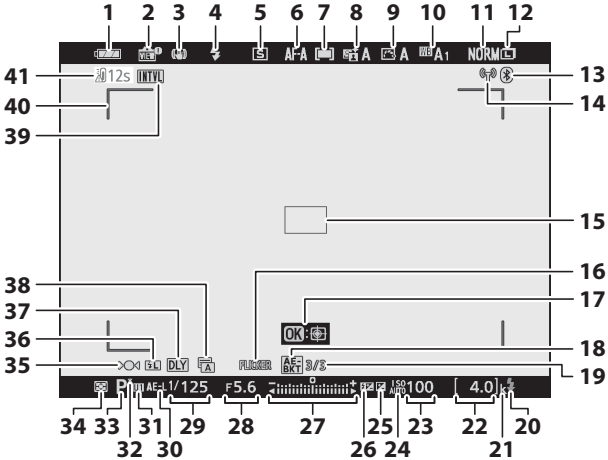
動画モードの場合



1	動画撮影中マーク	44
	動画撮影禁止マーク	45
2	画像サイズ/フレームレート/画質	140
3	動画撮影残り時間	44
4	ファイル名	192
5	静止画撮影のレリーズモード	263
6	音声レベルインジケーター	143
7	マイク感度	143
8	録音帯域	265
9	電子手ブレ補正マーク	145
10	風切り音低減マーク	144

ファインダー

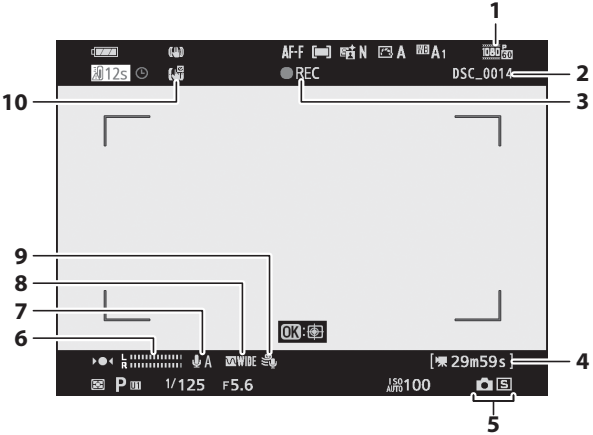
静止画モードの場合



1	バッテリー残量表示	34
2	Lvに撮影設定を反映	281
3	光学手ブレ補正	137
4	フラッシュモード	108
5	レリーズモード	133
6	フォーカスモード	50
7	AFエリアモード	52
8	アクティブD-ライティング	132
9	ピクチャーコントロール	116
10	ホワイトバランス	65、120、196
11	画質モード	126
12	画像サイズ	127、194
13	Bluetooth通信マーク	322
	機内モード	321
14	Wi-Fi通信マーク	131
	リモコン接続マーク	327
15	フォーカスポイント	40、52
16	**FLICKER**アイコン	210
17	ターゲット追尾AF	59
18	オートブラケティングマーク	217
	WBブラケティングマーク	221
	ADLブラケティングマーク	224
	HDRマーク	235
	多重露出マーク	228
19	オートブラケティング撮影コマ数表示	217
	WBブラケティング撮影コマ数表示	221
	ADLブラケティング撮影コマ数表示	224
	HDR露出差	235
	多重露出撮影コマ数	228

20 レディーライト 407
21 1000コマ以上補助表示 34
22 記録可能コマ数 .....34、468
23 ISO感度 100
24 ISO感度マーク 100
ISO-AUTOマーク 101
25 露出補正マーク 102
26 調光補正マーク 112
27 インジケーター
露出 77
露出補正 102
オートブラケティング 217
28 絞り値 .....75、76
29 シャッタースピード .....74、76
30 **AE-L**マーク 104
31 ユーザーセッティングモード ...80
32 プログラムシフトマーク 74
33 撮影モード 73
34 測光モード 130
35 ピント表示 63
36 FVロックマーク 113
37 露出ディレーモード 278
38 シャッター方式 279
サイレント撮影 69
39 インターバルタイマー設定
マーク 239
⏲マーク 38
カードなしマーク .....32、35
40 AFエリアフレーム 54
41 温度上昇警告 431

動画モードの場合



1	画像サイズ/フレームレート/画質 140	5	静止画撮影のレリーズモード 263
2	ファイル名 192	6	音声レベルインジケーター 143
3	動画撮影中マーク .....44 動画撮影禁止マーク 45	7	マイク感度 143
4	動画撮影残り時間 44	8	録音帯域 265
		9	風切り音低減マーク 144
		10	電子手ブレ補正マーク 145

使用できるスピードライト

ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）について

ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）はニコンのスピードライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、さまざまな機能を提供します。

ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

			SB-5000	SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
1灯	i-TTL	i-TTL-BL調光※1	○	○	○	○	○	—	—	○	○
		スタンダードi-TTL調光	○※2	○※2	○	○※2	○	—	—	○	○
	⊛A	絞り連動外部自動調光	○	○※3	—	—	—	—	—	—	—
	A	外部自動調光	—	○※3	—	—	—	—	—	—	—
	GN	距離優先マニュアル発光	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	M	マニュアル発光	○	○	○	○	○※4	—	—	○※4	○※4
	RPT	リピーティングフラッシュ	○	○	—	—	—	—	—	—	—

				SB-5000	SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
光制御アドバンストワイヤレスライティング	マスターフラッシュ		リモートフラッシュへの発光指示	○	○	○	—	○※4	○	—	—	—
		i-TTL	i-TTL 調光	○	○	○	—	○※4	—	—	—	—
		[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	○	—	○	—	—	○※5	—	—	—
		A	絞り連動外部自動調光	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		A	外部自動調光	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		M	マニュアル発光	○	○	○	—	○※4	—	—	—	—
		RPT	リピーティングフラッシュ	○	○	—	—	—	—	—	—	—
	リモートフラッシュ	i-TTL	i-TTL 調光	○	○	○	○	○	—	○	—	—
		[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	○	○	○	○	○	—	○	—	—
		A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	○※6	○※6	—	—	—	—	—	—	—
		M	マニュアル発光	○	○	○	○	○	—	○	—	—
		RPT	リピーティングフラッシュ	○	○	○	○	○	—	—	—	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング				—	—	—	—	—	—	—	—	—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）				○	○	○	○	○	—	—	○	○
発光色温度情報伝達（LEDライト）				—	—	—	—	○	—	—	—	—
オートFPハイスピードシンクロ ※7				○	○	○	○	○	○	○	—	—
FVロック ※8				○	○	○	○	○	○	○	○	○
赤目軽減発光				○	○	○	○	○	—	—	○	—
カメラ起動モデリング発光				—	—	—	—	—	—	—	—	—

	SB-5000	SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
ユニファイドフラッシュコントロール	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カメラからのスピードライトファームアップ	○	○※9	○	—	○	—	—	—	○

※1　スポット測光時は設定できません。
※2　スピードライト側でも設定できます。
※3　㊫AとAの選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。
※4　カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※5　クローズアップ撮影時のみ設定できます。
※6　㊫AとAの選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
※7　発光モードがi-TTL、㊫A、A、GN、Mの場合のみ動作します。
※8　発光モードがi-TTL、「モニター発光あり」の㊫Aまたは「モニター発光あり」のAの場合のみ動作します。
※9　SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800は、ワイヤレスでSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて光制御できます。SU-800には発光機能はありません。

その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光（**A**）あるいはマニュアル発光撮影となります。装着レンズによって機能が変わることはありません。

スピードライト			SB-80DX SB-28DX	SB-50DX	SB-28 SB-26 SB-25 SB-24	SB-30 SB-27※1 SB-22S SB-22 SB-20 SB-16B SB-15	SB-23 SB-29 SB-21B SB-29S
区分	**A**	外部自動調光	○	—	○	○	—
	M	マニュアル発光	○	○	○	○	○
	▦	マルチフラッシュ	○	—	○	—	—
	REAR※2	後幕シンクロ	○	○	○	○	○

※1 このカメラと SB-27 を組み合わせると自動的に **TTL** モードになりますが、**TTL**モードでは使えません。SB-27を**A**モードに設定し直してください。
※2 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

スピードライトのFVロック時の測光エリアについて

スピードライトを使用したFVロック時の測光エリアは次のようになります。

撮影状態	発光モード	測光エリア
1灯撮影時	i-TTLモード	画面中央 φ6 mm相当
	絞り連動外部自動調光（㊋A）	スピードライトの外部測光エリア
アドバンストワイヤレスライティングによる増灯時	i-TTLモード	全画面
	絞り連動外部自動調光（㊋A）	スピードライトの外部測光エリア
	外部自動調光（A）	

✓ スピードライト使用時のご注意

- 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載のデジタル一眼レフカメラには該当しません。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性のある場合に、発光直後に⚡（レディーライト）が約3秒間点滅して露出アンダー警告を行います。
- i-TTLモード時のISO 感度連動範囲はISO 100～12800相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合があります。
- 撮影モードが**P**の場合、下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

ISO感度と開放側の限界絞り（F）							
100	**200**	**400**	**800**	**1600**	**3200**	**6400**	**12800**
4	5	5.6	7.1	8	10	11	13

※ 制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって制御されます。

- スピードライトSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- パワーアシストパック SD-8A または SD-9 をカメラに固定した状態でフラッシュ撮影をすると、筋状のノイズが写り込むことがあります。その場合は、ISO感度を下げるか、SD-8AまたはSD-9をカメラから離してお使いください。
- AF補助光の照射条件が満たされると、カメラのAF補助光を自動的に照射します。スピードライトのAF補助光は照射されません。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-TTLモード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材（拡散板など）を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

別売スピードライトの調光補正について

i-TTL調光時および絞り連動外部自動調光（⊛A）時に、静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で設定した調光補正と、スピードライト本体または静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］で設定した調光補正を同時に行う場合、両方の補正値を加算します。

ヒント：スタジオ用フラッシュを使う場合

カスタムメニューd7［**Lvに撮影設定を反映**］を［**しない**］に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、構図の確認などがしやすくなります。

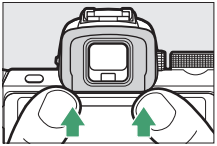
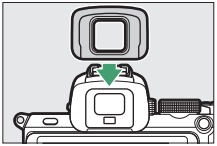
使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。

電源	**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25a/EN-EL25** ニコンデジタルカメラZ 50用のバッテリーです。 • EN-EL25a使用時とEN-EL25使用時とでは、バッテリー容量が異なるので、撮影可能コマ数（電池寿命）などが異なります（🕮469）。 **バッテリーチャージャー MH-32** Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL25a/EN-EL25 用のチャージャーです。 **本体充電ACアダプター EH-73P** バッテリーを挿入したカメラ本体に接続して、バッテリーを充電できます。 • カメラの電源がONの場合は充電できません。
フィルター	• フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、ニュートラルカラー NCをお使いください。 • 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。 • 露出倍数のかかるフィルター（Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND2S、ND4S、ND4、ND8S、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12）を使用する場合、マルチパターン測光の効果が得られない場合があります。その場合、測光モードを中央部重点測光に切り換えて撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの使用説明書をご覧ください。 • 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやピント表示（●）が行えないことがありますのでご注意ください。

使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していないまたは販売が終了している場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

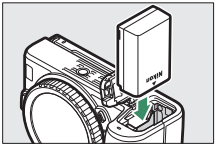
USBケーブル	**USBケーブルUC-E21** カメラ側がMicro-B端子、USB機器側がType-AのUSBケーブルです。
ホットシューアダプター	**ホットシューアダプター AS-15** アクセサリーシューに装着すると、シンクロターミナルを利用してスタジオ用フラッシュなどを接続できます。
アクセサリーシューカバー	**アクセサリーシューカバー BS-1** スピードライトを取り付けるアクセサリーシューを保護するためのカバーです。
ボディーキャップ	**ボディーキャップBF-N1** レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
外部マイク	**ステレオマイクロホンME-1** ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、ステレオ録音ができます。また、動画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音などが録音されるのを軽減できます。 **ワイヤレスマイクロホンME-W1** Bluetooth無線通信技術を搭載したワイヤレスマイクロホンです。カメラの動画撮影時に離れた場所の音声を収音できます。
ファインダー用アクセサリー	**接眼目当てDK-30** 接眼部に取り付けて使用する、ゴム製の接眼目当てです。ファインダー視野がよりはっきり確認でき、目の疲れを軽減します。  取り外し方  取り付け方
マウントアダプター	**マウントアダプター FTZ** Fマウント用のNIKKORレンズをZマウントのレンズ交換式デジタルカメラに取り付けるためのアダプターです。撮影画角は、35mm判換算で約1.5倍の焦点距離に相当する画角になります。 • マウントアダプター FTZ のカメラへの取り付け方と取り外し方、マウントアダプターのお手入れと取り扱い上のご注意については、マウントアダプターの説明書をご覧ください。

リモコン	**リモコンML-L7** カメラとペアリングして、リモート操作で動画、静止画の撮影などができます。 • ペアリングはセットアップメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］の［**リモコン登録**］で行います。 • リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンをペアリングすると、最後にペアリングしたリモコンのみ有効になります。 • カメラの半押しタイマーがオフになり画像モニターとファインダーの表示が消灯しているとき、リモコンの電源をONにしてからリモコンのシャッターボタンまたは動画撮影ボタンを長押しすると、元の状態に戻ります。 • 詳しい使い方などは、活用ガイドの「メニューガイド」にあるセットアップメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］、およびリモコンの使用説明書をご覧ください。

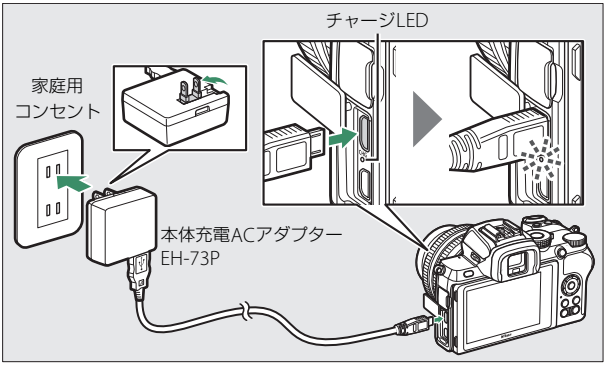
本体充電ACアダプターを使用して充電する

別売の本体充電ACアダプターEH-73Pを使用すると、カメラにLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25を入れた状態で充電できます。どちらのバッテリーの場合も、フル充電するには約3時間30分かかります（残量のないバッテリーの場合）。

1 EN-EL25a/EN-EL25をカメラに入れる（📖32）



2 本体充電ACアダプターとカメラを付属のUSBケーブルで接続し、カメラの電源がOFFの状態で家庭用コンセントにつなぐ



- UC-E21以外のUSBケーブル、およびEH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。
- プラグはまっすぐに抜き差ししてください。
- 充電中はチャージLEDがオレンジ色で点灯します。充電が終わると、チャージLEDが消灯します。
- カメラの電源がONのときは充電しません。
- ケーブルを接続したままでも電源をONにして操作できますが、本体充電ACアダプターからカメラへの電源の供給はできません。

3 充電が終わったら本体充電ACアダプターをコンセントから外す

カメラからケーブルを外してください。

本体充電ACアダプターを使用した充電時のご注意

本体充電ACアダプターでの充電に対応していないバッテリーを使用している場合や、カメラが高温になった場合など、バッテリーを充電できない場合はチャージLEDが30秒間素早く点滅してから消灯します。チャージLEDが消灯していても、充分に充電されているかどうかを確認してください。

ソフトウェア/アプリケーション

このカメラで使用できるニコン純正ソフトウェアは次の通りです。

パソコン用ソフトウェア	**Camera Control Pro 2**（有料） パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接ハードディスクなどへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。 **NX Tether** パソコンとカメラを接続して撮影する「テザー撮影」ができるソフトウェアです。パソコンの画面上から露出やホワイトバランスなどのカメラの設定をリモート操作で変更することもできます。 **NX Studio**※ ニコンデジタルカメラで撮影した静止画や動画の閲覧と編集を行うソフトウェアです。ニコン独自のRAW（NEF/NRW）ファイルを調整したり、JPEG またはTIFF 形式のファイルに変換（RAW現像）することができます。RAW画像だけでなく、ニコン製デジタルカメラで撮影したJPEG、TIFFの画像についても明るさやコントラスト、トーンカーブなどの豊富な機能を使った調整ができます。 ※ 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことや、RAW画像が開けないことがあります。 **Wireless Transmitter Utility** カメラをネットワークに接続する場合に必要なアプリケーションです。カメラとパソコンをWi-Fi接続し、Wireless Transmitter Utilityを使用してペアリングすると、画像の転送ができるようになります。 • パソコン用ソフトウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。ソフトウェアの最新情報や動作環境を確認し、必ず最新版をインストールしてください。 https://downloadcenter.nikonimglib.com/
スマートフォン用アプリ	**SnapBridge** カメラとスマートフォンを無線接続すると、画像や動画をスマートフォンへ送信できます。 • SnapBridgeアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。 • SnapBridge アプリの最新情報については当社ホームページでご確認ください。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 **ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。**
レンズ・ファインダー	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。
画像モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

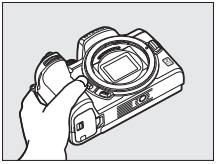
アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

撮像素子前面をブロアーで掃除する

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。撮像素子前面は次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

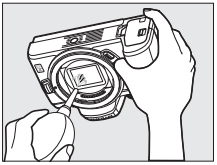
1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す

2 カメラの内部に光が当たるようにカメラを持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検する



ゴミやほこりが付いていない場合は、手順4にお進みください。

3 撮像素子前面に付いたゴミやほこりをブロアーで払う



- ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。

4 付属のボディーキャップを付ける

撮像素子前面に付着するゴミなどについて

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディーキャップを取り外した際に外部からカメラ内に入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが付着することがあり、撮影条件によっては撮像素子前面に付着したゴミや潤滑剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディーキャップの着脱は避け、カメラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディーキャップのゴミを除去してからカメラに取り付けてください。レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。撮像素子前面に付着したゴミなどは、「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮450）の手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、画像加工アプリケーションなどで修正できます。

定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの使用上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、静電気が発生する環境では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色、焼き付き、破損を起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レーザー光などの光線について

レーザー光などの強い光線がレンズに向けて照射されると、撮像素子が破損を起こすおそれがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

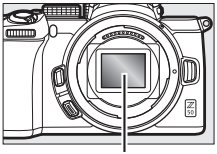
カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● **レンズやファインダーのお手入れについて**

レンズやファインダーは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● **撮像素子に触れない**

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。



● **撮像素子の手入れ方法について**

撮像素子のクリーニングの方法については📖450をご覧ください。

● **レンズの信号接点について**

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。指などが触れないようにご注意ください。

● **風通しのよい場所に保管する**

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● **長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する**

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● **バッテリーを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする**

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出すと故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 画像モニターとファインダーについて

- 画像モニター（ファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で画像モニターが見えにくい場合があります。
- 画像モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。画像モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、画像モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。
- ファインダーを見ながら撮影をしている場合に、次のいずれかの症状を感じた時は、使用をやめ、回復するまで休んでください。
  - 吐き気・目の痛み、目の疲れ
  - めまい・頭痛・首の痛み、肩こり
  - 気分が悪い・手と目の感覚のずれ
  - 乗り物酔いの症状
- 連続撮影時に、撮影画面が素早く点灯と消灯を繰りかえすことがあります。このとき、撮影画面を見続けることで体調不良などの症状が起きる恐れがあります。その場合は使用をやめ、回復するまで休んでください。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに撮影した画像上に線状のノイズが発生することがあります。

バッテリーの使用上のご注意

● **使用上のご注意**

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
  - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
  - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
  - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
  - 必ず指定のバッテリーを使う。
  - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
  - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃ ～ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは 0 ℃～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。

- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイクル協力店へお持ちください。
詳しくは一般社団法人JBRCホームページ（https://www.jbrc.com）をご覧ください。

Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-32 に対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャー MH-32で充電しないでください。
- 落下などによる破損で内部が露出していたり、内部から異音がするような場合は、使用しないでください。

本体充電ACアダプターの使用上のご注意

- 充電中にカメラをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはカメラを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- 本体充電 AC アダプターの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- 本体充電 AC アダプターを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 落下などによる破損で内部が露出していたり、内部から異音がするような場合は、使用しないでください。

主な仕様

ニコンデジタルカメラ Z 50

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコンZマウント
使用レンズ	
使用レンズ	• Zマウント用NIKKORレンズ • Fマウント用NIKKORレンズ（マウントアダプター使用時、一部機能制限あり）
有効画素数	
有効画素数	2088万画素
撮像素子	
方式	23.5×15.7 mmサイズCMOSセンサー（ニコンDXフォーマット）
総画素数	2151万画素
ダスト低減機能	イメージダストオフデータ取得（NX Studioが必要）
記録形式	
記録画素数	• **撮像範囲［DX（24×16）］の場合**： 5568×3712ピクセル（サイズL：20.7 M） 4176×2784ピクセル（サイズM：11.6 M） 2784×1856ピクセル（サイズS：5.2 M） • **撮像範囲［1:1（16×16）］の場合**： 3712×3712ピクセル（サイズL：13.8 M） 2784×2784ピクセル（サイズM：7.8 M） 1856×1856ピクセル（サイズS：3.4 M） • **撮像範囲［16:9（24×14）］の場合**： 5568×3128ピクセル（サイズL：17.4 M） 4176×2344ピクセル（サイズM：9.8 M） 2784×1560ピクセル（サイズS：4.3 M） • **動画の画像サイズを3840×2160に設定し、動画モード中に静止画撮影した場合**： 3840×2160ピクセル • **動画の画像サイズを1920×1080に設定し、動画モード中に静止画撮影した場合**： 1920×1080ピクセル

記録形式	
画質モード	• RAW 12ビット/14ビット • JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） • RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control（ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソンバー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チャコール、グラファイト、バイナリー、カーボン）、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応）
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.31、PictBridge

ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、0.39型XGA OLED、約236万ドット、明るさ調整可能（オート、マニュアル7段階）、カラーカスタマイズ可能
視野率	上下左右とも約100%（対実画面）
倍率	約1.02倍 （50mmレンズ使用時、∞、－1.0 m^{-1}のとき）
アイポイント	接眼レンズ面中央から19.5mm（－1.0 m^{-1}のとき）
視度調節範囲	－3～＋3 m^{-1}
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え

画像モニター	
画像モニター	チルト式3.2型TFT液晶モニター（タッチパネル）、約104万ドット、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能（マニュアル11段階）

シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先幕シャッター、電子シャッター
シャッタースピード	1/4000～30秒（ステップ幅：1/3、1/2ステップに変更可能）、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調、オートFPハイスピードシンクロ可能

レリーズ機能	
レリーズモード	1コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、高速連続撮影（拡張）、セルフタイマー撮影
連続撮影速度	• **低速連続撮影**：約1～4コマ/秒 • **高速連続撮影**：約5コマ/秒 • **高速連続撮影（拡張）**：約11コマ/秒 ※ ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20秒、撮影コマ数：1～9コマ、連続撮影間隔：0.5、1、2、3秒

露出制御	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• **マルチパターン測光** • **中央部重点測光**：φ8 mm相当を測光（中央部重点度約75%）、画面全体の平均に変更可能 • **スポット測光**：約φ3.5 mm相当（全画面の約2.5%）を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動 • **ハイライト重点測光**
測光範囲	−4～17 EV ※ ISO 100、f/2.0レンズ使用時、常温20℃
撮影モード	• **AUTO**：オート、**P**：プログラムオート（プログラムシフト可能）、**S**：シャッター優先オート、**A**：絞り優先オート、**M**：マニュアル • **シーンモード**：：ポートレート、：風景、：こどもスナップ、：スポーツ、：クローズアップ、：夜景ポートレート、：夜景、：パーティー、：海・雪、：夕焼け、：トワイライト、：ペット、：キャンドルライト、：桜、：紅葉、：料理 • **スペシャルエフェクトモード**：：ナイトビジョン、**VI**：極彩色、**POP**：ポップ、：フォトイラスト、：トイカメラ風、：ミニチュア効果、：セレクトカラー、：シルエット、：ハイキー、：ローキー • ユーザーセッティング**U1**、**U2**に登録可能
露出補正	**P**、**S**、**A**、**M**、**SCN**、**EFCT**時に設定可能、範囲：±5段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
AEロック	輝度値ロック方式
ISO感度（推奨露光指数）	ISO 100～51200（ステップ幅：1/3、1/2ステップに変更可能）、ISO 51200に対し約1段、2段（ISO 204800相当）の増感、感度自動制御が可能

露出制御	
アクティブD-ライティング	オート、より強め 、強め、標準、弱め、しない
多重露出	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成
その他の機能	HDR（ハイダイナミックレンジ）、静止画フリッカー低減撮影

オートフォーカス	
方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
検出範囲	−4〜19 EV ※ ローライトAF無効時：−2〜19EV ※ 静止画モード、シングルAFサーボ（**AF-S**）、ISO 100、f/2.0レンズ使用時、常温20℃
レンズサーボ	• **オートフォーカス**：シングルAFサーボ（**AF-S**）、コンティニュアスAFサーボ（**AF-C**）、AFモード自動切り換え（**AF-A**、静止画モードのみ）、常時AF（**AF-F**、動画モードのみ）、予測駆動フォーカスあり • **マニュアルフォーカス（M）**：フォーカスエイド可能
フォーカスポイント	209点 ※ 静止画モード、撮像範囲DX、シングルポイントAF時
AFエリアモード	ピンポイントAF（静止画モードのみ）、シングルポイントAF、ダイナミックAF（静止画モードのみ）、ワイドエリアAF（S）、ワイドエリアAF（L）、オートエリアAF
フォーカスロック	AE-L/AF-L（O-n）ボタン、またはシングルAFサーボ（**AF-S**）時にシャッターボタン半押し

フラッシュ	
内蔵フラッシュ	フラッシュポップアップレバー操作による手動ポップアップ方式 **ガイドナンバー**：約7（マニュアルフル発光時約7） （ISO 100・m、20℃）
充電時間	約3秒
調光方式	**TTL調光制御**：i-TTL-BL調光（マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スローシャッター、赤目軽減+スローシャッター、後幕発光、通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート+スローシャッター、赤目軽減オート+スローシャッター、発光禁止
調光補正	**P**、**S**、**A**、**M**、**SCN**時に設定可能、範囲：−3〜+1段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能

フラッシュ	
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
アクセサリーシュー	ホットシュー（ISO 518）装備：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付
ニコンクリエイティブライティングシステム	i-TTL調光、光制御アドバンストワイヤレスライティング、FVロック、発光色温度情報伝達、オートFPハイスピードシンクロ

ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート（3種）、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯（7種）、フラッシュ、色温度設定（2500K～10000K）、プリセットマニュアル（6件登録可）、色温度設定以外は微調整可能

ブラケティング	
ブラケティング	AEブラケティング、ホワイトバランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケティング

動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数/フレームレート	• 3840×2160（4K UHD）：30p/25p/24p • 1920×1080：120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 1920×1080スロー：30p（4倍）/25p（4倍）/24p（5倍） ※ 120p：119.88fps、100p：100fps、60p：59.94fps、50p：50fps、30p：29.97fps、25p：25fps、24p：23.976fps ※ 標準/★高画質選択可能（3840×2160、1920×1080 120p/100p、1920×1080スローは★高画質のみ）
ファイル形式	MOV、MP4
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM、AAC
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能
露出補正	**P**、**S**、**A**、**M**、**SCN**、**EFCT**時に設定可能、範囲：±3段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能

動画機能	
ISO感度（推奨露光指数）	• **M**：ISO 100～25600（ステップ幅：1/3、1/2ステップに変更可能）、感度自動制御（ISO 100～25600）が可能、制御上限感度が設定可能 • **P、S、A**：感度自動制御（ISO 100～25600）、制御上限感度が設定可能 • **AUTO、SCN、EFCT（を除く）**：感度自動制御（ISO 100～25600） • **（**：感度自動制御（ISO 100～Hi 4）
アクティブD-ライティング	静止画の設定と同じ、より強め、強め、標準、弱め、しない
その他の機能	タイムラプス動画、電子手ブレ補正

再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル（4、9、72分割）、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー（静止画/動画選択再生可能）、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング

インターフェース	
USB	Hi-Speed USB（Micro-B端子）（標準装備されたUSBポートへの接続を推奨）
HDMI出力	HDMI端子（Type D）装備
外部マイク入力	ステレオミニジャック（φ3.5mm）、プラグインパワーマイク対応

Wi-Fi（無線LAN）・Bluetooth	
Wi-Fi	• **準拠規格**：IEEE802.11b/g/n/a/ac • **周波数範囲（中心周波数）**：2412～2472 MHz（13ch）、5180～5700 MHz • **出力（EIRP）**： 6.9 dBm（2.4 GHz） 10.2 dBm（5 GHz） • **認証方式**：オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	• **通信方式**：Bluetooth標準規格 Ver.4.2 • **周波数範囲（中心周波数）**： Bluetooth：2402～2480 MHz Bluetooth Low Energy：2402～2480 MHz • **出力（EIRP）**： Bluetooth：1.4 dBm Bluetooth Low Energy：－0.1 dBm

Wi-Fi（無線LAN）・Bluetooth	
通信距離（見通し）	約10 m※ ※ 電波干渉がない場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。

電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25a/EN-EL25※1、2 1個使用 ※1 EN-EL25aを使用するには、カメラのファームウェアバージョンがC: 2.50以上であることが必要です。 ※2 EN-EL25a使用時とEN-EL25使用時とでは、バッテリー容量が異なるので、撮影可能コマ数（電池寿命）などが異なります。
本体充電ACアダプター	本体充電ACアダプター EH-73P

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）

寸法・質量	
寸法（W×H×D）	約126.5×93.5×60 mm
質量	約450 g（バッテリーおよびSDカードを含む、ボディーキャップを除く）、約395 g（本体のみ）

動作環境	
温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- カメラに表示されるサンプル画像、および説明書内の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

バッテリーチャージャー MH-32

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、0.21 A
定格入力容量	21–31 VA
充電出力	DC 8.4 V、1.12 A（MAX）
適応充電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25a/EN-EL25
充電時間	約2時間40分（EN-EL25a使用時） 約2時間30分（EN-EL25使用時） ※ 残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約67×94×28 mm
質量	約99 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、⎓ DC（直流）、⧈ クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.6 V、1120 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約34×50.5×18 mm
質量	約53 g（端子カバーを除く）

カメラやSDカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にSDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された、無線LAN接続設定などの個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー［**カメラの初期化**］を行って削除してください。

このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system（DCF）Version 2.0**：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- **Exif Version 2.31**：（Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras）：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- **PictBridge**：デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- **HDMI（High-Definition Multimedia Interface）**：家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

使用できるSDカード

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。
- UHS-Iに対応しています。
- 動画の撮影および再生には、UHSスピードクラス3以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の記録および再生が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのSDカードに対応していることをご確認ください。
- SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード（📖126）、画像サイズ（📖127、194）の組み合わせによって、［**撮像範囲設定**］が［**DX（24×16）**］の場合に32 GBのSDカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります※1。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

画質モード	画像サイズ	1コマあたりのファイルサイズ	記録可能コマ数※2	連続撮影可能コマ数※2、3
RAW（12ビット記録）	—	約19.9 MB	846コマ	35コマ
RAW（14ビット記録）	—	約24.7 MB	743コマ	30コマ
FINE	L	約9.2 MB	2100コマ	71コマ
	M	約6.3 MB	3400コマ	100コマ
	S	約3.5 MB	6200コマ	100コマ
NORMAL	L	約5.5 MB	4100コマ	100コマ
	M	約3.3 MB	6600コマ	100コマ
	S	約1.8 MB	11800コマ	100コマ
BASIC	L	約2.3 MB	8000コマ	100コマ
	M	約1.6 MB	12600コマ	100コマ
	S	約1.0 MB	21600コマ	100コマ

※1 SanDisk SDSDXVE-032G-JNJIPのSDカードを使用した場合（2019年4月現在）
※2 撮影条件により、記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数は増減することがあります。
※3 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。［**自動ゆがみ補正**］を［**する**］に設定すると、連続撮影可能コマ数は減少します。

撮影可能コマ数（電池寿命）について

フル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25使用時の電池寿命は次の通りです※1。モニターモードによってコマ数（枚数）が異なります。

■ 静止画モード：撮影可能コマ数※2

- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約310枚（EN-EL25a）
  約280枚（EN-EL25）
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約350枚（EN-EL25a）
  約320枚（EN-EL25）

■ 動画モード：動画撮影可能時間※3

- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約90分（EN-EL25a）
  約75分（EN-EL25）
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約90分（EN-EL25a）
  約75分（EN-EL25）

次の場合などは、バッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- BluetoothおよびWi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- アクセサリーを装着して使用した場合
- レンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合
- 低温環境で撮影した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

※1 バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命は異なります。

※2 CIPA（カメラ映像機器工業会）基準準拠。初期設定条件で 30 秒間隔ごとに撮影する。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR、温度23（±2）℃。

※3 電池寿命測定方法を定めたCIPA規格による実撮影電池寿命。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR、温度23（±2）℃。カメラは初期設定状態。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は29分59秒です。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

NIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR 使用説明書

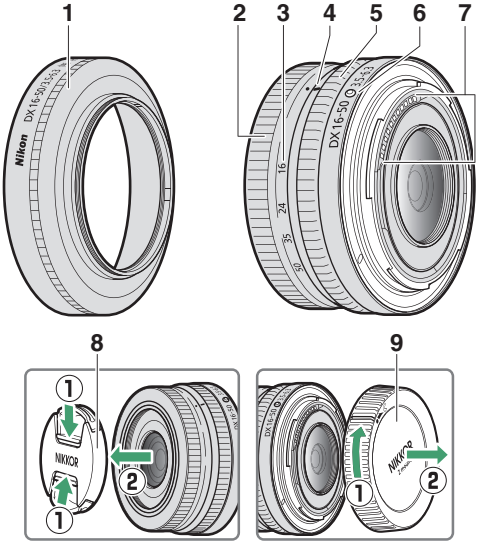
このカメラとNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VRをレンズキットでご購入の場合は、こちらをレンズの使用説明書としてお使いください。

国または地域によっては、レンズキットを販売していない場合があります。

レンズの使い方

▌▌ 各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下の通りです。



※ レンズキットでは異なる裏ぶたが付属する場合があります。その場合、①の手順は不要です。

1　フード※	画像に悪影響を及ぼす光線をカットします。 レンズ面の保護にも役立ちます。
2　ズームリング	このリングを回転させるとズーミングができます。 • 撮影前にレンズを繰り出してください。
3　焦点距離目盛	ズーミング時の焦点距離の目安として使用します。
4　焦点距離目盛指標	
5　コントロールリング	**オートフォーカス時** このリングを回転させると、［**フォーカス（M/A）**］や［**絞り**］などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記載されている［**カスタムボタンの機能**］または［**カスタムボタンの機能（撮影）**］の説明をご覧ください。
	マニュアルフォーカス時 このリングを回転させると手動でピント合わせができます。
6　レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。
7　CPU信号接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。
8　レンズキャップ	—
9　裏ぶた	—

※ フードは別売です。

カメラへの取り付け方・取り外し方

取り付け方

1 カメラの電源をOFFにして、レンズの裏ぶたとカメラのボディーキャップを外す

2 カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す

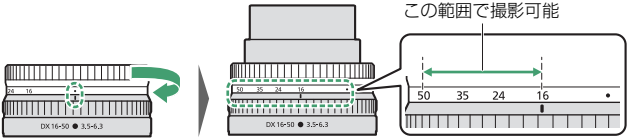
取り外し方

1 カメラの電源をOFFにする

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

撮影前の準備

このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が16–50の範囲内でのみ撮影できます。

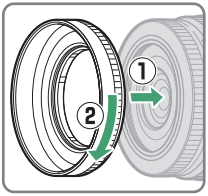


- レンズを収納するときは、レンズを繰り出すときと逆の方向に（●）の位置までズームリングを回してください。
- レンズを繰り出さずに電源をONにすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときはレンズを繰り出してください。

フード（別売）の取り付け方・取り外し方

フードは、直接レンズの前枠にねじ込んで使用します。取り付けの際は、レンズのガラス面に触れたり、無理に力を加えたりしないようにご注意ください。

- 取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。



カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

- 内蔵フラッシュの光がレンズやレンズのフードでさえぎられると画像に影が写り込みます。フードは取り外して撮影してください。フードを取り外しても、レンズの焦点距離と撮影距離によっては影が写り込みます。
- 内蔵フラッシュが使用できるレンズの焦点距離の範囲は、カメラによって異なりますのでお使いのカメラの説明書をご覧ください。使用可能な焦点距離よりも広角側で撮影すると、画像周辺部が暗く写る場合があります。

手ブレ補正機能

このレンズには手ブレ補正機能があります。手ブレ補正機能はカメラで設定できます。詳しくは、カメラの説明書をご覧ください。

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて4.5段※シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がります。

※ CIPA規格準拠。DX フォーマットのカメラを使用し、カメラの手ブレ補正機能を［**ノーマル**］にしているとき。ズームレンズは最も望遠側で測定。

カメラにレンズを取り付けたときのご注意

- ピント合わせを行った後に、カメラの電源をOFFにして再びONにするとピント位置が変わることがあります。ピントをあらかじめ合わせておいて被写体を待つ置きピン撮影などでは、ピントを合わせてからシャッターをきるまでにカメラの電源をOFFにしないことをおすすめします。
- FXフォーマットのカメラに取り付けた場合は、以下の制限があります。
  - 撮像範囲がDXフォーマットになり、FXフォーマット対応レンズ装着時よりも記録画素数およびフォーカスポイントが少なくなります。
  - セットアップメニューの［**イメージダストオフデータ取得**］は使用できません。
- Z 6に取り付けた場合、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で1920×1080 120p、1920×1080 100p または1920×1080スローを選ぶと、以下の設定で撮影されます。
  - 1920×1080 120p → 1920×1080 60p
  - 1920×1080 100p → 1920×1080 50p
  - 1920×1080 30p 4倍スロー → 1920×1080 30p
  - 1920×1080 25p 4倍スロー → 1920×1080 25p
  - 1920×1080 24p 5倍スロー → 1920×1080 24p

取り扱い上のご注意

- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- 手ブレ補正機構の構造上、レンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。
- レンズをカメラに装着していないときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。
- レンズを水にぬらしたり、湿気の多い場所に置かないでください。部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- 火の近くなど、極端に温度が高くなるところに置かないでください。外装の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。
- レンズを傷から守るために、持ち運ぶときは別売のレンズケースなどに入れることをおすすめします。

レンズのお手入れ

- レンズ面を清掃する場合、通常はほこりを払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油分を含む汚れがついたときは、少量の無水アルコール（エタノール）や市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐには、別売のニュートラルカラーNCフィルターなどの使用をおすすめします。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

アクセサリー

付属アクセサリー

- 46 mm スプリング式レンズキャップ LC-46B
- 裏ぶた LF-N1（レンズキットでは異なる裏ぶたが付属する場合があります）

使用できるアクセサリー

- レンズケース CL-C4
- ネジ込み式フードHN-40
- 46 mmネジ込み式フィルター

フィルターを使用する場合

- フィルターは1枚で使用してください。
- フィルターは、フードを取り外してから装着してください。

仕様

マウント	ニコンZマウント
焦点距離	16 mm–50mm
最大口径比	1：3.5–6.3
レンズ構成	7群9 枚（ED レンズ1 枚、非球面レンズ4 枚）
画角	83°–31° 30′ （撮像範囲 DX）
焦点距離目盛	16、24、35、50 mm
フォーカシング方式	IF（インターナルフォーカス）方式
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	• 焦点距離16 mm時：撮像面から0.25 m • 焦点距離24 mm時：撮像面から0.2 m • 焦点距離35 mm時：撮像面から0.23 m • 焦点距離50 mm時：撮像面から0.3 m
最大撮影倍率	0.2 倍
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞りの範囲	• 焦点距離16 mm時：f/3.5–22 • 焦点距離50 mm時：f/6.3–40
アタッチメントサイズ	46 mm（P=0.75 mm）
寸法	約70 mm（最大径）×32 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約135 g

製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

NIKKOR Z DX 50–250mm f/4.5–6.3 VR 使用説明書

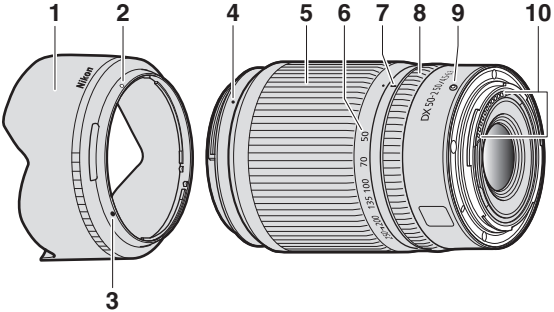
このカメラとNIKKOR Z DX 50–250mm f/4.5–6.3 VRをレンズキットでご購入の場合は、こちらをレンズの使用説明書としてお使いください。

国または地域によっては、レンズキットを販売していない場合があります。

レンズの使い方

▌▌ 各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下の通りです。



※ レンズキットでは異なる裏ぶたが付属する場合があります。その場合、①の手順は不要です。

1 フード※	画像に悪影響を及ぼす光線をカットします。 レンズ面の保護にも役立ちます。
2 フードセット指標	レンズにフードを取り付けるときの指標です。
3 フード取り付け指標	
4 フード着脱指標	
5 ズームリング	このリングを回転させるとズーミングができます。 • 撮影前にレンズを繰り出してください。
6 焦点距離目盛	ズーミング時の焦点距離の目安として使用します。
7 焦点距離目盛指標	
8 コントロールリング	**オートフォーカス時** このリングを回転させると、［**フォーカス（M/A）**］や［**絞り**］などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記載されている［**カスタムボタンの機能**］または［**カスタムボタンの機能（撮影）**］の説明をご覧ください。
	マニュアルフォーカス時 このリングを回転させると手動でピント合わせができます。
9 レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。
10 CPU信号接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。
11 レンズキャップ	—
12 裏ぶた	—

※ フードは別売です。

▌▌カメラへの取り付け方・取り外し方

取り付け方

1 カメラの電源をOFFにして、レンズの裏ぶたとカメラのボディーキャップを外す

2 カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す

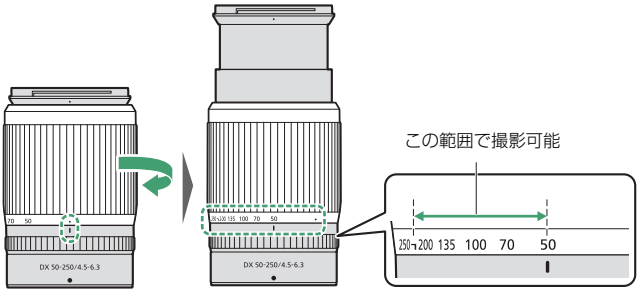
取り外し方

1 カメラの電源をOFFにする

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

撮影前の準備

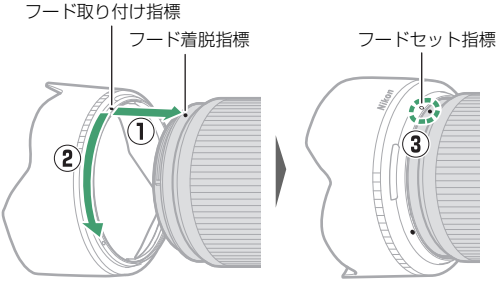
このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が50–250の範囲内でのみ撮影できます。



- レンズを収納するときは、レンズを繰り出すときと逆の方向に（●）の位置までズームリングを回してください。
- レンズを繰り出さずに電源を ON にすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときはレンズを繰り出してください。

▌フード（別売）の取り付け方・取り外し方

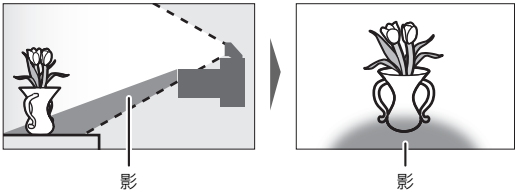
フード着脱指標とフード取り付け指標を合わせて（①）、フードを矢印（②）の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標を合わせてください（③）。



- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（●）付近を持って回転させてください。
- 取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

内蔵フラッシュの光がレンズやレンズのフードでさえぎられると画像に影が写り込みます。フードは取り外して撮影してください。フードを取り外しても、レンズの焦点距離と撮影距離によっては影が写り込みます。



手ブレ補正機能

このレンズには手ブレ補正機能があります。手ブレ補正機能はカメラで設定できます。詳しくは、カメラの説明書をご覧ください。

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて5.0段※シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がります。

※ CIPA規格準拠。DX フォーマットのカメラを使用し、カメラの手ブレ補正機能を［**ノーマル**］にしているとき。ズームレンズは最も望遠側で測定。

カメラにレンズを取り付けたときのご注意

- ピント合わせを行った後に、カメラの電源をOFFにして再びONにするとピント位置が変わることがあります。ピントをあらかじめ合わせておいて被写体を待つ置きピン撮影などでは、ピントを合わせてからシャッターをきるまでにカメラの電源をOFFにしないことをおすすめします。
- FXフォーマットのカメラに取り付けた場合は、以下の制限があります。
  - 撮像範囲がDXフォーマットになり、FXフォーマット対応レンズ装着時よりも記録画素数およびフォーカスポイントが少なくなります。
  - セットアップメニューの［**イメージダストオフデータ取得**］は使用できません。
- Z 6に取り付けた場合、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で1920×1080 120p、1920×1080 100p または1920×1080スローを選ぶと、以下の設定で撮影されます。
  - 1920×1080 120p → 1920×1080 60p
  - 1920×1080 100p → 1920×1080 50p
  - 1920×1080 30p 4倍スロー → 1920×1080 30p
  - 1920×1080 25p 4倍スロー → 1920×1080 25p
  - 1920×1080 24p 5倍スロー → 1920×1080 24p

取り扱い上のご注意

- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- 手ブレ補正機構の構造上、レンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。
- レンズをカメラに装着していないときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。
- レンズを水にぬらしたり、湿気の多い場所に置かないでください。部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- 火の近くなど、極端に温度が高くなるところに置かないでください。外装の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。
- レンズを傷から守るために、持ち運ぶときは別売のレンズケースなどに入れることをおすすめします。

レンズのお手入れ

- レンズ面を清掃する場合、通常はほこりを払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋など油分を含む汚れがついたときは、少量の無水アルコール（エタノール）や市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐには、別売のニュートラルカラーNCフィルターなどの使用をおすすめします。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

アクセサリー

付属アクセサリー

- 62 mm スプリング式レンズキャップ LC-62B
- 裏ぶた LF-N1（レンズキットでは異なる裏ぶたが付属する場合があります）

使用できるアクセサリー

- レンズケース CL-C1
- バヨネットフードHB-90A
- 62 mmネジ込み式フィルター

フィルターを使用する場合

- フィルターは1枚で使用してください。
- フィルターは、フードを取り外してから装着してください。また、円偏光フィルターの偏光効果の調節も、フードを取り外した状態で行ってください。

仕様

マウント	ニコンZマウント
焦点距離	50 mm–250mm
最大口径比	1：4.5–6.3
レンズ構成	12群16 枚（ED レンズ1 枚）
画角	31° 30′ –6° 30′ （撮像範囲 DX）
焦点距離目盛	50、70、100、135、200、250 mm
フォーカシング方式	IF（インターナルフォーカス）方式
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	• 焦点距離50 mm時：撮像面から0.5 m • 焦点距離70 mm時：撮像面から0.52 m • 焦点距離100 mm時：撮像面から0.58 m • 焦点距離135 mm時：撮像面から0.65 m • 焦点距離200 mm時：撮像面から0.83 m • 焦点距離250 mm時：撮像面から1.0 m
最大撮影倍率	0.23 倍
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞りの範囲	• 焦点距離50 mm時：f/4.5–22 • 焦点距離250 mm時：f/6.3–32
アタッチメントサイズ	62 mm（P=0.75 mm）
寸法	約74 mm（最大径）×110 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約405 g

製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

AF補助光撮影、内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズについて

AF補助光撮影に制限のあるレンズについて

AF補助光を使用できるAFレンズの焦点距離は16～300mm、AF補助光が届く距離範囲の目安は約1.0～3.0mです。使用するレンズや撮影距離によっては、AF補助光がレンズでさえぎられることがあります。

- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。
- AF補助光撮影に制限のあるレンズは次の通りです。

AF補助光を使ってオートフォーカス撮影ができないレンズ
NIKKOR Z 14–30mm f/4 S

撮影距離によってAF補助光を使ったオートフォーカス撮影に制限のあるレンズ	
NIKKOR Z 24–70mm f/2.8 S	2.5 m未満では内蔵AF補助光を使ったオートフォーカス撮影はできません。

内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズについて

内蔵フラッシュ撮影には焦点距離が16mmから300mmまでのレンズが使えますが、使用するレンズや撮影距離によっては、ケラレが発生することがあります。

- 焦点距離16mmよりも広角側で使用すると、画像周辺部が暗く写る場合があります。
- NIKKOR Z 14–30mm f/4 S使用時は、全ての撮影距離でケラレが発生します。その他の内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズは次の通りです。

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
NIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR	焦点距離16mm、撮影距離0.6m以上 焦点距離24mm以上は制約なし
NIKKOR Z 24–70mm f/2.8 S	焦点距離70mm、撮影距離1m以上
NIKKOR Z DX 50–250mm f/4.5–6.3 VR	焦点距離50mm、撮影距離1m以上 焦点距離70mm、撮影距離0.8m以上 焦点距離100mm以上は制約なし

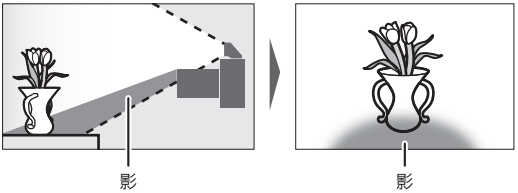
赤目軽減モードについてのご注意

レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効果が得られない場合があります。

ヒント：内蔵フラッシュ撮影のヒント

- 内蔵フラッシュで調光できる最短撮影距離は約0.6mです。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。

※ カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に写り込む現象です。



商標およびソフトウェアの著作権とライセンスについて

商標説明

- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、iPhone®、iPad®、iPod touch®、Mac、macOSおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社（https://www.aiphone.co.jp/）のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。Androidロボットは、Googleが作成および提供している作品から複製または変更したものであり、Creative Commons 3.0 Attributionライセンスに記載された条件に従って使用しています。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- PictBridgeは、CIPA（カメラ映像機器工業会）の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

FreeType License（FreeType2）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project（https://www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License（HarfBuzz）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2018 The HarfBuzz Project（https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

https://www.mpegla.com をご参照ください。

Unicode® Character Database License（Unicode® Character Database）

本製品のソフトウェアは、オープンソースソフトウェア（Unicode® Character Database）を利用しています。本オープンソースソフトウェアのライセンス条件は以下のとおりです。

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1991-2019 Unicode, Inc. All rights reserved.

Distributed under the Terms of Use in
https://www.unicode.org/copyright.html.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that either

(a) this copyright and permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, or

(b) this copyright and permission notice appear in associated Documentation.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

索 引

マーク・英数字

AUTO（オート）.....39, 43
P（プログラムオート）.....74
S（シャッター優先オート）.....74
A（絞り優先オート）.....75
M（マニュアル）.....76
U1、U2
（ユーザーセッティングモード）.....80
SCN（シーン）.....83
（ポートレート）.....84
（風景）.....84
（こどもスナップ）.....84
（スポーツ）.....85
（クローズアップ）.....85
（夜景ポートレート）.....85
（夜景）.....86
（パーティー）.....86
（海・雪）.....86
（夕焼け）.....87
（トワイライト）.....87
（ペット）.....87
（キャンドルライト）.....88
（桜）.....88
（紅葉）.....88
（料理）.....89
EFCT（スペシャルエフェクト）.....90
（ナイトビジョン）.....91
VI（極彩色）.....91
POP（ポップ）.....91
（フォトイラスト）.....92, 96
（トイカメラ風）.....92, 96
（ミニチュア効果）.....93, 97
（セレクトカラー）.....93, 98
（シルエット）.....94
（ハイキー）.....94
（ローキー）.....94
（1コマ撮影）.....133, 263
L（低速連続撮影）.....133
H（高速連続撮影）.....133
H+（高速連続撮影（拡張））.....133
（セルフタイマー）.....133
（連続撮影）.....263
（サイレント撮影）.....69
（電子先幕シャッター）.....279
（メカニカルシャッター）.....279
（ピンポイントAF）.....52
（シングルポイントAF）.....52
（ダイナミックAF）.....53
（ワイドエリアAF（S））.....53
（ワイドエリアAF（L））.....53
（オートエリアAF）.....54
（マルチパターン測光）.....130
（中央部重点測光）.....130
（スポット測光）.....130
（ハイライト重点測光）.....130
MENUボタン.....20
iボタン.....24, 115
▶ボタン.....47
🗑ボタン.....49
ISOボタン.....100
（露出補正）ボタン.....102
AF-L（O-n）ボタン.....20, 72, 104
/?ボタン.....19, 23, 147
ボタン.....19, 147, 164
（ヘルプあり表示）.....23
iメニュー.....24, 115
iメニューのカスタマイズ
.....25, 286, 299
使用時の感度自動制御.....284

1コマ撮影 133, 263
1コマ表示 147
ADLブラケティング 224
AEブラケティング 217
AEロック 105
AF-A（AFモード自動切り換え） 50
AF-C（コンティニュアスAF） 51
AF-Cモード時の優先 269
AF-F（フルタイムAF） 51
AF-S（シングルAF） 50
AFエリアモード 52
AF設定時のフォーカスリング
操作 273
AF速度 305
AF追従感度 305
AF点数 54, 270
AF微調節 313
AFモード自動切り換え 50
BKTの順序 285
Bluetooth 382
Creative Picture Control
（クリエイティブピクチャー
コントロール） 117
DISPボタン 18
D-ライティング 340
Fn1ボタン 27, 65
Fn2ボタン 27, 50
FVロック 113
HDMI 320, 404
HDR（ハイダイナミックレンジ）
234
Hi（ISO） 100
IPアドレス 366
ISO感度 100
ISO感度設定 101, 195, 259
Lvに撮影設定を反映 281
MACアドレス 326
MF（マニュアルフォーカス） 51
PCと接続 324
PCと直接接続 358
PictBridge（ピクトブリッジ） 401
RAW記録 194
RAW現像 334
RGBヒストグラム 151
SDカード 32, 467
SnapBridge 374
SSID 358, 364
USBケーブル iv
WBブラケティング 221
Wi-Fi接続 323
Wi-Fi接続先を検索 363
Wi-Fi通信機能 131, 144, 324
Wi-Fiモード 376
Wireless Transmitter Utility 356
WPS PIN コード方式 363
WPSプッシュ ボタン方式 363

ア

アオリ効果 343
赤目軽減発光 108, 128
赤目補正 341
明るさ（ピクチャーコントロール）
119
アクセスポイントモード 357, 358
アクティブD-ライティング 132
アッテネーター 264
後幕発光 108, 128
暗号キー 358, 365
位置情報の表示 321
位置情報表示 155
一灯撮影 406
イメージダストオフデータ取得 315
色合い（色相）（ピクチャー
コントロール） 119
色温度 68, 122, 198
色温度設定（ホワイトバランス） 67
色空間 206

色の濃さ（彩度）（ピクチャーコントロール）119
インジケーターの＋/－方向298
インターバルタイマー撮影239
インフォ画面の表示設定312
インフラストラクチャーモード357, 362
ヴィネットコントロール208, 261
エラー（無線接続）395
オート（ピクチャーコントロール）116
オート（ホワイトバランス）66
オートエリアAF54
オートエリアAF時の顔と瞳認識269
オートブラケティング216
オプション326

カ

カードなし時レリーズ329
カードの初期化（フォーマット）308
回折補正209, 261
顔認識AF55
拡大表示164
風切り音低減144, 265
画質モード126, 193
カスタムピクチャーコントロール203, 260
カスタムボタンの機能300
カスタムボタンの機能（再生）293
カスタムボタンの機能（撮影）287
カスタムメニュー266
カスタムメニューのリセット268
画像合成344
画像コメント317
画像サイズ127, 194
画像サイズ/フレームレート140, 258
画像情報149
画像編集メニュー331
傾き補正341
カメラの初期化330
簡易トリミング157
簡単接続363
簡単レタッチ340
感度自動制御機能101
基準露出レベルの調節275
機内モード321
距離基準マーク64
記録可能コマ数468
記録フォルダー設定189
クイックシャープ（ピクチャーコントロール）119
蛍光灯（ホワイトバランス）66
言語（Language）308
光学手ブレ補正137
高感度100
高感度ノイズ低減208, 261
格子線表示281
高速連続撮影133
高速連続撮影（拡張）133
極彩色（スペシャルエフェクト）91
コマンドダイヤル10
コマンドダイヤルの設定295
コンティニュアスAF51
コントラスト（ピクチャーコントロール）119
コントロールリング63

サ

最近設定した項目349, 354
再生画面設定182
再生フォルダー設定182
再生メニュー181
サイレント撮影69, 256
削除49, 166, 182
削除後の次再生画像183

撮影後自動送信.....370
撮影情報.....153
撮影直後の画像確認.....183
撮影モードダイヤル.....9, 73
撮像範囲設定.....193
撮像範囲設定の限定.....279
サブコマンドダイヤル.....10
サムネイル表示.....147
シーンモード.....83
自然光オート（ホワイトバランス）.....66
始点/終点の設定.....160
自動ゆがみ補正.....209, 261
視度調節ダイヤル.....7
自分撮りモード.....13, 320
絞り値.....75, 76
絞り優先オート.....75
シャッタースピード.....74, 76
シャッター方式.....279
シャッターボタンAEロック.....276
シャッター優先オート.....74
シルエット（スペシャルエフェクト）.....94
シングルAF.....50
シングルポイントAF.....52
水準器.....18, 19
スタンダード（ピクチャーコントロール）.....116
スペシャルエフェクトモード.....90
スポット測光.....130
スマートフォンと接続....322, 382, 394
スライドショー.....184
スローシャッター.....108, 128
スローモーション動画.....142
静止画/動画切り換えレバー.....39, 43
静止画撮影メニュー.....187
静止画撮影メニューのリセット.....188
晴天（ホワイトバランス）.....66
晴天日陰（ホワイトバランス）.....66
接続設定.....325, 358, 362
セットアップメニュー.....307
セルフタイマー.....133, 136, 276
セレクトカラー（スペシャルエフェクト）.....93, 98
全押し（シャッターボタン）.....42
選択画像削除.....167
送信指定（Bluetooth）.....322
送信指定/解除.....159
送信指定/解除（PC）.....370
増灯撮影.....410
測光モード.....130

タ

ターゲット追尾AF.....59
ダイナミックAF.....53
タイム撮影.....78
タイムラプス動画.....248
多重露出.....227
タッチシャッター.....61
タッチ操作.....320
タッチパネル.....12
縦位置自動回転.....184
地域と日時.....309
チャージャー.....31
中央部重点測光.....130
中央部重点測光範囲.....274
調光範囲.....111
調光補正.....112
長時間露出.....78
調色（ピクチャーコントロール）...119
長秒時ノイズ低減.....207
著作権情報.....318
通常発光.....108, 128
低速連続撮影.....133
低速連続撮影速度.....278
適用度（ピクチャーコントロール）.....119

電球（ホワイトバランス）.....66
電源OFF中の通信.....323
電子音.....319
電子手ブレ補正.....145, 264
トイカメラ風（スペシャル
エフェクト）.....92, 96
動画記録ファイル形式.....258
動画撮影ボタン.....44
動画撮影メニュー.....257
動画撮影メニューのリセット.....258
動画の画質.....140, 258
動画編集（始点/終点設定）.....347
統合表示.....156
動物AF.....57
トリミング.....337
曇天（ホワイトバランス）.....66

ナ

内蔵AF補助光の照射設定.....272
内蔵フラッシュ.....107
内蔵マイク.....44
ナイトビジョン（スペシャル
エフェクト）.....91
ニュートラル（ピクチャー
コントロール）.....116
認証マークの表示.....328

ハ

ハイキー（スペシャルエフェクト）
.....94
ハイライト重点測光.....130
ハイライト表示.....151, 306
発光禁止.....109, 128
発光モード.....409
バッテリー.....31, 32
バッテリーチャージャー.....31
バルブ撮影.....78
パワーオフ時間.....42, 277
パワーセーブ.....329
半押しAFレンズ駆動.....270
半押し（シャッターボタン）.....41
半押しタイマー.....42
ピーキング表示
（フォーカスピーキング）.....64, 282
ピクチャーコントロール.....116, 201
ヒストグラム.....18, 19
日付選択（削除）.....168
瞳AF.....55
ビビッド（ピクチャー
コントロール）.....117
表示中のフレームを保存.....163
標準表示.....150
ピント表示.....63
ピンポイントAF.....52
ファームウェアバージョン.....330
ファイル名設定.....192, 258
ファインダー.....7
ファインダーの明るさ.....310
ファインダーの
カラーカスタマイズ.....311
フィルター効果（ピクチャー
コントロール）.....119
風景（ピクチャーコントロール）...117
フォーカスポイント循環選択.....270
フォーカスポイント表示の設定.....271
フォーカスモード.....50
フォーカスリング.....63
フォーカスロック.....105
フォトイラスト（スペシャル
エフェクト）.....92, 96
フラッシュ.....107
フラッシュ（ホワイトバランス）.....66
フラッシュ撮影同調速度.....283
フラッシュ時シャッタースピード
制限.....284
フラッシュ使用時の露出補正.....284

フラッシュ調光補正.....112, 214
フラッシュ発光.....212
フラッシュポップアップレバー
.....29, 107
フラッシュモード.....108, 128
フラット（ピクチャー
コントロール）.....117
フランジバック.....64
プリセットマニュアル
（ホワイトバランス）.....67, 123, 199
フリッカー低減.....262
フリッカー低減撮影.....210
フルタイムAF.....51
プログラムオート.....74
プログラムシフト.....74
プロテクト.....72
ペアリング（Bluetooth）.....322
編集前後の画像表示.....347
ポートレート（ピクチャー
コントロール）.....117
ボタンのホールド設定.....298
ポップ（スペシャルエフェクト）.....91
ホワイトバランス.....65, 120, 196
本体充電ACアダプター.....446

マ

マイク感度.....143, 264
マイメニュー.....349
マニュアル（撮影モード）.....76
マニュアルフォーカス.....51, 63
マルチパターン測光.....130
ミドルレンジシャープ
（ピクチャーコントロール）.....119
ミニチュア効果（スペシャル
エフェクト）.....93, 97
明瞭度（ピクチャーコントロール）
.....119
メインコマンドダイヤル.....10
モニターの明るさ.....309
モニターモード切り換えボタン.....8
モノクローム（ピクチャー
コントロール）.....117

ヤ

ユーザーセッティングの登録
.....80, 308
ユーザーセッティングのリセット
.....82, 308
ユーザーセッティングモード.....80
ゆがみ補正.....342

ラ

リサイズ.....338
リモート撮影.....374
リモコン（ML-L7）設定.....327
輪郭強調（ピクチャー
コントロール）.....119
レーティング.....71, 186
レリーズモード.....133
レリーズモード（フレーム保存）...263
レンズの取り付け.....36
レンズの取り外し.....37
連続撮影.....263
連続撮影可能コマ数.....135
連続撮影コマ数.....278
連続撮影中の表示.....282
連番モード.....280
ローキー（スペシャルエフェクト）
.....94
ローライトAF.....271
録音帯域.....265
露出インジケーター.....77
露出設定ステップ幅.....274
露出ディレーモード.....278
露出補正.....102

露出補正簡易設定.....274

ワ

ワイドエリアAF（L）.....53
ワイドエリアAF（S）.....53
ワイヤレストランスミッター
　ユーティリティー.....356

ファームウェアバージョンアップによる変更内容

バージョンアップ方法について

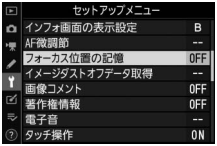
カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー［**ファームウェアバージョン**］で行えます。Z 50の最新のファームウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/

ファームウェア（C: 2.10）による変更点について

カメラのファームウェアを最新のC: 2.10にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。

フォーカス（ピント）位置を記憶する機能の追加



セットアップメニューに［**フォーカス位置の記憶**］が追加されました。［**する**］に設定すると、カメラの電源をOFFにして再度ONにした場合に、フォーカス（ピント）位置が電源OFFの前と同じ位置に保持されます。

- ズーム操作や環境温度の変化によっては、ピント位置が変わる場合があります。
- この機能は、オートフォーカス機能を持つZマウントレンズを装着している場合のみ有効です。
- ［**する**］に設定すると、電源をONにしてからカメラの操作ができるようになるまで時間がかかることがあります。

ファームウェア（C: 2.30）による変更点について

カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］に［フォーカス位置の登録］/［フォーカス位置の呼び出し］の追加

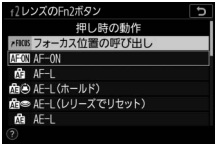
カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で割り当てられる機能に［**フォーカス位置の登録**］と［**フォーカス位置の呼び出し**］が追加されました。［**レンズのFnボタン**］に［**フォーカス位置の登録**］を割り当ててレンズの**Fn**ボタンを長押しすると、ピント位置（フォーカス位置）を登録できます。［**レンズのFn2ボタン**］に［**フォーカス位置の呼び出し**］を割り当ててレンズの**Fn2**ボタンを押すと、登録したピント位置を素早く呼び出すメモリーリコールの機能が使用できます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

- メモリーリコール機能は、**Fn**ボタンと**Fn2**ボタンのある、オートフォーカス可能なZマウントレンズの装着時にのみ使用できます。**Fn2**ボタンのないレンズの場合、レンズの**Fn**ボタンに［**フォーカス位置の登録**］を割り当てていてもピント位置を登録できません。
- ピント位置の登録と呼び出しは、静止画モードと動画モードのどちらでも可能です。
- ピント位置の登録は、フォーカスモードの設定にかかわらず可能です。
- カメラからレンズを取り外したり、レンズを交換した場合は登録したピント位置がリセットされます。

メモリーリコール機能の使い方

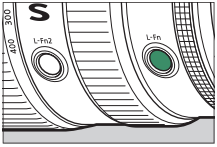
1 カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］にある［レンズのFnボタン］で［フォーカス位置の登録］を選ぶ

2 カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］にある［レンズのFn2ボタン］で［フォーカス位置の呼び出し］を選ぶ



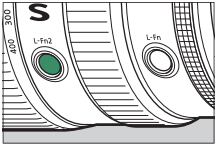
3 撮影画面で被写体にピントを合わせ、レンズのFnボタンを長押しする

ピント位置が正しく登録されると、ピント位置が登録されたことを示すアイコンが撮影画面に表示されます。



4 レンズのFn2ボタンを押す

- 登録したピント位置にセットされます。
- レンズの**Fn2**ボタンを押している間は、フォーカスモードが**MF**に変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。



メモリーリコール機能についてのご注意

- インフォ画面の表示中は、ピント位置を登録することはできません。
- 環境温度の変化によっては、登録時と呼び出し時のピント位置が変わることがあります。
- ピント位置を登録した後で、ズーム操作で焦点距離を変えると、呼び出し時にピント位置が変わりやすくなります。この場合、セットアップメニュー［**電子音**］>［**電子音設定**］が［**無効**］以外に設定されていると、ピント位置を呼び出したときに電子音が短く4回鳴ります。

ヒント：電子音について

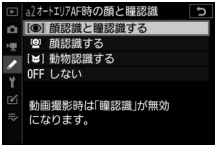
- セットアップメニュー［**電子音**］>［**電子音設定**］が［**無効**］以外の場合に、静止画モードでピント位置の登録や呼び出しを行うと、電子音が短く2回鳴ります。
- サイレント撮影時や動画モード時、および［**電子音**］>［**電子音設定**］が［**無効**］の場合は、電子音は鳴りません。

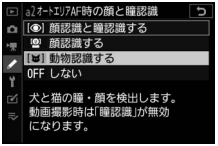
ファームウェア（C: 2.40）による変更点について

瞳AF機能の動画モード対応

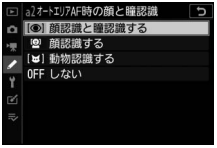
人物または犬や猫の瞳を認識する「瞳認識機能」（瞳AF機能）について、バージョンC:2.30までのファームウェアでは動画モードの場合に無効でしたが、C:2.40にバージョンアップすることで動画モードの場合も有効になりました。

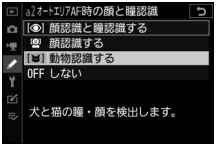
C:2.30以前





C:2.40





ファームウェア（C: 2.50）による変更点について

パワーズームレンズに対応

■■ カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］/ g2［カスタムボタンの機能］に［パワーズーム（望遠側）］/［パワーズーム（広角側）］追加

カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］とg2［**カスタムボタンの機能**］で割り当てられる機能に［**パワーズーム（望遠側）**］と［**パワーズーム（広角側）**］が追加されました。［**Fn1ボタン**］に［**パワーズーム（望遠側）**］を割り当てると、**Fn1**ボタンを押している間、望遠側に電動でズーミング（パワーズーム）することができます。［**Fn2ボタン**］に［**パワーズーム（広角側）**］を割り当てると、**Fn2**ボタンを押している間、広角側に電動でズーミングすることができます。

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn1ボタン**］が［**パワーズーム（望遠側）**］のときは、［**Fn2ボタン**］に［**パワーズーム（広角側）**］が選ばれます。
- カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fn2ボタン**］が［**パワーズーム（広角側）**］のときは、［**Fn1ボタン**］に［**パワーズーム（望遠側）**］が選ばれます。
- 自分撮りモード中は、**Fn1**ボタンと**Fn2**ボタンを使ったパワーズームの操作は無効になります。

カスタムメニューにf7/g5［パワーズームのボタン操作（PZレンズ）］追加

カスタムメニューf7およびg5として［**パワーズームのボタン操作（PZレンズ）**］が追加されました。パワーズームに関する設定ができます。

項目	内容
［Q/⊠ボタンの使用］	［**する**］に設定すると、Qボタンを押している間は望遠側に、⊖⊠/?ボタンを押している間は広角側に電動でズーミング（パワーズーム）することができます。 • カメラとリモコンML-L7を接続している場合、［**する**］に設定すると、リモコンの＋ボタン（望遠側）と－ボタン（広角側）でもズーミングすることができます。
［パワーズーム速度］	ボタン操作でパワーズームするときのズーミングの速度を、－側にすると低速に、＋側にすると高速に設定できます。 • カスタムメニューg5［**パワーズームのボタン操作（PZレンズ）**］の場合は、［**動画記録待機中**］および［**動画記録中**］のそれぞれを設定できます。

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- このメニュー項目の追加によって、カスタムメニュー［**ハイライト表示**］の番号はg5からg6に変更されました。

レンズの動作音についてのご注意

動画記録中にズーミングを行うと、レンズの動作音が記録されることがあります。ボタン操作でパワーズームするときにレンズの動作音が気になる場合は、カスタムメニュー g5［**パワーズームのボタン操作（PZレンズ）**］の［**パワーズーム速度**］の［**動画記録中**］を－側（低速）に設定することをおすすめします。

カメラの操作音についてのご注意

動画記録中にカメラのボタンを押してズーミングを行うと、操作音が記録されることがあります。ボタン操作でパワーズームするときに操作音が気になる場合は、次を使用してズーミングを行うことをおすすめします。

- SnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォン（SnapBridgeアプリのバージョンによっては、パワーズームの操作ができない場合があります）
- リモコンML-L7

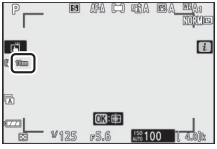
セットアップメニューに［ズーム位置の記憶（PZレンズ）］追加

セットアップメニューに［**ズーム位置の記憶（PZレンズ）**］が追加されました。［**する**］に設定すると、カメラの電源をOFFにして再度ONにした場合に、ズーム位置が電源OFFの前と同じ位置に保持されます。

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- 製品名が異なるレンズに交換した場合はズーム位置がリセットされます。

撮影画面に焦点距離の表示を追加

撮影画面に焦点距離の表示が追加されました。パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ表示されます。



バッテリー EN-EL25aに対応

使用できるアクセサリーにLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25aが追加されました。EN-EL25aはEN-EL25と同様にお使いいただけます。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」（無料）の「製品登録」ページからご登録いただけます。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

■ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利な会員特典※などフォトライフをよりお楽しみいただくための会員サービスです。

※特典は登録製品ごとに異なります。

■ご注意

- ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- 登録製品の製品番号（製品本体および保証書に記載）が必要です。
- 特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

株式会社 ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

SB3L10(10)

6MOA3010-10

© 2019 Nikon Corporation